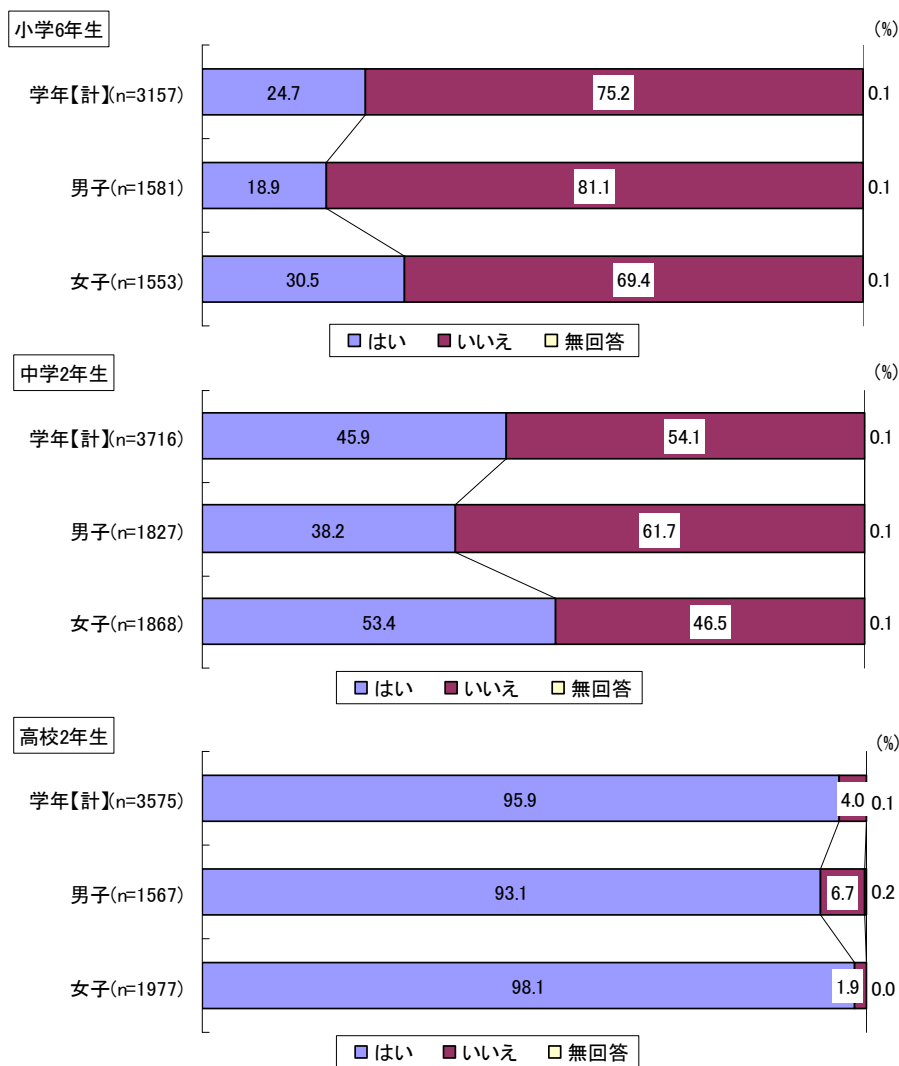


第2章 調査結果

2.1. 携帯電話の利用状況

児童生徒調査Q1

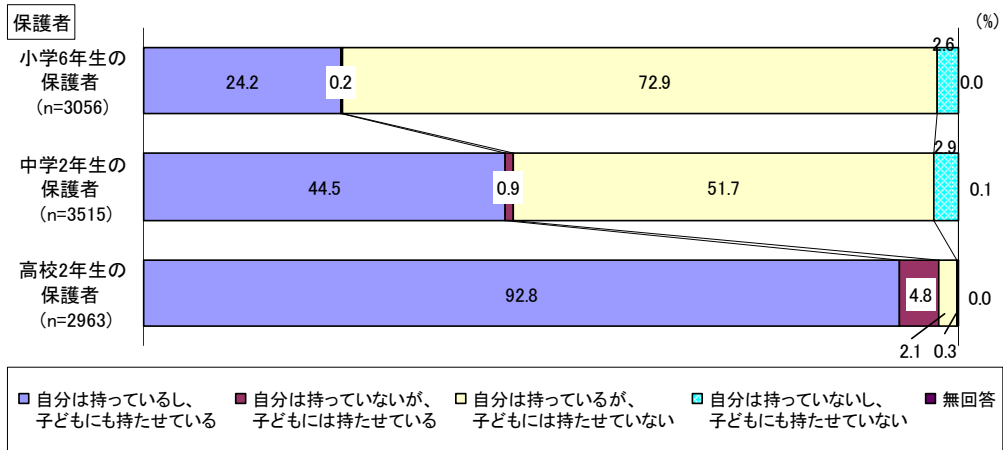
あなたは自分専用の携帯電話を持っていますか。(どちらか1つに○)



小学6年生全体で24.7%、中学2年生全体で45.9%、高校2年生全体で95.9%の所有率である。小学6年生、中学2年生では、女子の所有率が男子の所有率を大きく上回っている。

保護者調査Q1

あなたやあなたのお子様は、自分専用の携帯電話を持っていますか。(どれか1つに○)

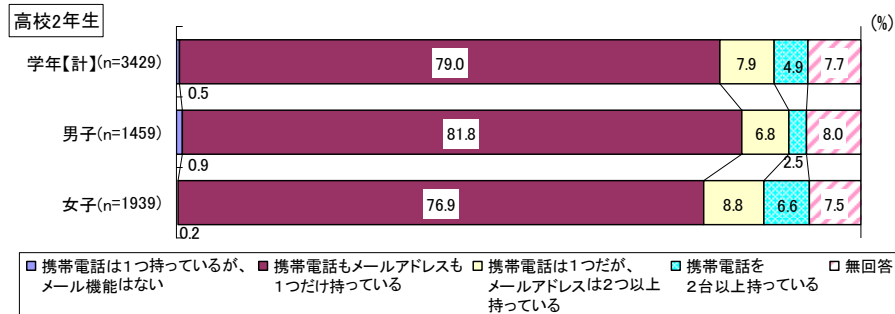
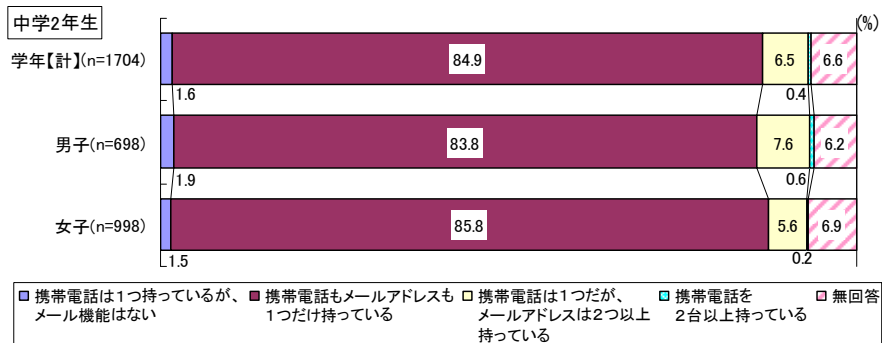
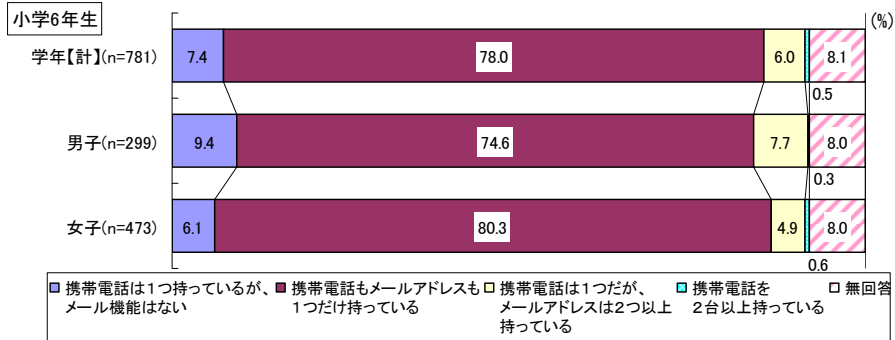


学年が上がるにつれて、子どもに持たせている割合が上昇している。

児童生徒調査Q2

あなたは携帯電話やメールアドレスをいくつ持っていますか。(どれか1つに○)

※ 児童生徒調査Q1の携帯電話の所有の有無で、「1. はい」を選択したものが回答

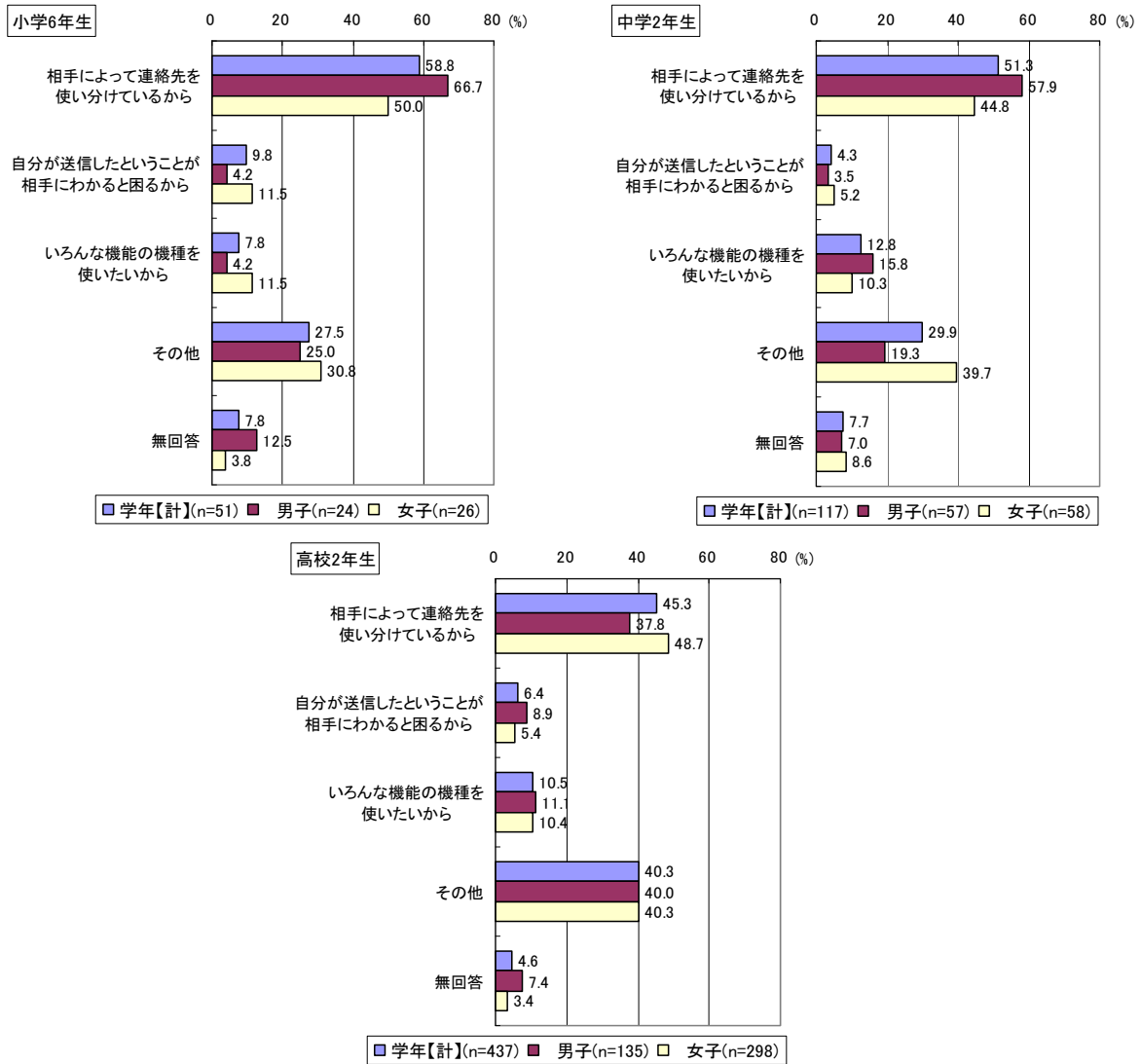


携帯電話、メールアドレスとも1つだけの所有が大半を占めるが、調査対象全学年で、「携帯電話は1つだが、メールアドレスを2つ以上持っている」と回答した児童生徒が7%前後となる。

児童生徒調査Q2-2

なぜ、携帯電話やメールアドレスを複数持っているのですか。(あてはまるもの全てに○)

※ 児童生徒調査Q2で、「3. 携帯電話は1つだが、メールアドレスは2つ以上持っている」または「4. 携帯電話を2台以上持っている」を選択したものが回答



各学年とも「相手によって連絡先を使い分けしているから」が最も多いが、「その他」も多く、中学2年生の女子、高校2年生の男子・女子では「その他」が4割前後となっている。

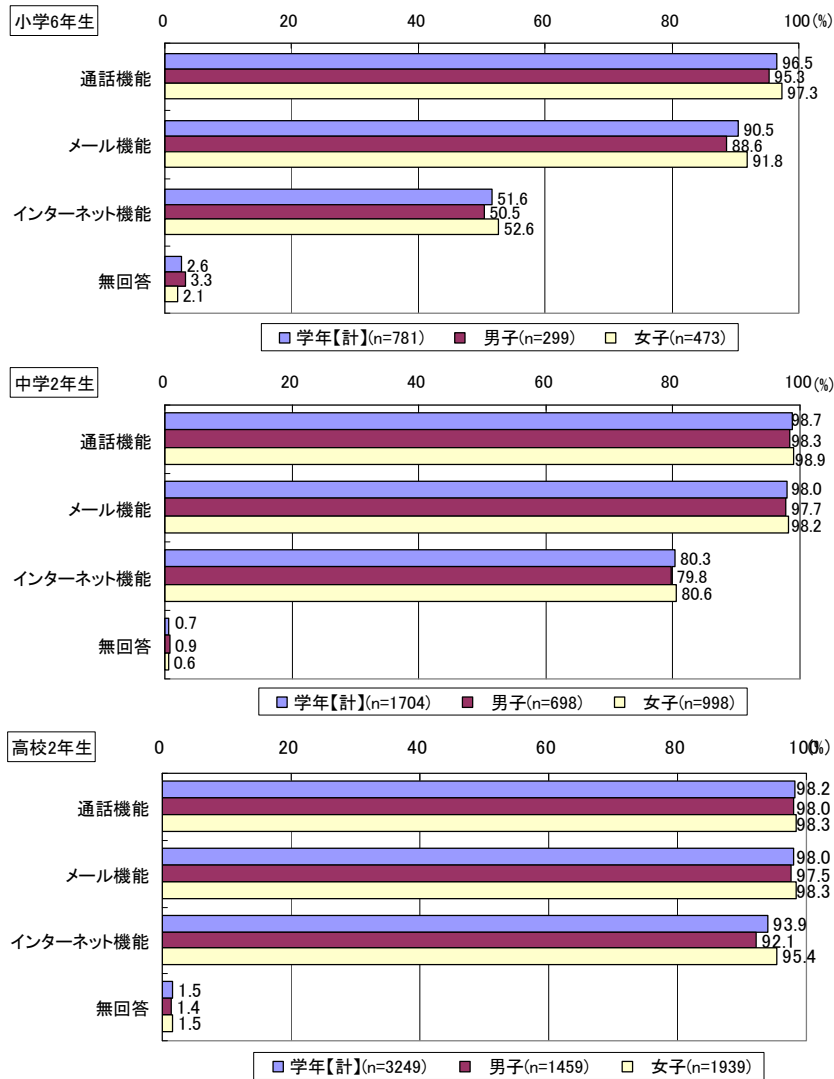
「その他」の例

- ・ 通話専用とメール専用に分けているから。(計 96 件)
- ・ パソコンのアドレスと携帯電話のアドレスが両方あり、使い分けしている。(計 54 件)

児童生徒調査Q3

あなたが持っている携帯電話は、次の機能が使用できますか。(あてはまるもの全てに○)

※ 児童生徒調査Q1の携帯電話の所有の有無で、「1. はい」を選択したものが回答

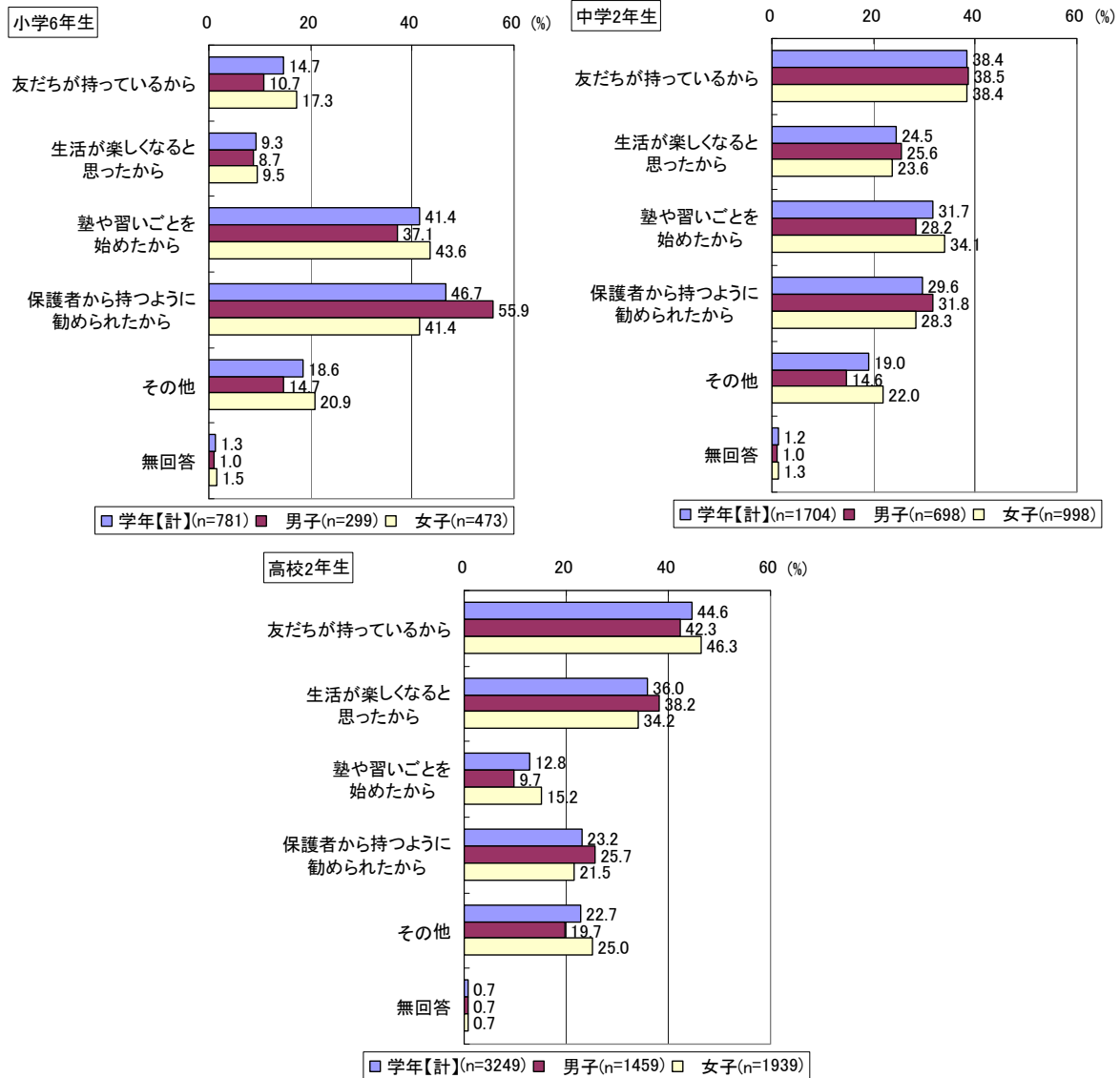


通話、メール機能はほぼ全員が使用できるが、インターネット機能に関しては、小学6年生全体では約5割、中学2年生全体では約8割、高校2年生全体では約9割となっている。

児童生徒調査Q4

あなたが携帯電話を持った理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

※ 児童生徒調査Q1の携帯電話の所有の有無で、「1. はい」を選択したものが回答



小学6年生で多い「保護者から持つように勧められたから」「塾や習いごとを始めたから」は、学年が上がるにつれ割合が減少し、代わって「友だちが持っているから」、「生活が楽しくなると思ったから」が増加する傾向にある。

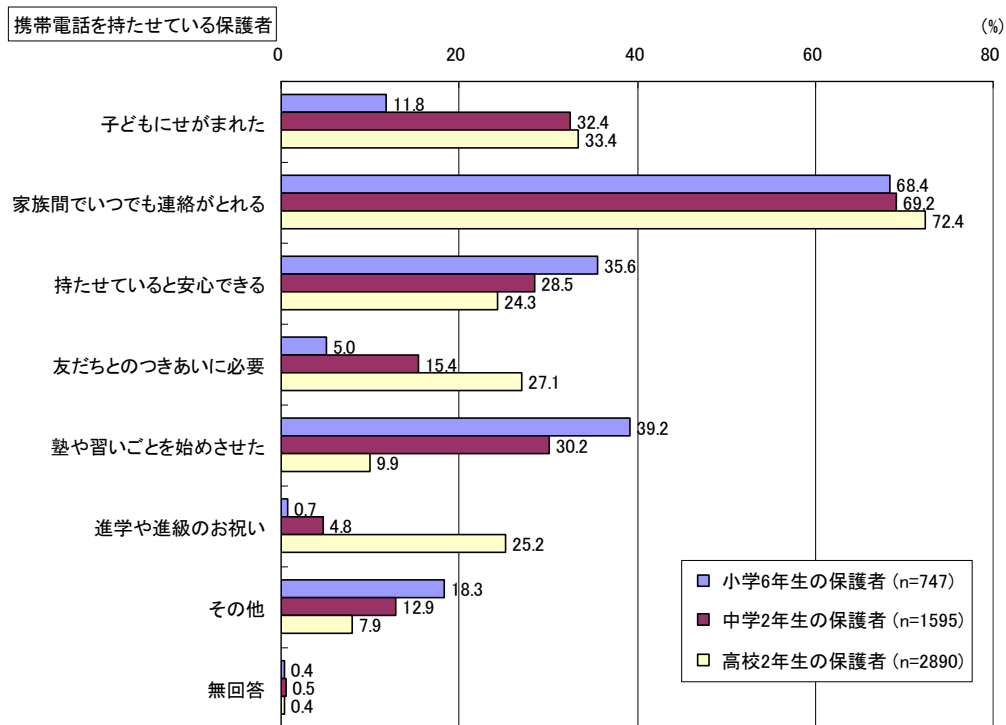
「その他」の例

- ・ 防犯用、親との連絡用。(小学6年生、中学2年生)
- ・ 遠くへ旅行する機会があったため。(小学6年生、中学2年生)
- ・ 部活で帰りが遅くなるから、部活での連絡用。(中学2年生)
- ・ 高校に入り通学手段が変わったため。帰宅時間が遅くなったため。(高校2年生)
- ・ 寮に入り、親元を離れたから。寮生活で連絡用に必要になったため。(高校2年生)

保護者調査Q2

あなたがお子様に携帯電話を持たせた理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

※ 保護者調査Q1で、「子どもにも（子どもには）持たせている」を選択したものが回答



「家族間でいつでも連絡がとれる」という安全安心面の理由で持たせる保護者が多い。また学年が上がるにつれて、「子どもにせがまれたから」や「友だちとのつきあいに必要」といった子ども寄りの事由で持たせた保護者が増える傾向にある。

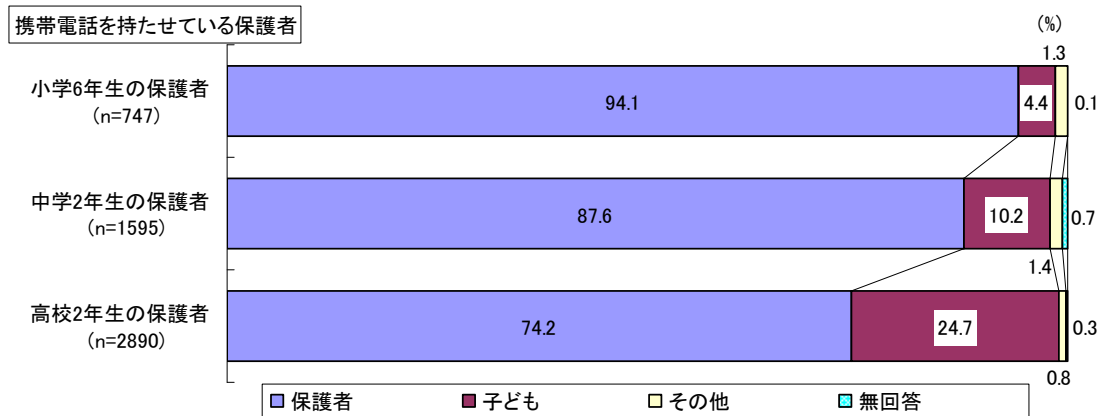
「その他」の例

- ・家に固定電話がないため。(小中高の保護者)
- ・両親が共働きのため。(小中高の保護者)
- ・クラブ(水泳クラブなど)の連絡用のため。(小中高の保護者)
- ・部活の連絡用のため。(中高生の保護者)
- ・ITを早期に実体験させたい。(高校2年生の保護者)

保護者調査Q3

お子様に持たせている携帯電話の契約名義者は誰ですか。(どれか1つに○)

※ 保護者調査Q1で、「子どもにも(子どもには)持たせている」を選択したものが回答



保護者が契約名義者になっているものが多いが、高校2年生では、利用者である子ども自身が名義者となっている場合が24.7%存在する。

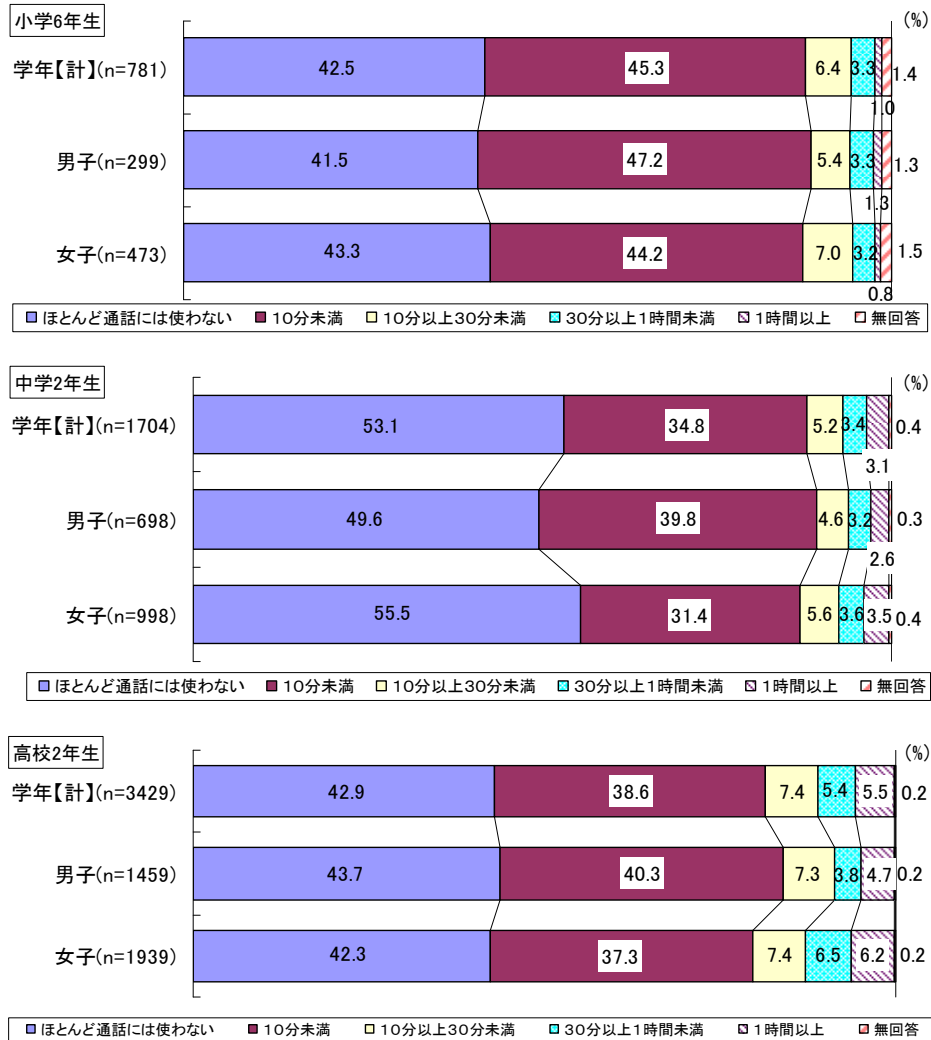
「その他」の例

- ・祖父母。(小中高の保護者)
- ・兄弟で共用しているので、兄の名義。(小中高の保護者)
- ・自分の兄弟の名義(子ども本人にとっての叔父・叔母)。(小中高の保護者)

児童生徒調査Q5

あなたは、ふだん学校がある日は、携帯電話で1日にどれくらい通話していますか（どれか1つに○）

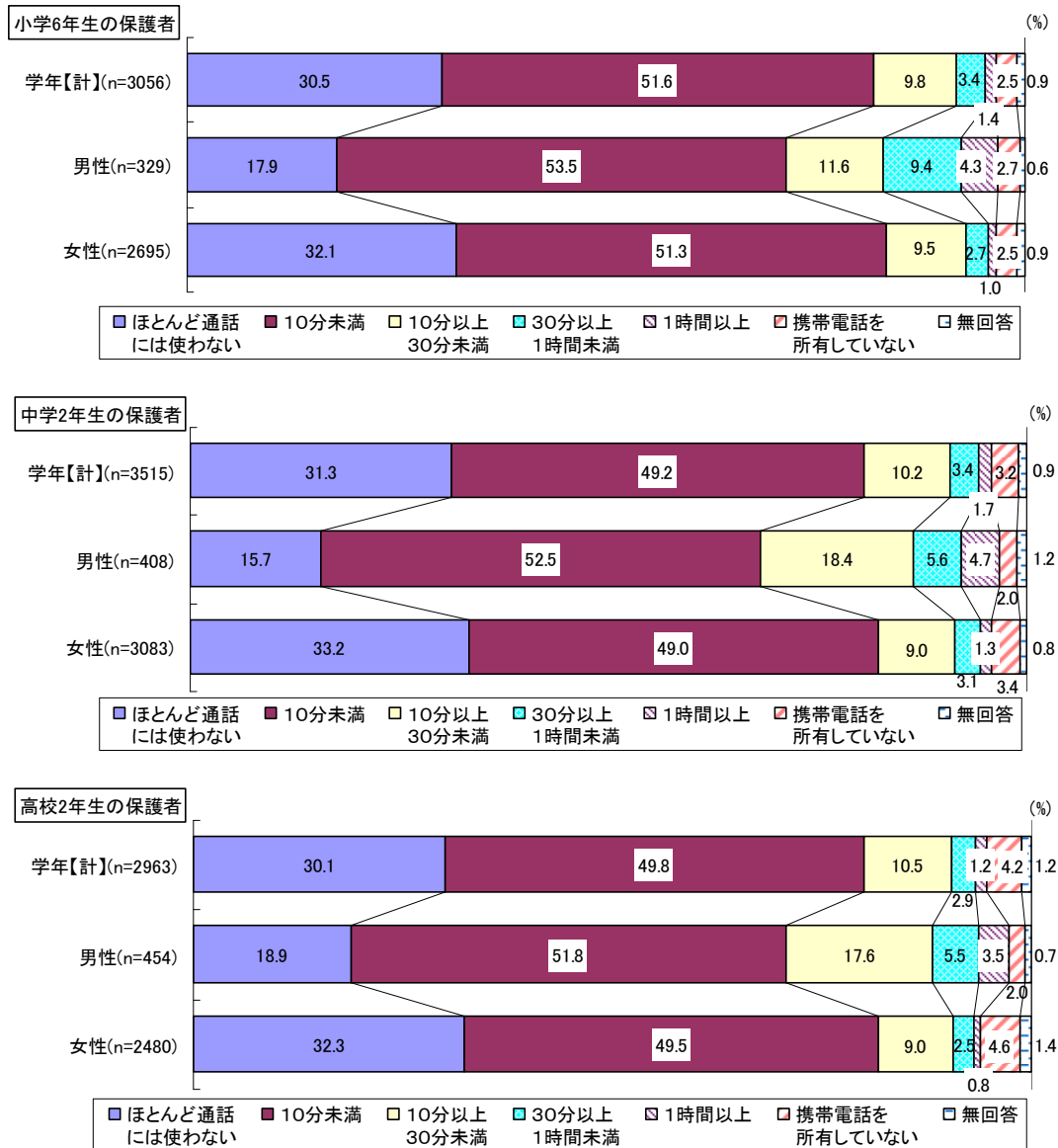
※ 児童生徒調査Q1の携帯電話の所有の有無で、「1. はい」を選択したものが回答



携帯電話を通話にはあまり使わないという回答が多い一方、1時間以上携帯電話で通話している子どもも高校2年生（全体）では5.5%となる。

保護者調査Q10

あなたはふだん（平日）、携帯電話で1日にどれくらい通話していますか。（どれか1つに○）

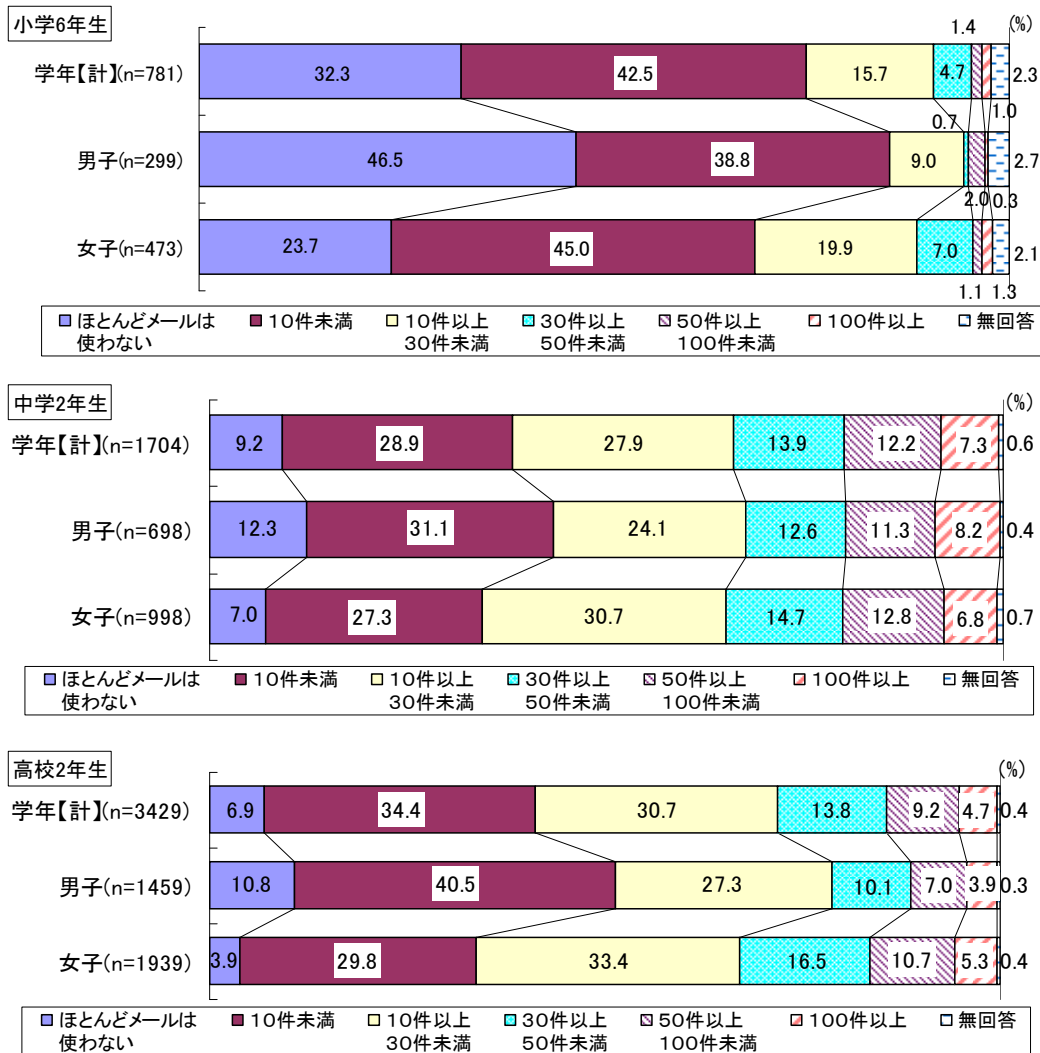


いずれも「ほとんど通話には使わない」と「10分未満」の合計が7割から8割程度を占める。

児童生徒調査Q6

あなたは、ふだん学校がある日は、携帯電話で1日にどれくらいメールのやりとりをしていますか。(送信と受信の合計で教えてください。)(どれか1つに○)

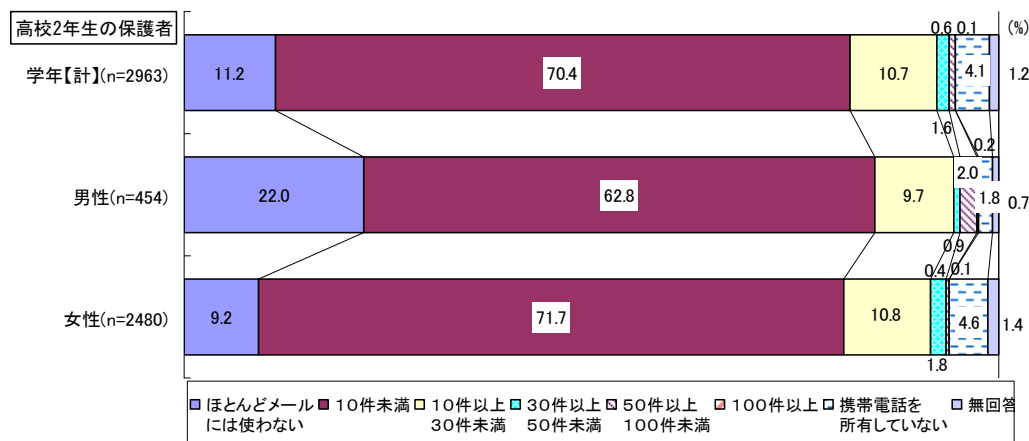
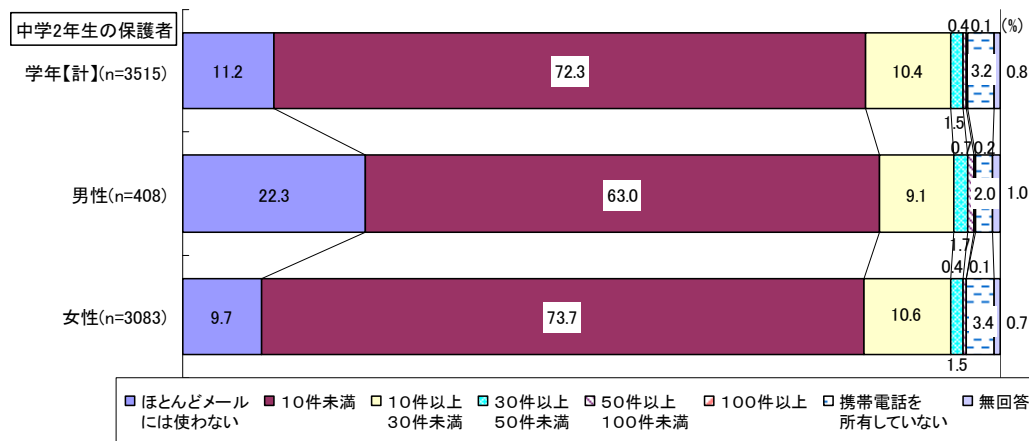
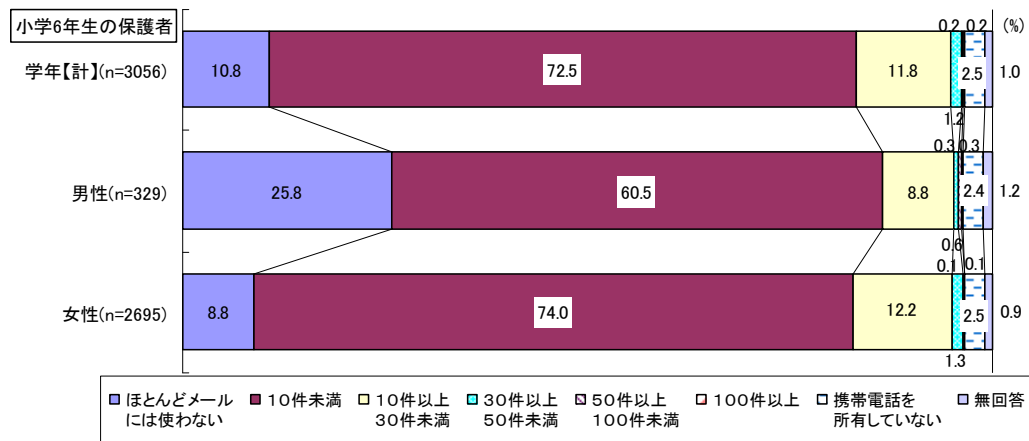
※ 児童生徒調査Q1の携帯電話の所有の有無で、「1. はい」を選択したものが回答



小学6年生全体では、「ほとんどメールは使わない」と「10件未満」合計74.8%に達している。中学2年生全体と高校2年生は、「10件未満」の回答が3割から4割程度と一番多くなっているが、一方で、1日に50件以上のメール送受信を行う児童生徒の割合は、中学2年生全体では19.5%、高校2年生全体では13.9%となっている。なお、50件以上の割合は中学2年生が最も多くなっている。高校2年生ではやや減少しているが、その理由としては、プロフやブログの利用が増加していることの反動ということも考えられる。

保護者調査Q11

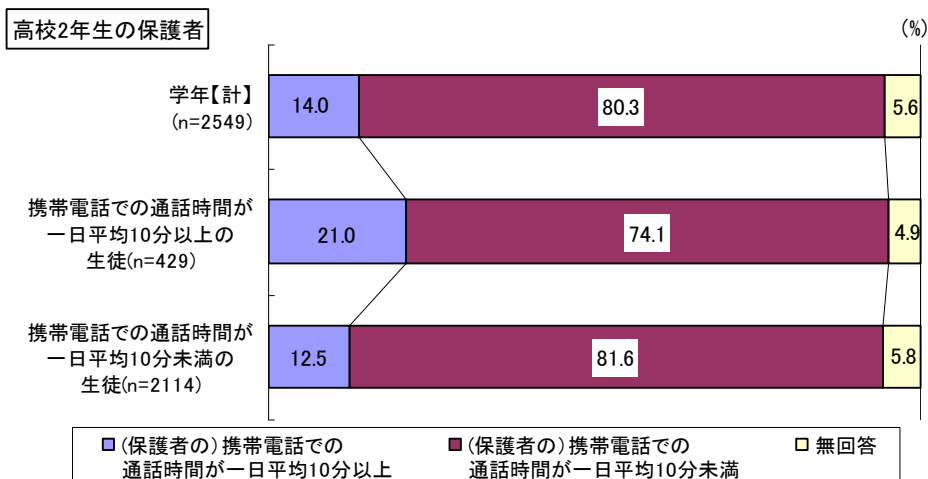
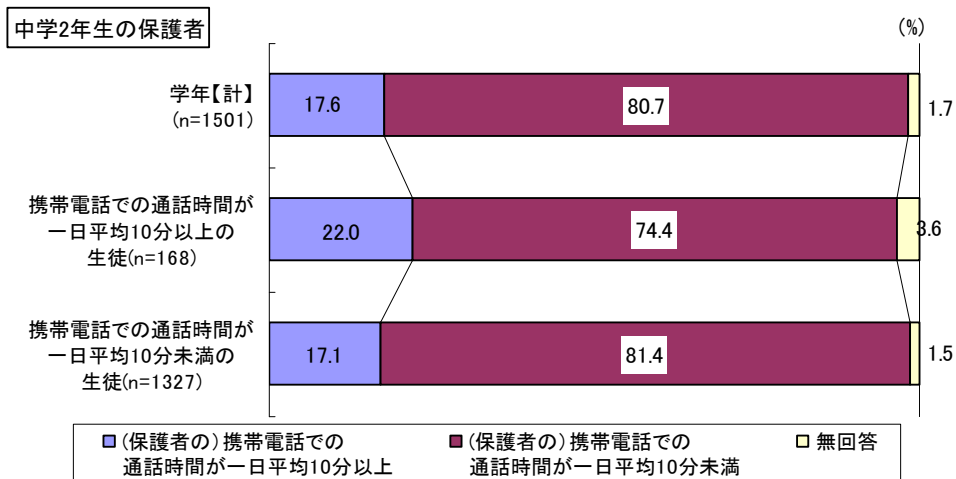
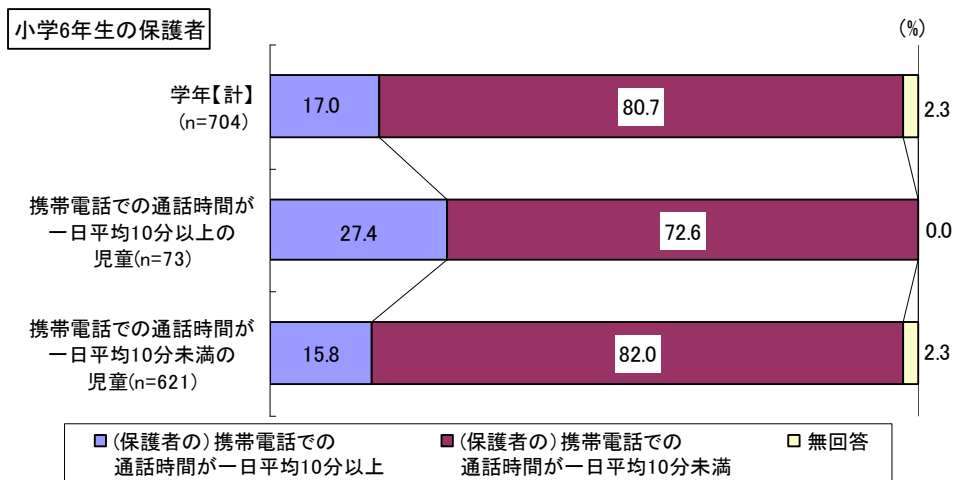
あなたはふだん（平日）、携帯電話で1日にどれくらいメールのやりとりをしていますか。（送信と受信の合計で教えてください。）（どれか1つに○）



いずれの回答においても、一日の平均メール件数が「10件未満」の回答が大半を占めている。

関連設問との分析（児童生徒調査Q5—保護者調査Q10）

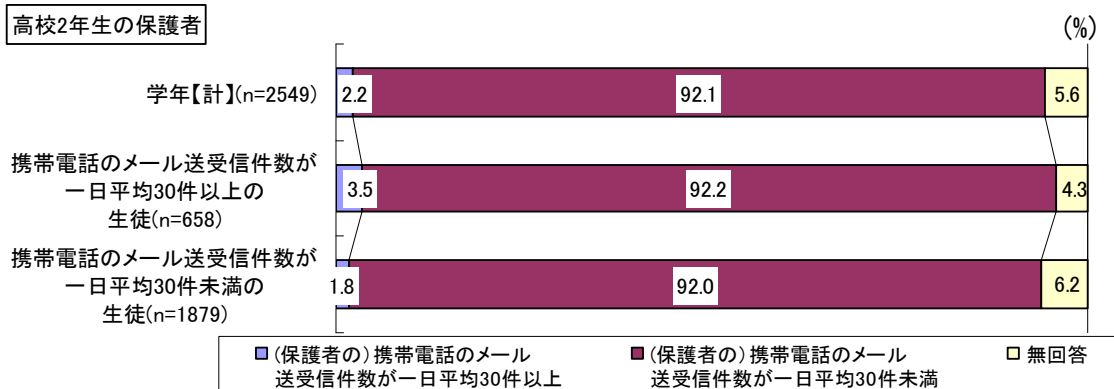
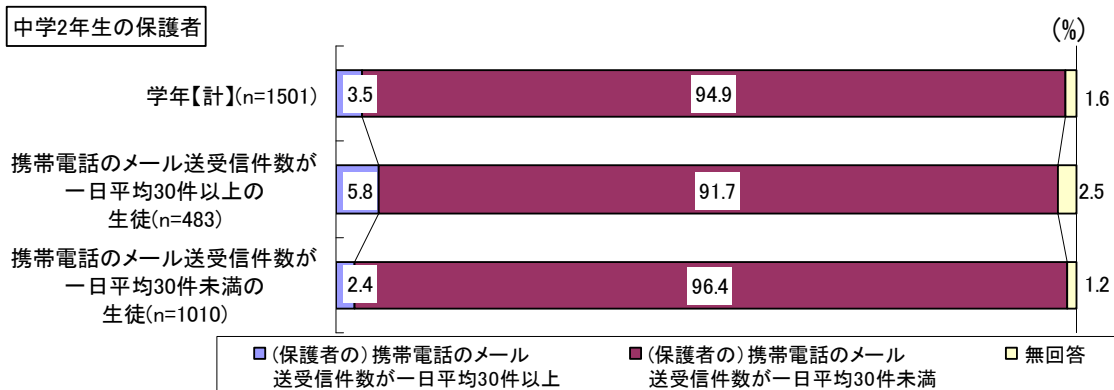
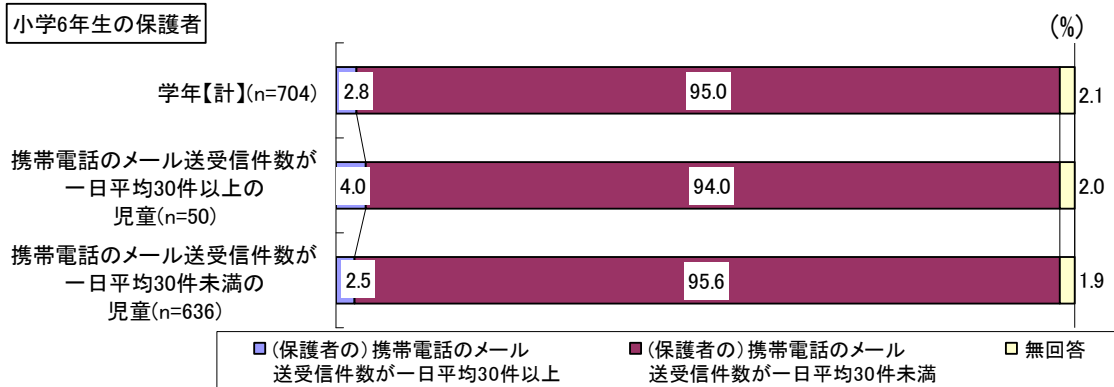
子どもと保護者の携帯電話の利用状況の関係（通話）



各学年において、子どもの通話時間が「10分以上」の場合、保護者も「10分以上」の割合が多くなっている。

関連設問との分析（児童生徒調査Q6—保護者調査Q11）

子どもと保護者の携帯電話の使用頻度の関係（メール）



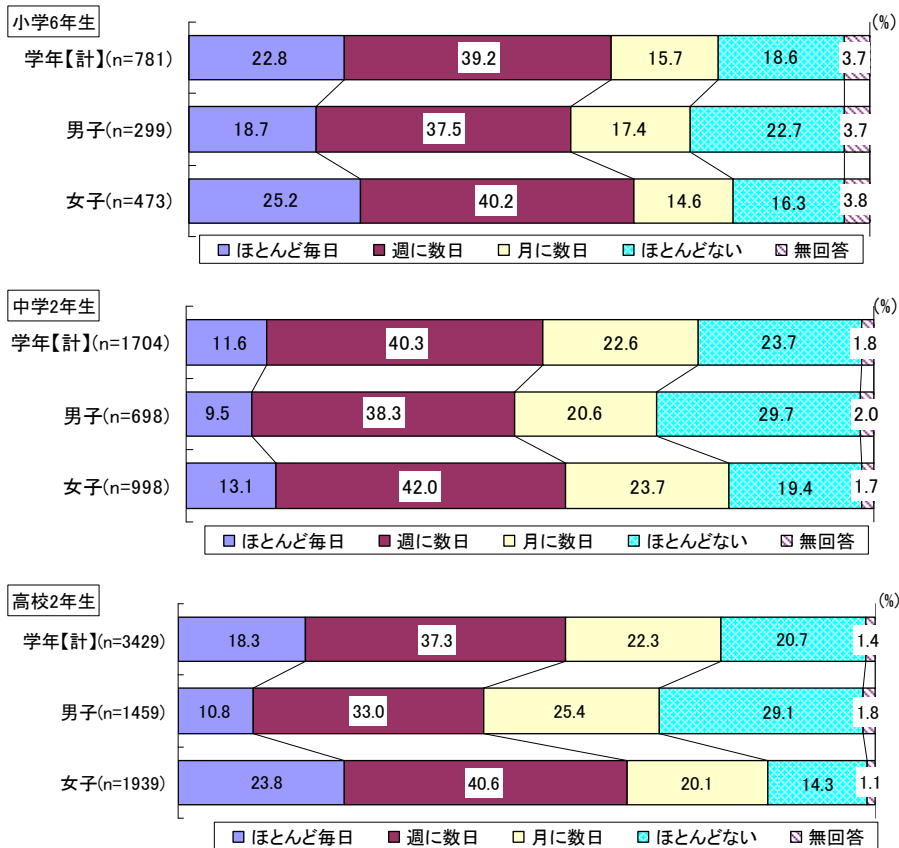
各学年において、相対的な割合は低いですが、子どものメールの送受信件数が「30件以上」の場合、保護者も「30件以上」の割合が多くなっている。

児童生徒調査Q7

あなたは、携帯電話で、次の人とメールのやりとりをする日はどれくらいありますか。(それぞれ、どれか1つに○)

※ 児童生徒調査Q1の携帯電話の所有の有無で、「1. はい」を選択したものが回答

(1) 保護者・家族

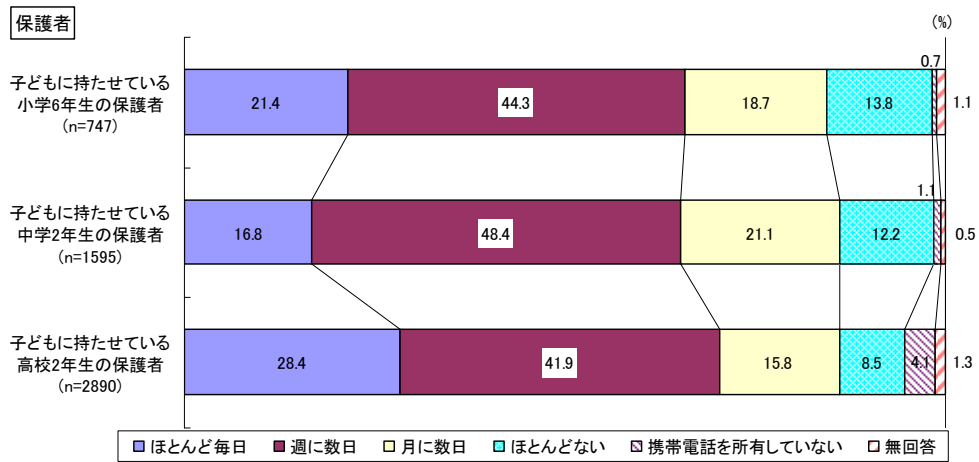


小学6年生、中学2年生、高校2年生とも、男子より女子の方が保護者・家族との連絡を頻繁に行っている傾向が伺える。

また、保護者・家族とほとんど毎日メールで連絡を取っている児童生徒の割合は、中学2年生が最も低い。

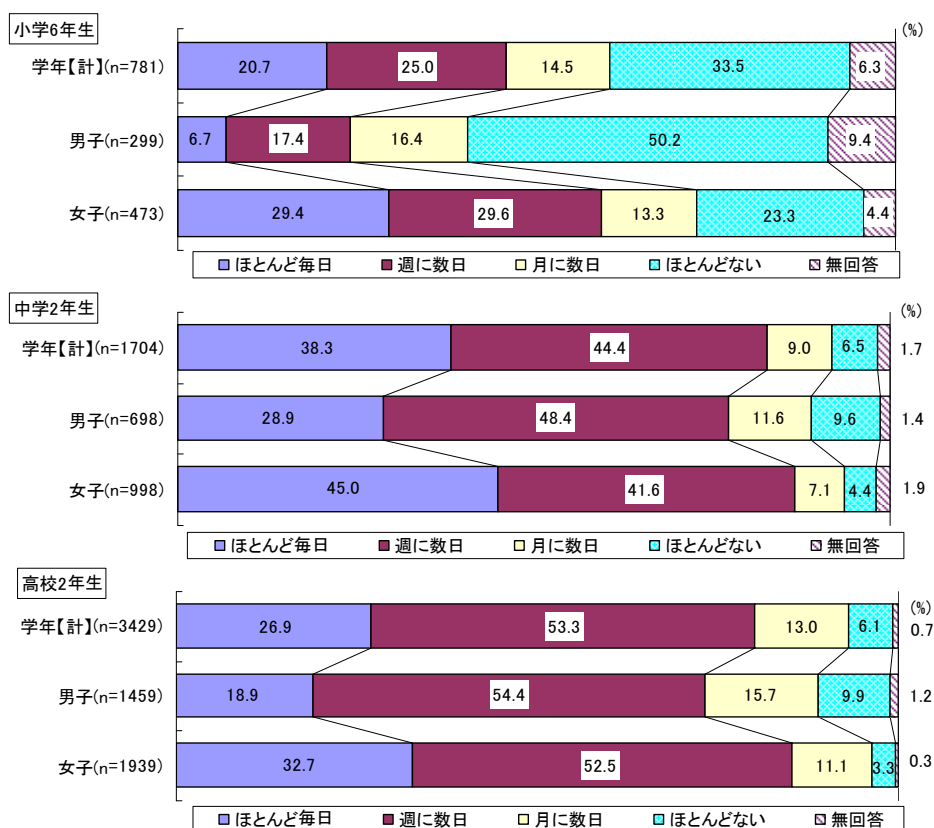
関連設問との分析（保護者調査Q1—保護者調査Q12）

子どもに携帯電話を持たせている場合の、子どもとの通話やメールのやりとりの頻度の関係

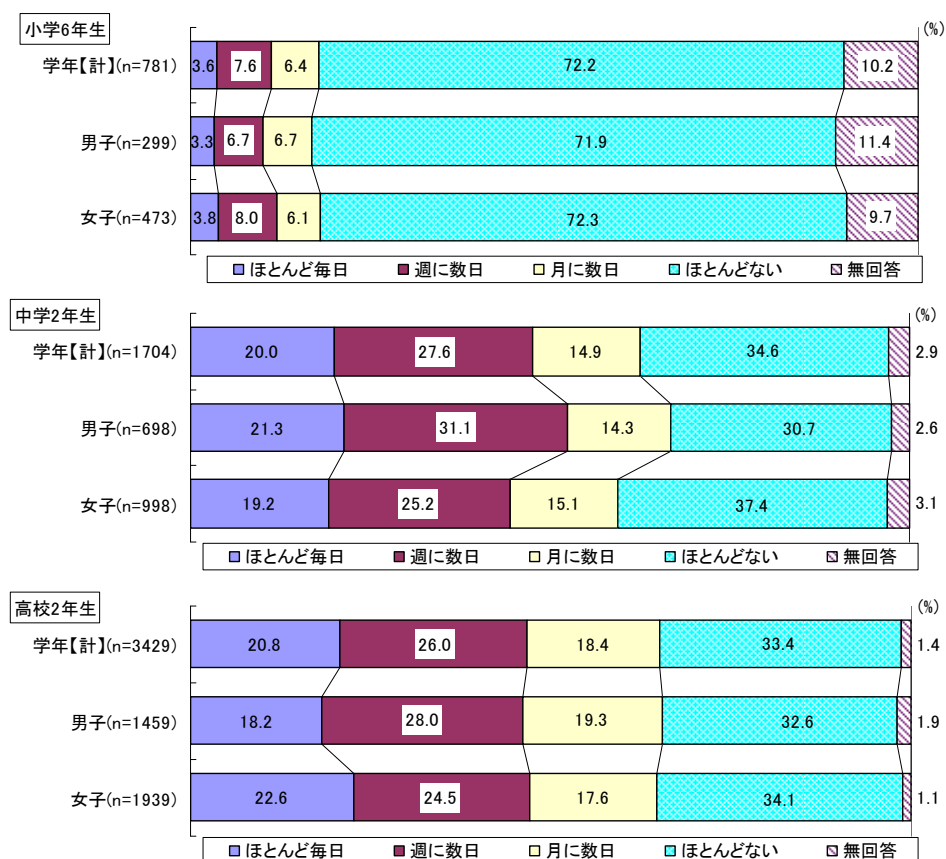


子どもの回答（児童生徒調査Q7（1））に比べ、「ほとんど毎日」「週に数日」という回答割合が多くなっている。

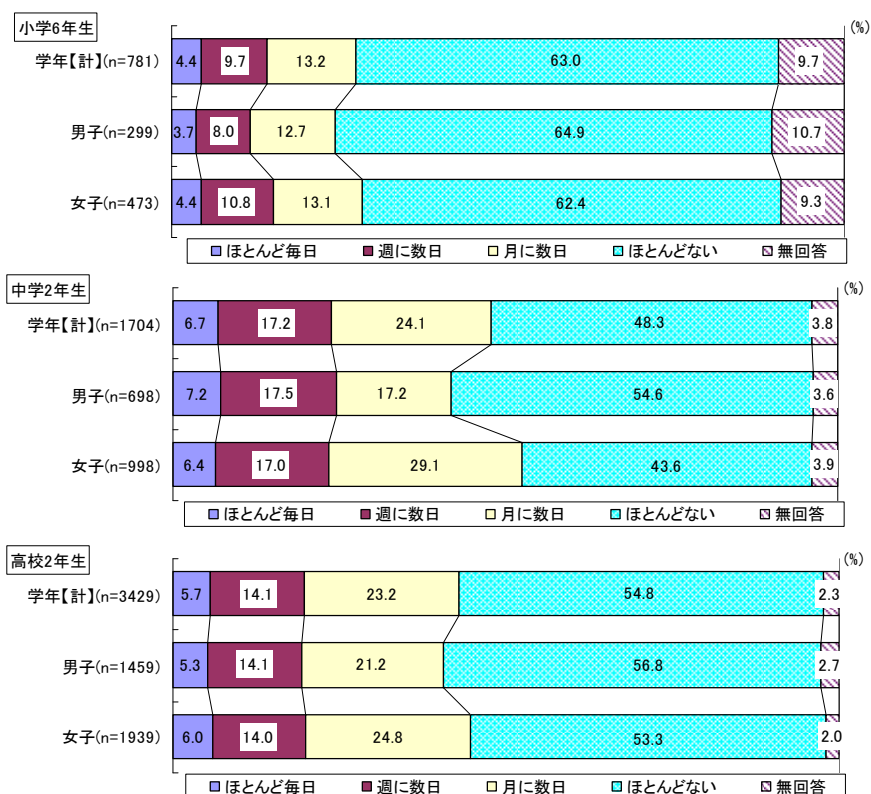
(2) 同性の友人



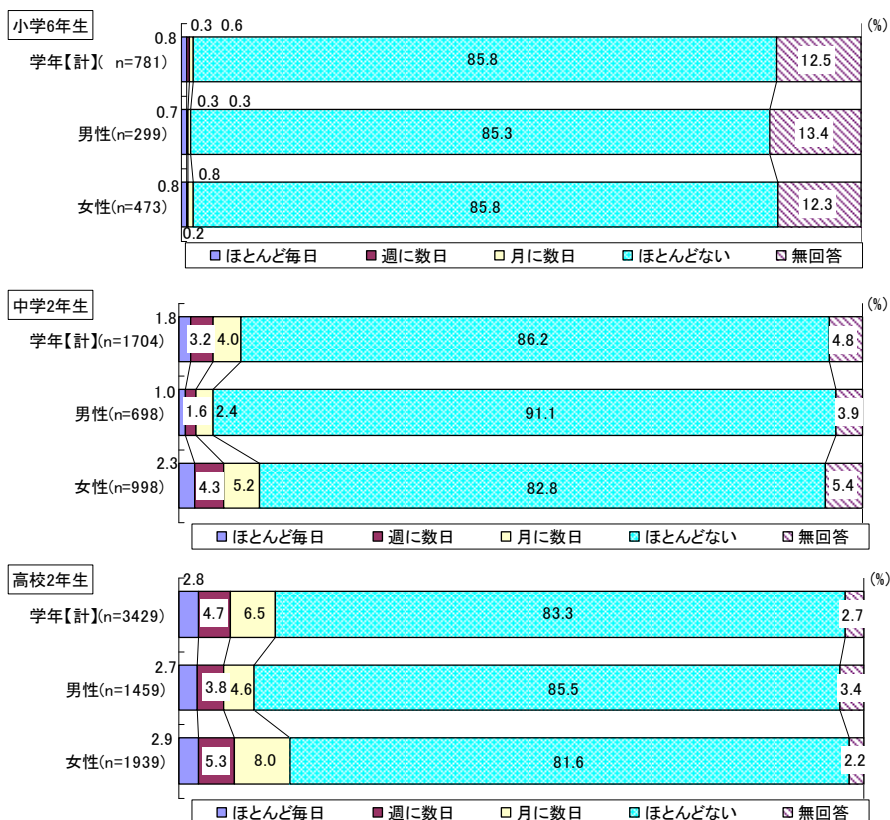
(3) 異性の友人



(4) 学校以外で知り合った友人



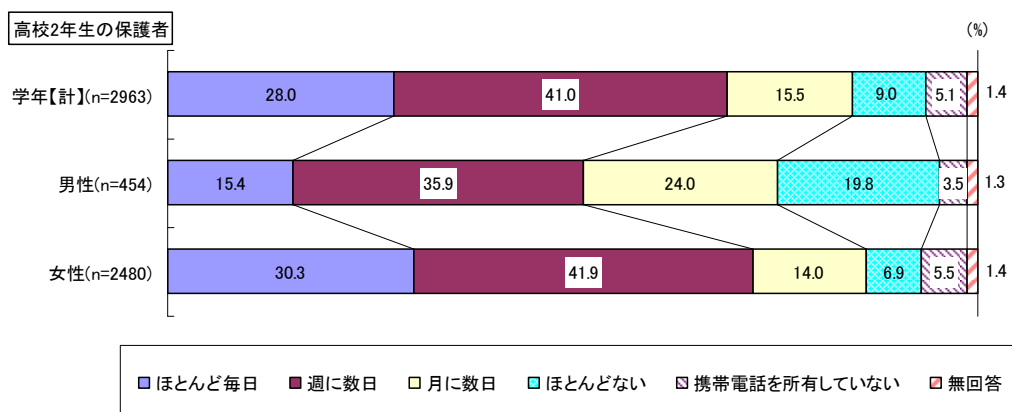
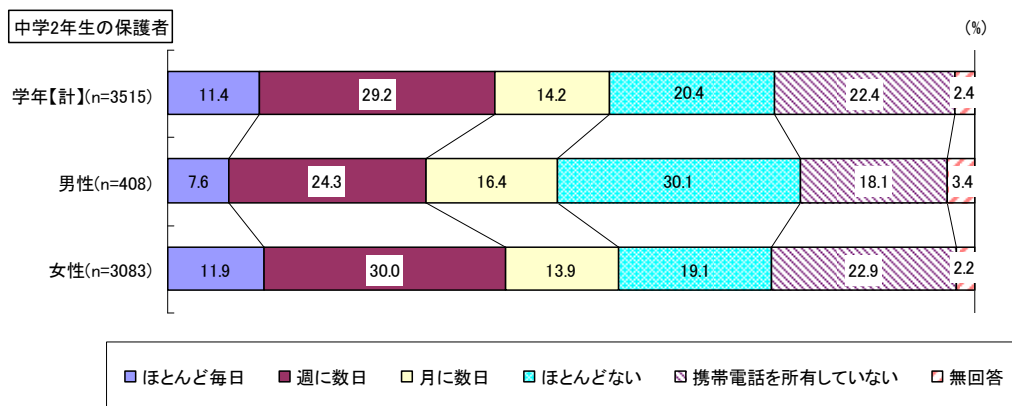
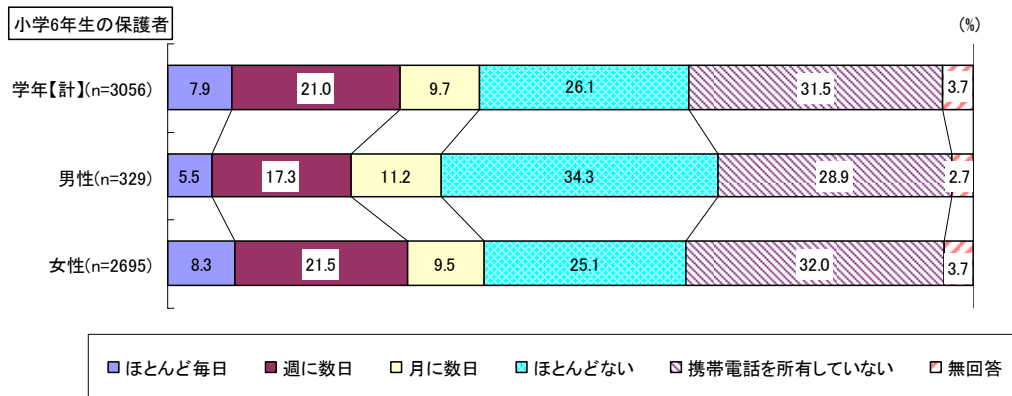
(5) インターネットで知り合った人



小学6年生は保護者・家族とのメールのやりとりが中心となっているが、中学2年生以降になると、家族以外の友人、学校以外で知り合った友人などに広がっていく傾向にある。

保護者調査Q12

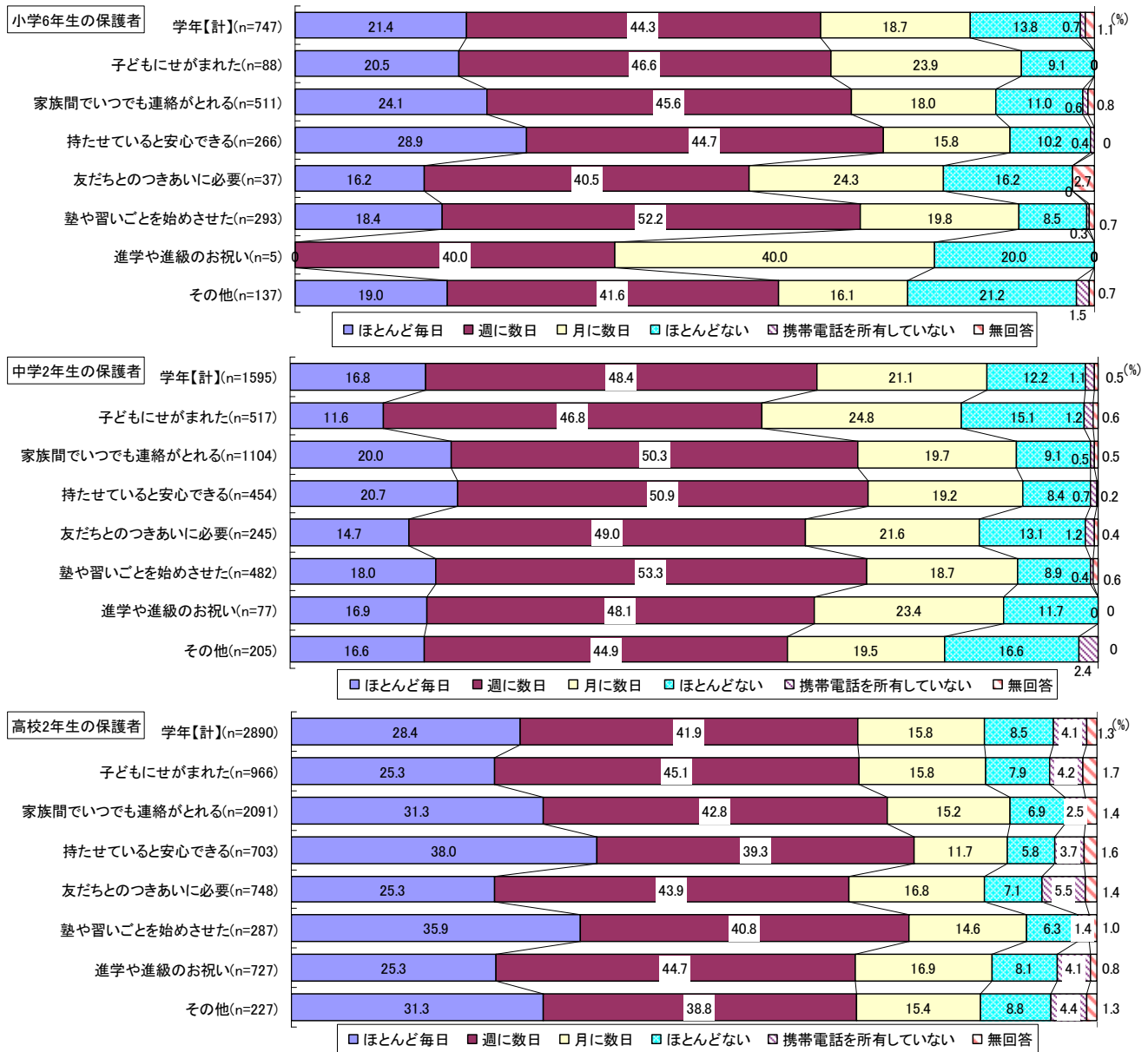
あなたは、携帯電話で、お子様と通話やメールのやりとりをどれくらいしていますか。(どれか1つに○)



小学生、中学生、高校生の保護者とも、「週に数日」が一番多くなっている。
 なお、本設問は、自分または子どもが携帯電話を持っていない者も回答していることに留意する必要がある。

関連設問との分析（保護者調査Q2—保護者調査Q12）

子どもに携帯電話を持たせた理由と、子どもとやりとりする通話やメールの頻度の関係



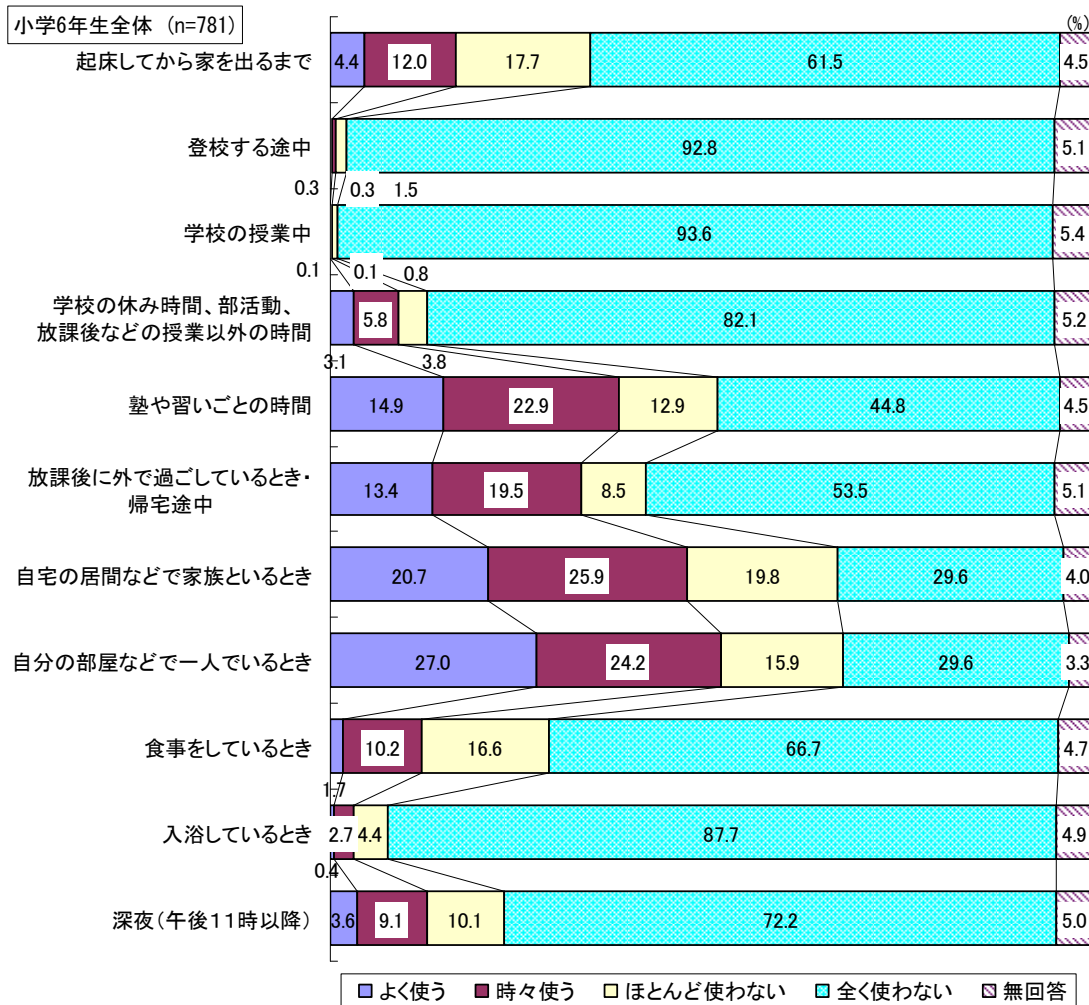
子どもの学年や、持たせた理由を問わず、「週に数日」やりとりしているという回答が4割から5割程度に達している。

「家族間でいつでも連絡がとれる」「持たせていると安心できる」「塾や習いごとを始めさせた」など、保護者側の積極的な理由で持たせた場合の方が、他の場合に比べてやりとりの頻度が多少高くなっている。

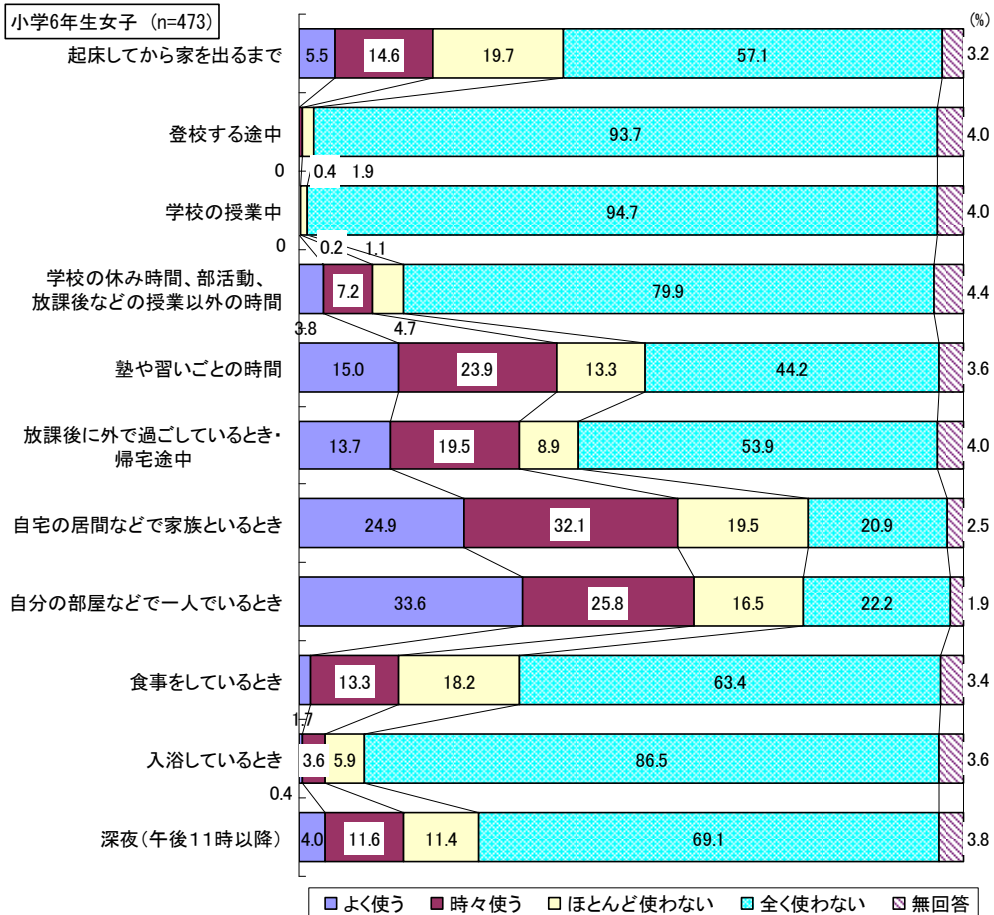
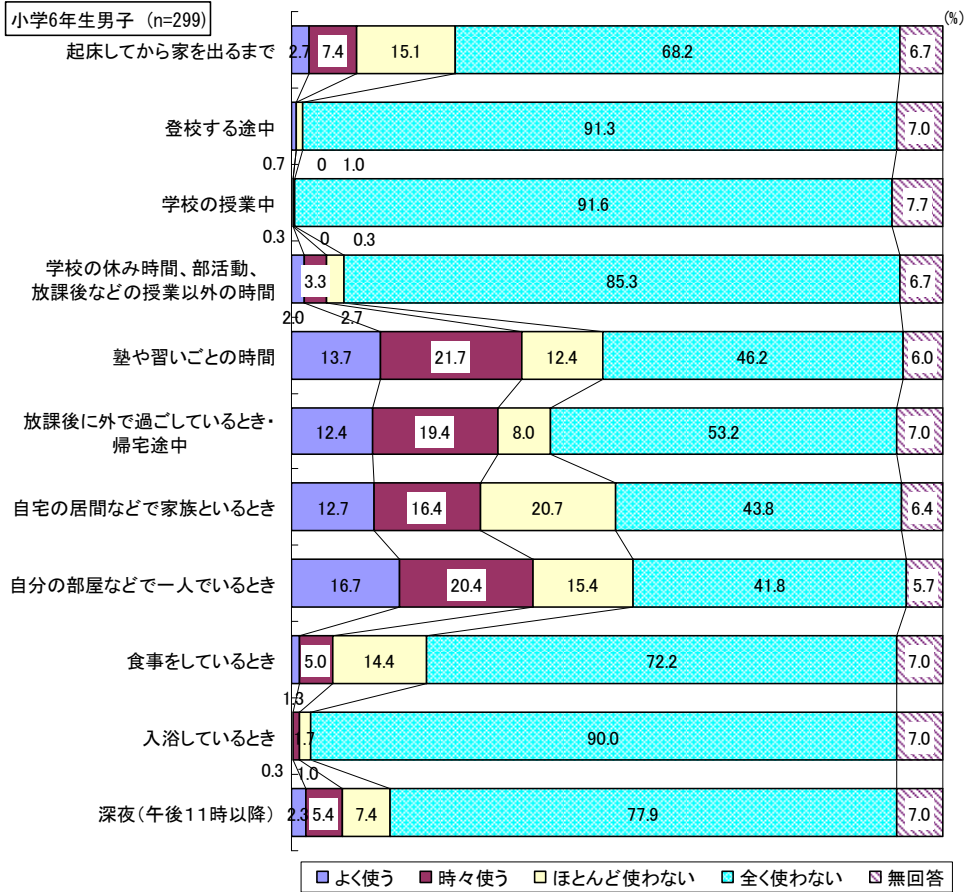
児童生徒調査Q8

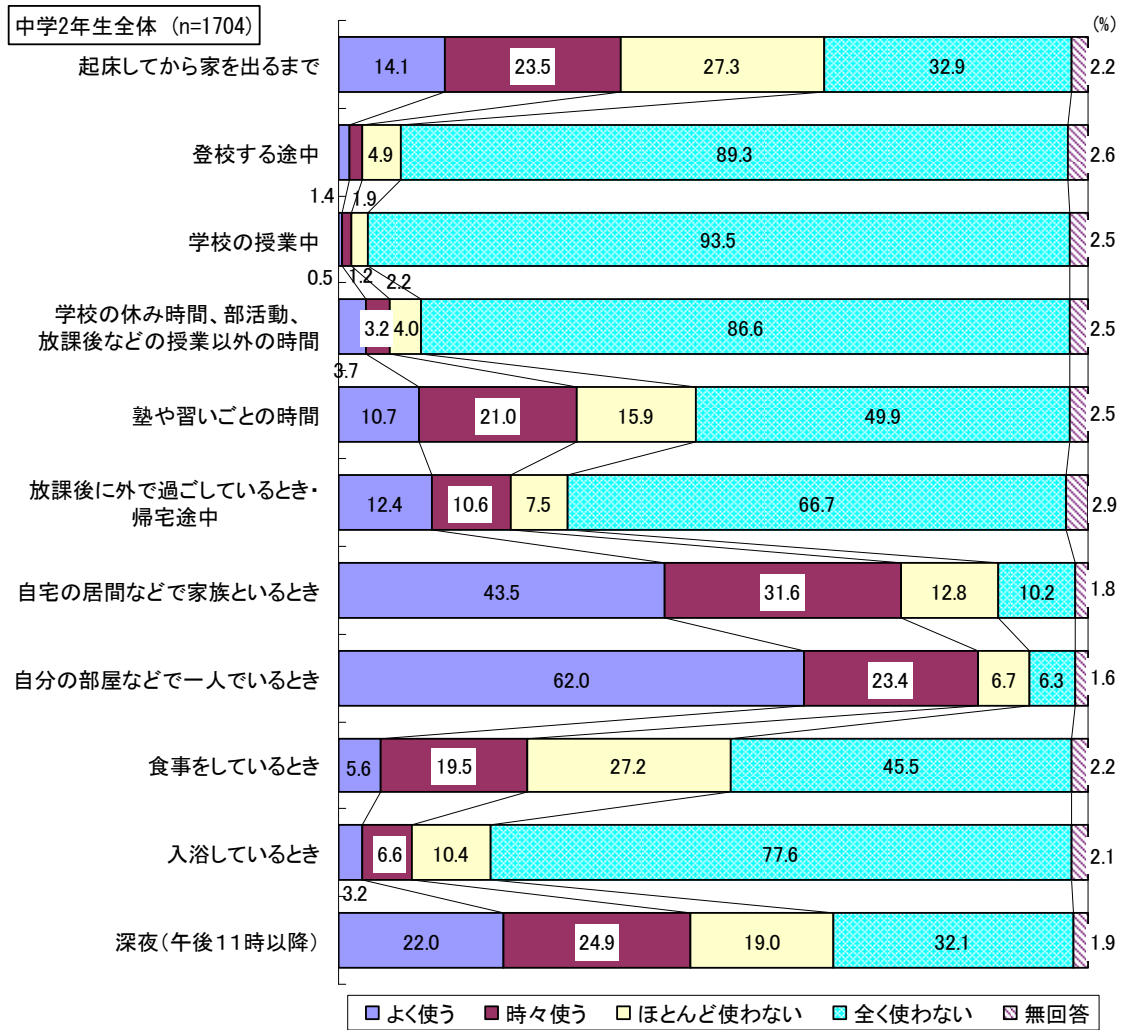
あなたは、ふだん学校がある日は、携帯電話をどのようなときに使っていますか。(それぞれ、どれか1つに○)

※ 児童生徒調査Q1の携帯電話の所有の有無で、「1. はい」を選択したものが回答

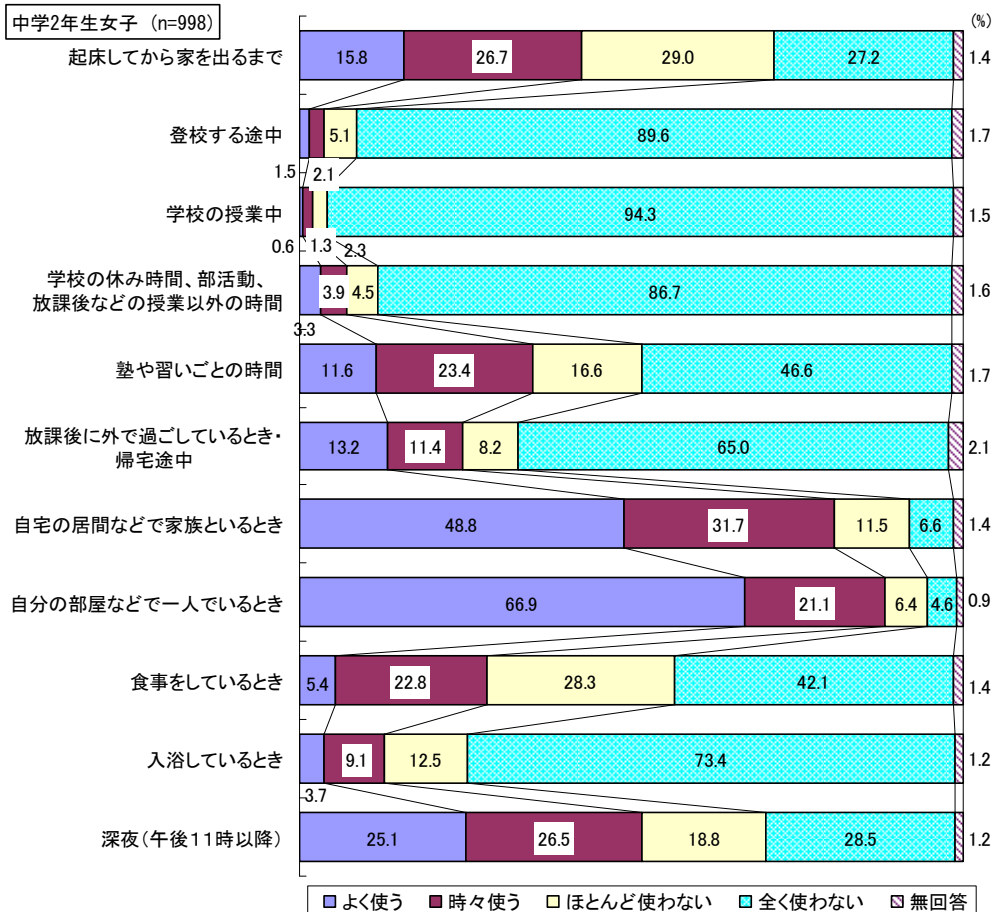
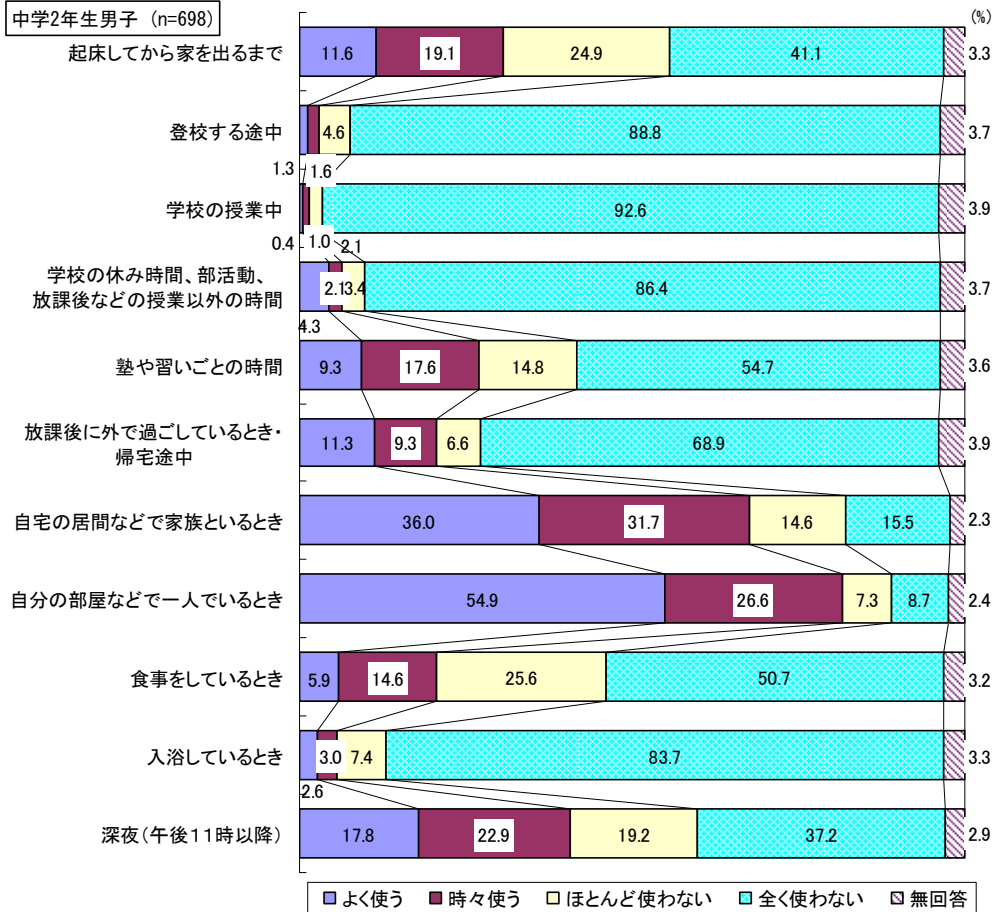


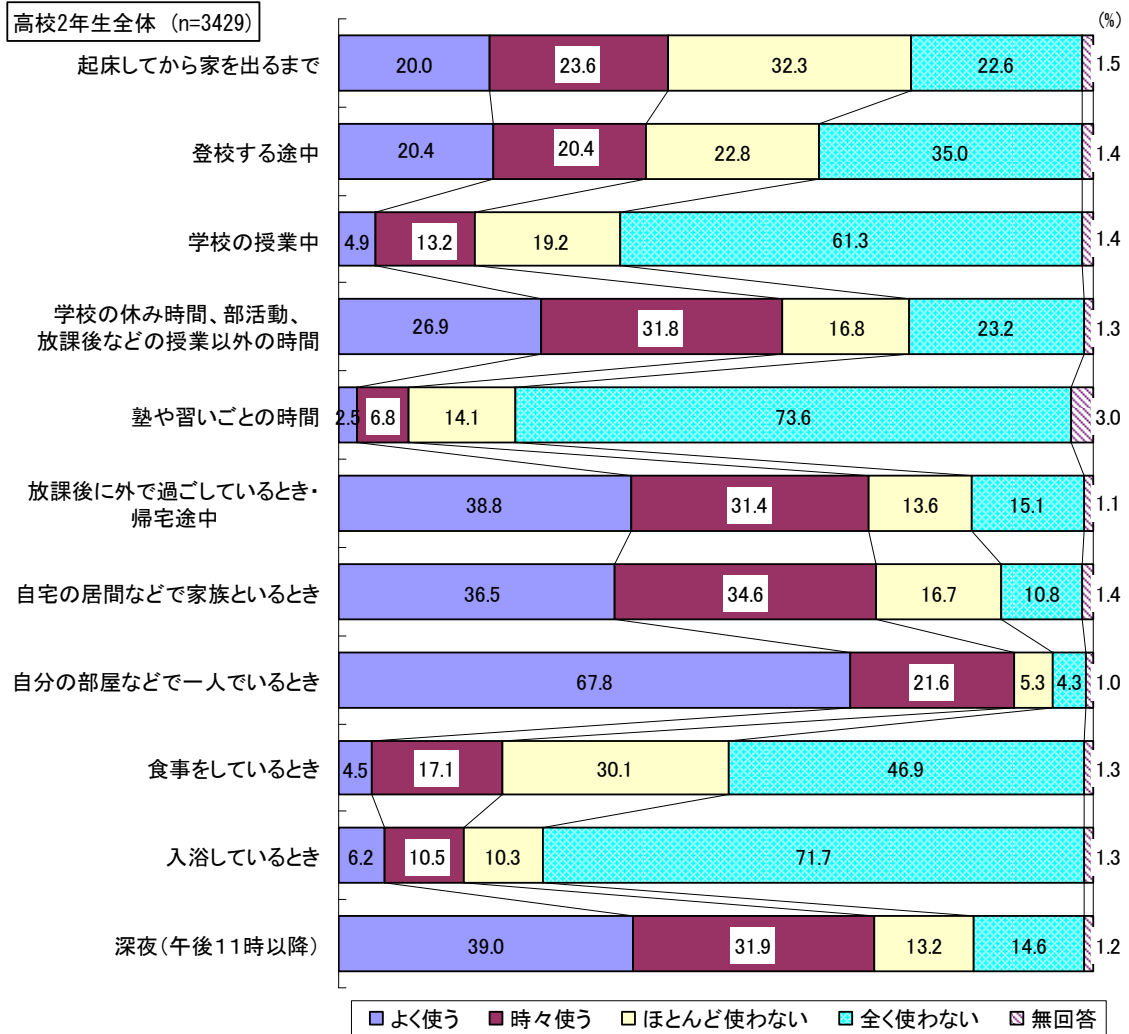
「よく使う」割合は、「自分の部屋などで一人でいるとき」が 27.0%で最も多い。続いて、「自宅の居間などで家族といるとき」が 20.7%、「塾や習いごとの時間」が 14.9%となっている。





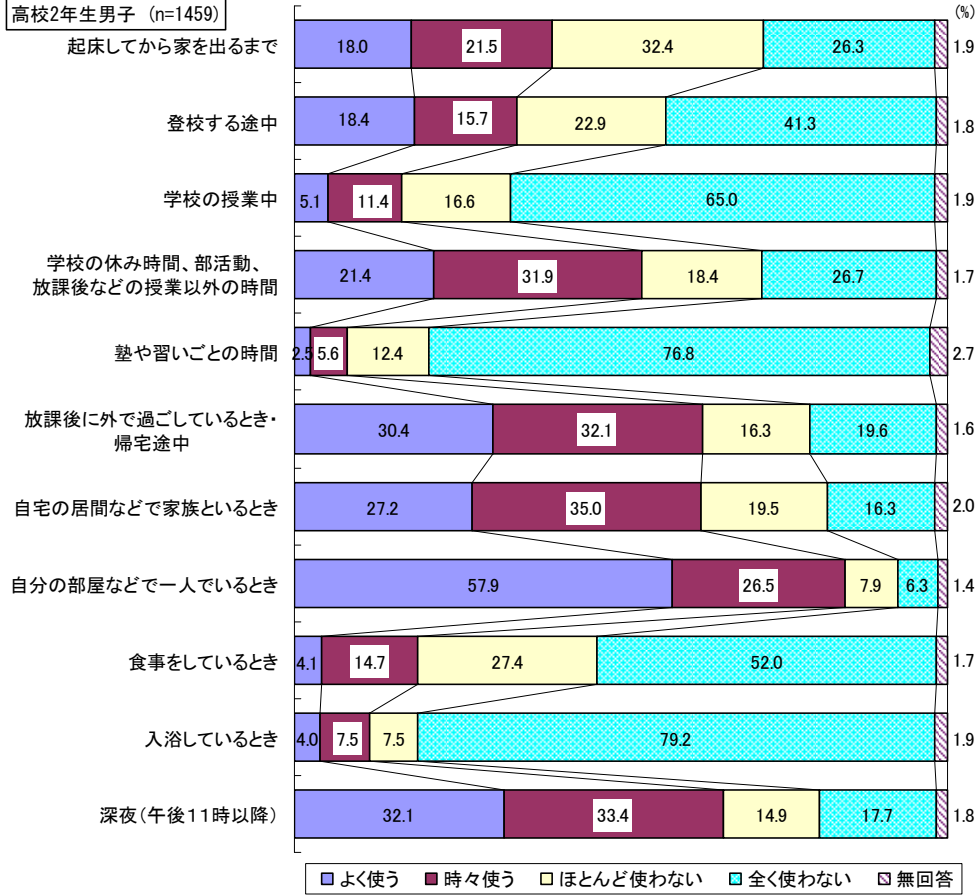
「よく使う」頻度は、「自分の部屋などで一人でいるとき」が62.0%と最も多く、小学6年生の2倍以上に達している。続いて、「自宅の居間などで家族といるとき」が43.5%、「深夜（午後11時以降）」が22.0%となっている。



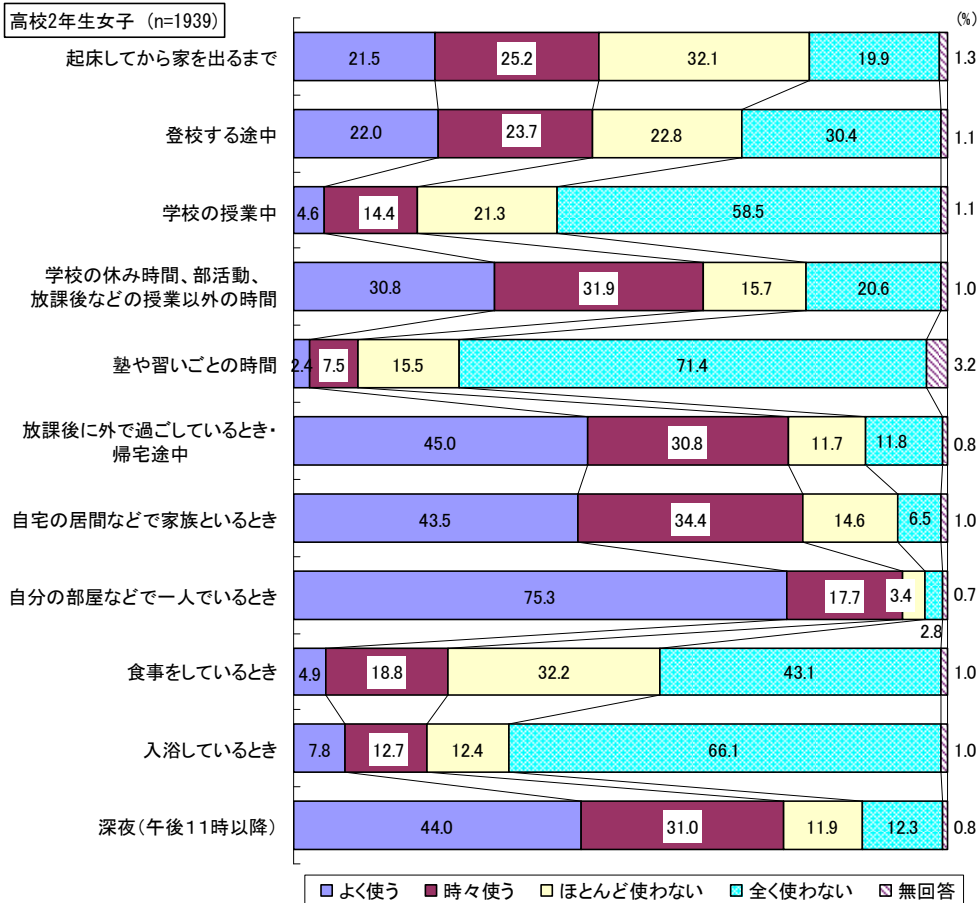


「よく使う」頻度は、「自分の部屋などで一人にいるとき」が 67.8%と最も多く、「時々使う」21.6%と合計で89.4%と、9割近い回答者が、自室で一人にいるときに携帯電話を利用している。続いて、「深夜(午後11時以降)」が 39.0%「自宅の居間などで家族といるとき」が 36.5%となっている。また、小学6年生や中学2年生に比べ、使用する場面が多様化している。

高校2年生男子 (n=1459)



高校2年生女子 (n=1939)

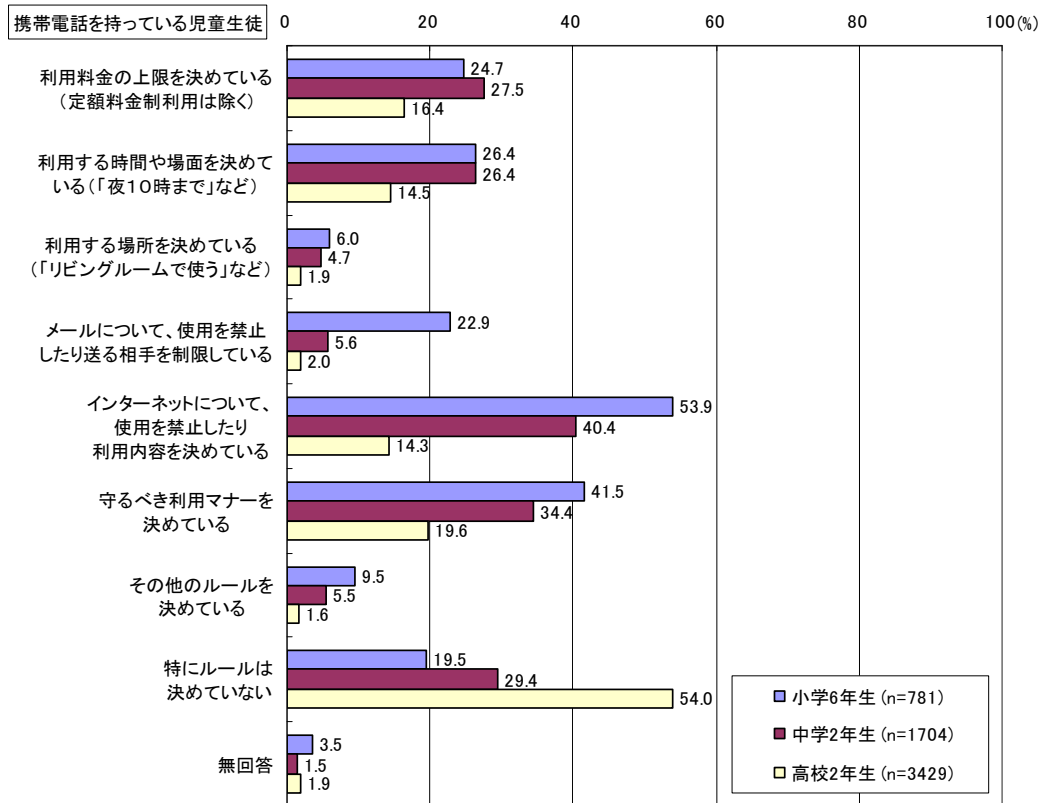


児童生徒調査Q9

あなたの家庭では、携帯電話の使い方について何かルールがありますか。(あてはまるもの全てに○)

※ 児童生徒調査Q1の携帯電話の所有の有無で、「1. はい」を選択したものが回答

(1) 児童生徒（小学6年生、中学2年生、高校2年生）全体

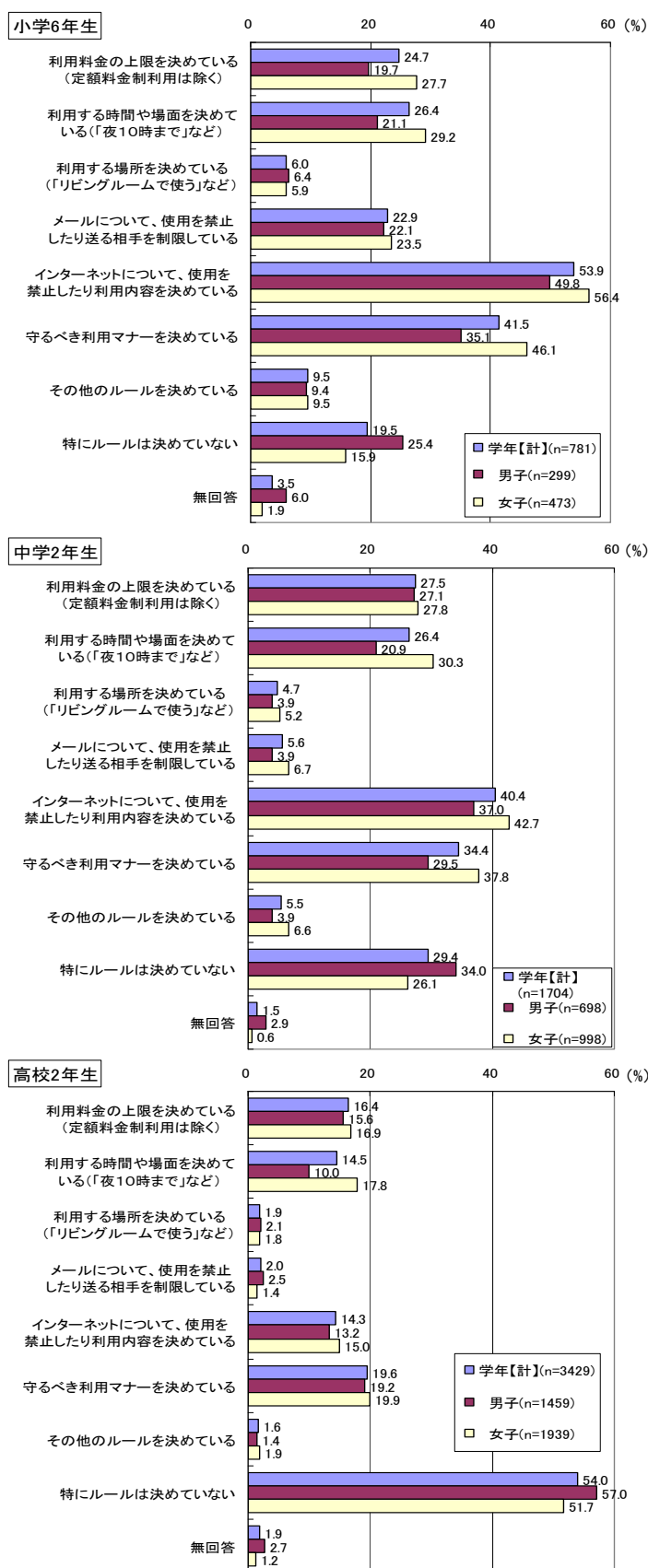


小学6年生と中学2年生では、「インターネットについて使用を禁止したり利用内容を決めている」が最も多く、それぞれ53.9%、40.4%となっている。高校2年生で最も多かった回答は「特にルールは決めていない」で54.0%となっている。

「その他のルールを決めている」の例

- ・他人にメールアドレス、又は、(友達への) 電話番号を教えない。(小学6年生)
- ・非通知の電話には出ない。(小学6年生)
- ・テスト前の諸活動停止期間は使わない。試験期間中は使わない。(中学2年生)
- ・利用料金は自分の小遣いから払う。(高校2年生)
- ・マナーモードにする。(高校2年生)

(2) 校種別・男女別 「携帯電話の使い方に関する家庭でのルール」

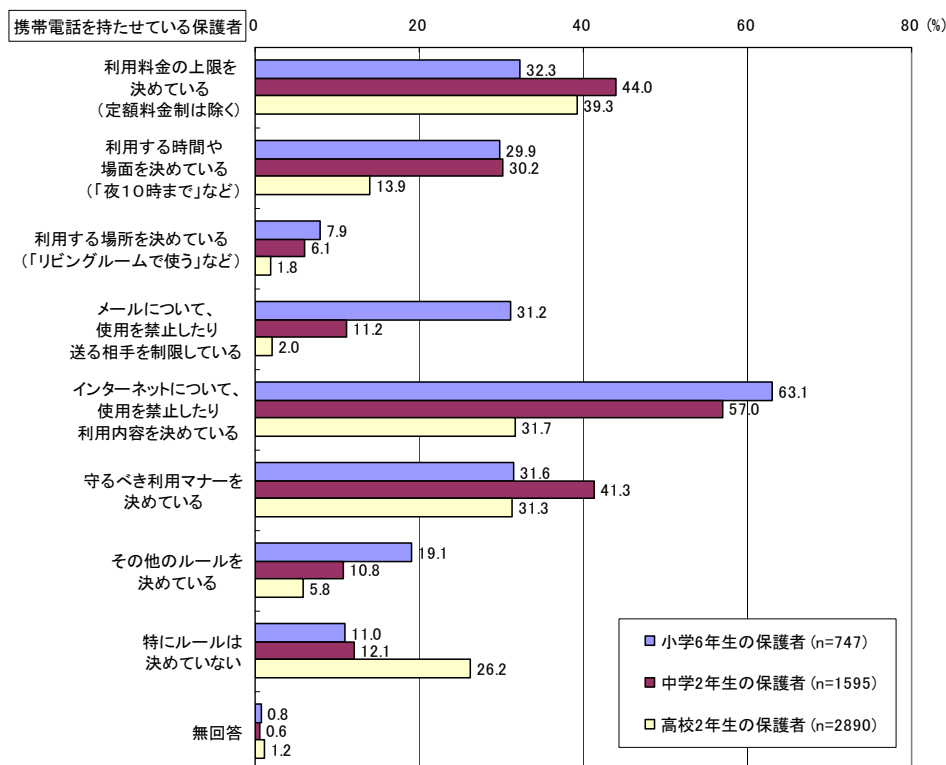


男女別にみると、「特にルールは決めていない」という回答は、各学年とも男子の方が女子よりも多くなっている。

保護者調査Q4

あなたのご家庭では、お子様の携帯電話の使用について何らかのルールがありますか。(当てはまるもの全てに○)

※ 保護者調査Q1で、「子どもには(携帯電話を)持たせている」と答えたものが回答



小学6年生の保護者、中学2年生の保護者では、「インターネットについて、使用を禁止したり利用内容を決めている」という回答が最も多く、小学6年生の保護者で63.1%、中学2年生の保護者で57.0%となっている。

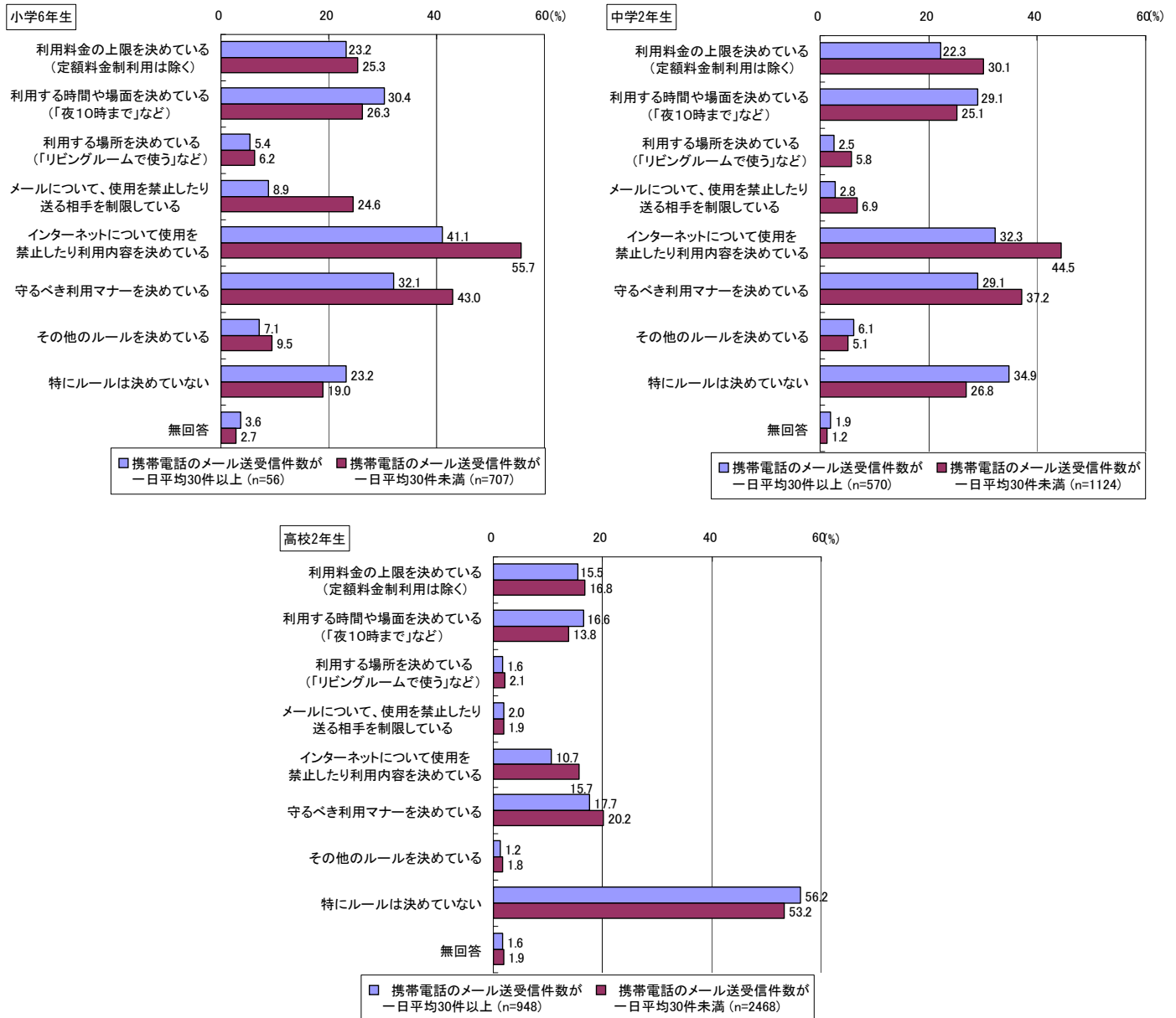
高校2年生の生徒の回答で54.0%と最も多かった「特にルールは決めていない」が、高校2年生の保護者の回答では26.2%と大きな差がある。

「その他のルール」の具体的回答例

- ・チェーンメールを転送しない。(小学6年生の保護者、中学2年生の保護者)
- ・ロック機能を使用しないこと。(中学2年生の保護者)
- ・試験期間中は使用しないこと。(中学2年生の保護者、高校2年生の保護者) など

関連設問との分析（児童生徒調査Q6—児童生徒調査Q9）

携帯電話のメールの送受信件数と、家庭における具体的ルールとの関係



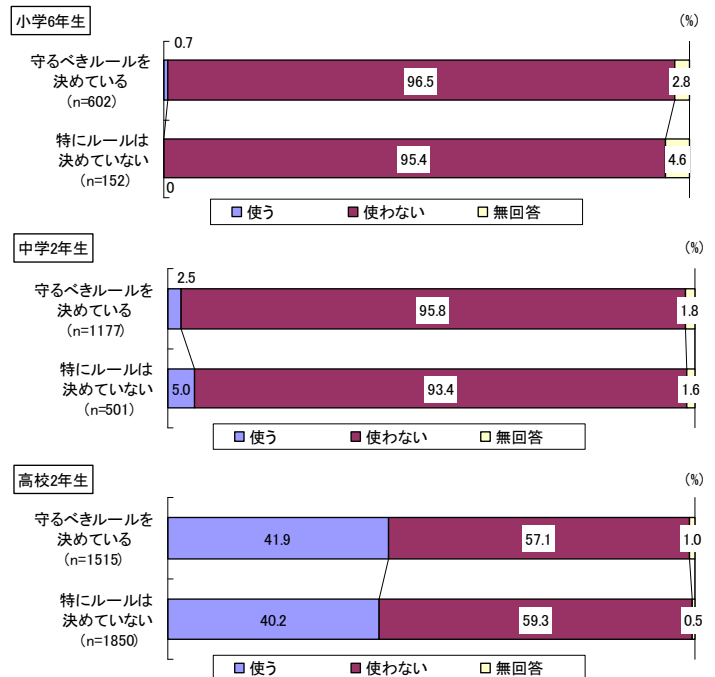
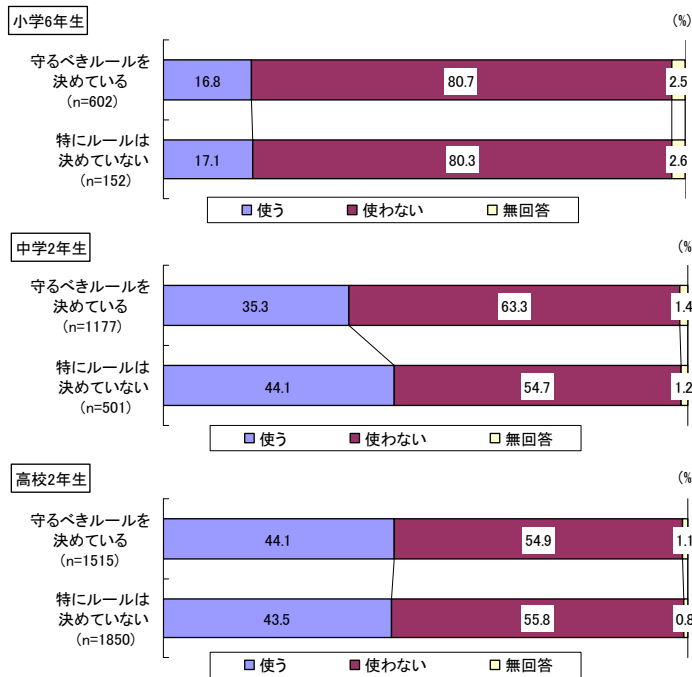
小学6年生と中学2年生では、携帯電話のメールの送受信件数が30件以上の層の方が、30件未満の層に比べて、ルール内容に関する各選択肢において下回っている場合が多い。高校2年生では、各選択肢において、送受信件数による差が小さくなっている。

関連設問との分析（児童生徒調査Q8—児童生徒調査Q9）

家庭におけるルールの有無と、携帯電話の利用状況（使用する時間帯ごと）の関係（その1）

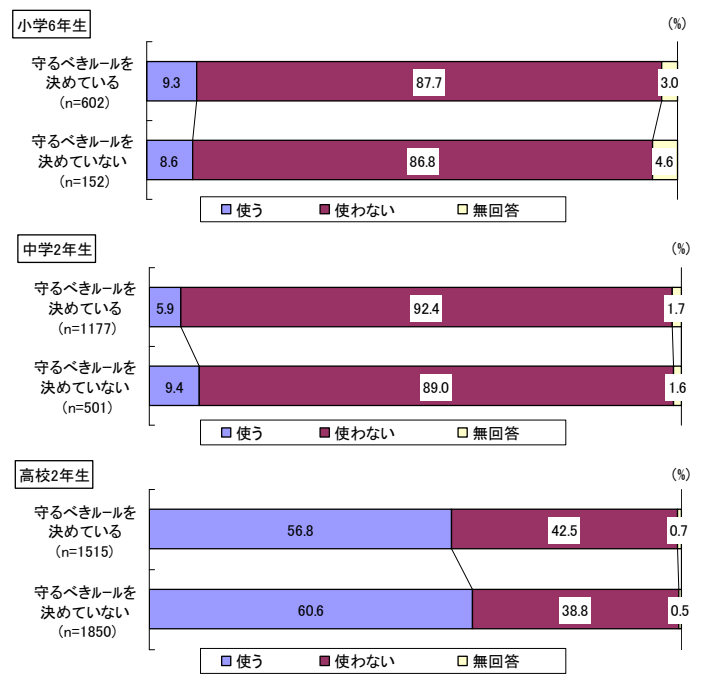
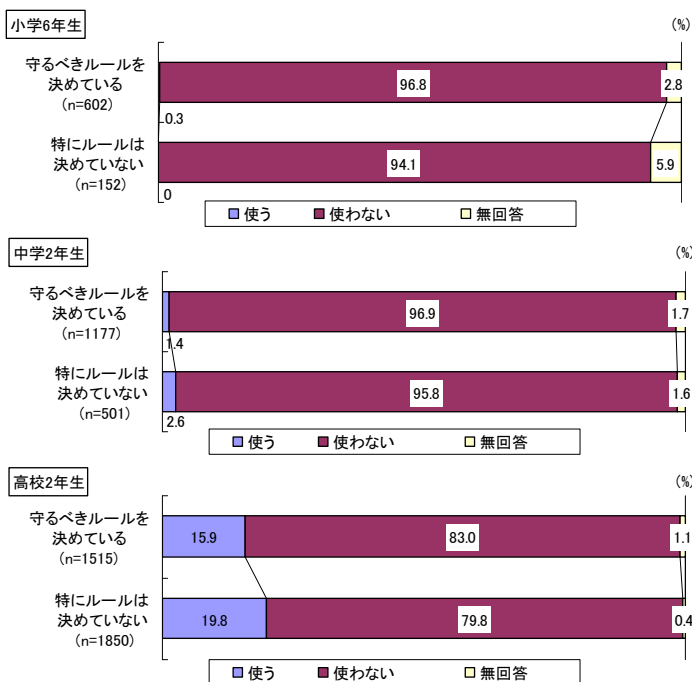
(1) 起床してから家を出るまで

(2) 登校する途中

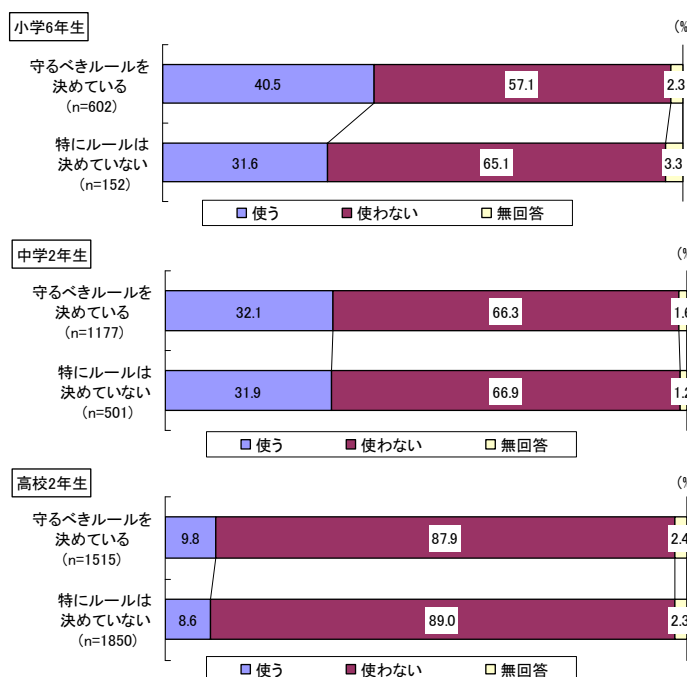


(3) 学校の授業中

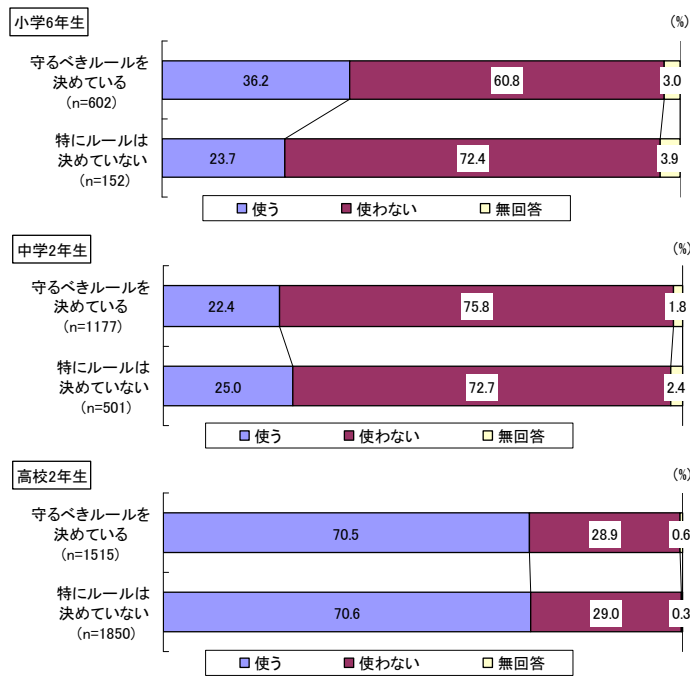
(4) 学校の休み時間、部活動 放課後などの授業以外の時間



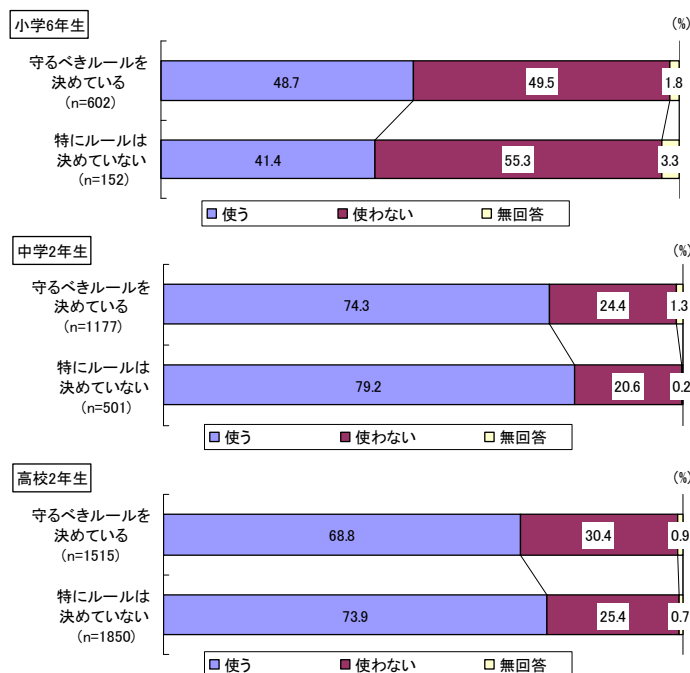
(5) 塾や習いごとの時間



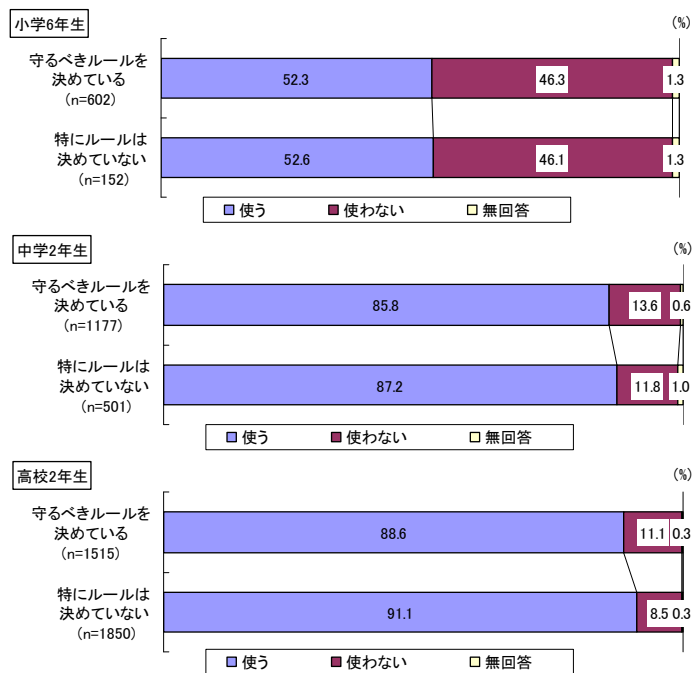
(6) 放課後に外で過ごしているとき・帰宅途中



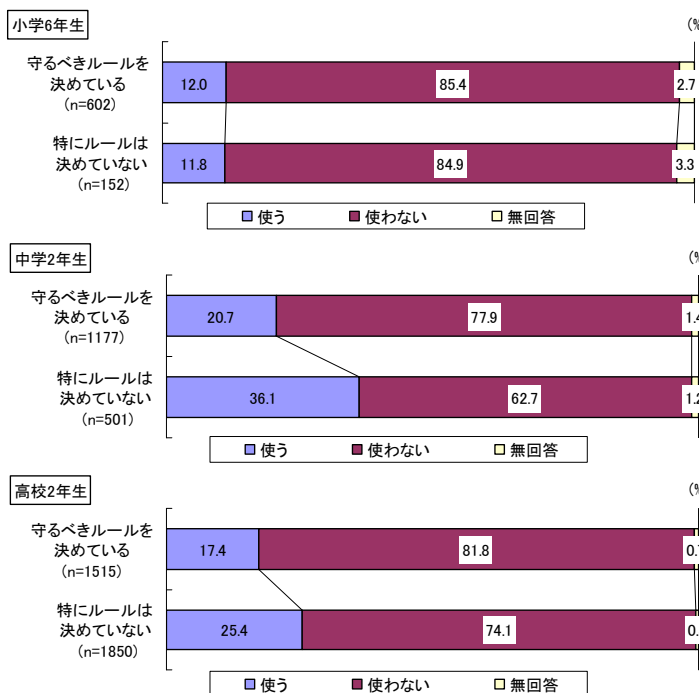
(7) 自宅の居間などで家族といるとき



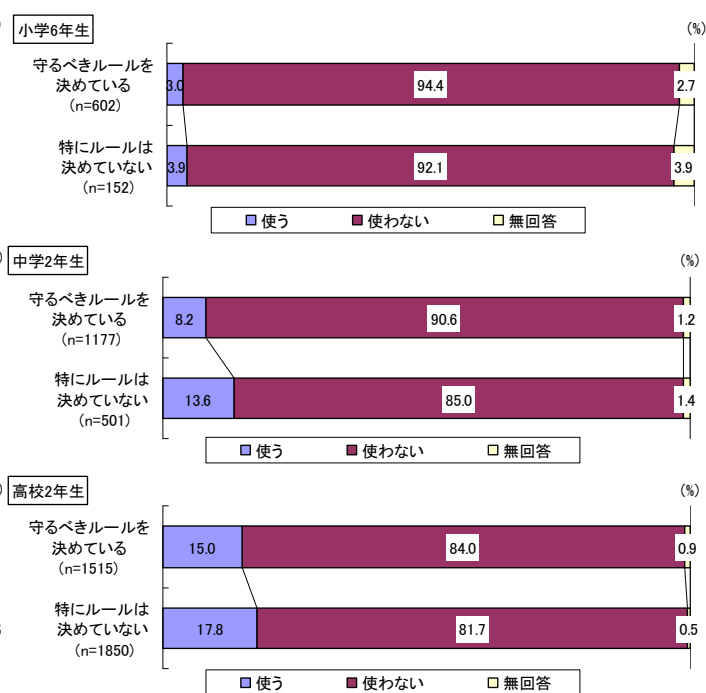
(8) 自分の部屋などで一人にいるとき



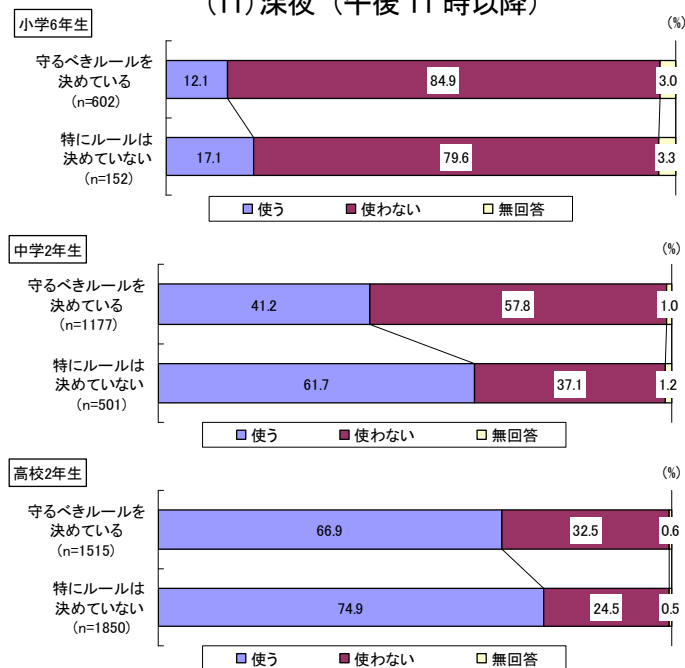
(9) 食事をしているとき



(10) 入浴しているとき



(11) 深夜 (午後 11 時以降)



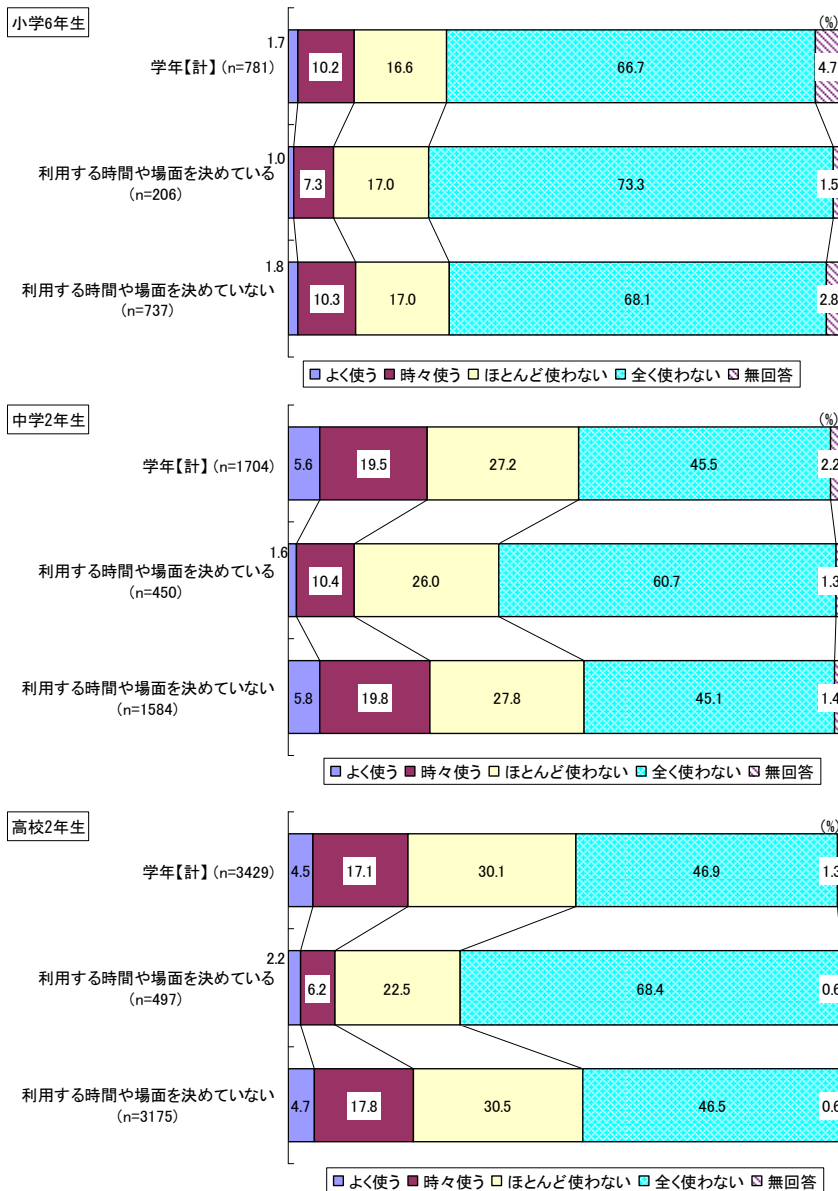
「食事をしているとき」「深夜 (午後 11 時以降)」など一部の時間帯・場面の使用に関しては、携帯電話の使い方に関するルールを特に決めていない家庭の子どもの方が、携帯電話の利用頻度が高くなる傾向が見られる。ルールの具体的内容によって利用場面への影響も変わってくると考えられる。

関連設問との分析（児童生徒調査Q8—児童生徒調査Q9）

家庭におけるルールの有無と、携帯電話の利用状況（使用する時間帯ごと）の関係（その2）

(1) 利用する時間や場面についてルールのある子どもの場合、食事中や深夜に携帯電話を使っているか

① 食事をしているとき



「利用する時間や場面を決めている」子どもは、食事をしているときに「よく使う」という割合が、各学年とも、1%から2%台とかなり低くなっている。

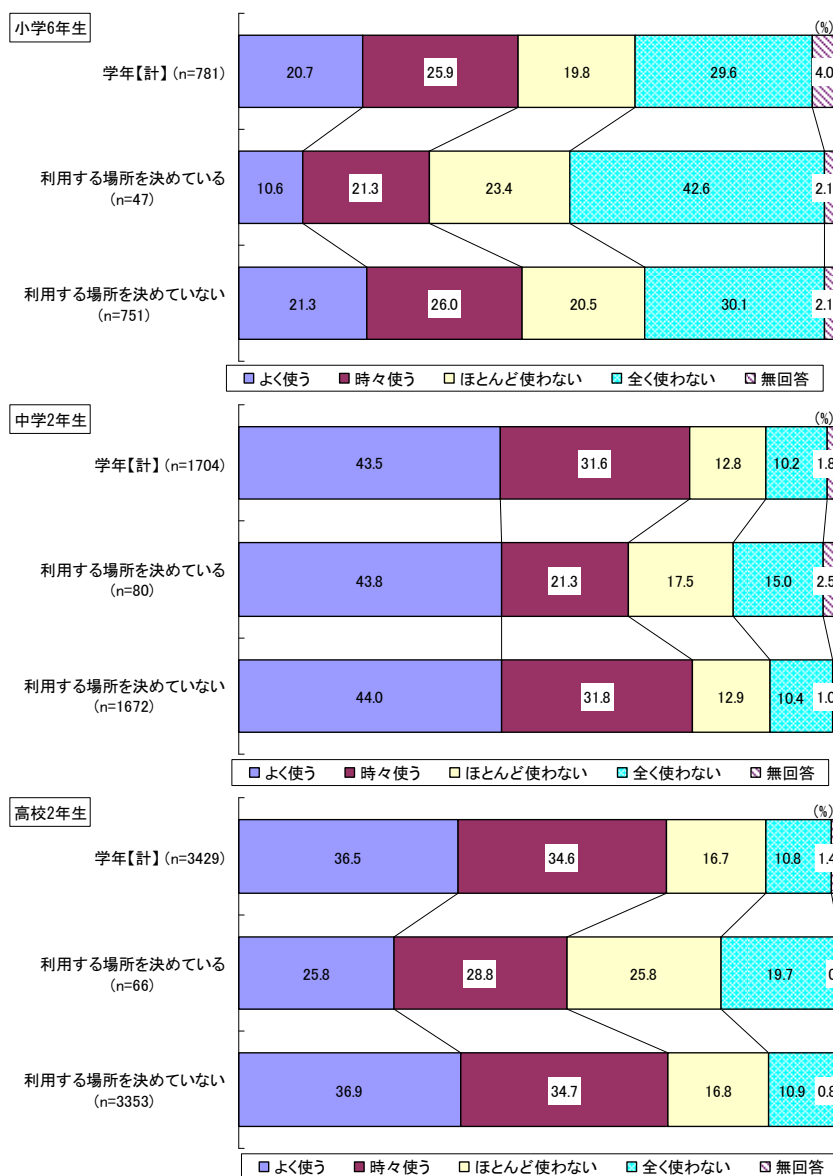
② 深夜（午後 11 時以降）



「利用する時間や場面を決めている」子どもは、「利用する時間や場面を決めていない」子どもと比較して、深夜（午後 11 時以降）に「よく使う」割合が各学年とも低い傾向が見られる。

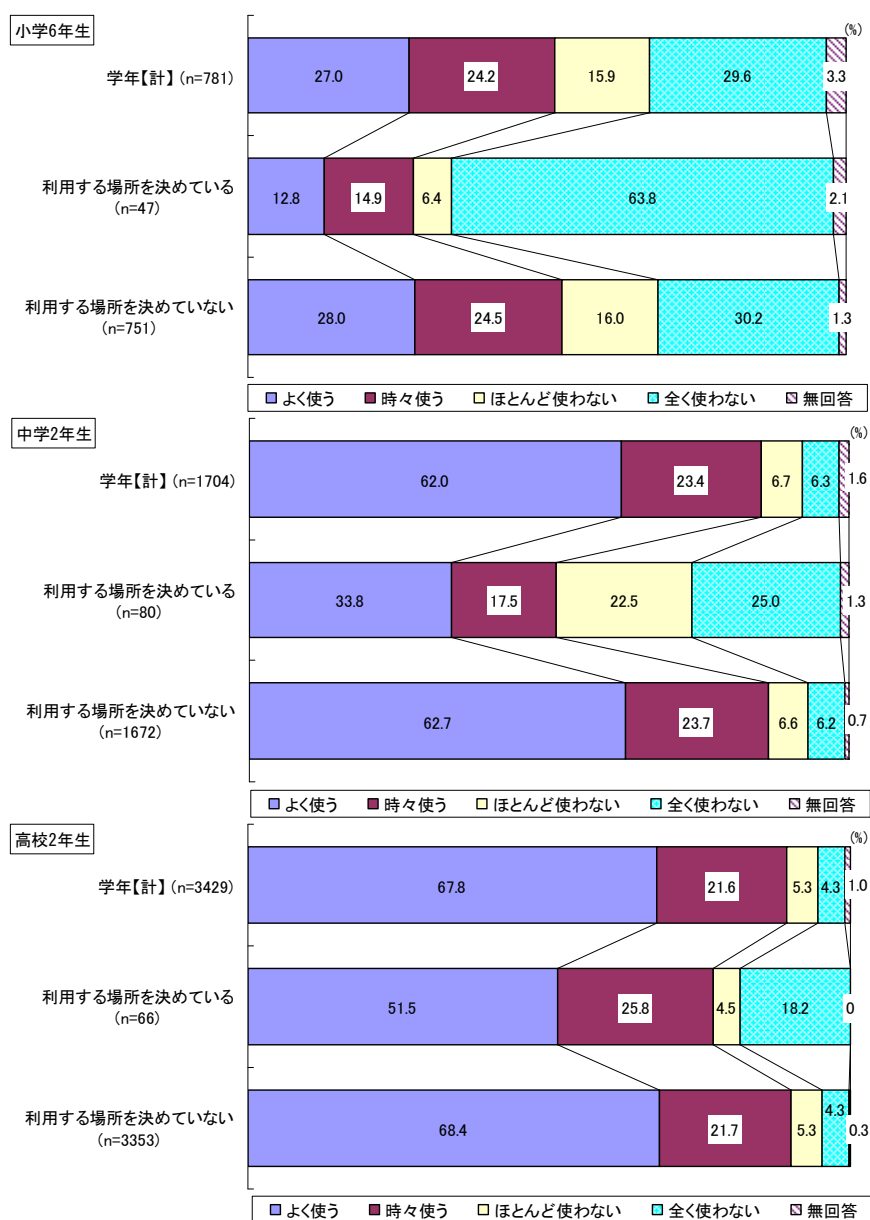
(2) 利用する場所についてルールのある子どもの場合、居間や自分の部屋等で携帯電話を使っているか

① 自分の居間などで家族といるとき



小学6年生と高校2年生の場合、「利用する場所を決めている」子どもは、「利用する場所を決めていない」子どもに比べ、自宅の居間などで家族といるときに「よく使う」割合が低い傾向がある。中学2年生では「よく使う」割合はほとんど変わらないが、「時々使う」割合に10%程度の差がある。

② 自分の部屋などで一人でいるとき

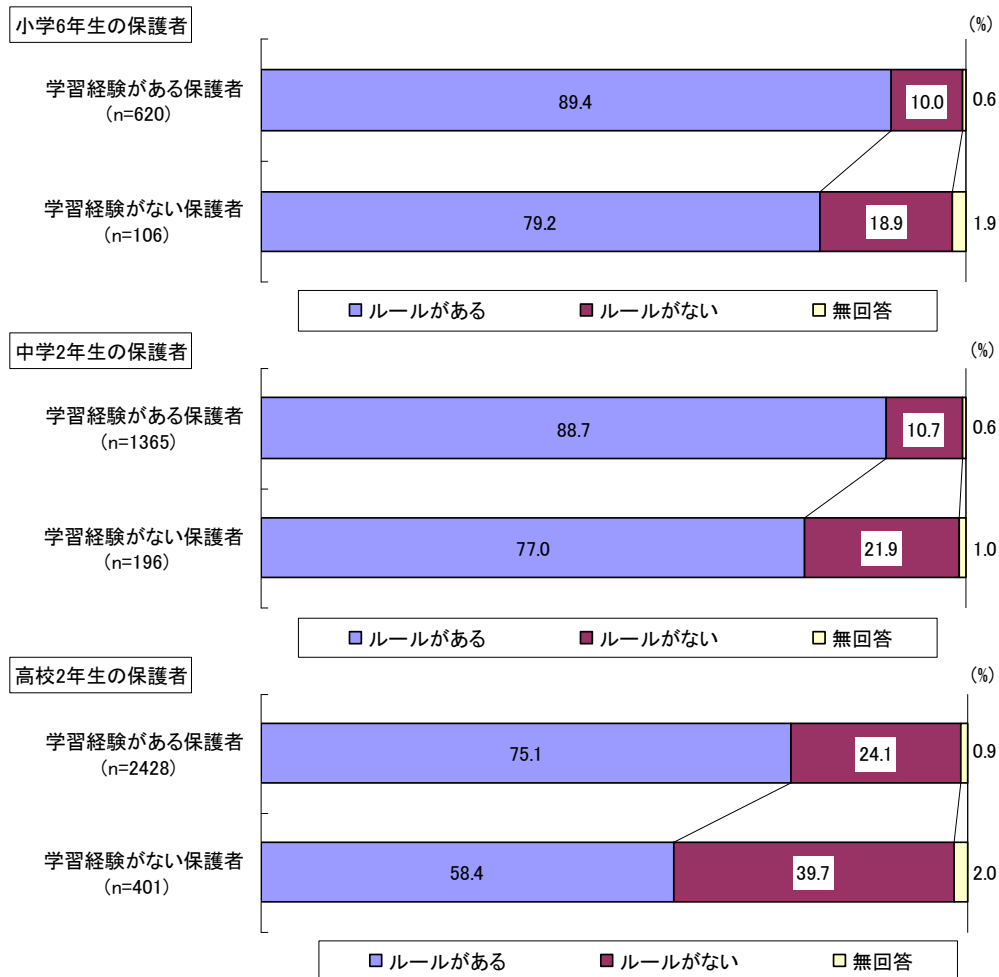


「利用する場所を決めている」子どもは、「利用する場所を決めていない」子どもに比べ、自分の部屋などで一人でいるときに「よく使う」割合が、各学年とも低くなっている。

関連設問との分析（保護者調査Q23—保護者調査Q4）

携帯電話やパソコンの危険性を学んだ経験（保護者）と、家庭におけるルールの有無の関係
 ※グラフの見方：

- ・「学習経験がある」は、「学校の保護者会やPTAの会合などで説明を受けた」、「公共施設などで開かれた講座に参加して説明を受けた」、「携帯電話を買ったときに店員に説明してもらった」、「テレビや本・雑誌などで知った」など、何らかの学習機会があった回答者
- ・「学習経験がない」は、「特に説明を受けたり学んだりしたことがない」を選択した回答者



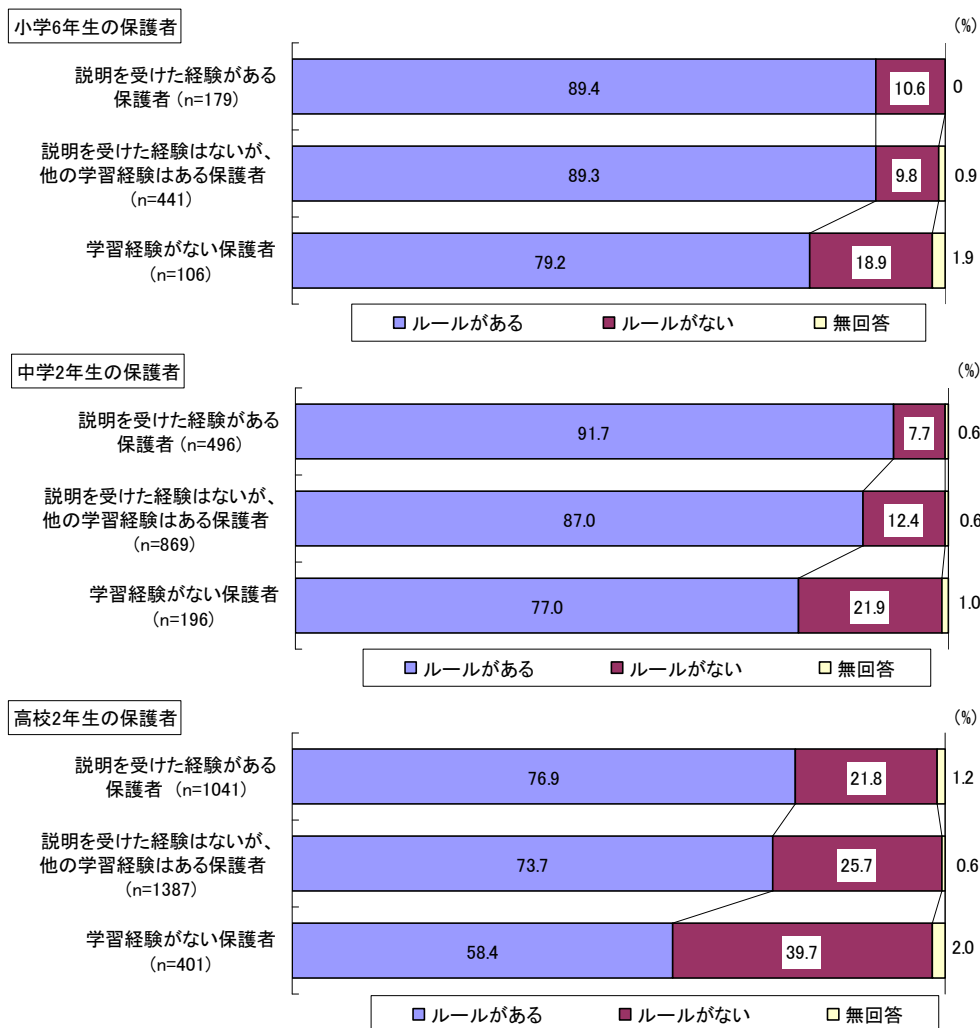
各学年とも、学習経験がある保護者は、学習経験がない保護者に比べ、家庭で子どもの携帯電話の利用に関する何らかのルールを決めている傾向が見られる。

関連設問との分析（保護者調査Q23—保護者調査Q4）

携帯電話やパソコンの危険性を学んだり説明を受けた経験（保護者）と、家庭におけるルールの有無の関係

※グラフの見方：

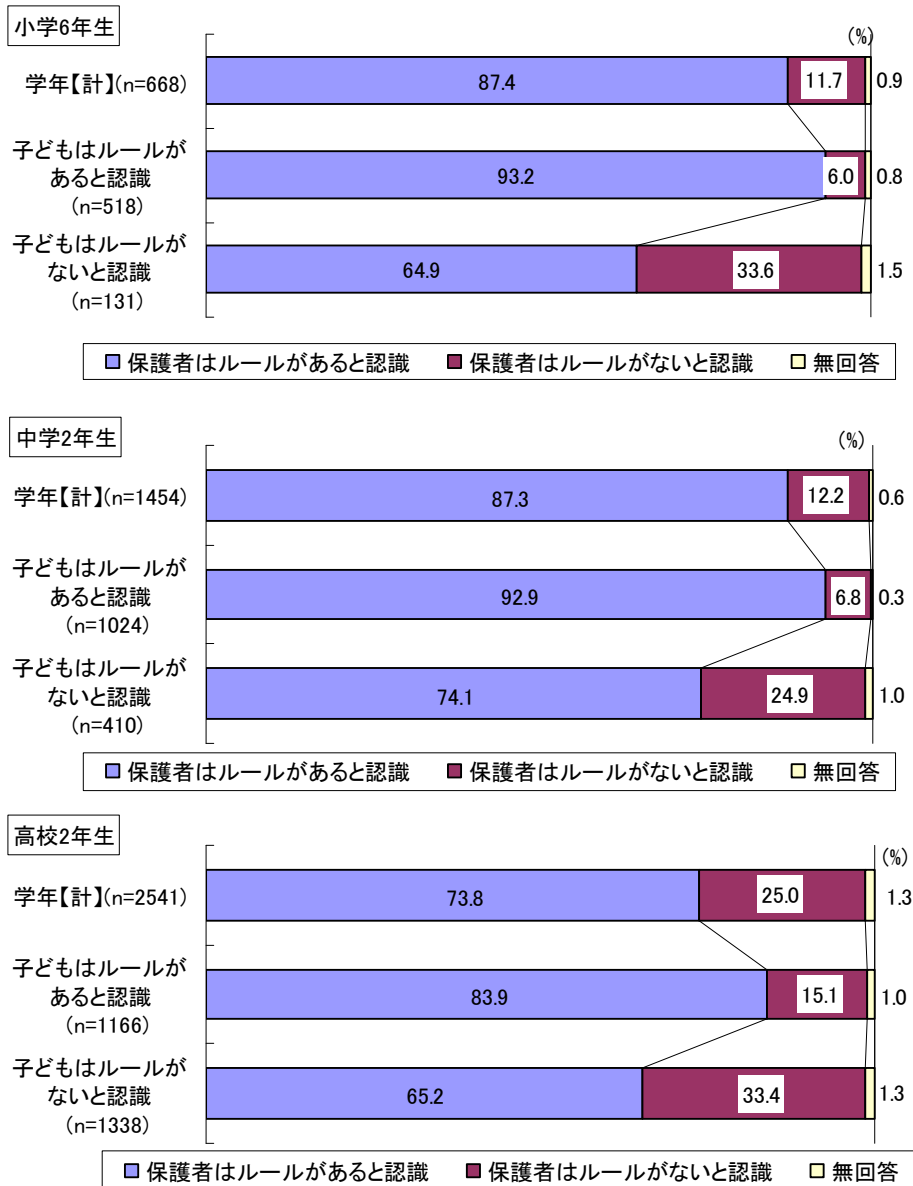
- ・「説明を受けた経験がある」は、「学校の保護者会やPTAの会合などで説明を受けた」、「公共施設などで開かれた講座に参加して説明を受けた」を選択した回答者
- ・「説明を受けた経験はないが、他の学習経験はある」は、「携帯電話を買ったときに店員に説明してもらった」、「テレビや本・雑誌などで知った」などを選択した回答者
- ・「学習経験がない」は、「特に説明を受けたり学んだりしたことがない」を選択した回答者



特に中学2年生と高校2年生では、実際に説明を受けた保護者は、他の保護者に比べ、家庭で子どもの携帯電話の利用に関する何らかのルールを決めている割合が高くなっている。

関連設問との分析（児童生徒調査Q9—保護者調査Q4）

家庭におけるルールについての子どもと保護者の認識の差



子どもが携帯電話に関する家庭でのルールを認識している家庭では、9割前後の保護者もルールを決めていると認識している。一方、ルールがないと認識している子どもの家庭においても、保護者の7割前後は、ルールがあると考えており、子どもと保護者間での携帯電話に関するルールの認識に大きな差があることが伺える。

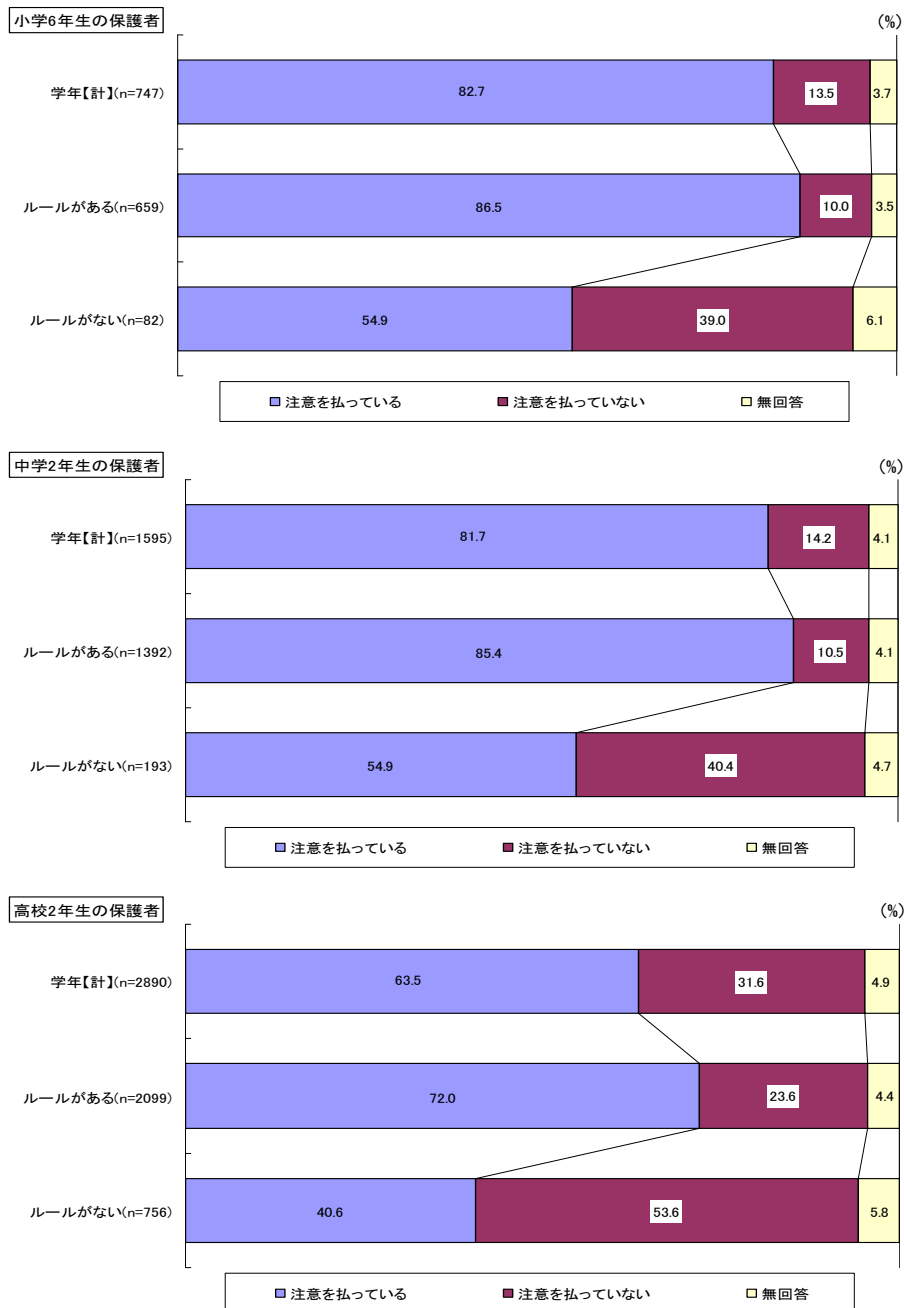
関連設問との分析（保護者調査Q4—保護者調査Q6）

家庭におけるルールの有無と、保護者の子どもに対する見守り姿勢の関係

※グラフの見方：

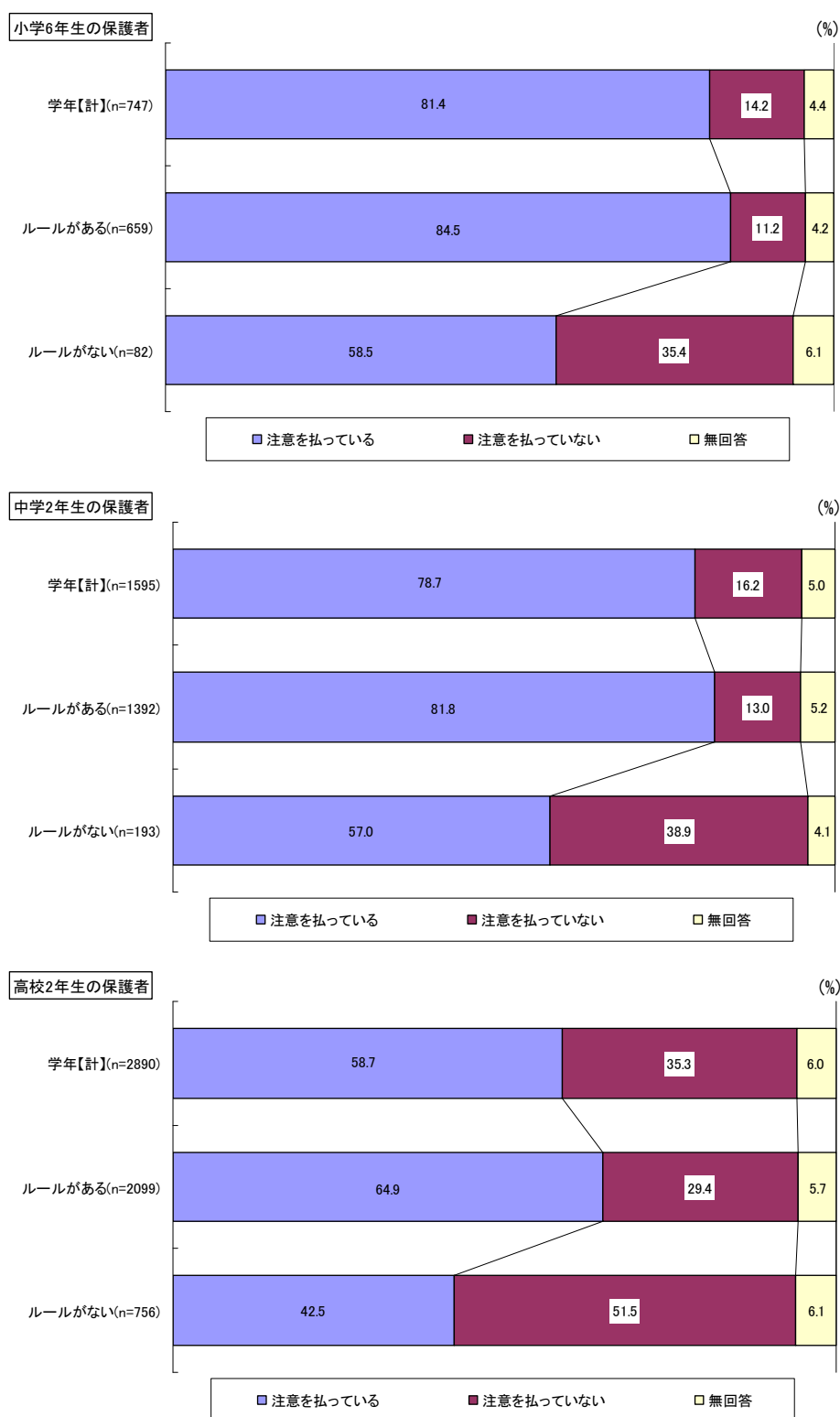
- ・「注意を払っている」は、注意を「している」「時々している」の選択肢を回答した保護者
- ・「注意を払っていない」は、注意を「あまりしていない」「していない」の選択肢を回答した保護者

(1) 子どもに携帯電話の危険性や注意点を説明する



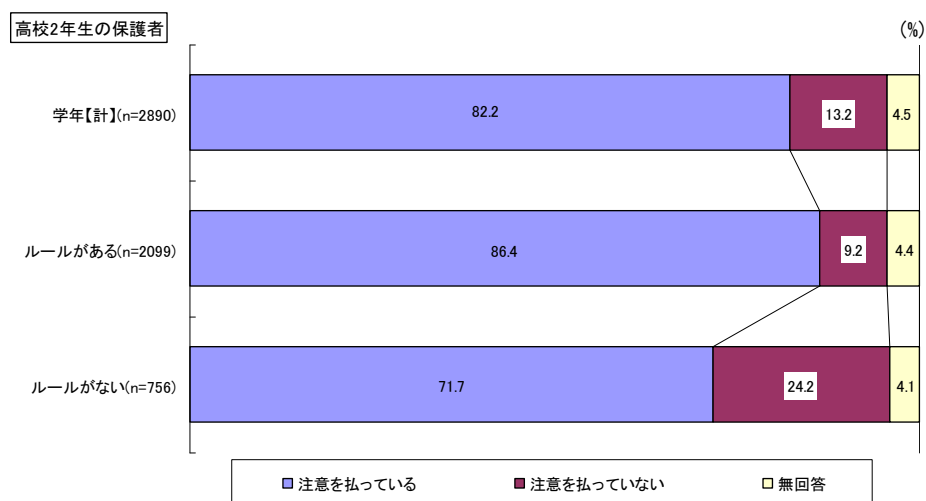
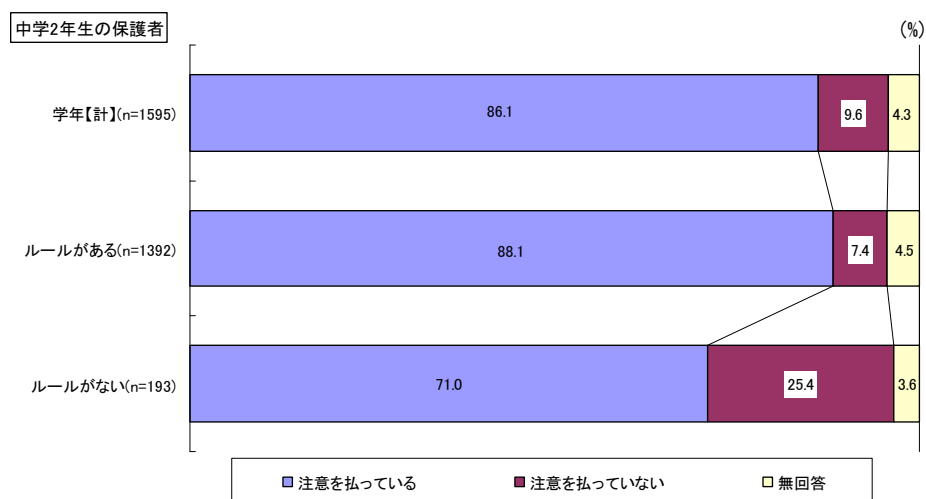
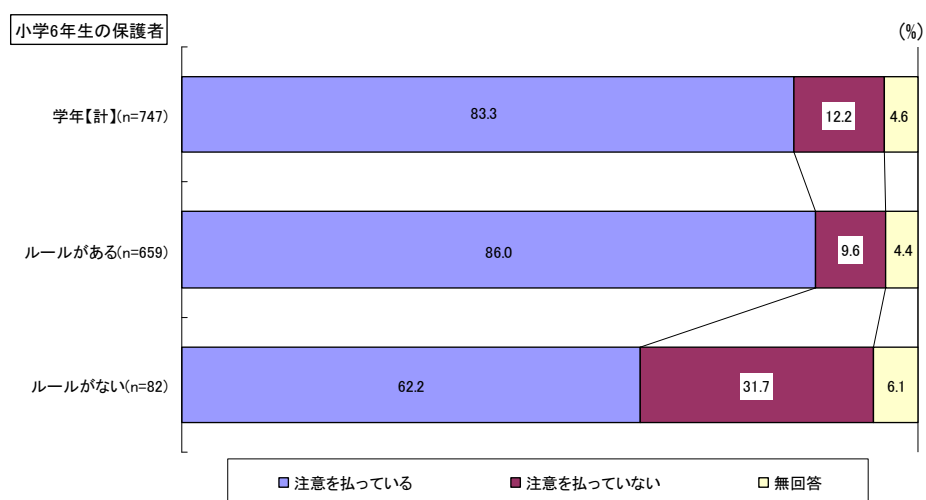
「ルールがある」と答えた保護者で、子どもに「注意を払っている」のは、小学6年生で86.5%、中学2年生で85.4%、高校2年生では72.0%と高い割合となっている。一方「ルールがない」と答えた保護者では、「注意を払っている」のは、小学6年生で54.9%、中学2年生で54.9%、高校2年生では40.6%と低い割合となっている。

(2) 子どもが携帯電話に接する様子を気を付けて見守る



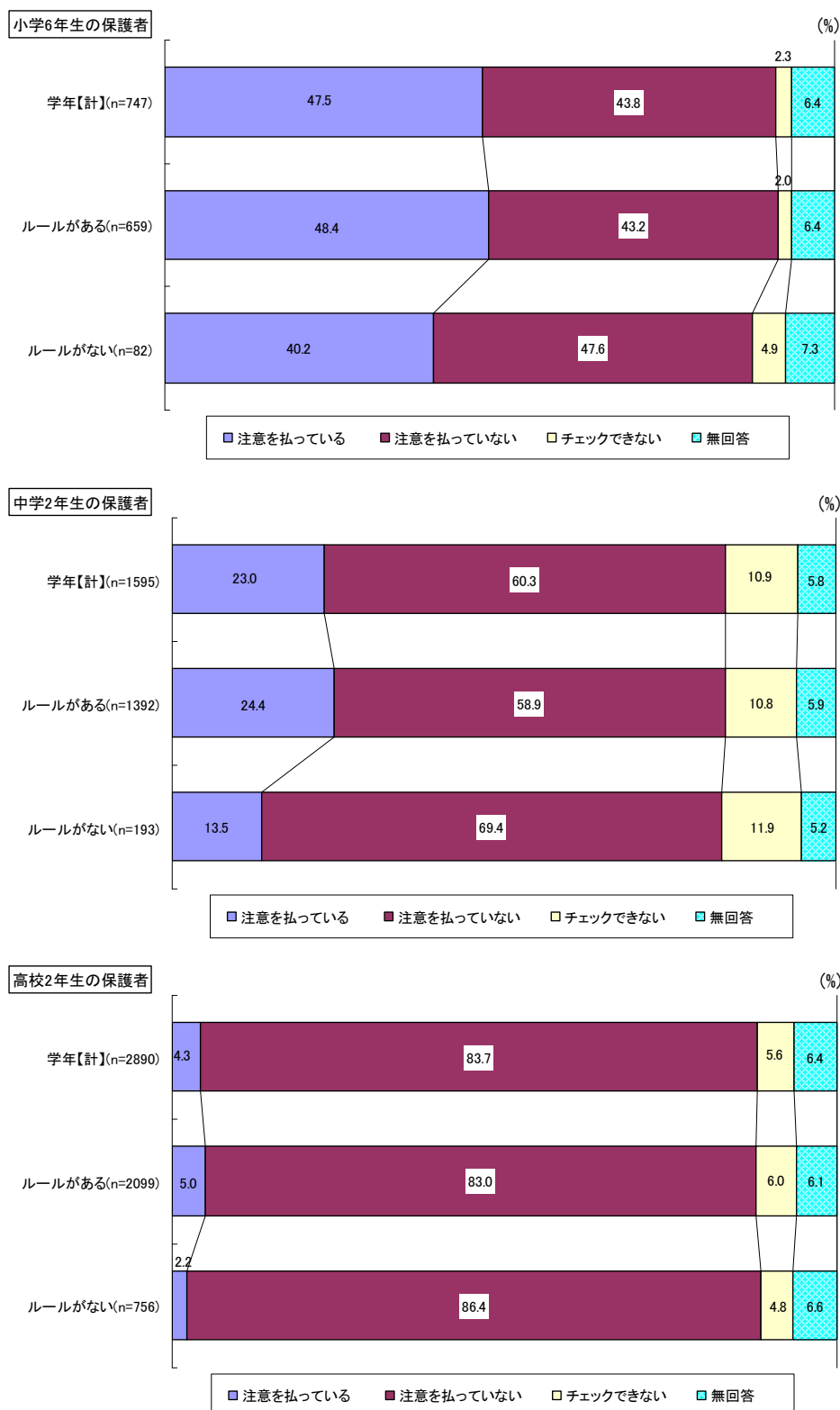
「ルールがある」家庭で、子どもに「注意を払っている」のは、小学6年生で84.5%、中学2年生で81.8%、高校2年生では64.9%と高い割合となっている。一方「ルールがない」家庭では、「注意を払っている」のは、小学6年生で58.5%、中学2年生で57.0%、高校2年生では42.5%と低い割合となっている。

(3) 利用明細を見て子どもの使い方を把握する



「ルールがある」家庭で、子どもに「注意を払っている」のは、小学6年生で86.0%、中学2年生で88.1%、高校2年生では86.4%と高い割合となっている。一方「ルールがない」家庭では、「注意を払っている」のは、小学6年生で62.6%、中学2年生で71.0%、高校2年生では71.7%と低い割合となっている。

(4) 子どもの携帯電話のメール内容をチェックする

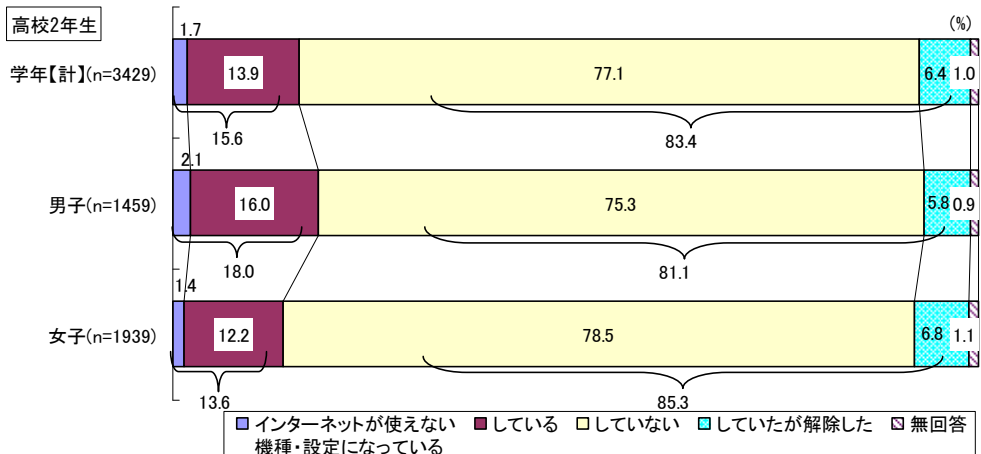
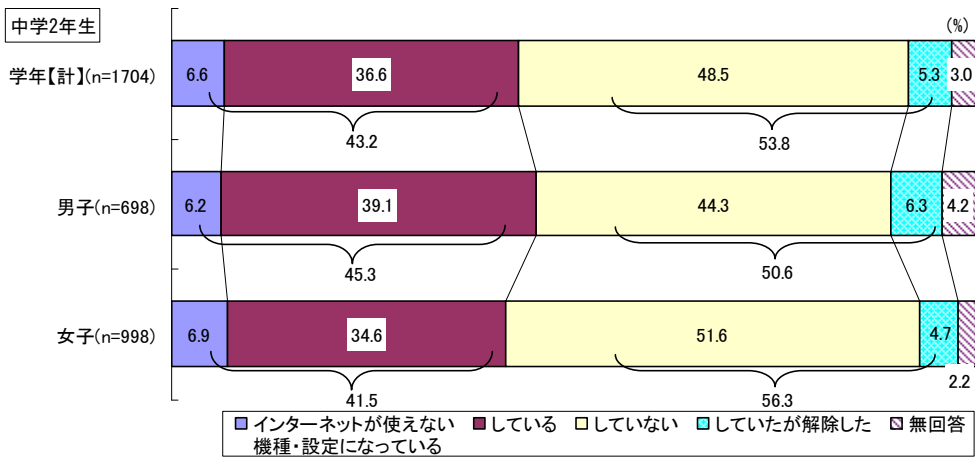
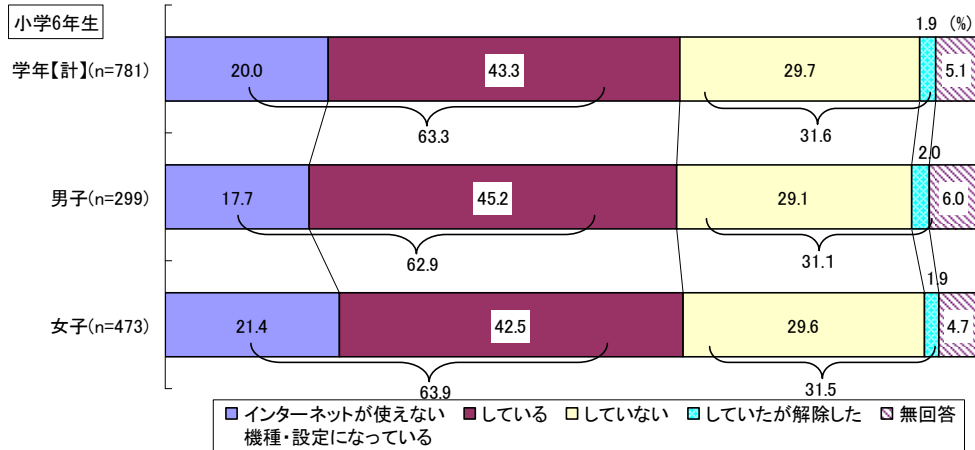


「ルールがある」家庭で、子どもに「注意を払っている」のは、小学6年生で48.4%、中学2年生で24.4%、高校2年生では5.0%と学年が上がるにつれ、割合が急激に低くなっている。また「ルールがない」家庭でも、「注意を払っている」のは、小学6年生で40.2%、中学2年生で13.5%、高校2年生では2.2%と、学年が上がるにつれ、割合が急激に低くなっている。

児童生徒調査Q10

あなたは携帯電話でフィルタリングを使用していますか。(どれか1つに○)

※ 児童生徒調査Q1の携帯電話の所有の有無で、「1. はい」を選択したものが回答

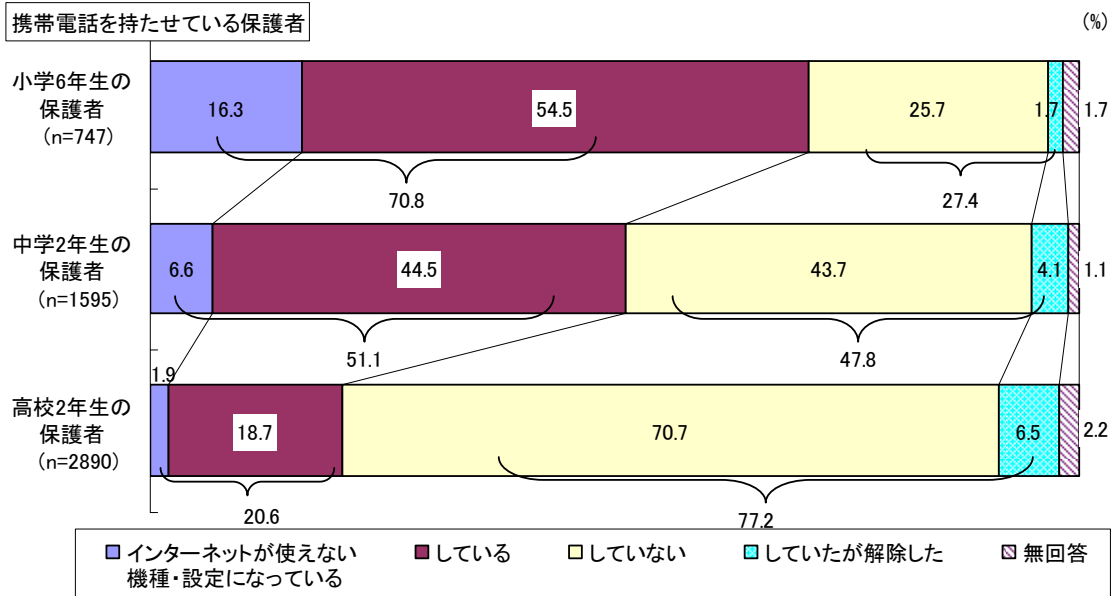


小学6年生全体では、「インターネットが使えない機種・設定になっている」と「(フィルタリングを) している」の合計が63.3%となっているが、学年が上がるにつれてその割合は減少しており、高校2年生全体では15.6%となっている。

保護者調査Q5

あなたはお子様の携帯電話にフィルタリングを使用していますか。(どれか1つに○)

※ 保護者調査Q1で、「子どもには(携帯電話を)持たせている」と答えたものが回答

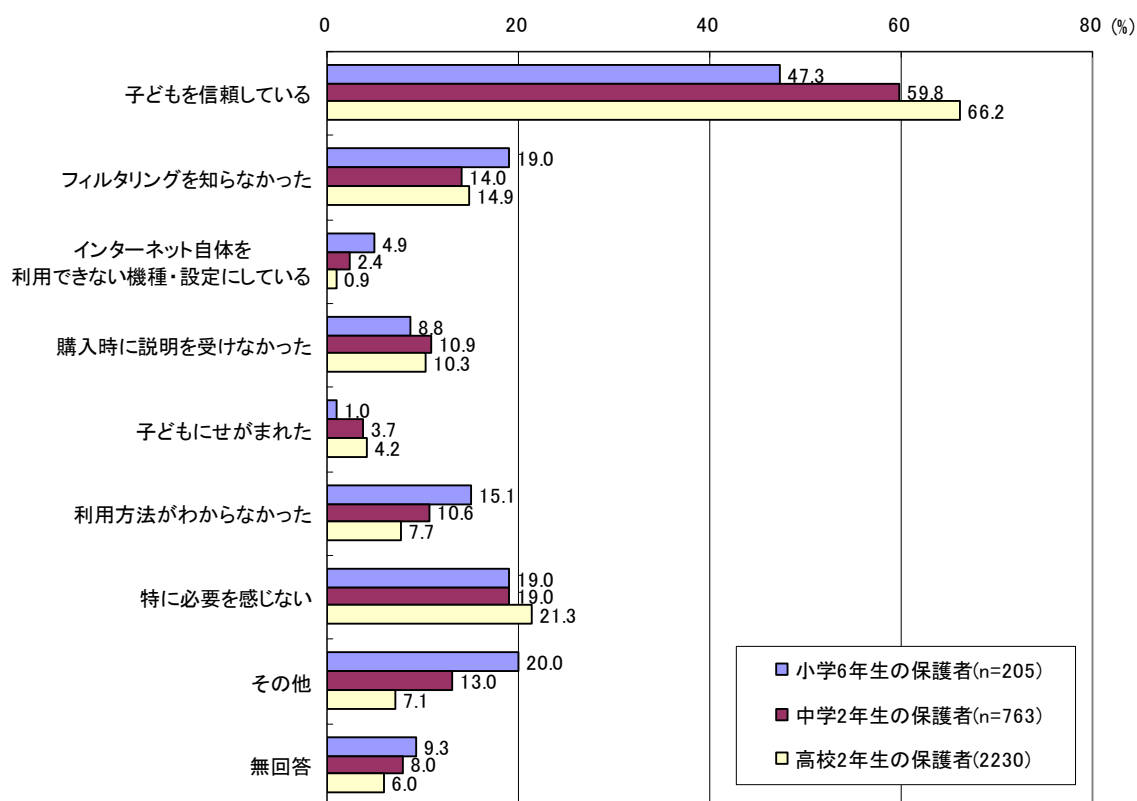


小学6年生の保護者では、「インターネットが使えない機種・設定になっている」および「フィルタリングを利用している」との合計が70.8%となっているが、学年が上がるにつれて、「インターネットが使えない機種・設定になっている」の回答も、「フィルタリングを利用している」の回答も少なくなり、高校2年生の保護者では合計20.6%となっている。

保護者調査Q5-2

Q5で「使用していない」「使用していたが解除した」と答えた人にお聞きします。あなたが、お子様の携帯電話にフィルタリングを使用していない（または、使用していたが解除した）のはなぜですか。（当てはまるもの全てに○）

※ 保護者調査Q1で、「子どもにも(子どもには)持たせている」を選択したもののうち、上記条件に当てはまる保護者が回答



小学6年生の保護者、中学2年生の保護者、高校2年生の保護者とも、「子どもを信頼している」の回答が最も高く、それぞれ47.3%、59.8%、66.2%となっている。

「その他」の例

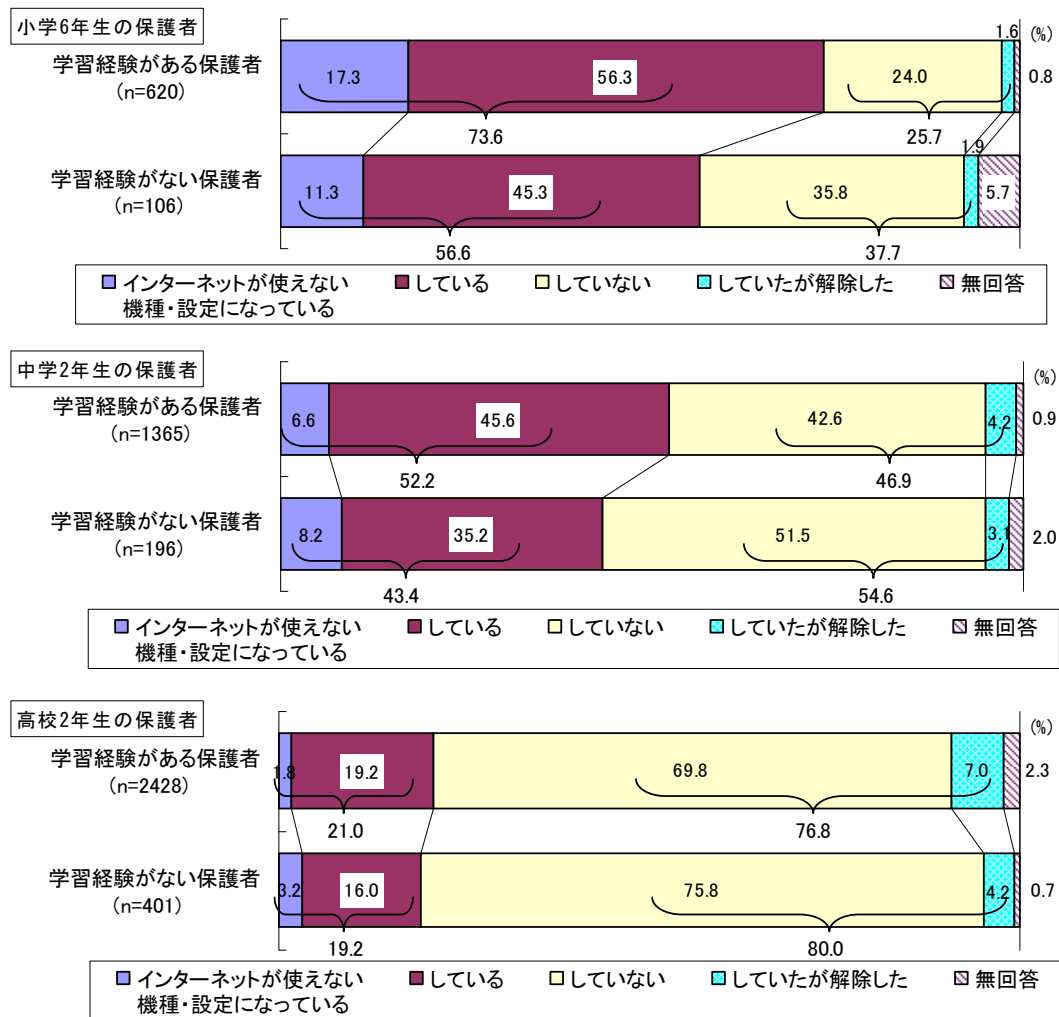
- ・ ミュージックダウンロードを、料金を決めて行っている。フィルタリングすると使えないので。利用したサイトに繋がらないから。
- ・ ルールを決めているので。ルール違反した場合は罰をうけてもらう。
- ・ 通話のみの低い料金設定にしてあり、インターネットの利用の多い場合はわかるようになっているから。

関連設問との分析（保護者調査Q23—保護者調査Q5）

携帯電話やパソコンの危険性を学んだ経験（保護者）と、フィルタリング利用の有無との関係
※グラフの見方：

・「学習経験がある」は、「学校の保護者会や PTA の会合などで説明を受けた」、「公共施設などで開かれた講座に参加して説明を受けた」、「携帯電話を買ったときに店員に説明してもらった」、「テレビや本・雑誌などで知った」など、何らかの学習機会があった回答者

・「学習経験がない」は、「特に説明を受けたり学んだりしたことがない」を選択した回答者

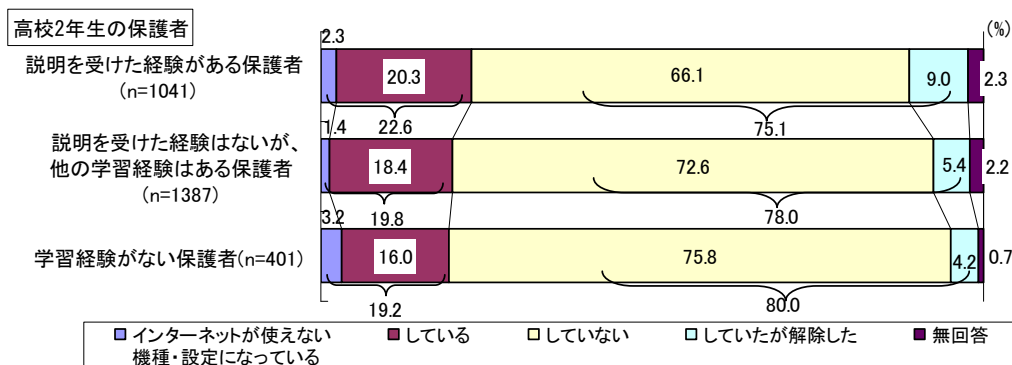
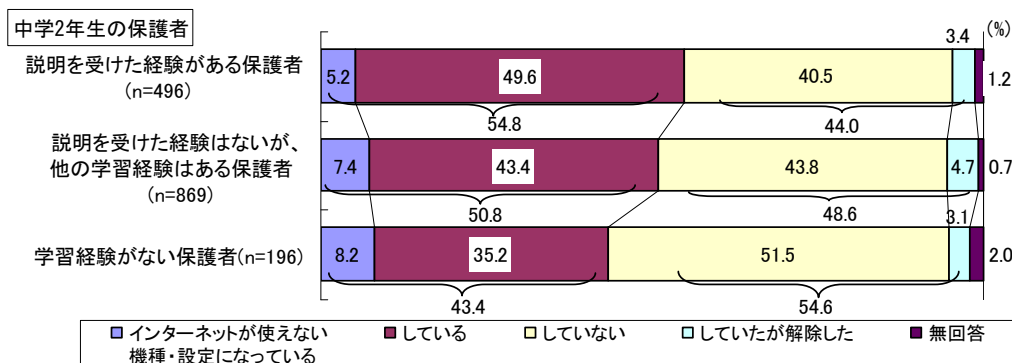
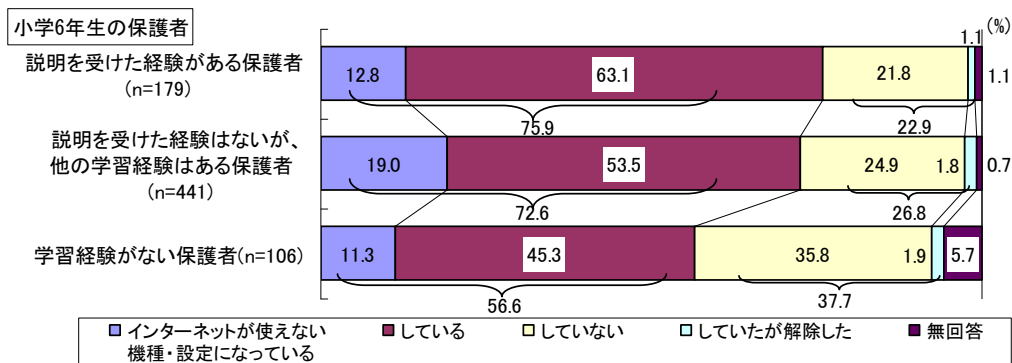


携帯電話やインターネットの危険性について学習経験がある保護者の方が、学習経験がない保護者に比べ、インターネットが使えない機種・設定にしたり、フィルタリングを利用している傾向があるが、高校2年生の保護者では両者の差は小さくなっている。

関連設問との分析（保護者調査Q23—保護者調査Q5）

携帯電話やパソコンの危険性を学んだ経験（保護者）と、フィルタリング利用の有無との関係
※グラフの見方：

- ・「説明を受けた経験がある保護者の子ども」は、「学校の保護者会やPTAの会合などで説明を受けた」、「公共施設などで開かれた講座に参加して説明を受けた」と回答した保護者の子ども
- ・「説明を受けた経験はないが、他の学習経験はある保護者の子ども」は、「携帯電話を買ったときに店員に説明してもらった」、「テレビや本・雑誌などで知った」など、何らかの学習機会があったと回答した保護者の子ども
- ・「学習経験がない保護者の子ども」は、「特に説明を受けたり学んだりしたことはない」と回答した保護者の子ども



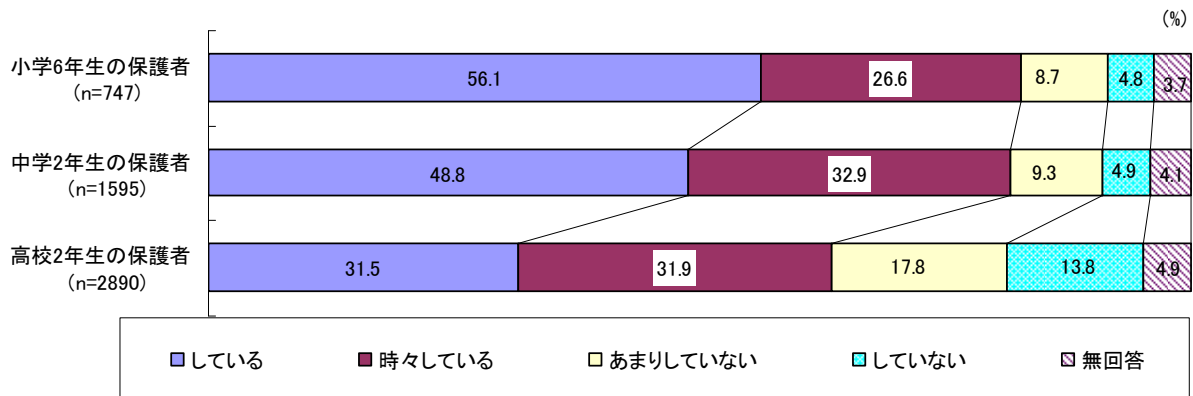
携帯電話やインターネットの危険性について実際に説明を受けた経験がある保護者の方が、他の学習経験はある保護者や学習経験がない保護者に比べ、「インターネットが使えない機種・設定」と「(フィルタリングを) 利用している」の合計割合が多い傾向にあるが、高校2年生の保護者では両者の差は小さくなっている。

保護者調査Q6

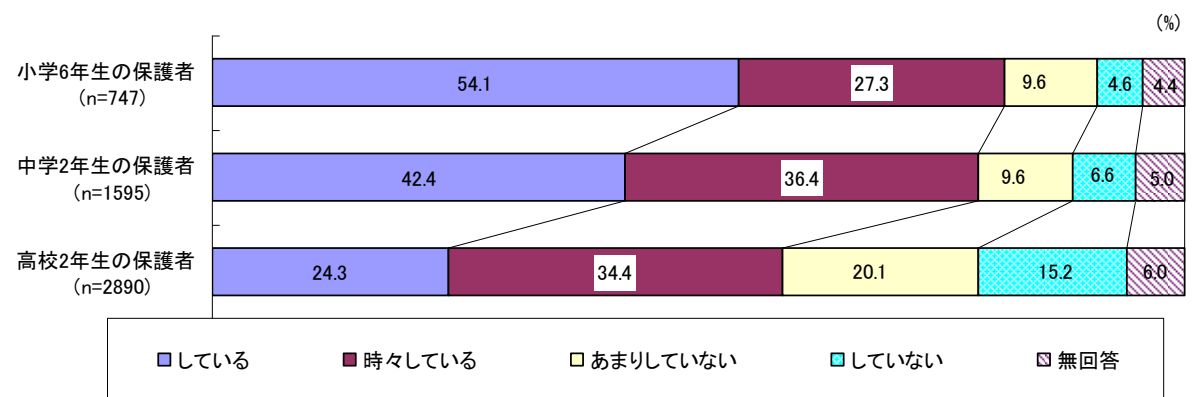
あなたは、お子様の携帯電話の使用について、どれくらい注意を払っていますか。(それぞれ、どれか1つに○)

※ 保護者調査Q1で、「子どもには(携帯電話を)持たせている」と答えたものが回答

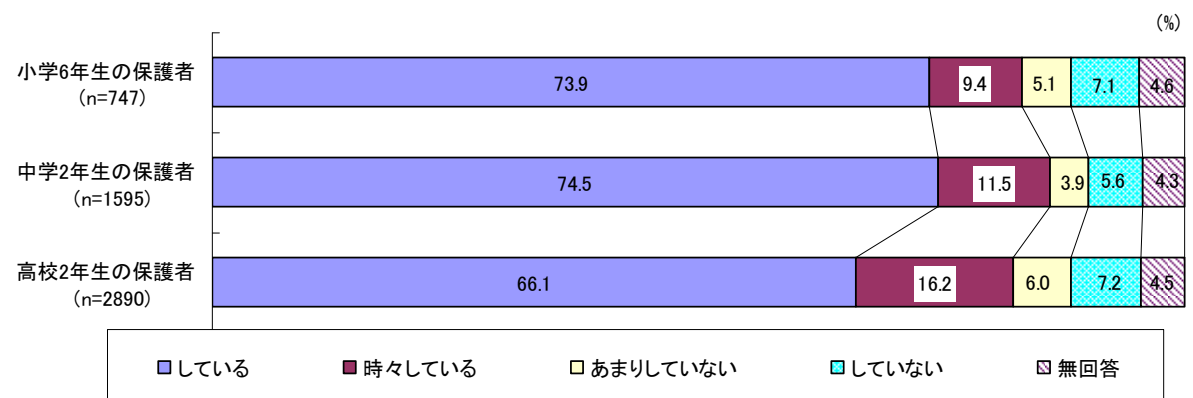
(1) 子どもに携帯電話の危険性や注意点を説明する



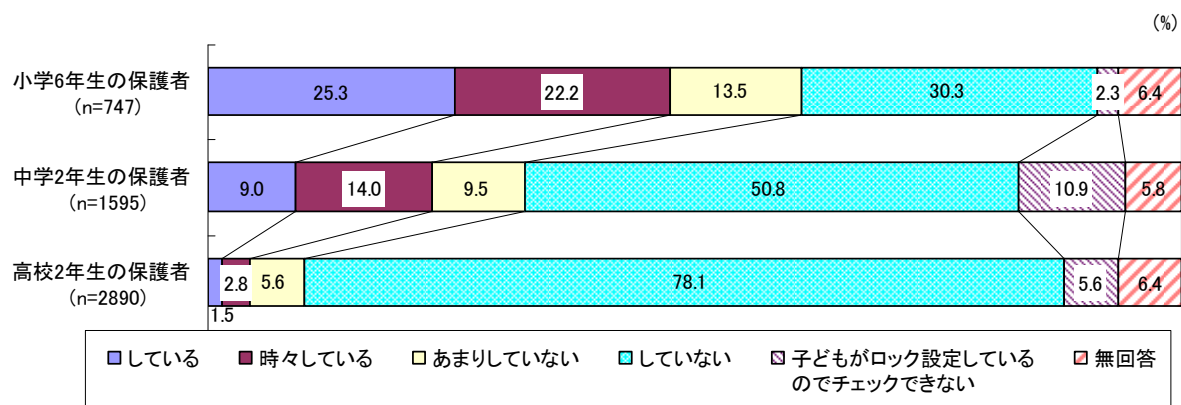
(2) 子どもが携帯電話に接する様子を気を付けて見守る



(3) 利用明細を見て子どもの使い方を把握する



(4) 子どもの携帯電話のメール内容をチェックする



「3. 利用明細を見て子どもの使い方を把握する」で「している」と回答した保護者が多く、小学6年生全体で73.9%、中学2年生全体で74.5%、高校2年生全体で66.1%となっている。

「1. 子どもに携帯電話の危険性や注意点を説明する」「2. 子どもが携帯電話に接する様子を気を付けて見守る」「3. 利用明細を見て子どもの使い方を把握する」では、学年が上がるにつれて、行っている保護者の割合は減少する傾向にある。

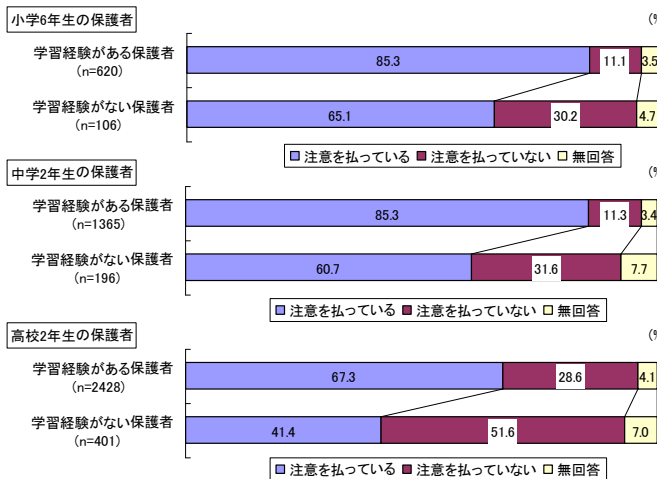
関連設問との分析（保護者調査Q23—保護者調査Q6）

携帯電話やパソコンの危険性を学んだり説明を受けた経験（保護者）と、子どもへの関心・注意

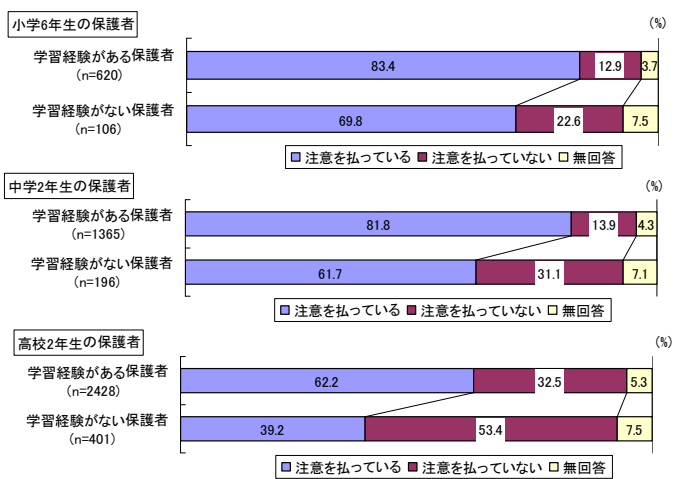
※グラフの見方：

- ・「注意を払っている」は、各項目で「している」「時々している」を選択した回答者
- ・「注意を払っていない」は、各項目で「あまりしていない」「していない」を選択した回答者

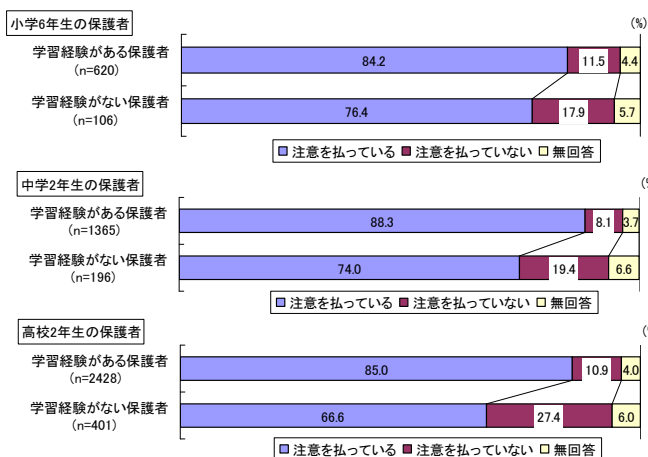
(1) 子どもに携帯電話の危険性や注意点について説明する



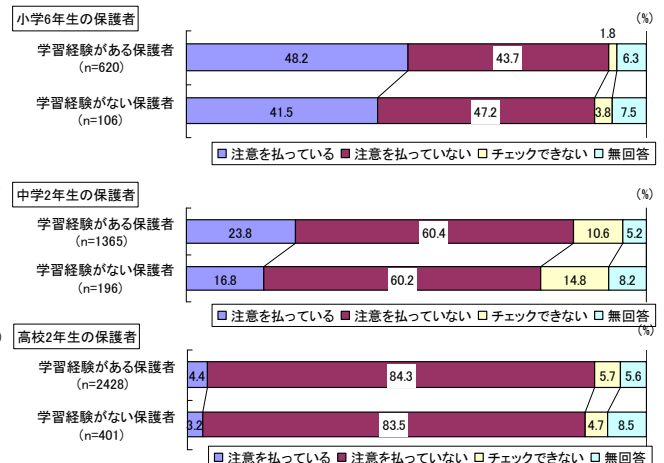
(2) 子どもが携帯電話に接する様子を気を付けて見守る



(3) 利用明細を見て子どもの使い方を把握する



(4) 子どもが携帯電話のメール内容をチェックする



いずれの事項についても、各学年とも、携帯電話やインターネットの危険性について学習経験がある保護者の方が、学習経験がない保護者に比べ、子どもの携帯電話の使用について注意を払っている割合が高くなっている。

関連設問との分析（保護者調査Q23—保護者調査Q6）

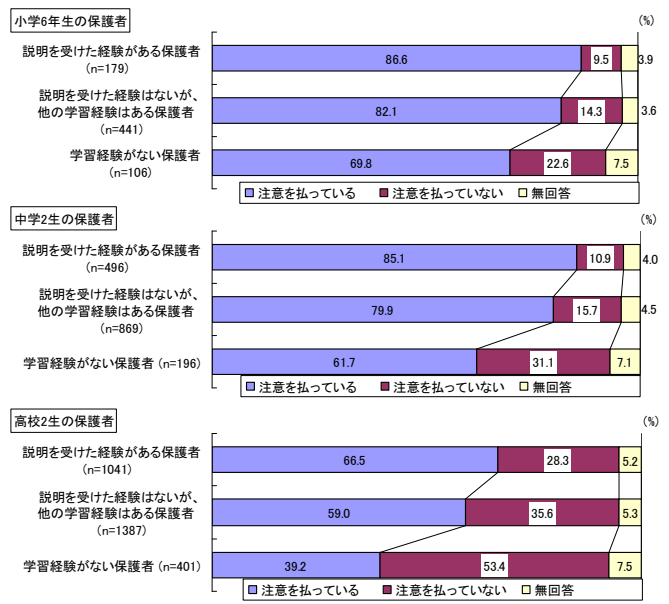
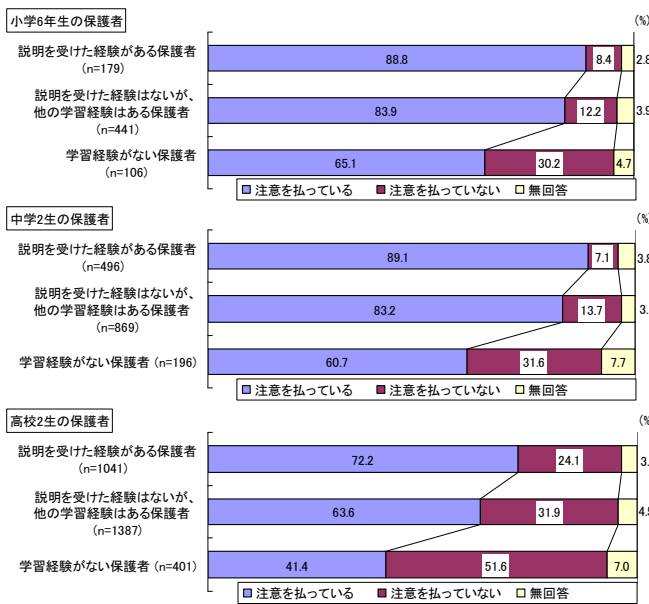
携帯電話やパソコンの危険性を学んだり説明を受けた経験（保護者）と、子どもへの関心・注意

※グラフの見方：

- ・「注意を払っている」は、各項目で「している」「時々している」を選択した回答者
- ・「注意を払っていない」は、各項目で「あまりしていない」「していない」を選択した回答者
- ・「説明を受けた経験がある保護者」は、「学校の保護者会やPTAの会合などで説明を受けた」「公共施設などで開かれた講座に参加して説明を受けた」を選択した回答者

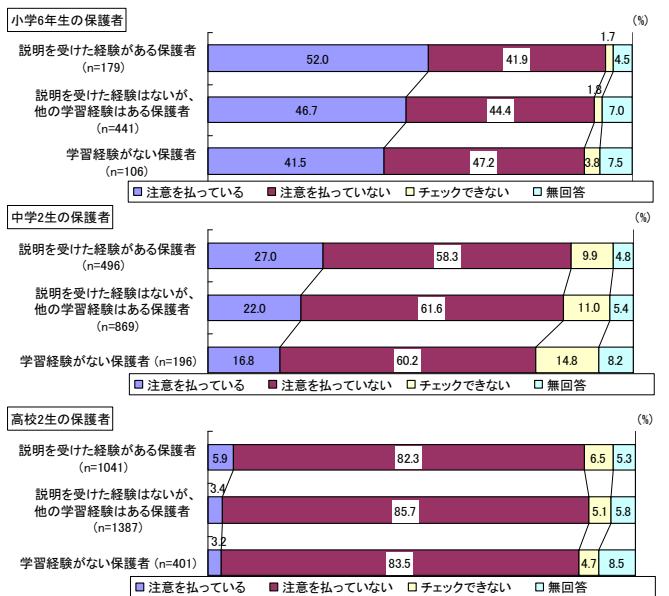
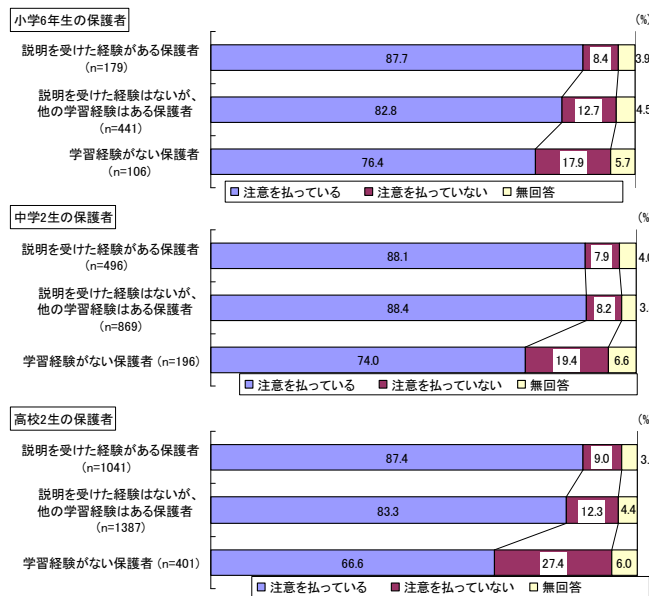
(1) 子どもに携帯電話の危険性や注意点について説明する

(2) 子どもが携帯電話に接する様子を気を付けて見守る



(3) 利用明細を見て子どもの使い方を把握する

(4) 子どもが携帯電話のメール内容をチェックする



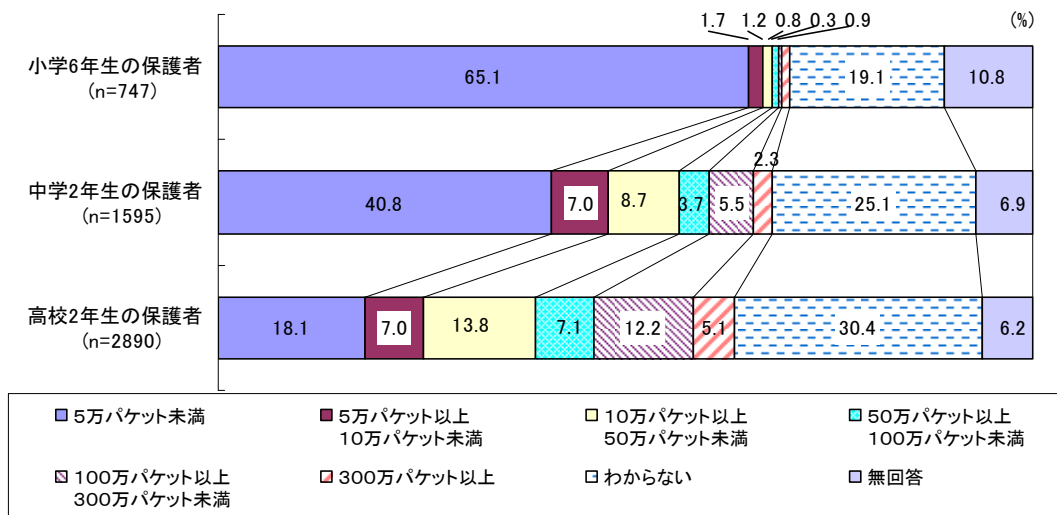
ほぼ全ての事項で、各学年とも、携帯電話やインターネットの危険性について実際に説明を受けた経験がある保護者の方が、他の学習経験はある保護者の方や学習経験がない保護者に比べ、子どもの携帯電話の使用について注意を払っている割合が高くなっている。

保護者調査Q7

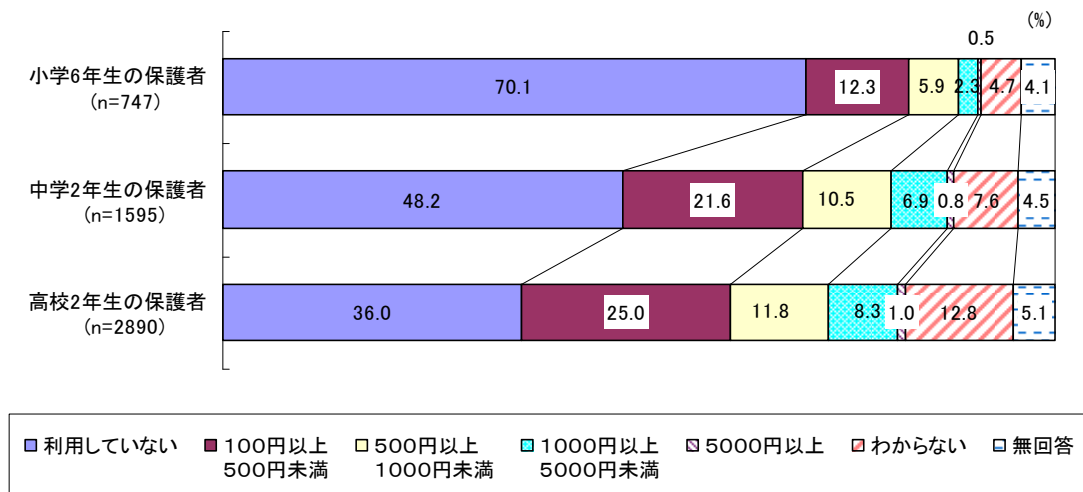
あなたのお子様が携帯電話で送受信するパケット量や有料コンテンツ利用料は毎月だいたいどれくらいですか。必要な場合は利用明細をご覧ください。(それぞれ、どれか1つに○)

※ 保護者調査Q1で、「子どもにも(子どもには)持たせている」を選択したものが回答

(1) パケット



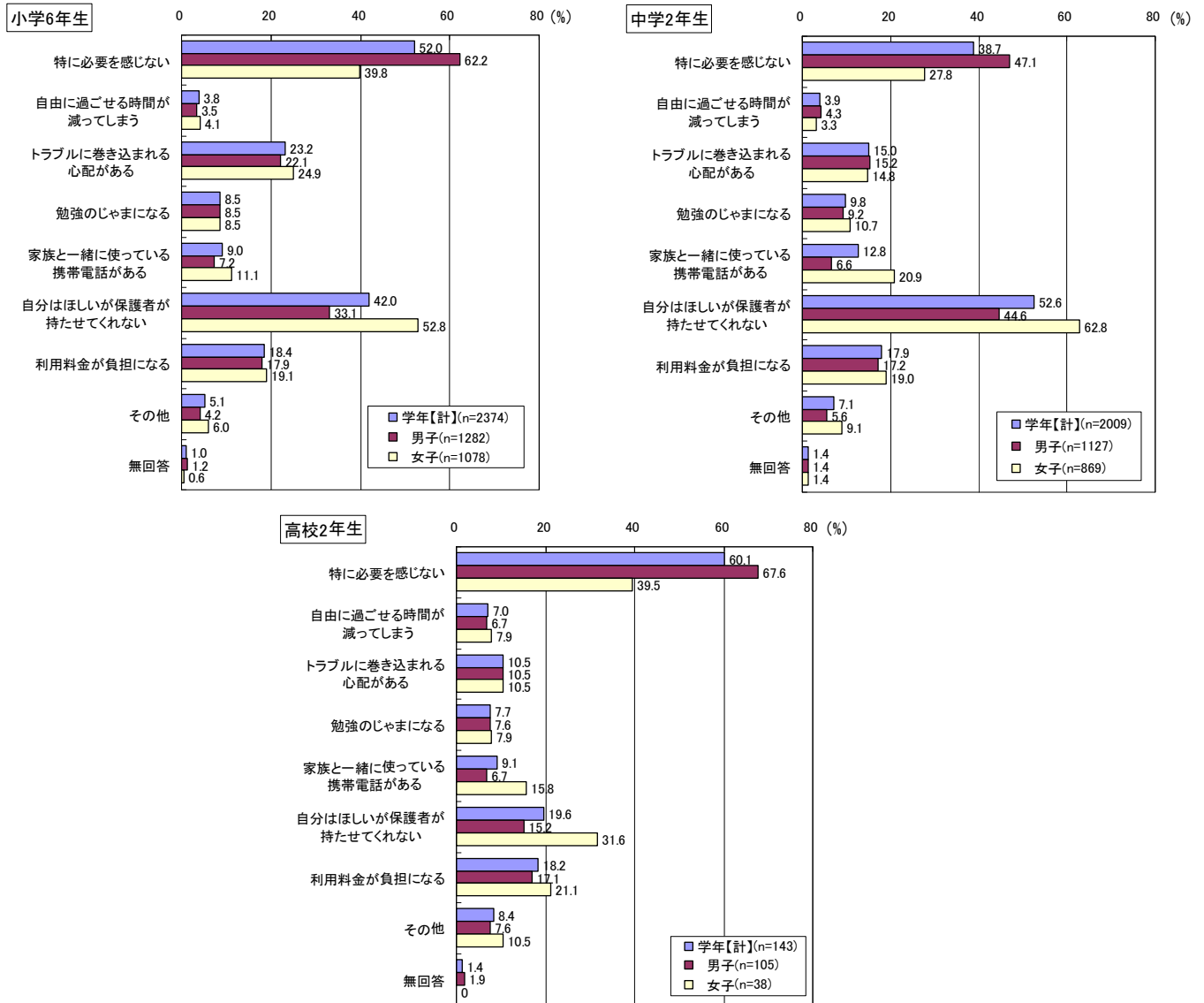
(2) 有料コンテンツ利用料



児童生徒調査Q11

あなたが携帯電話を持っていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

※ 児童生徒調査Q1の携帯電話の所有の有無で、「2. いいえ」を選択したものが回答



小学6年生、中学2年生、高校2年生いずれも「特に必要を感じない」の回答が多く見られる。また、小学6年生と中学2年生では、「自分はほしいが保護者が持たせてくれない」の回答も多い。

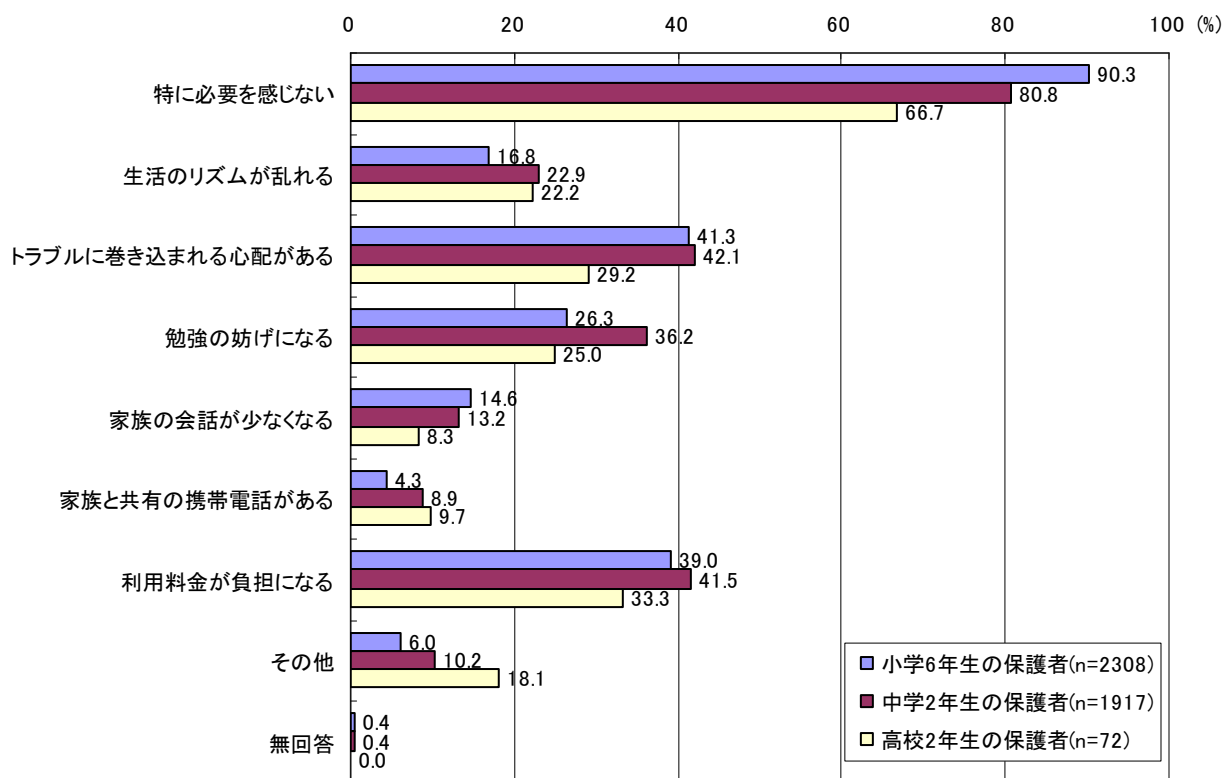
「その他」の例

- ・ パソコンがあり、メールもできるから。(中学2年生)
- ・ ゲームをするため、携帯電話に触れる時間がないから。(高校2年生)
- ・ 昔、使いすぎたから。(高校2年生)

保護者調査Q8

あなたが、お子様に携帯電話を持たせていない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

※ 保護者調査Q1で、「子どもに(携帯電話を)持たせていない」と答えたものが回答



保護者の回答も、児童生徒の回答と同じく「特に必要を感じない」が最も多く、小学6年生で携帯電話を持たせていない保護者の90.3%が「特に必要を感じていない」と回答している。続いて「トラブルに巻き込まれる心配がある」や「利用料金が負担になる」が多くなっている。

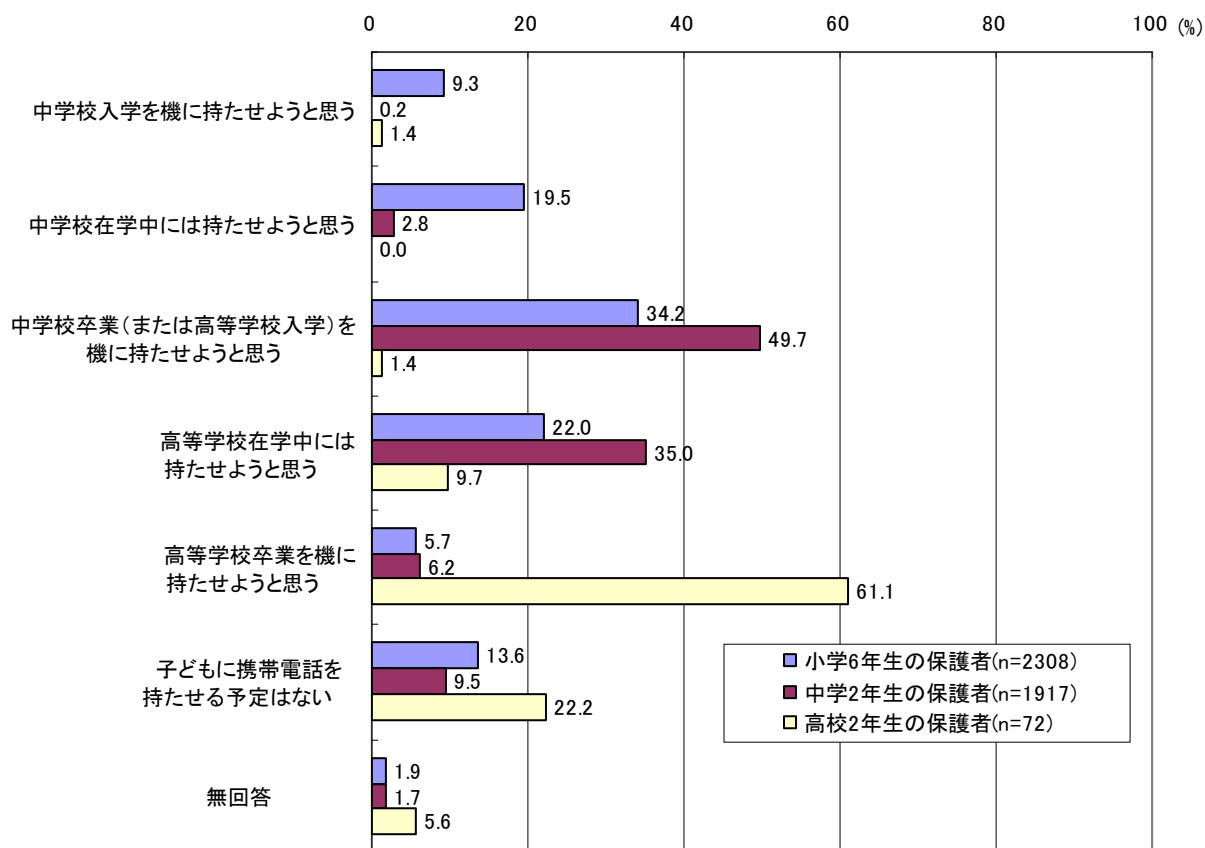
「その他」の例

- ・ 料金についての自覚がないから。(小学6年生、中学2年生、高校2年生の保護者)
- ・ 紛失した時のことを考えると、必要ないと思います。(大人に比べると可能性が高いと思います)(中学2年生の保護者)
- ・ 学校で禁止されているから。(小学6年生、中学2年生の保護者)
- ・ 本人がまだいらないとやっているから。(小学6年生、中学2年生、高校2年生の保護者)

保護者調査Q9

あなたは将来、お子様に携帯電話を持たせるご予定はありますか。(当てはまるもの全てに○)

※ 保護者調査Q1で、「子どもに(携帯電話を)持たせていない」と答えたものが回答



小学6年生で持たせていない保護者、中学2年生で持たせていない保護者は、「中学校卒業(または高等学校入学)を機に持たせようと思う」の回答が最も高くなっており、それぞれ34.2%、49.7%となっている。

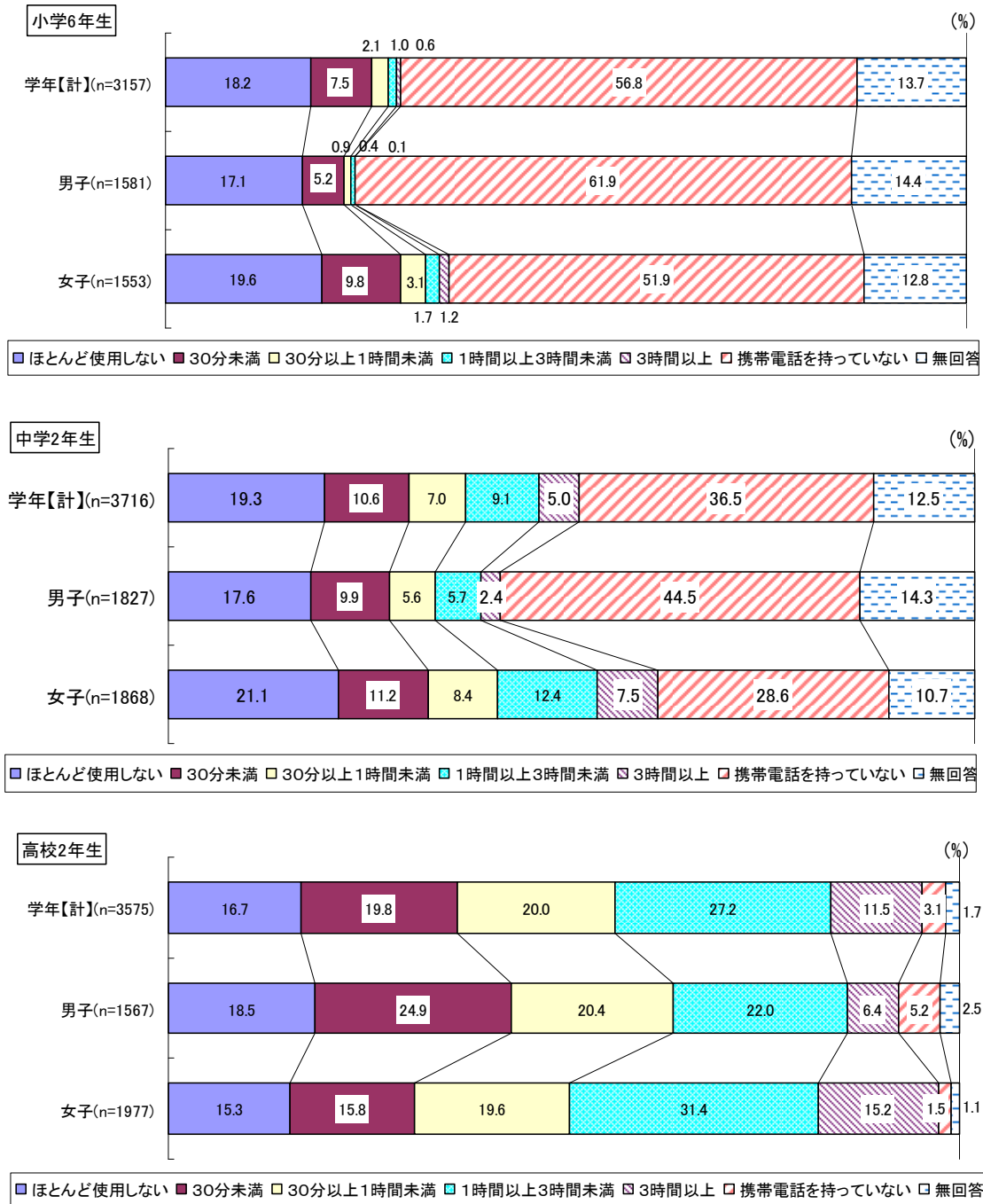
高校2年生で持たせていない保護者は、「高校卒業を機に持たせようと思う」が61.1%で最も高い。

2.2. 携帯電話やパソコンを使ったインターネットの利用状況

児童生徒調査Q12

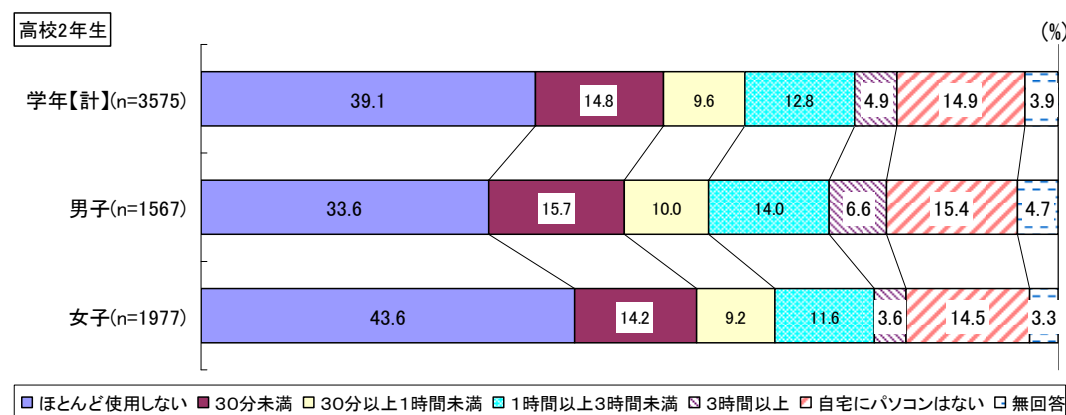
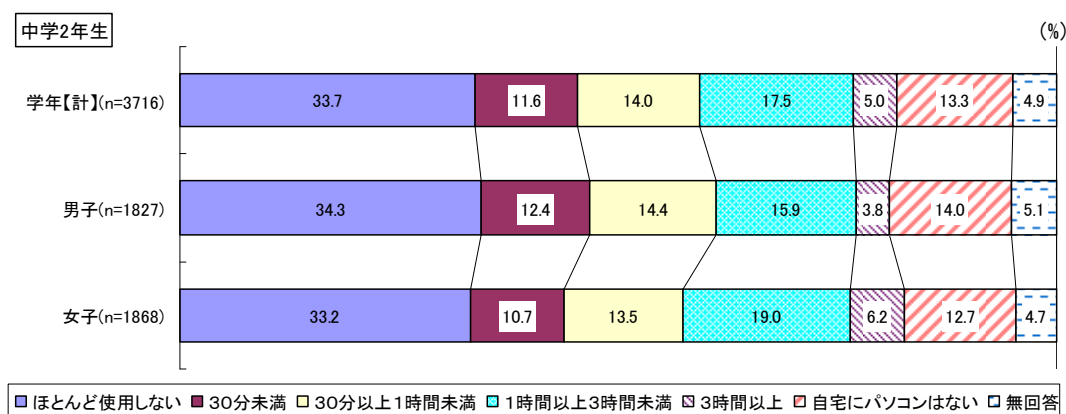
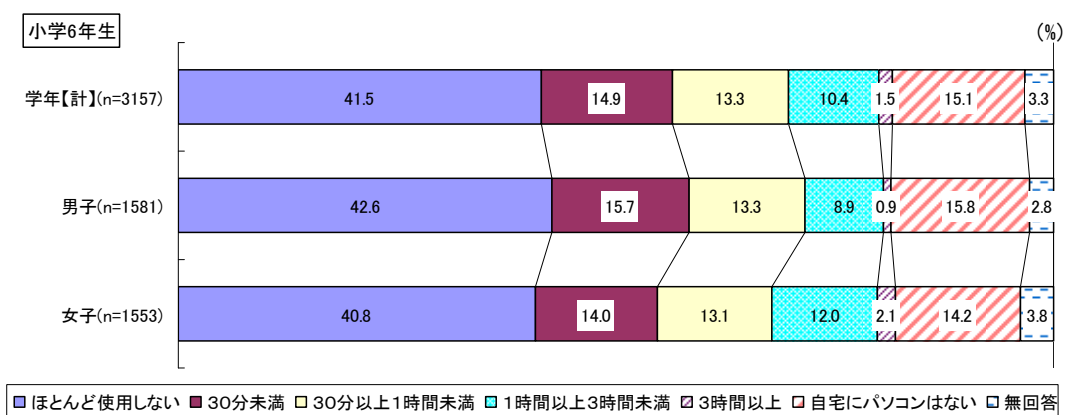
あなたは、ふだん学校がある日は、1日にどれくらいインターネットを使いますか。(携帯電話とパソコンのそれぞれ、どれか1つに○)

(1) 携帯電話



携帯電話でのインターネット利用を30分以上利用する割合は、小学6年生全体では3.7%、中学2年生全体では21.1%だが、高校2年生全体になると58.7%と急激に増えている。

(2) パソコン

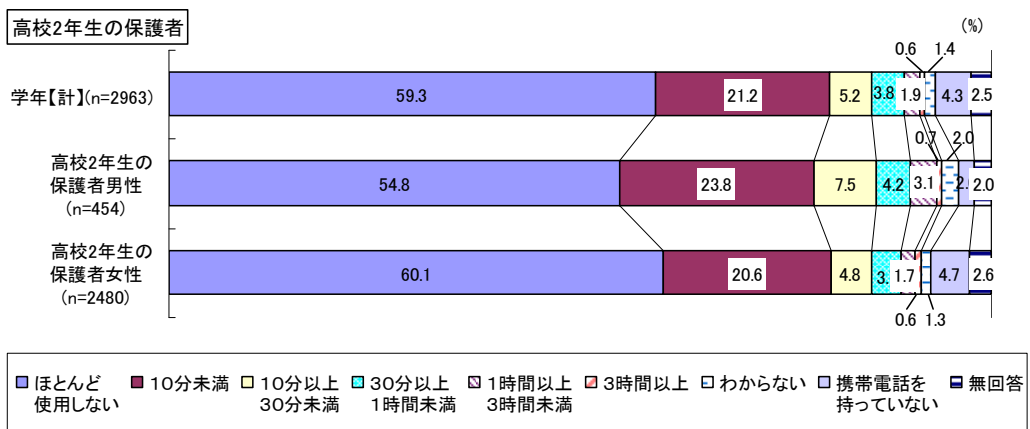
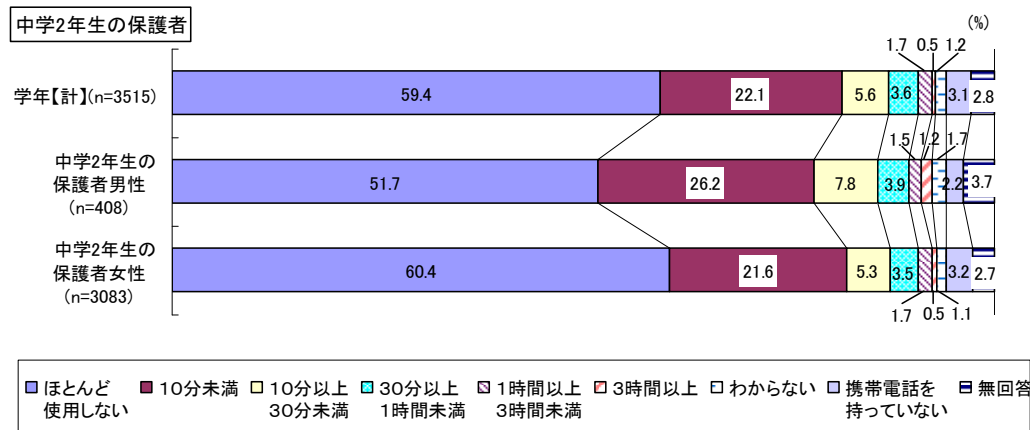
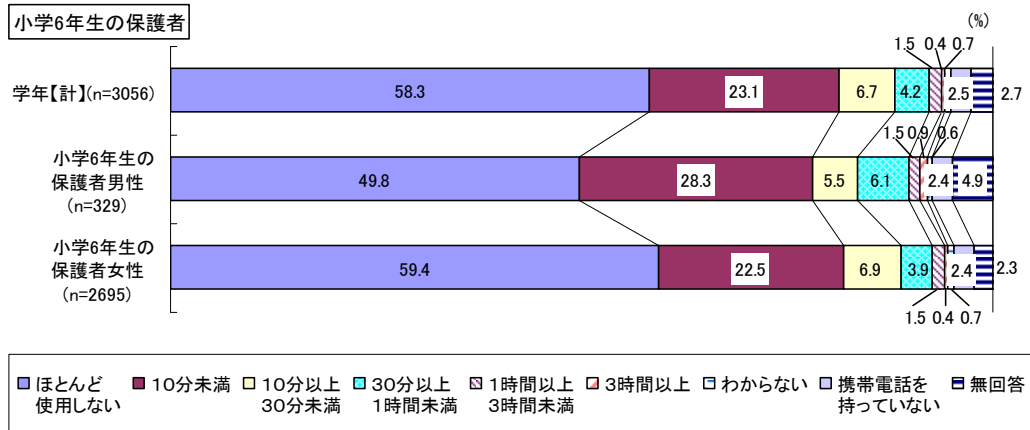


パソコンでのインターネット利用は、各学年で「ほとんど使用しない」が3割から4割を占めている。また、他の利用時間の選択肢についても、携帯電話によるインターネット利用に比べ、各学年間であまり大きな差は見られない。

保護者調査Q13

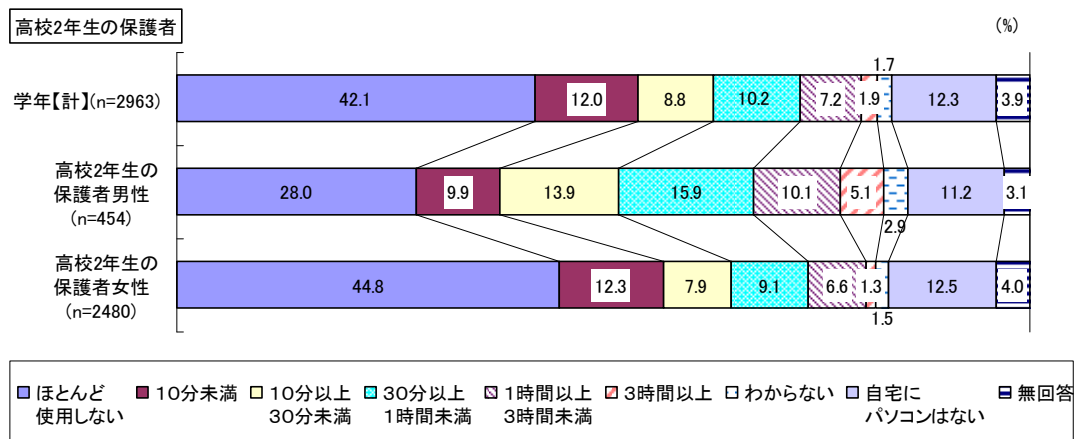
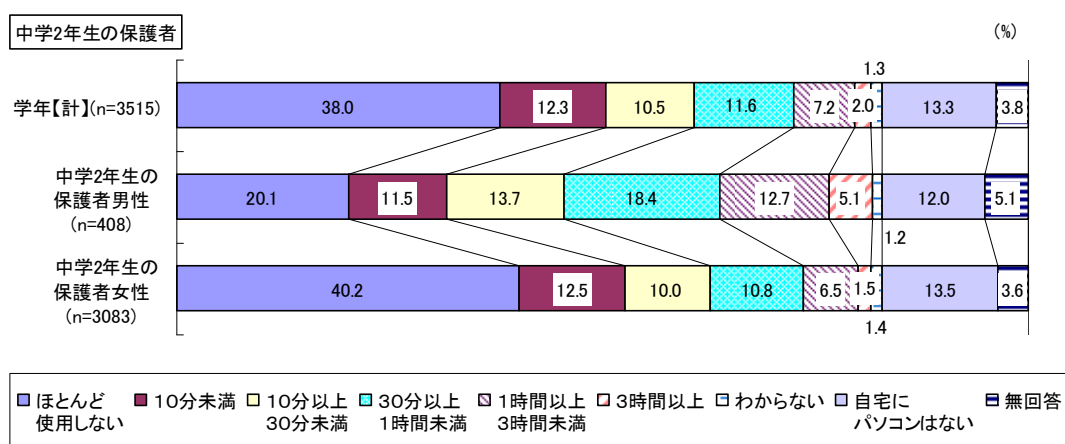
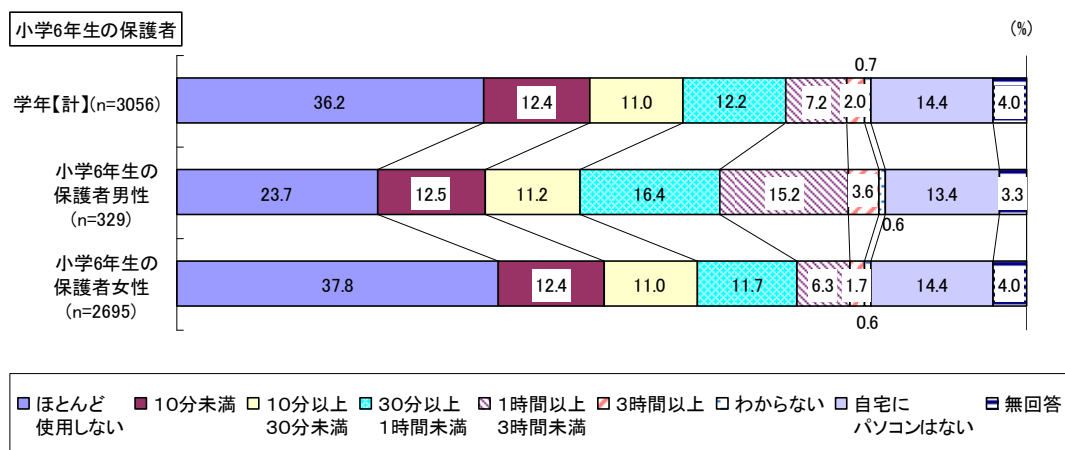
あなたはふだん（平日）、1日にどれくらいインターネットを使いますか。（携帯電話とパソコンのそれぞれ、どれか1つに○）

(1) 携帯電話



携帯電話でのインターネット利用は、各学年で「ほとんど使用しない」が5割から6割を占めている。また、他の利用時間の選択肢についても学年によって大きな差は見られないが、女性より男性の方が比較的使用している。

(2) パソコン



パソコンでのインターネット利用は、各学年の保護者とも、携帯電話によるインターネットよりも使用する割合が高く、女性よりも男性の方が使用している割合が高い。

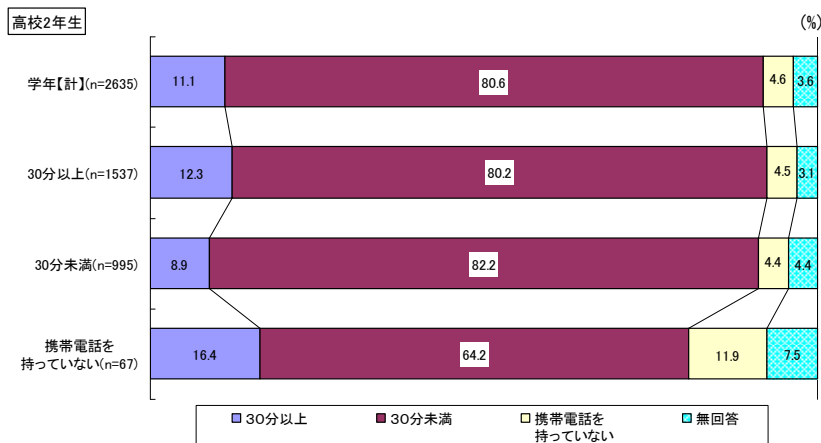
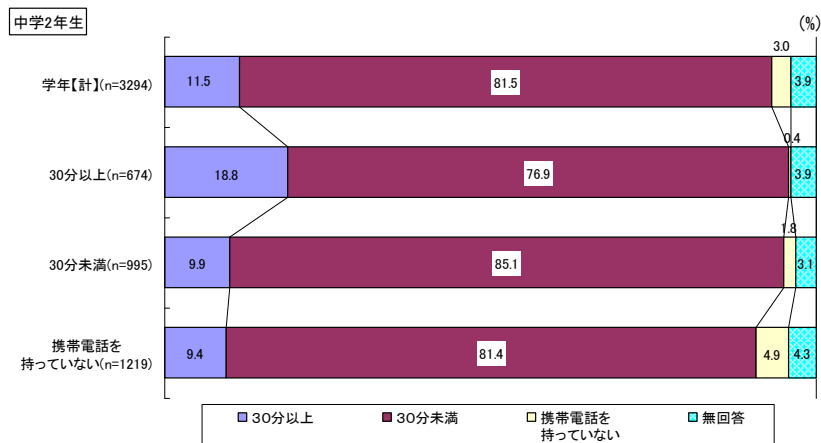
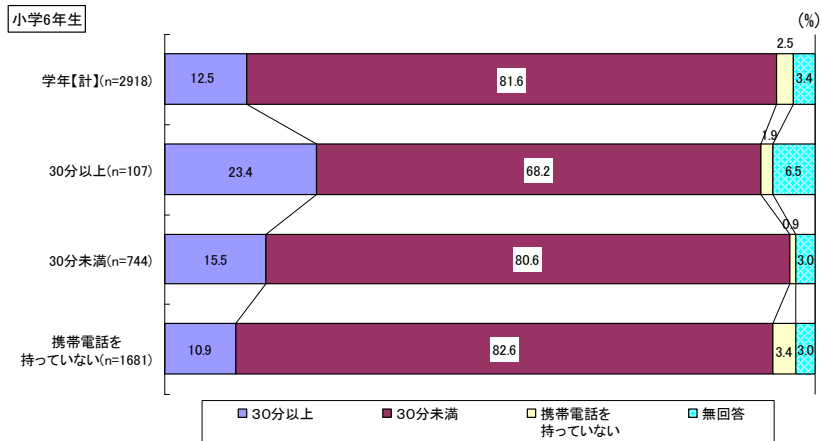
関連設問との分析（児童生徒調査Q12—保護者調査Q13）

子どものインターネット利用状況と、保護者のインターネット利用状況との関係

※グラフの見方：

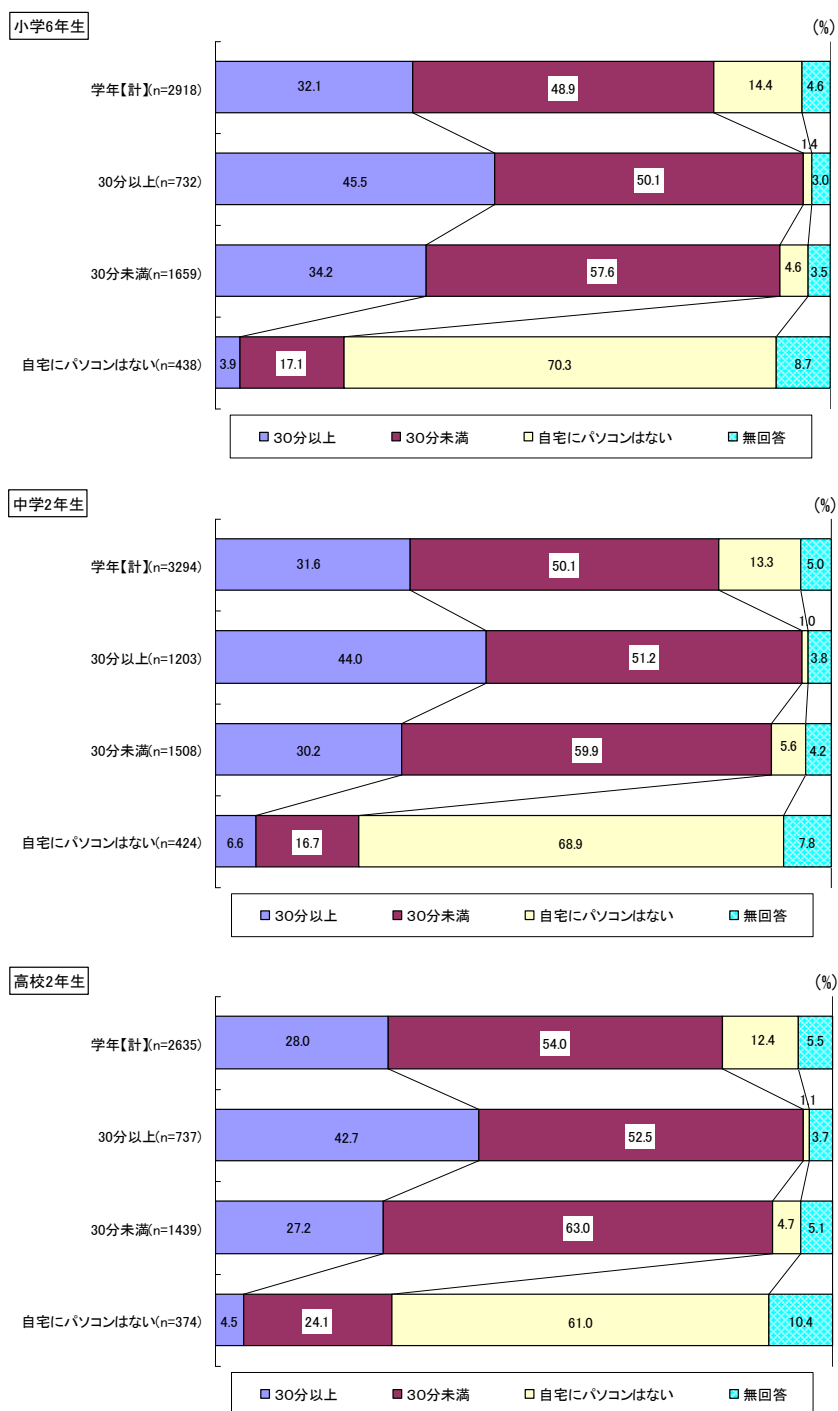
- ・「30分以上」は、「30分以上1時間未満」、「1時間以上3時間未満」「3時間以上」を選択した回答者
- ・「30分未満」は、「10分以上30分未満」「10分未満」「ほとんど使用しない」を選択した回答者
- ・縦軸が子どもで、横軸が保護者となる。

(1) 携帯電話



各学年とも、携帯電話でインターネットをよく利用している子どもは、保護者も携帯電話でインターネットをよく利用している割合が多い。

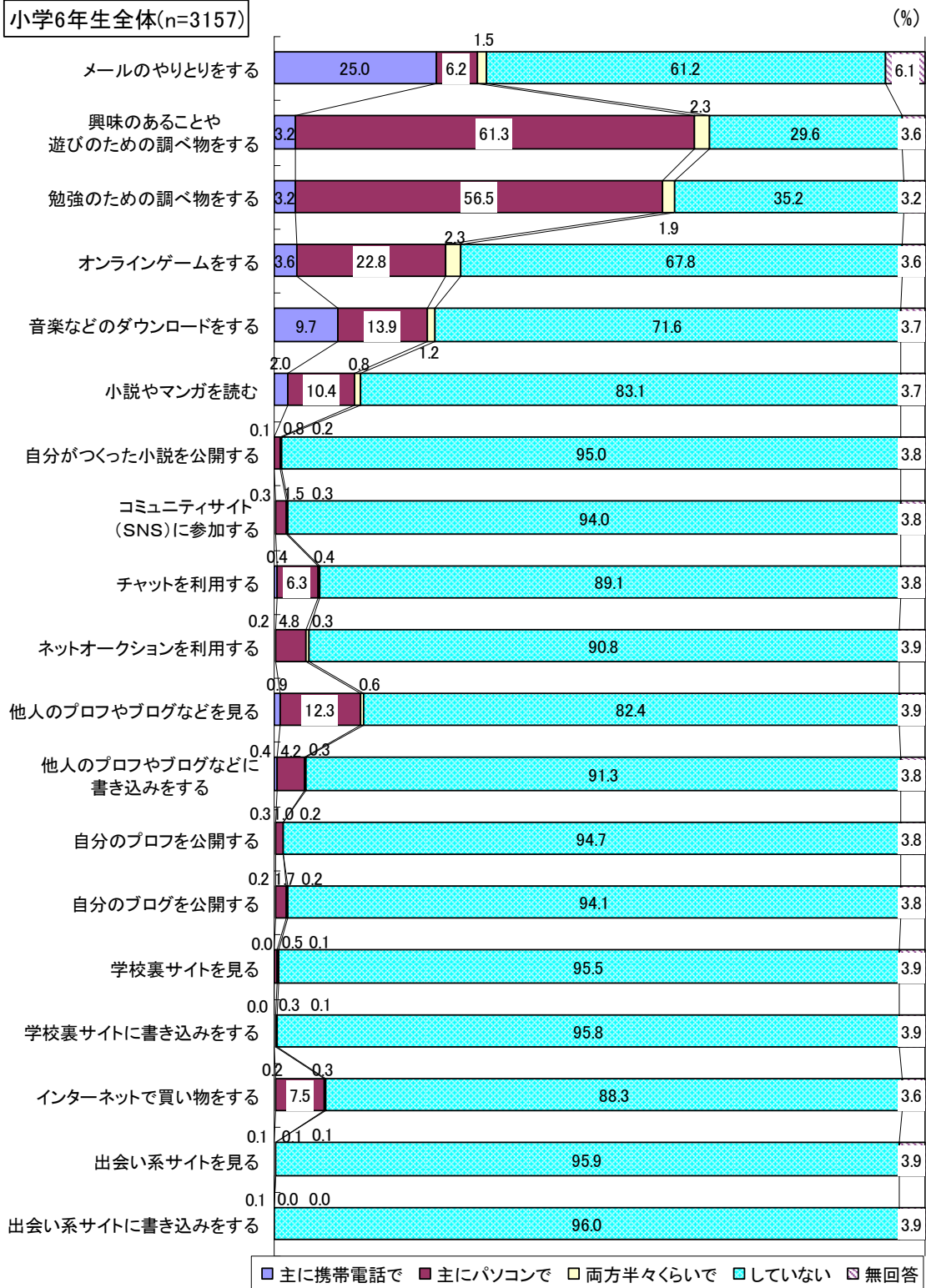
(2) パソコン



各学年とも、パソコンでインターネットをよく利用している子どもは、保護者もパソコンでインターネットをよく利用している割合が多い。

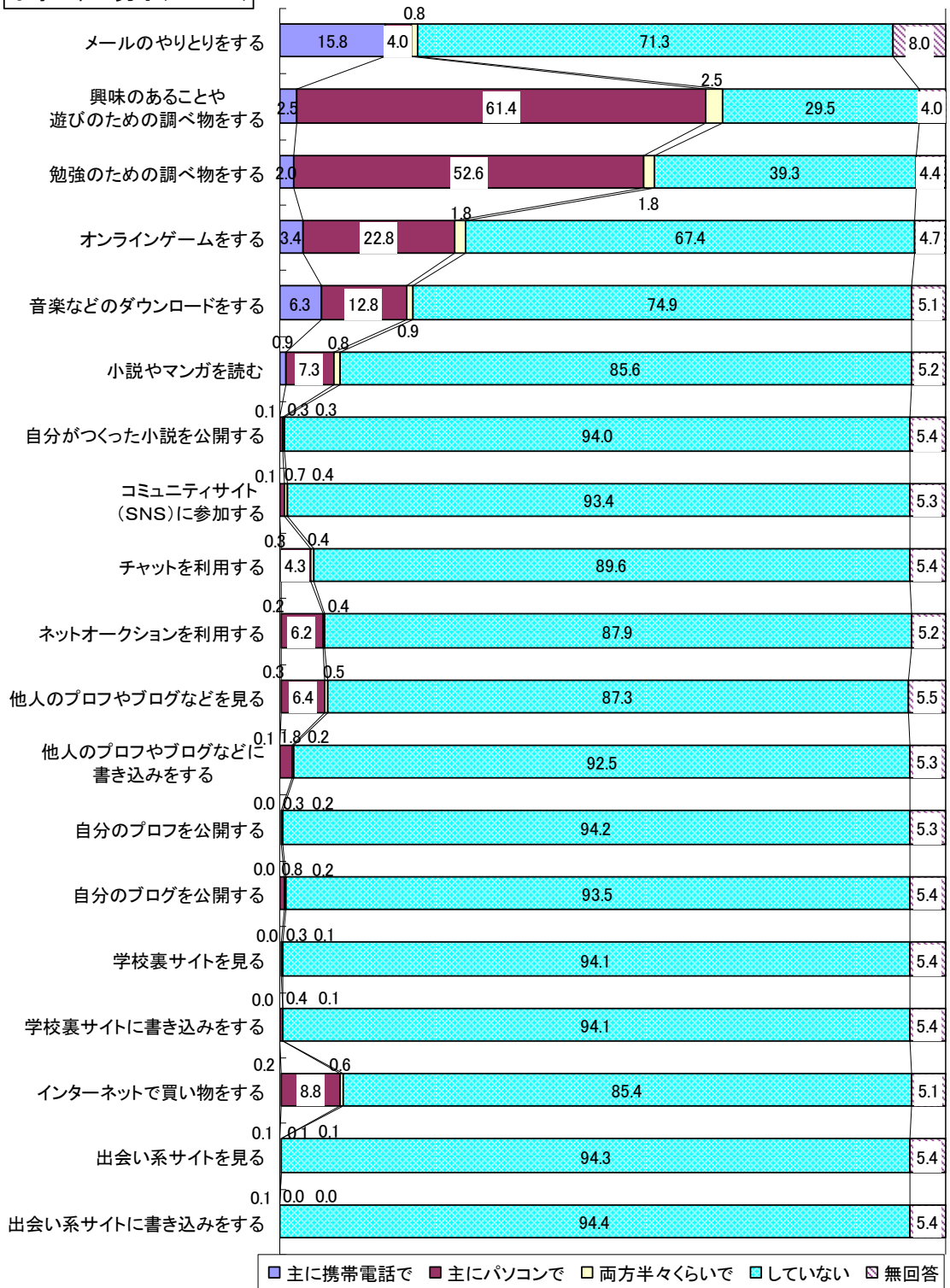
児童生徒調査Q13

あなたは、携帯電話やパソコンで、次のことをしたことがありますか。(それぞれどれか1つに○)

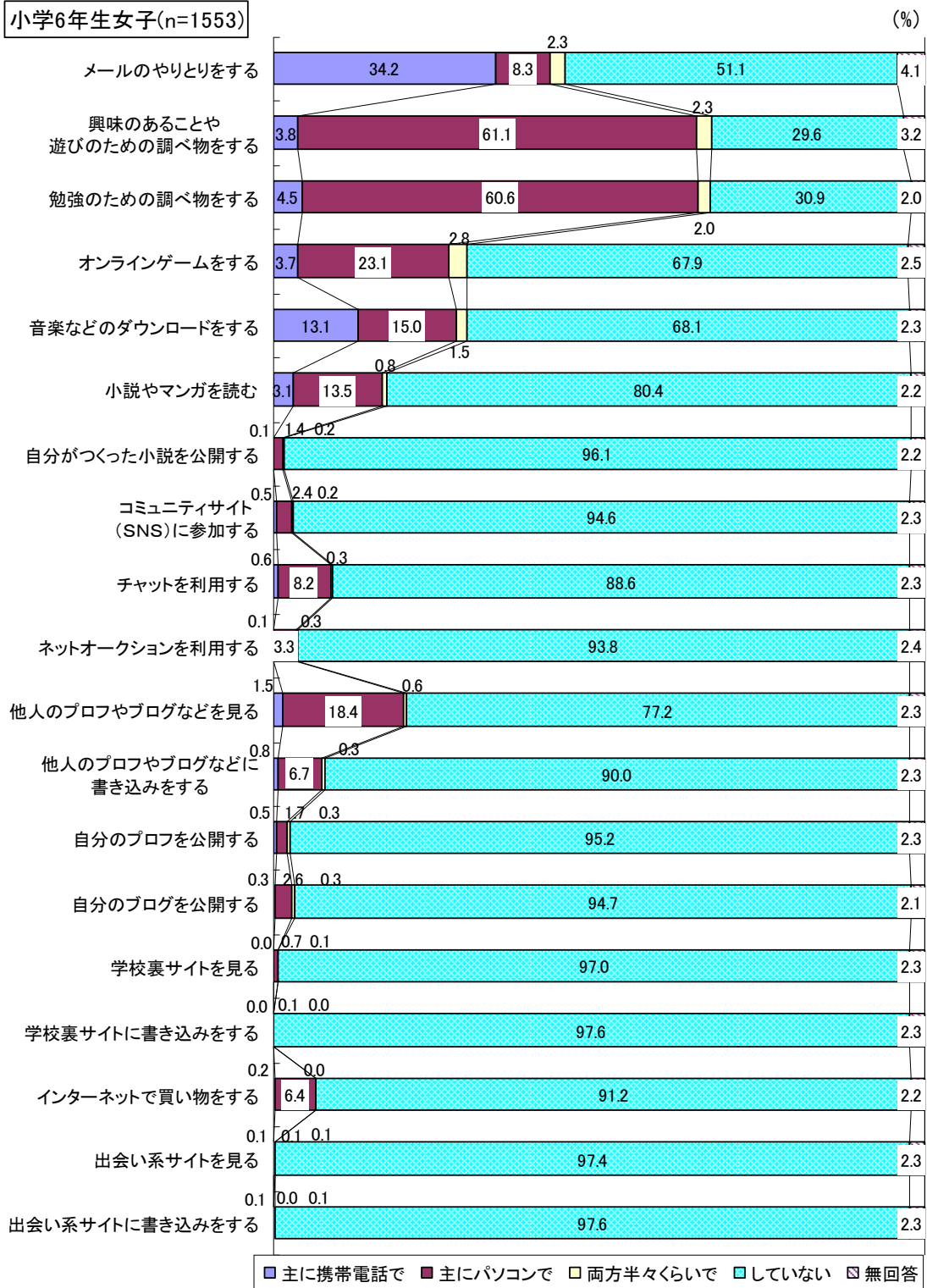


小学6年生男子(n=1581)

(%)

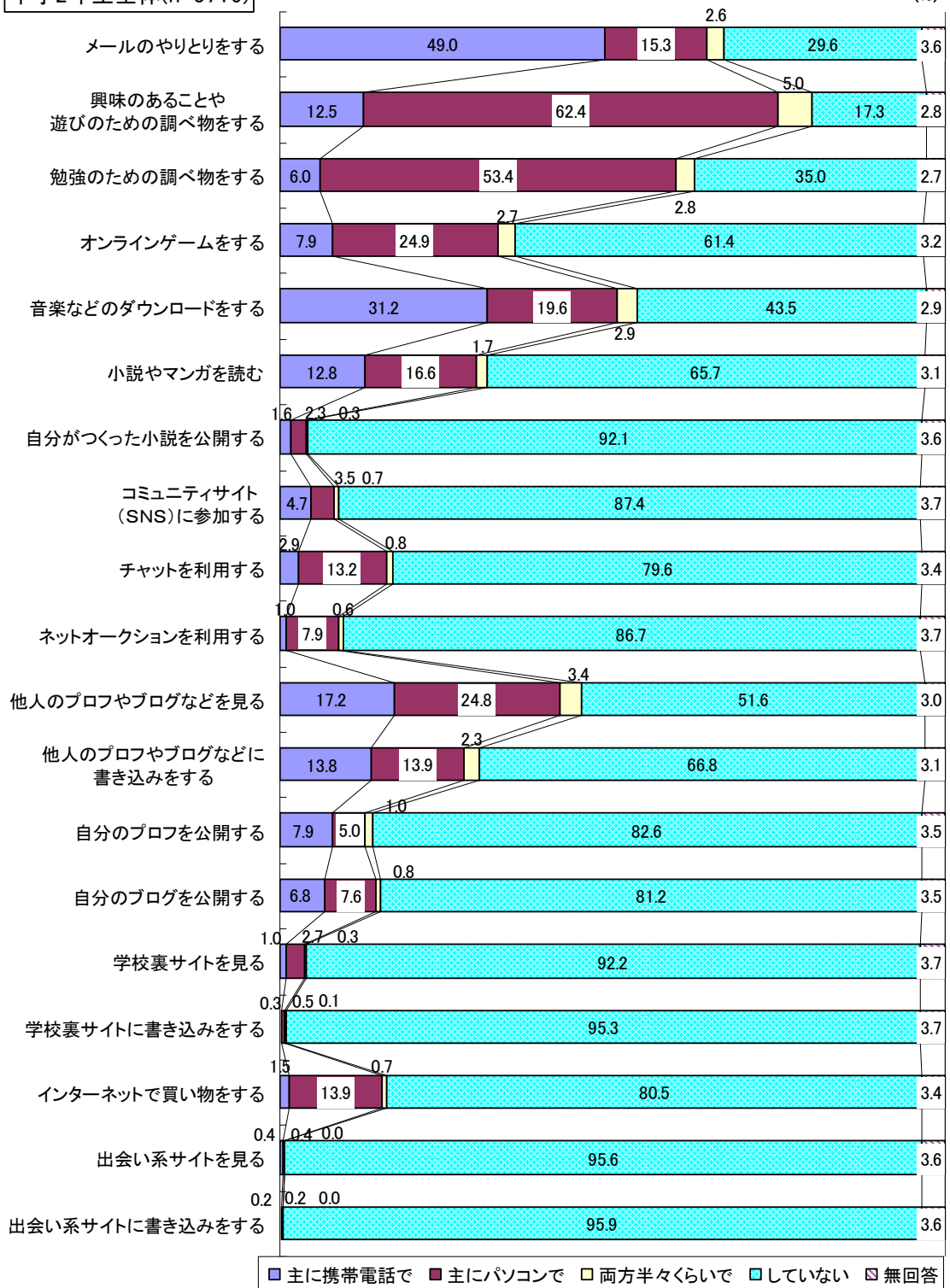


小学6年生女子(n=1553)



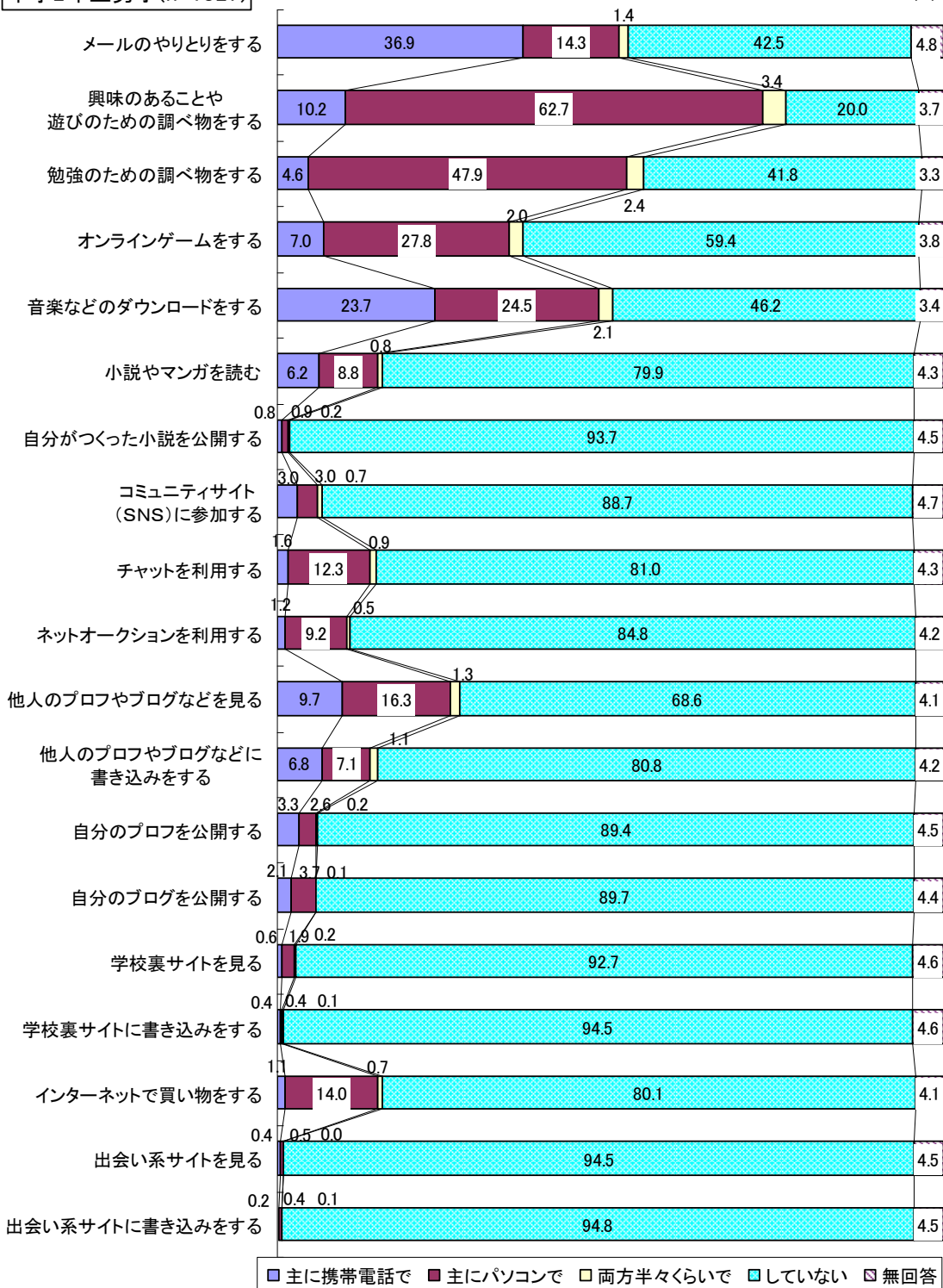
中学2年生全体(n=3716)

(%)

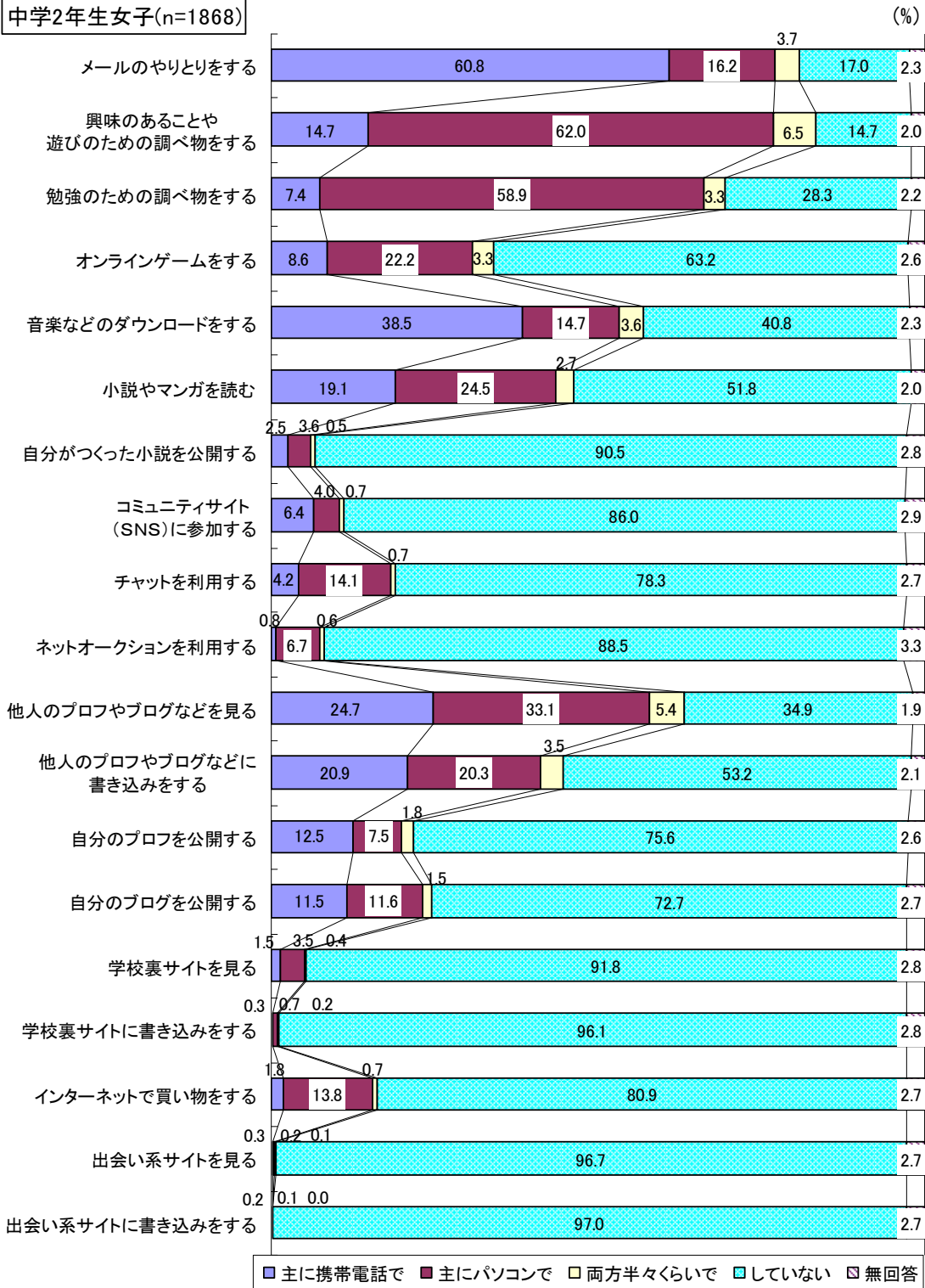


中学2年生男子(n=1827)

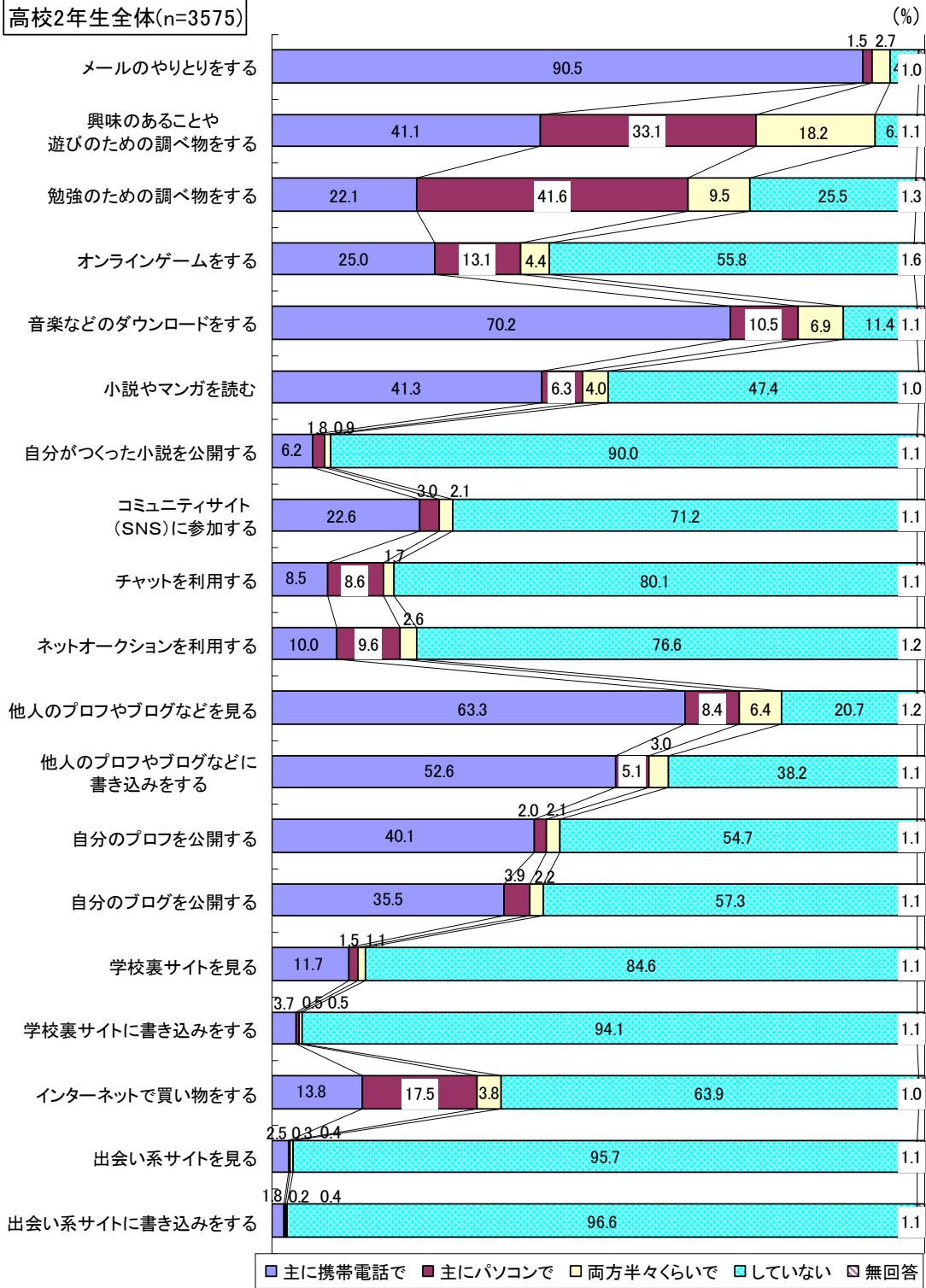
(%)



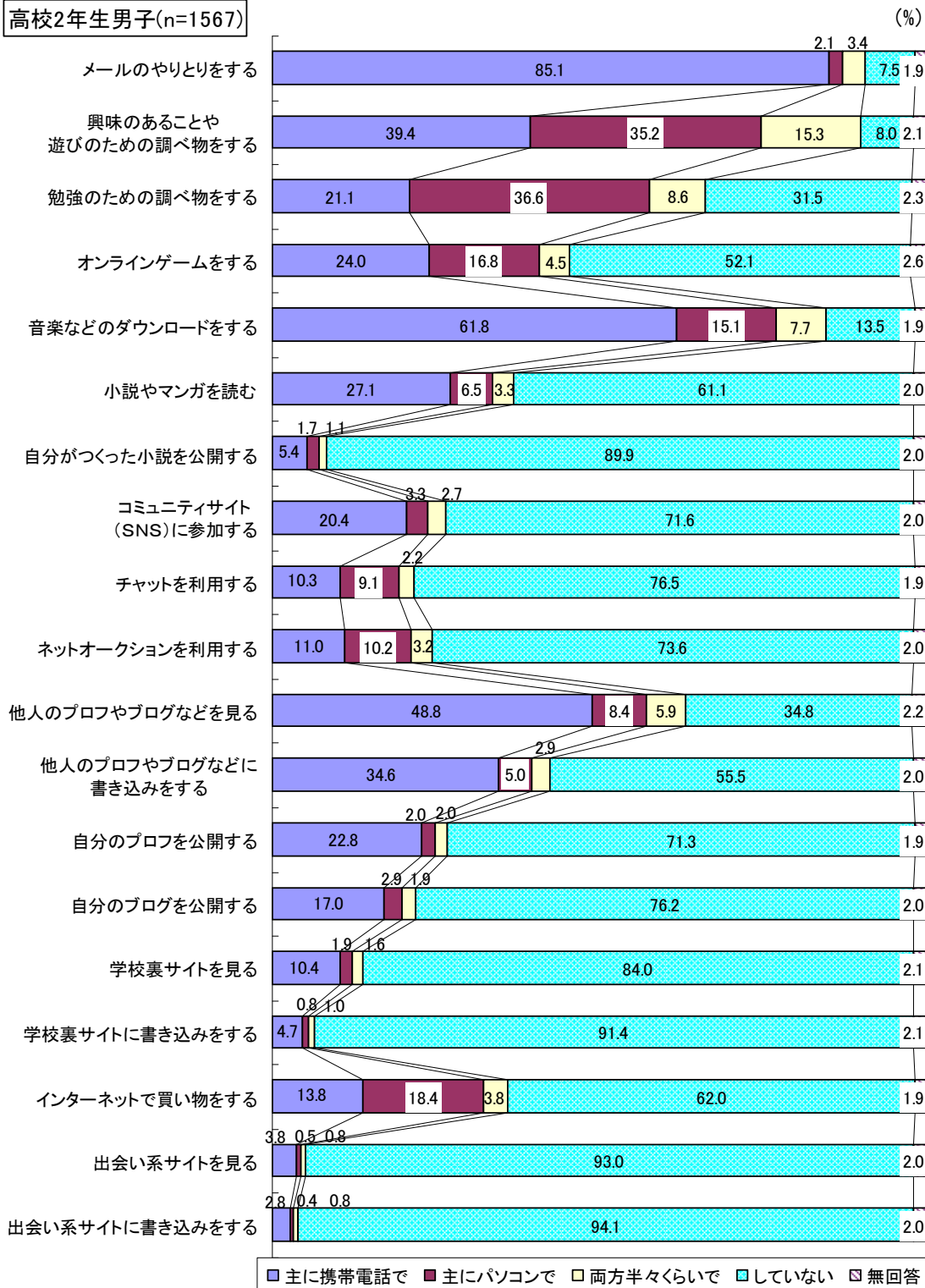
中学2年生女子(n=1868)



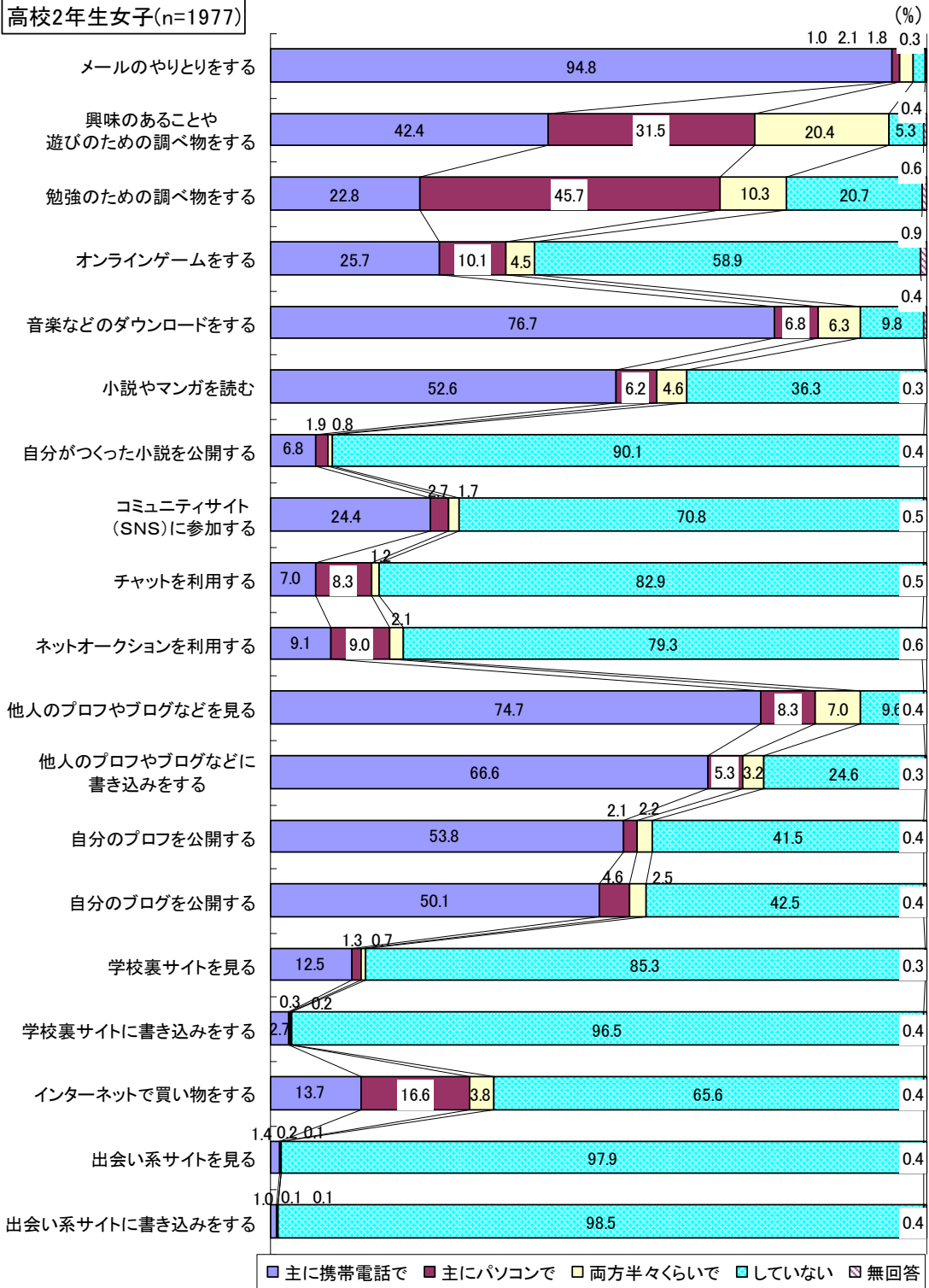
高校2年生全体(n=3575)



高校2年生男子(n=1567)

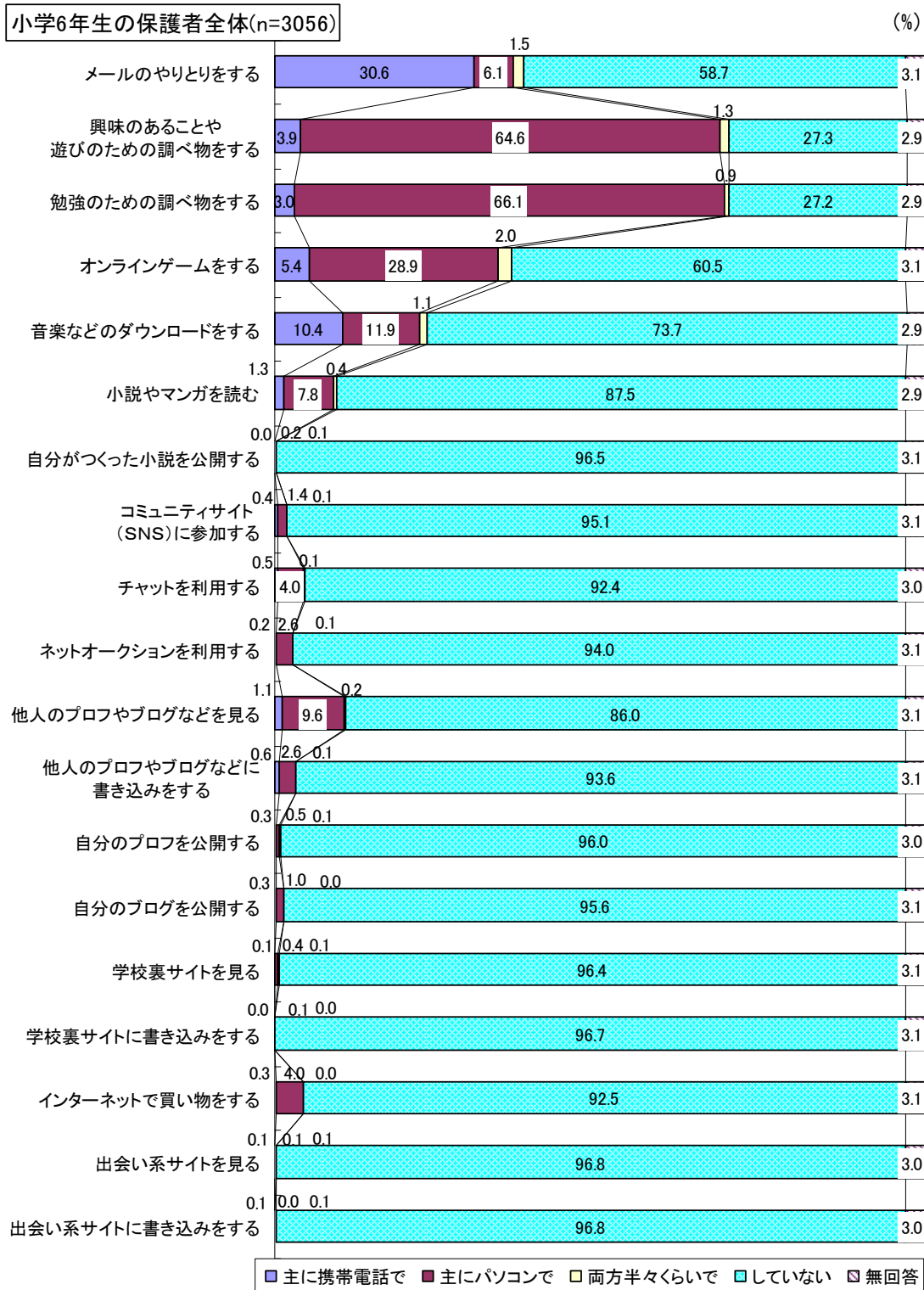


高校2年生女子(n=1977)

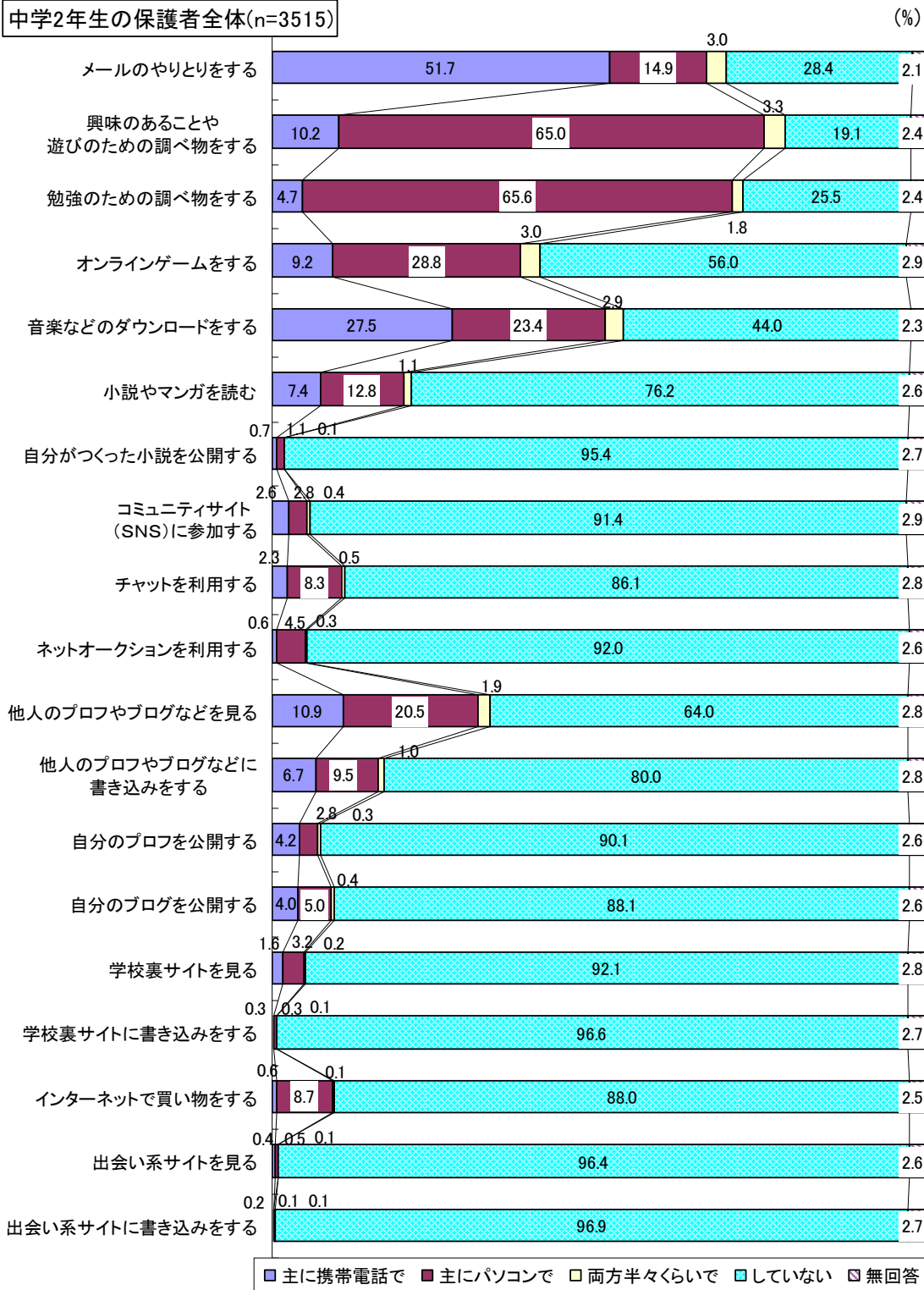


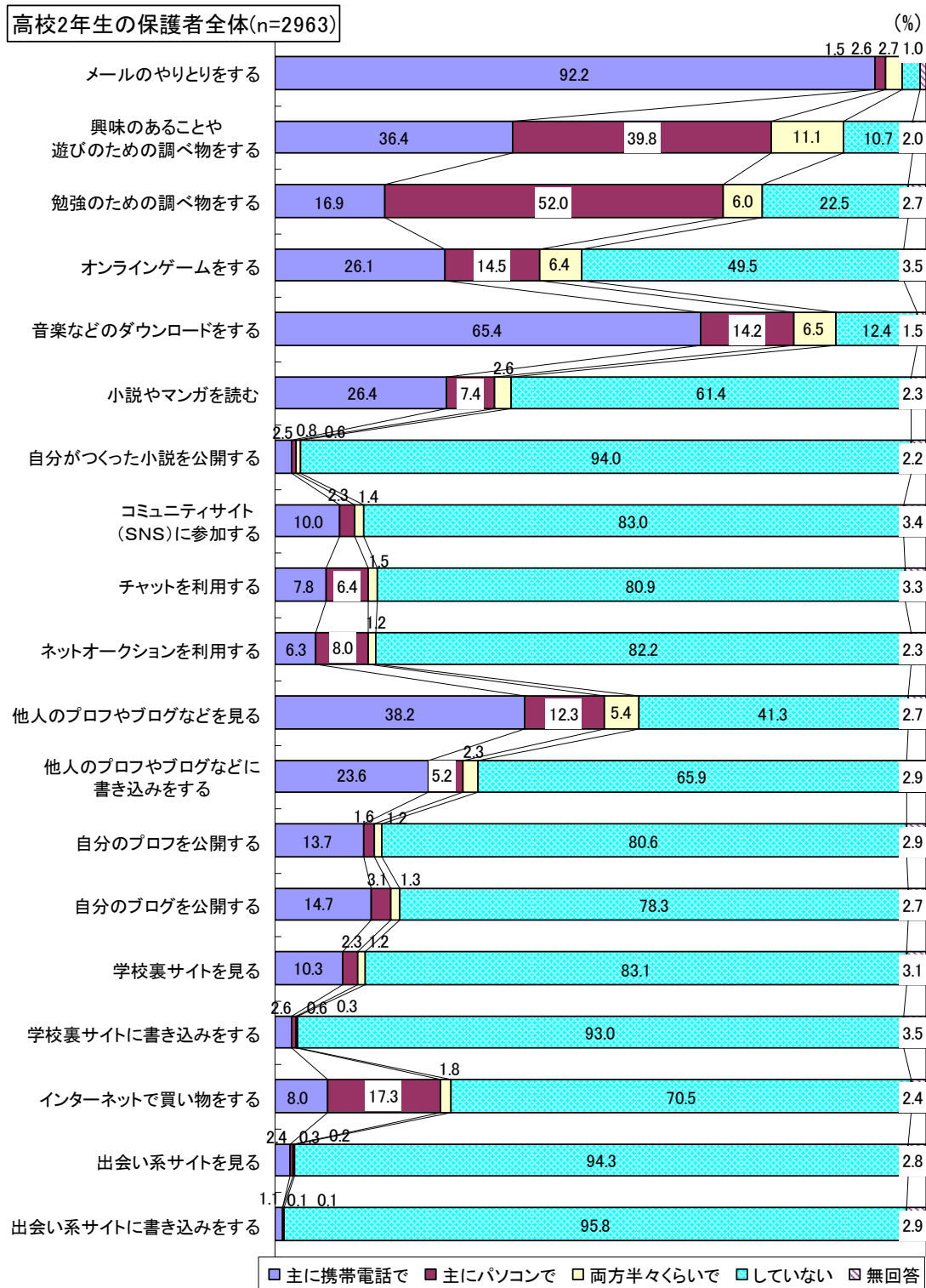
保護者調査Q15

あなたは、お子様が携帯電話やパソコンで、次のことをしたことがあると思いますか。
 (それぞれ、どちらか1つに○)



中学2年生の保護者全体(n=3515)

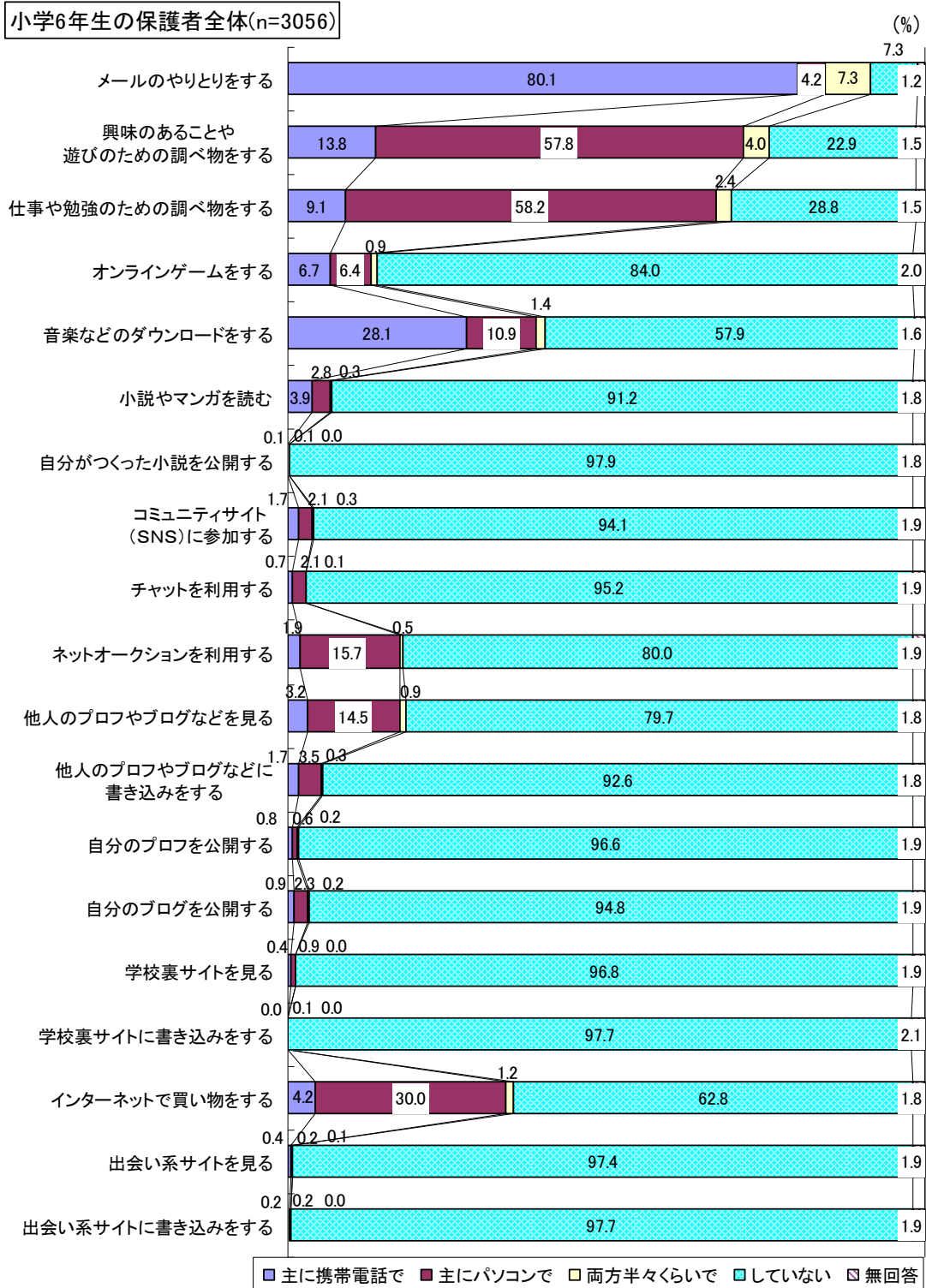




子どもの回答に比べ、自分の子どもがプロフやブログの書き込みや公開をしていると思っている保護者の割合は少ない。

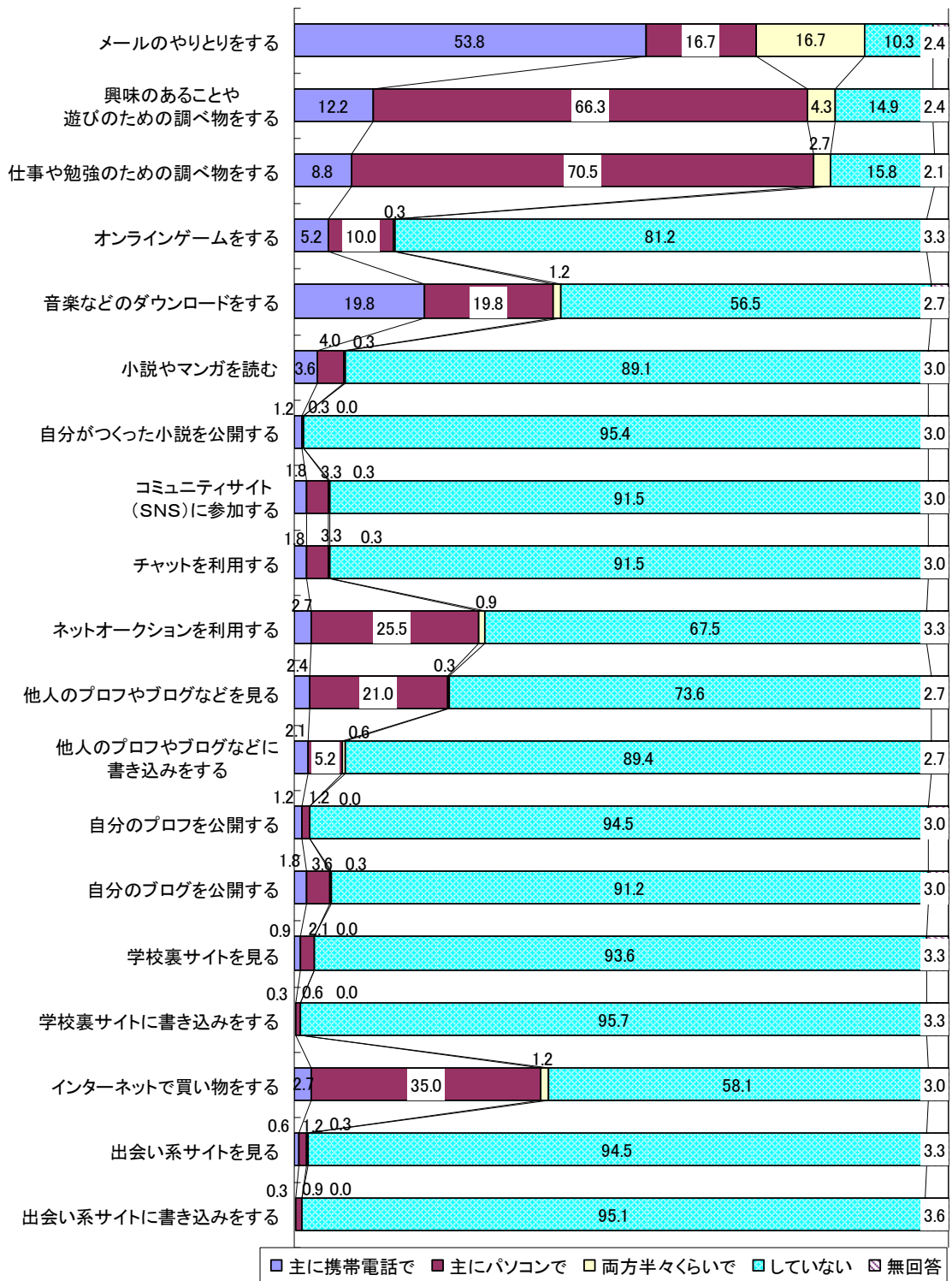
保護者調査Q16

あなたご自身は、携帯電話やパソコンで、次のことをしたことがありますか。
 (それぞれ、どちらか1つに○)

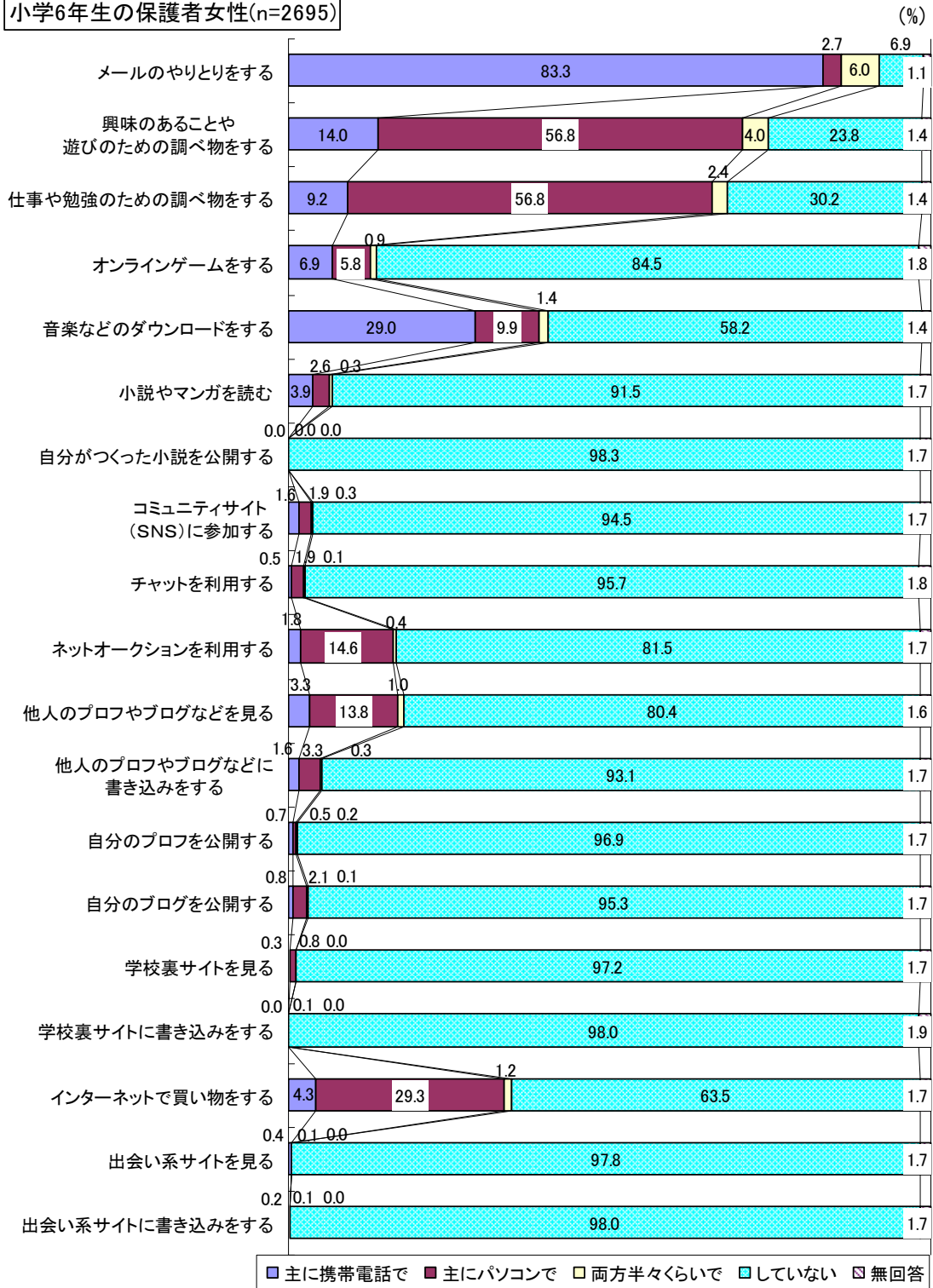


小学6年生の保護者男性(n=329)

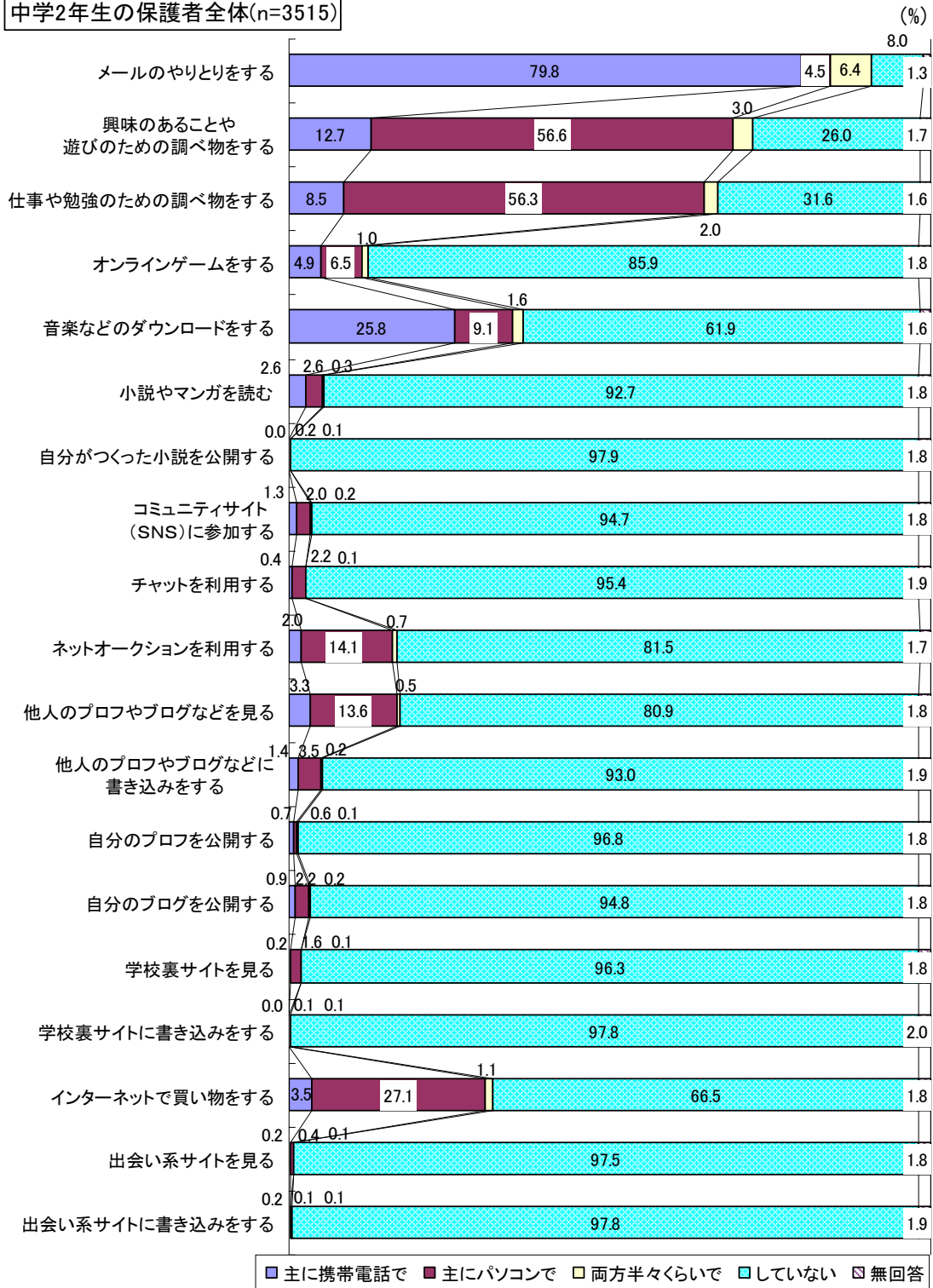
(%)



小学6年生の保護者女性(n=2695)

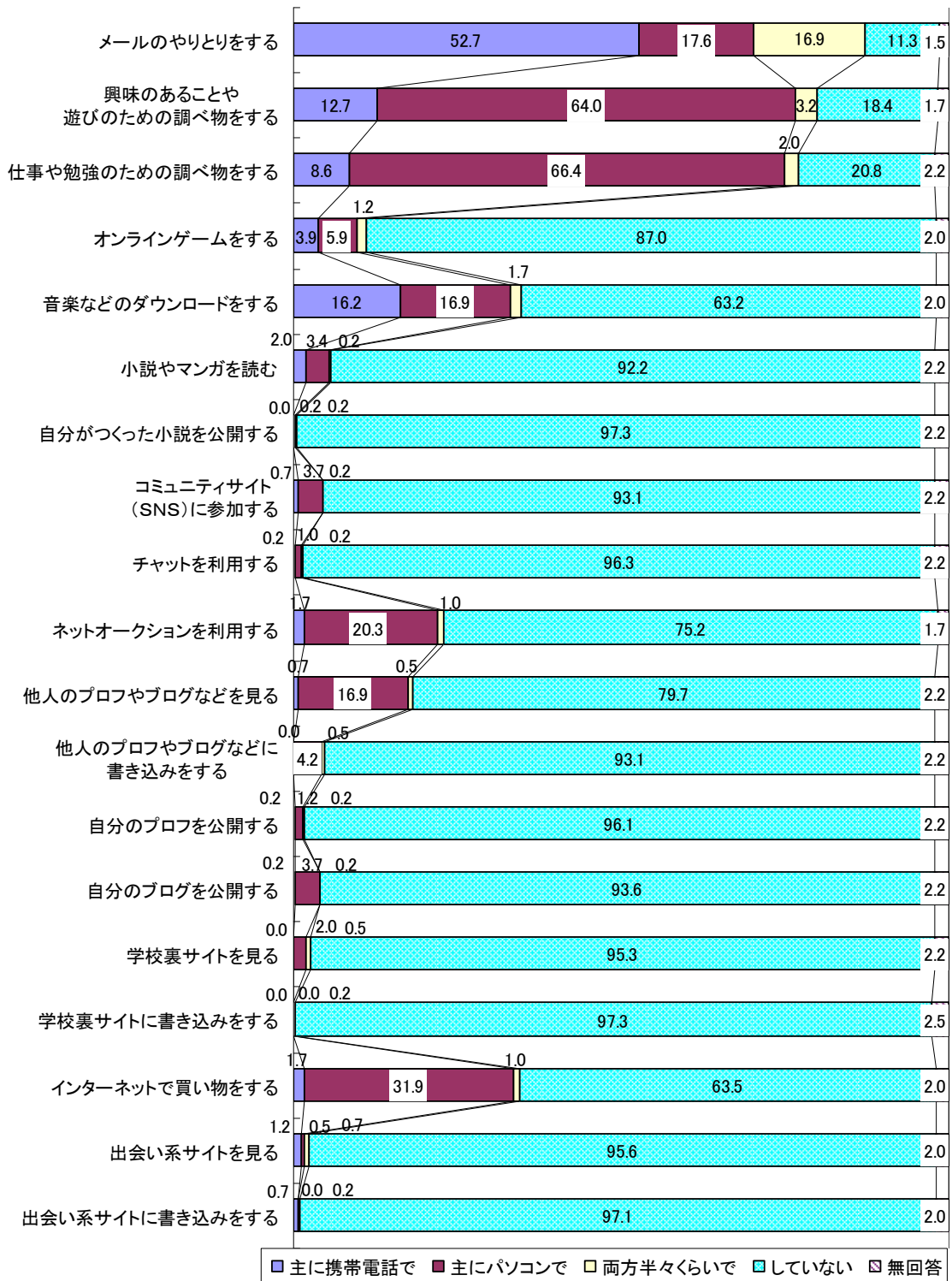


中学2年生の保護者全体(n=3515)

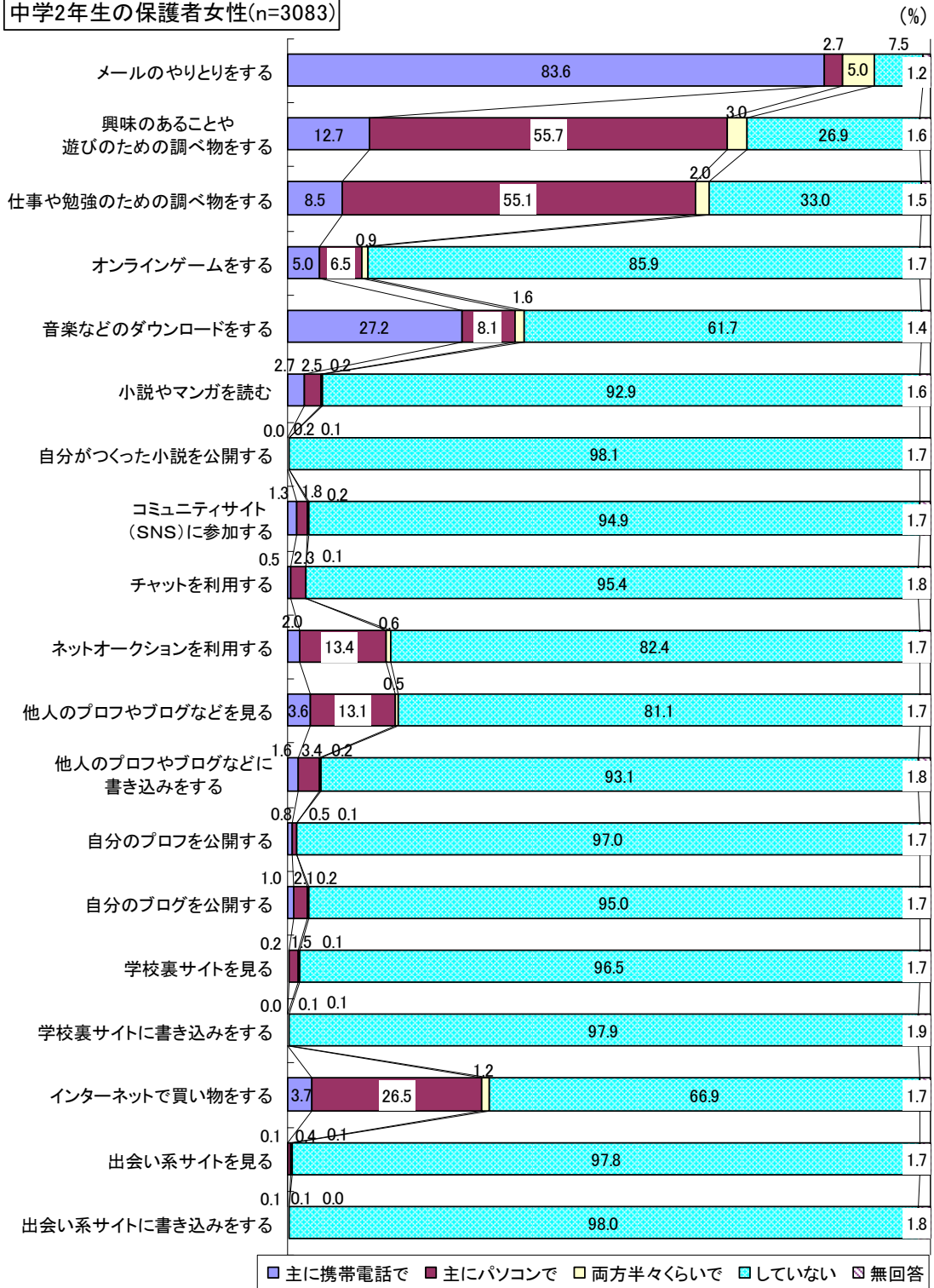


中学2年生の保護者男性(n=408)

(%)

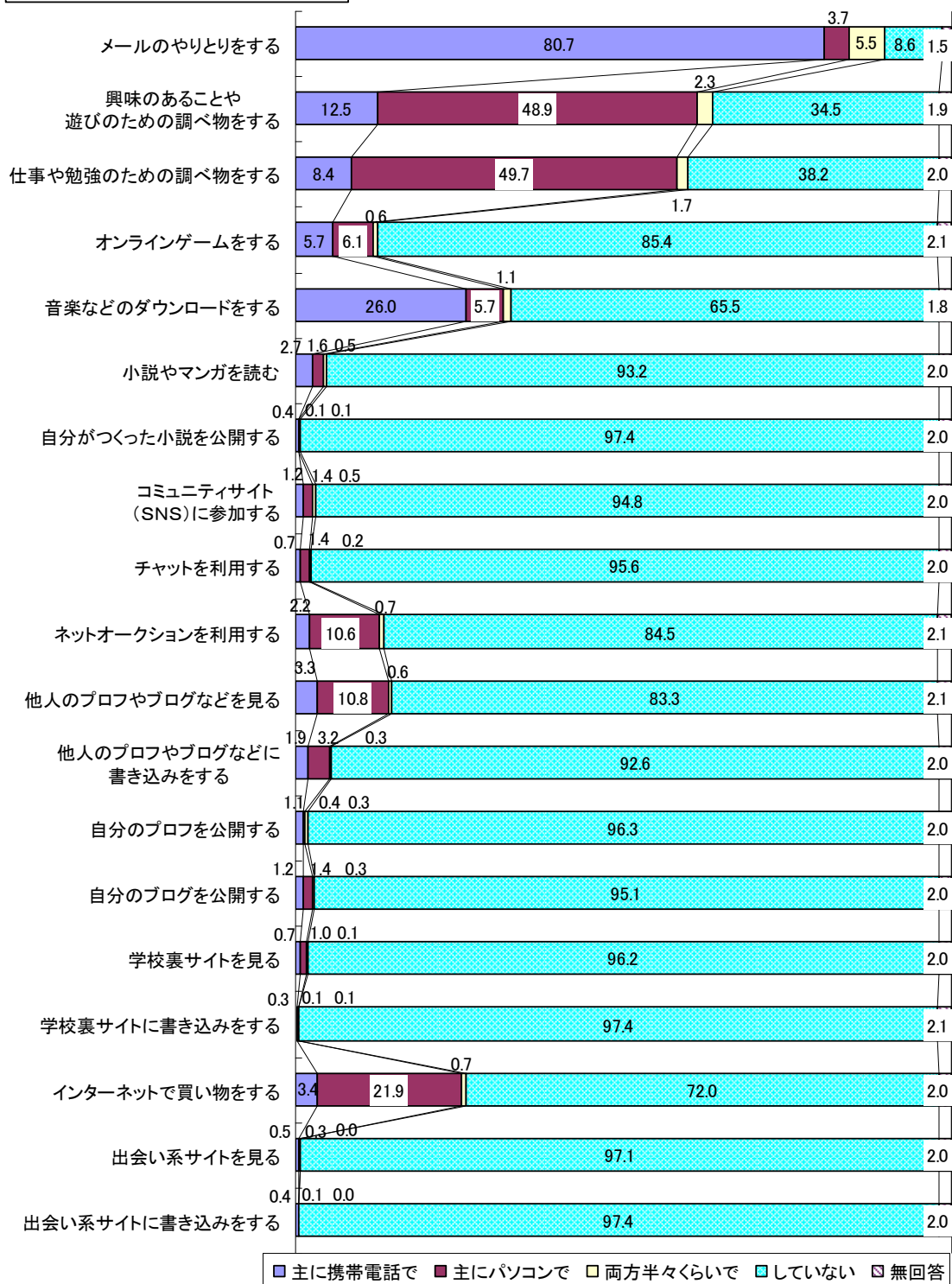


中学2年生の保護者女性(n=3083)



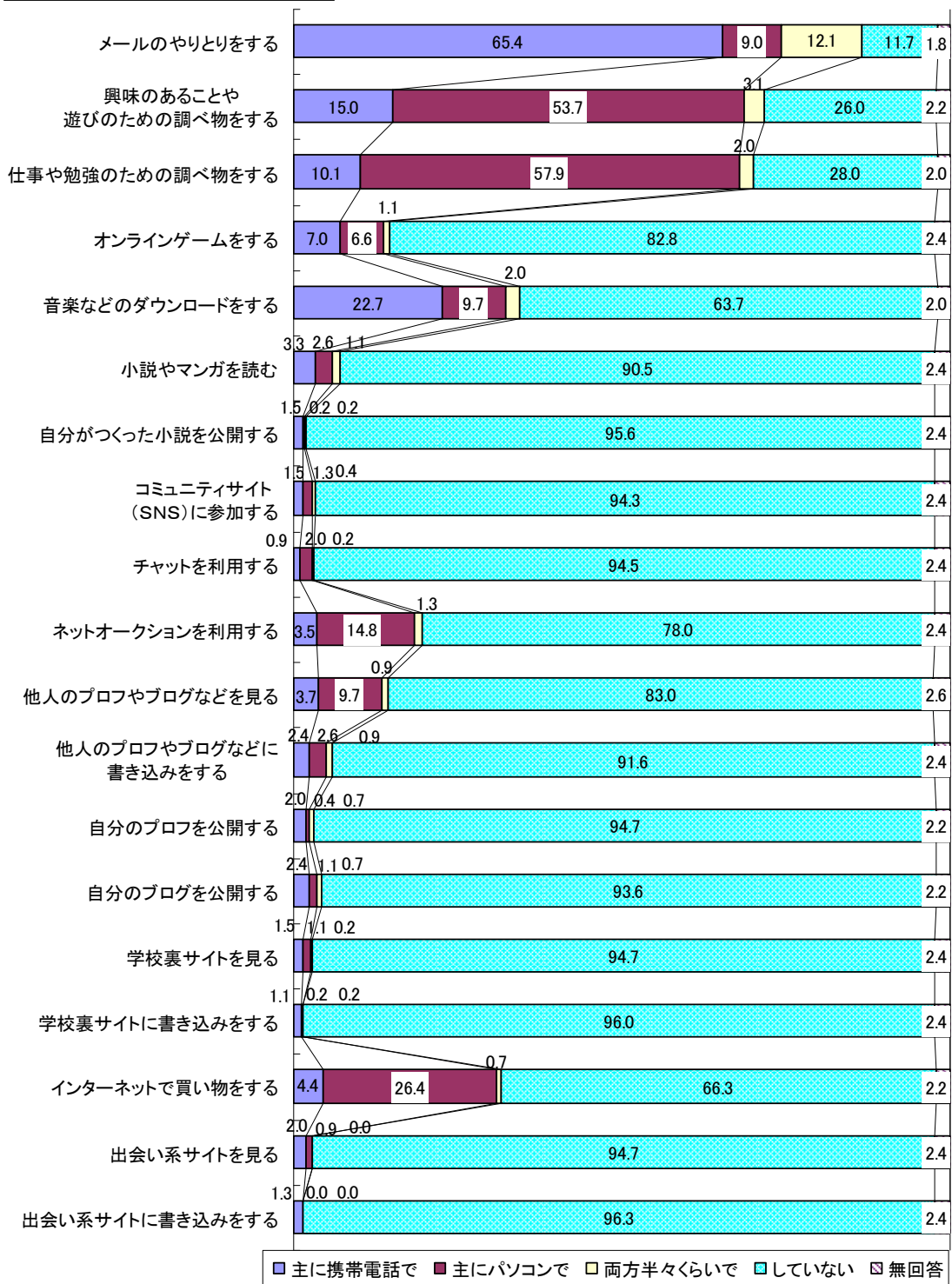
高校2年生の保護者全体(n=2963)

(%)

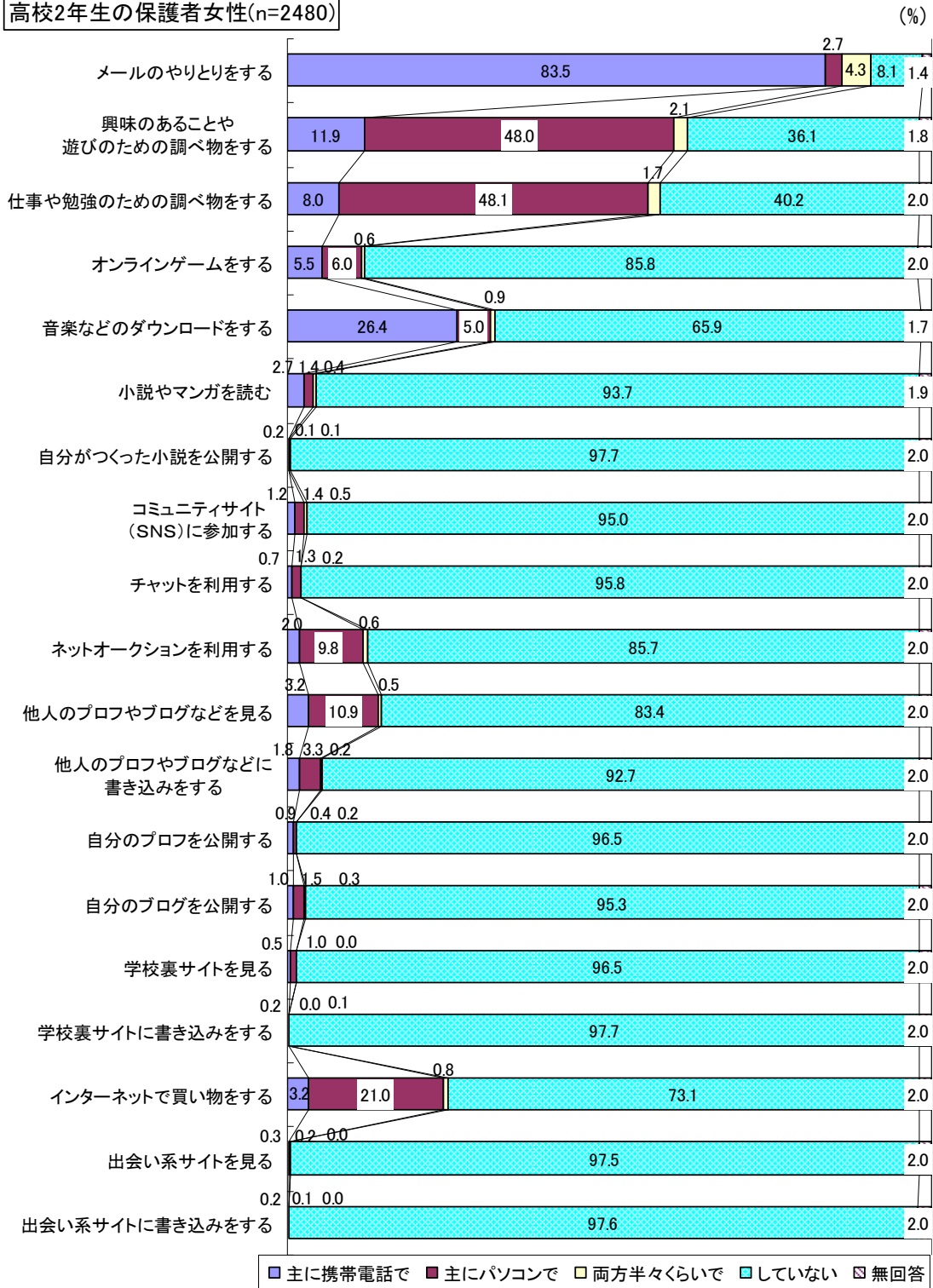


高校2年生の保護者男性(n=454)

(%)



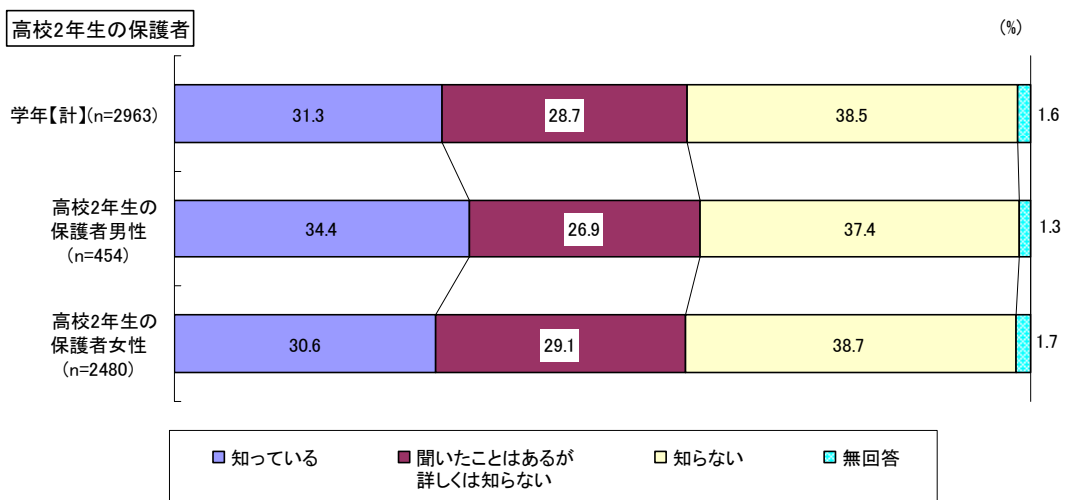
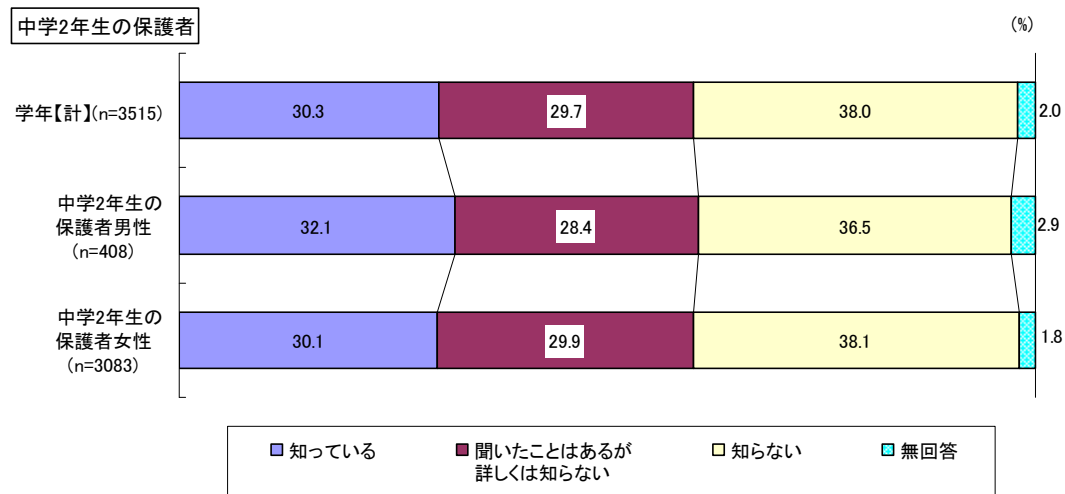
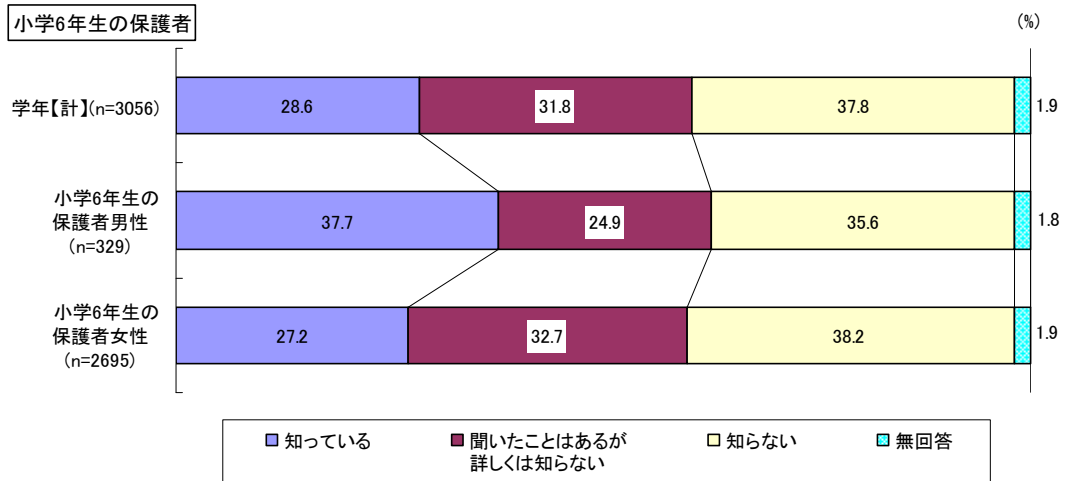
高校2年生の保護者女性(n=2480)



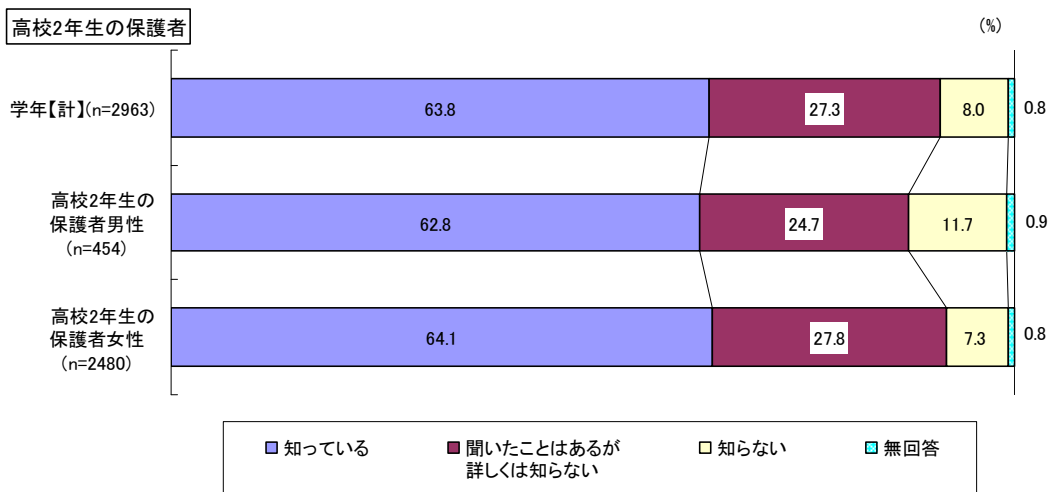
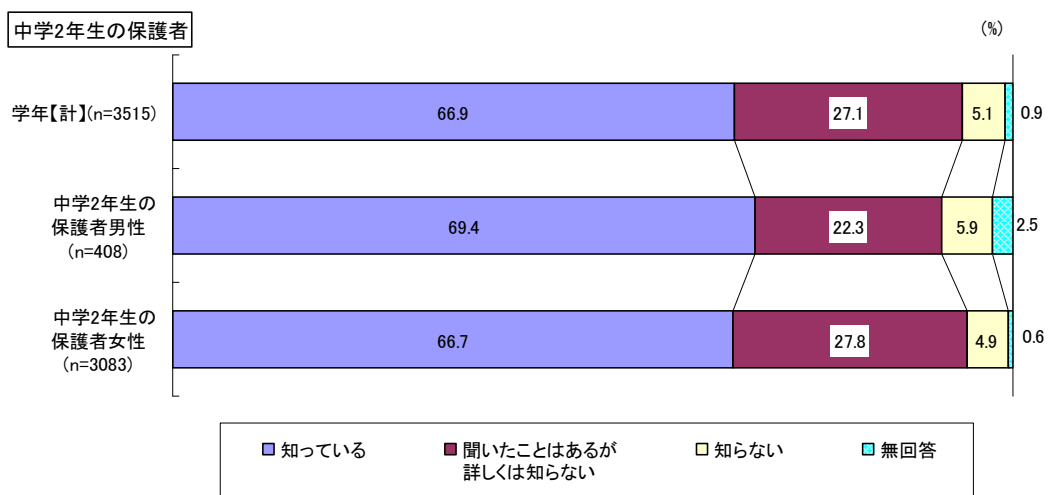
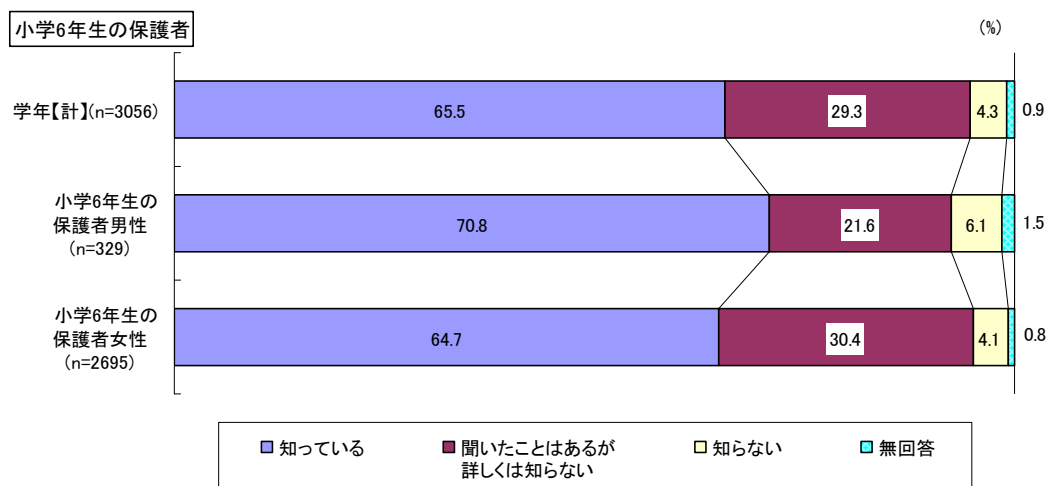
保護者調査Q14

あなたは、以下のことを知っていますか。(それぞれ、どちらか1つに○)

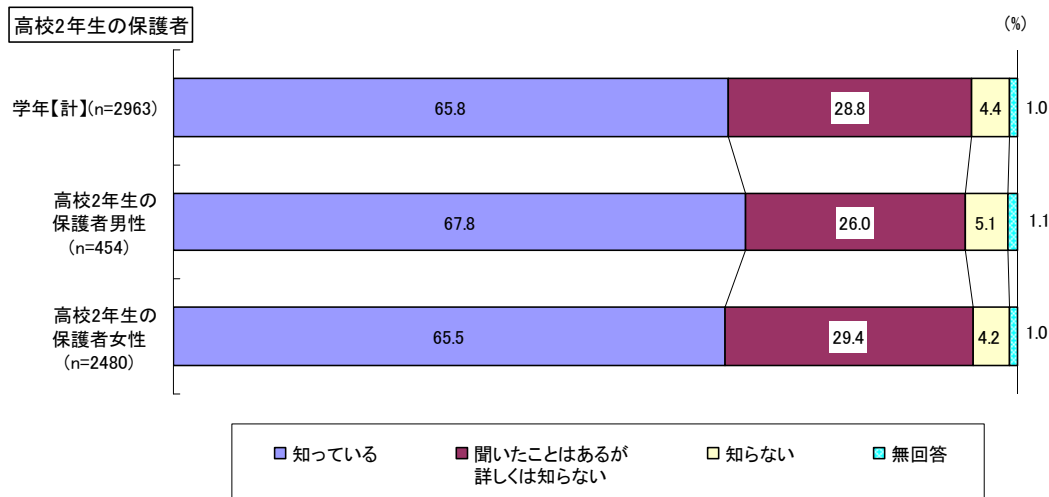
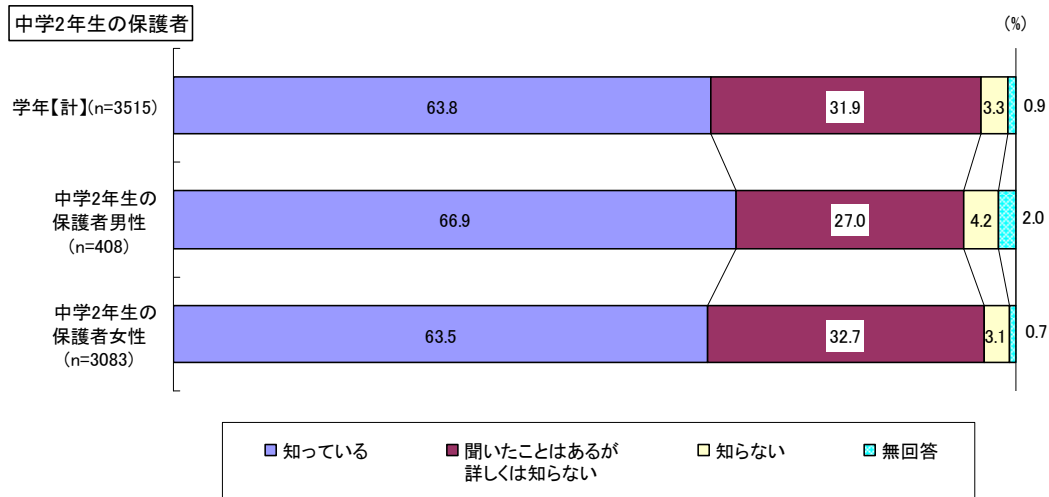
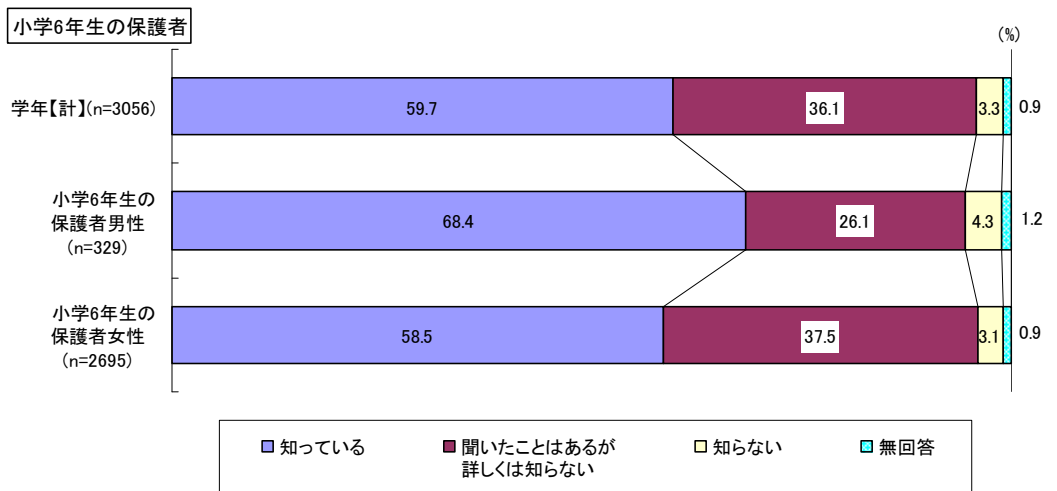
(1) プロフ



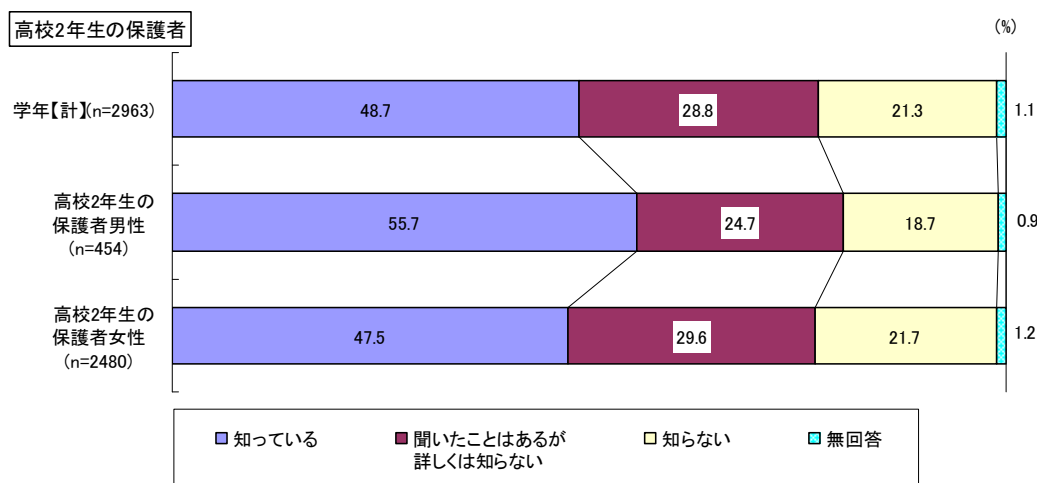
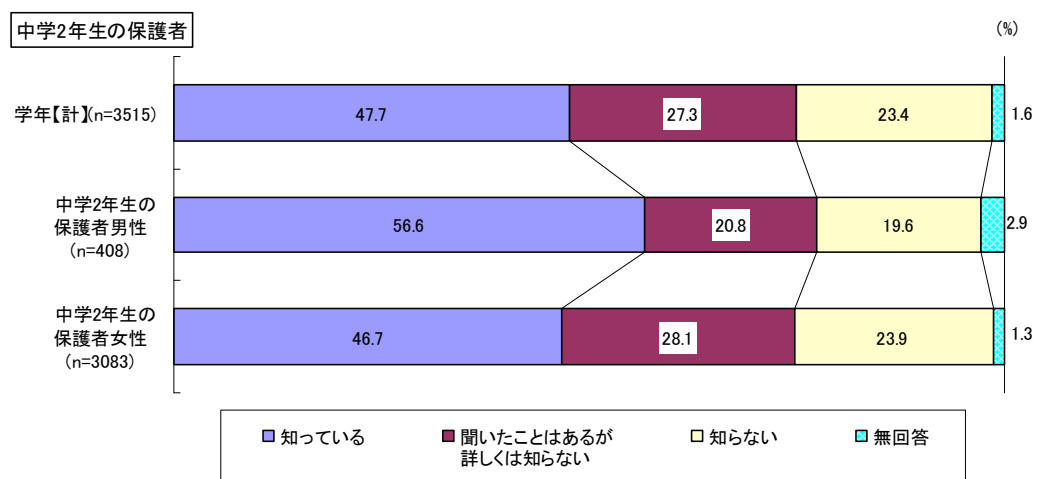
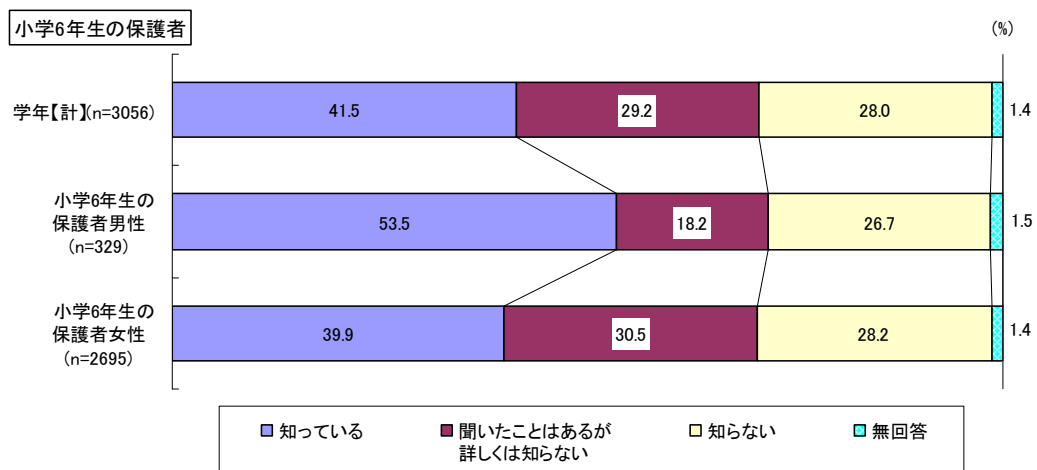
(2) ブログ



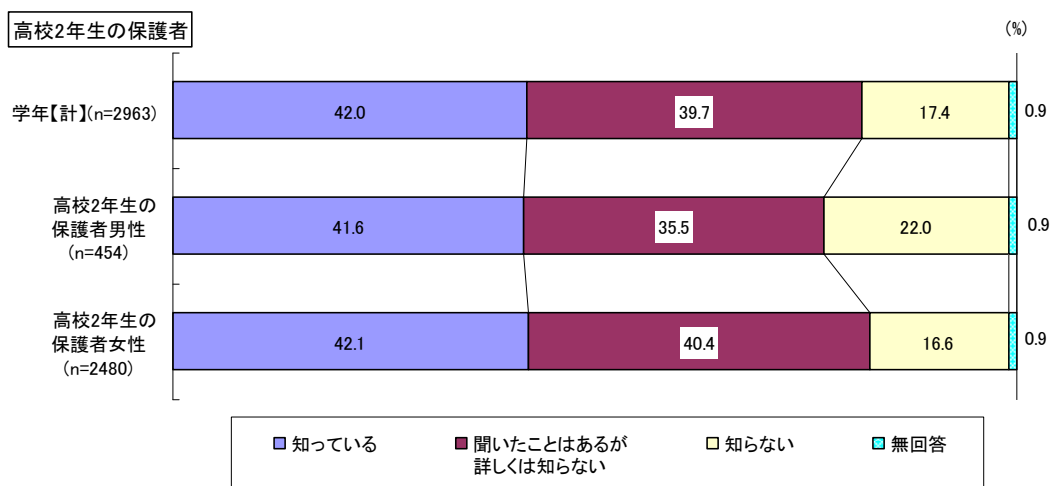
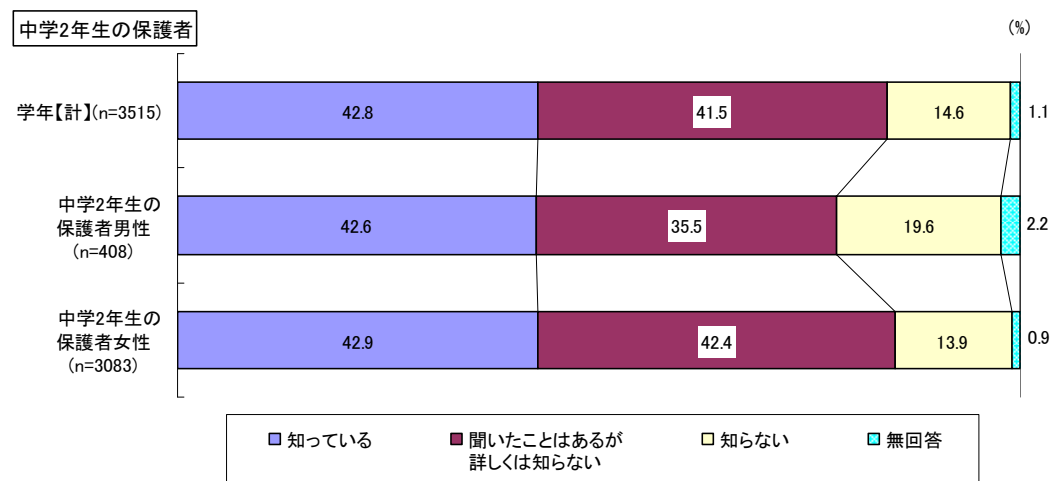
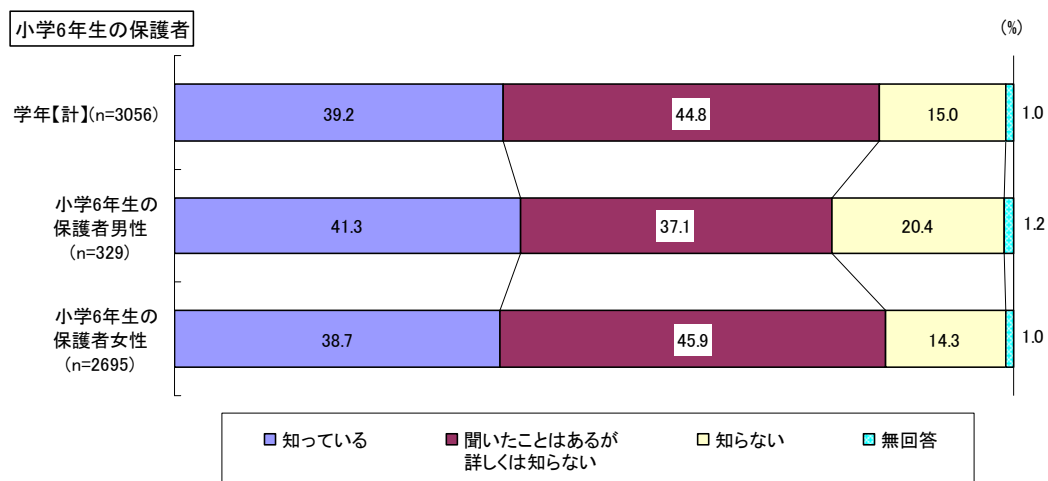
(3) 出会い系サイト



(4) フィルタリング



(5) 学校裏サイト

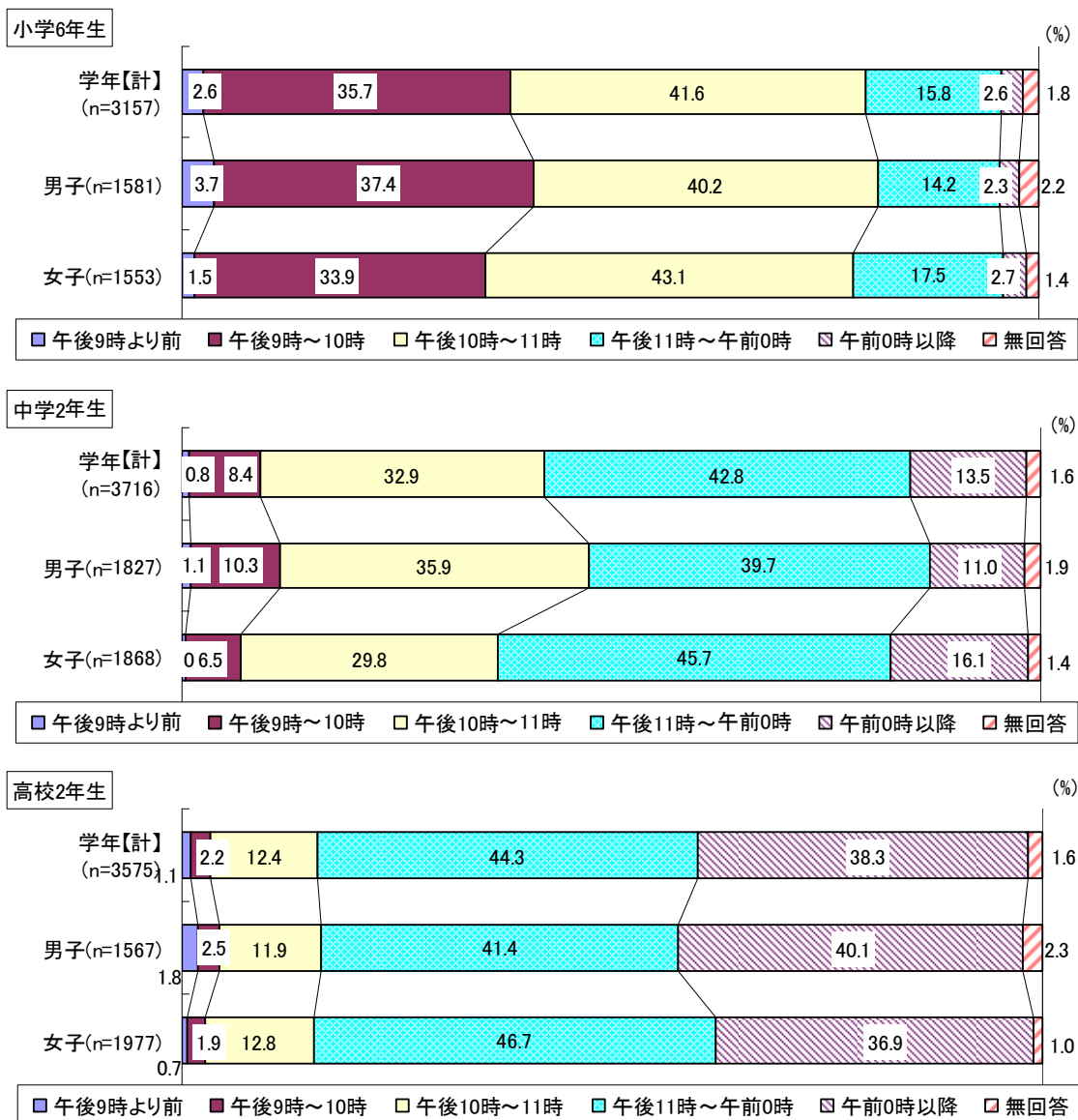


ブログや出会い系サイトについては、「知らない」と回答した割合は各学年の保護者とも1割未満だが、フィルタリングやプロフは「知らない」と回答した保護者が各学年ともそれぞれ2割り超、4割弱に達している。

2.3. 生活の状況

児童生徒調査Q14

あなたは、ふだん学校がある日は、夜何時頃に寝ますか。(どれか1つに○)

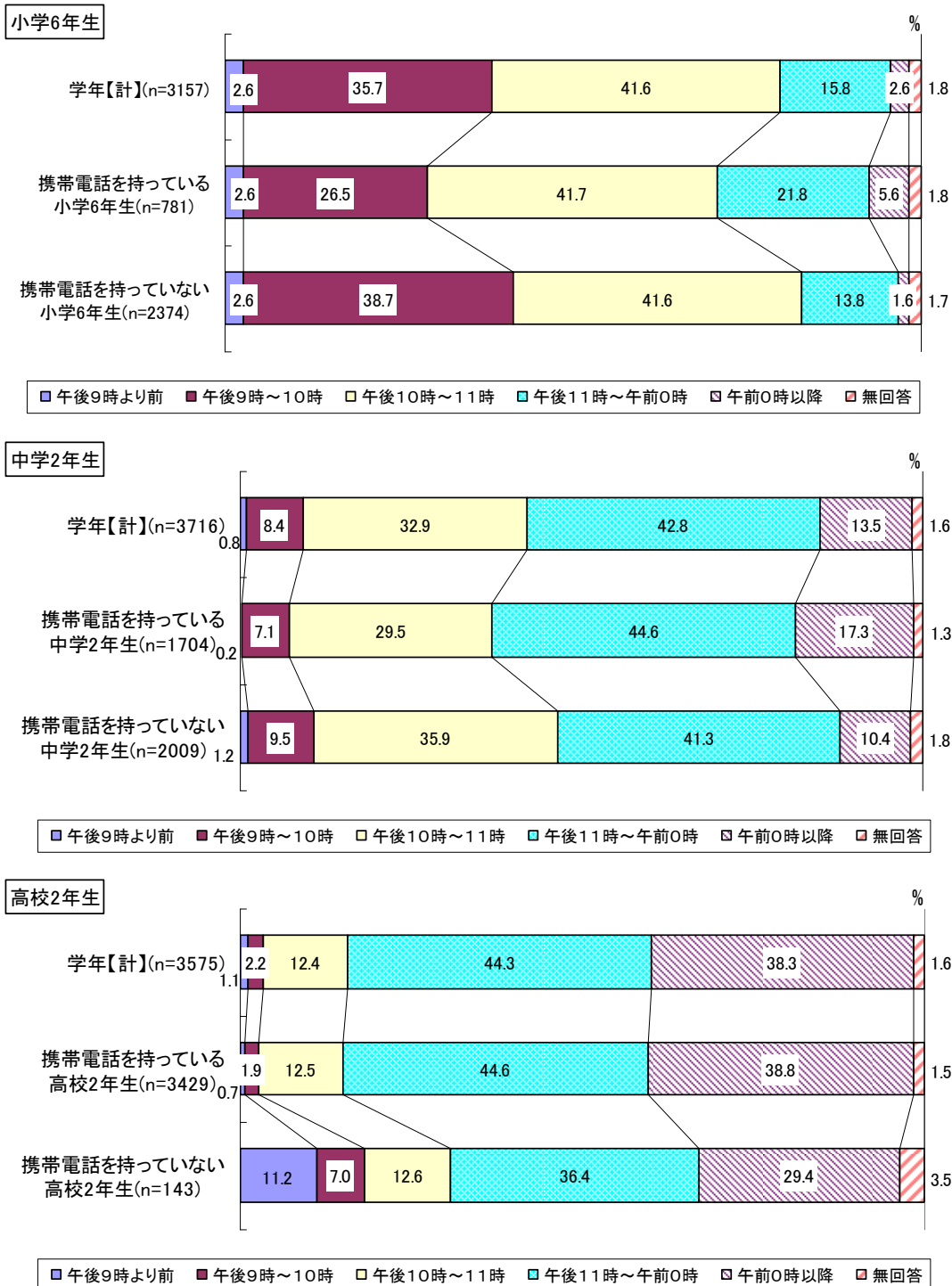


小学6年生では「午後10時～11時」が41.6%、中学2年生、高校2年生では「午後11時～午前0時」がそれぞれ42.8%、44.3%と最も多い。また、高校2年生では午前0時以降に就寝する子どもが4割近くに上る。

さらに男女別で見ると、小学6年生、中学2年生では男子の方が早い時間に寝る傾向にあるが、高校2年生では、男子の方が午前0時以降まで起きている割合が多い。

関連設問との分析（児童生徒調査Q1—児童生徒調査Q14）

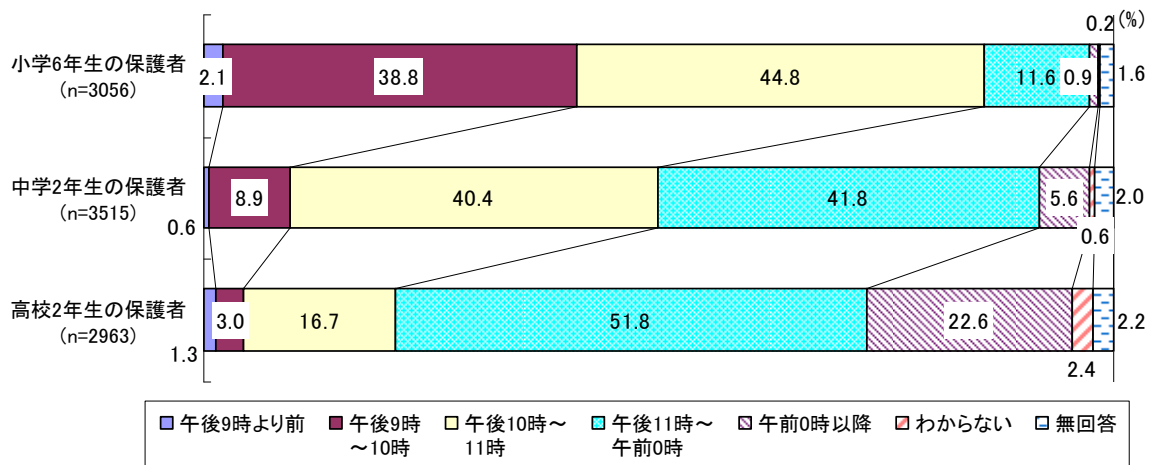
子どもの携帯電話の所有の有無と、就寝時間の関係



全学年において、携帯電話を持っている子どもの方が、就寝時間が遅くなる傾向にある。特に携帯電話を持っている中学2年生は、17.3%が午前0時以降の就寝であり、さらに高校2年生では、中学2年生の倍以上の38.8%が午前0時以降の就寝となっている。

保護者調査Q17

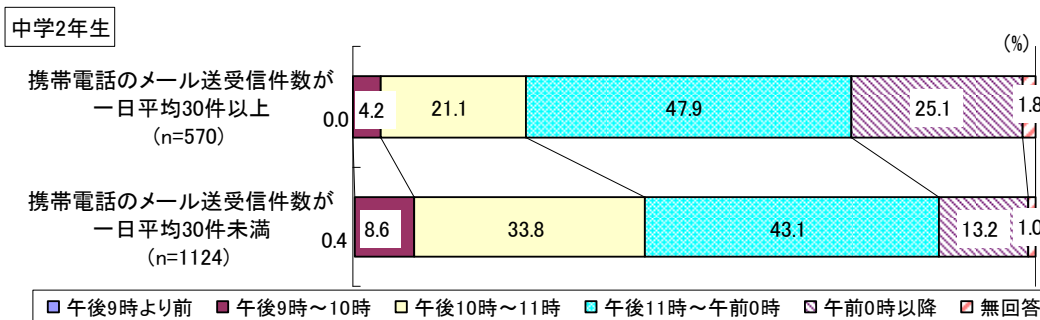
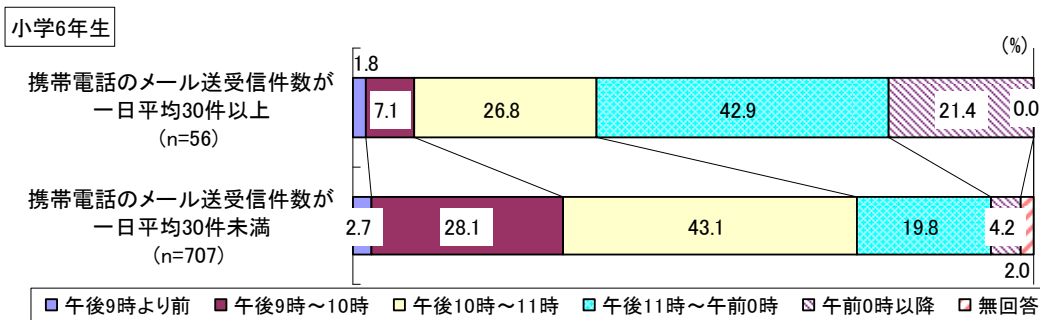
あなたのお子様は、ふだん学校がある日は、夜何時頃に寝ますか。(どれか1つに○)

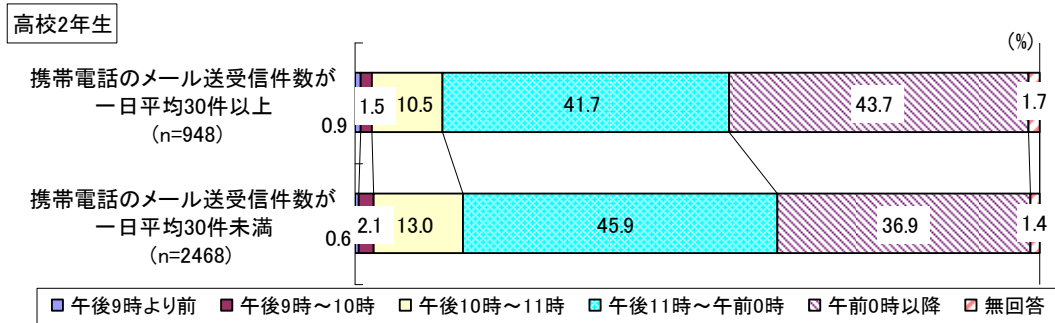


児童生徒調査 Q14と比較すると、子どもが回答している就寝時間と、保護者が把握している子どもの就寝時間とで、最も割合の高い時間帯は同じだが、「午前0時以降」と答えた中学2年生、高校2年生がそれぞれ13.5%、38.3%いるのに対し、保護者で午前0時以降に子どもが就寝していると回答した割合は、それぞれ5.6%、22.6%と子どもの半分程度である。保護者が思っている以上に、中学生、高校生が夜遅くまで起きていることが伺える。

関連設問との分析 (児童生徒調査Q6—児童生徒調査Q14)

子どもの携帯電話のメール送受信件数と、就寝時間の関係



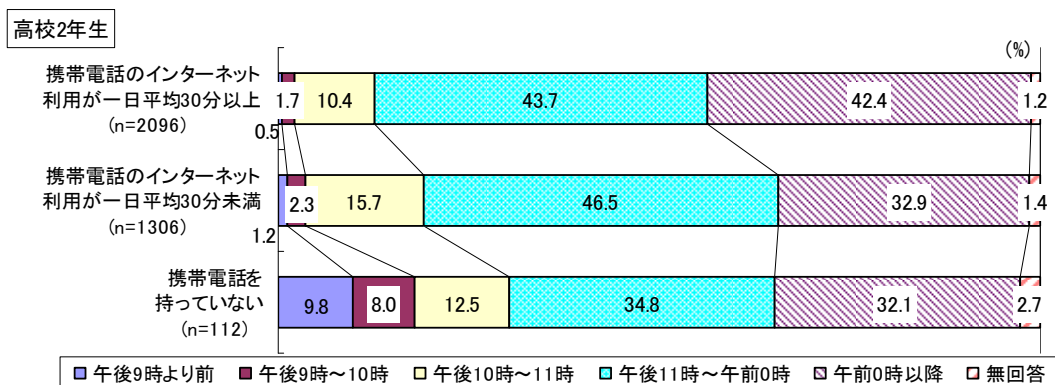
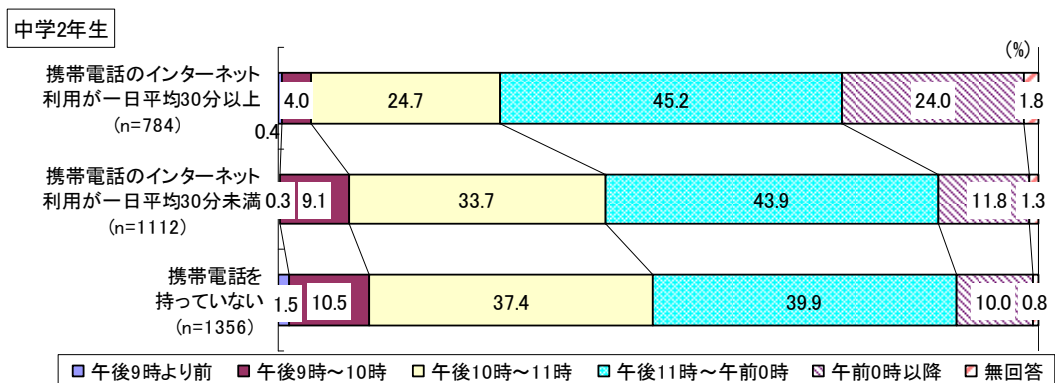
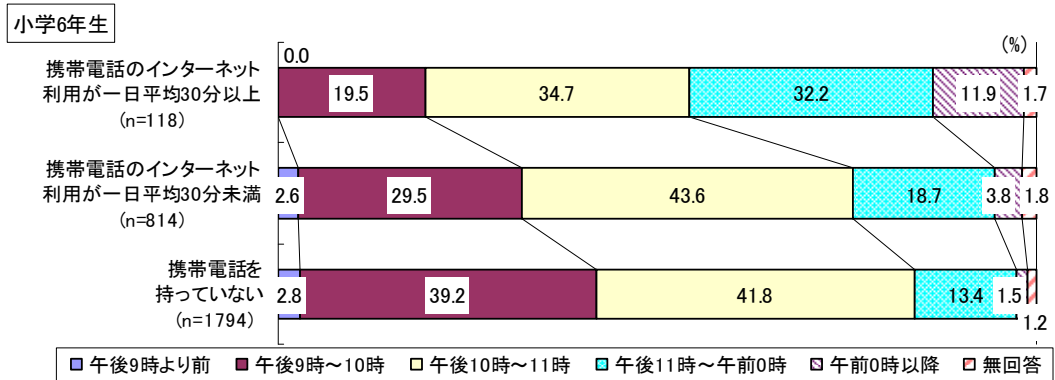


各学年で、携帯電話によるメールが一日平均 30 件以上の子どもの方が、就寝時間が遅い傾向にある。特に、小学 6 年生、中学 2 年生ではその傾向が顕著である。

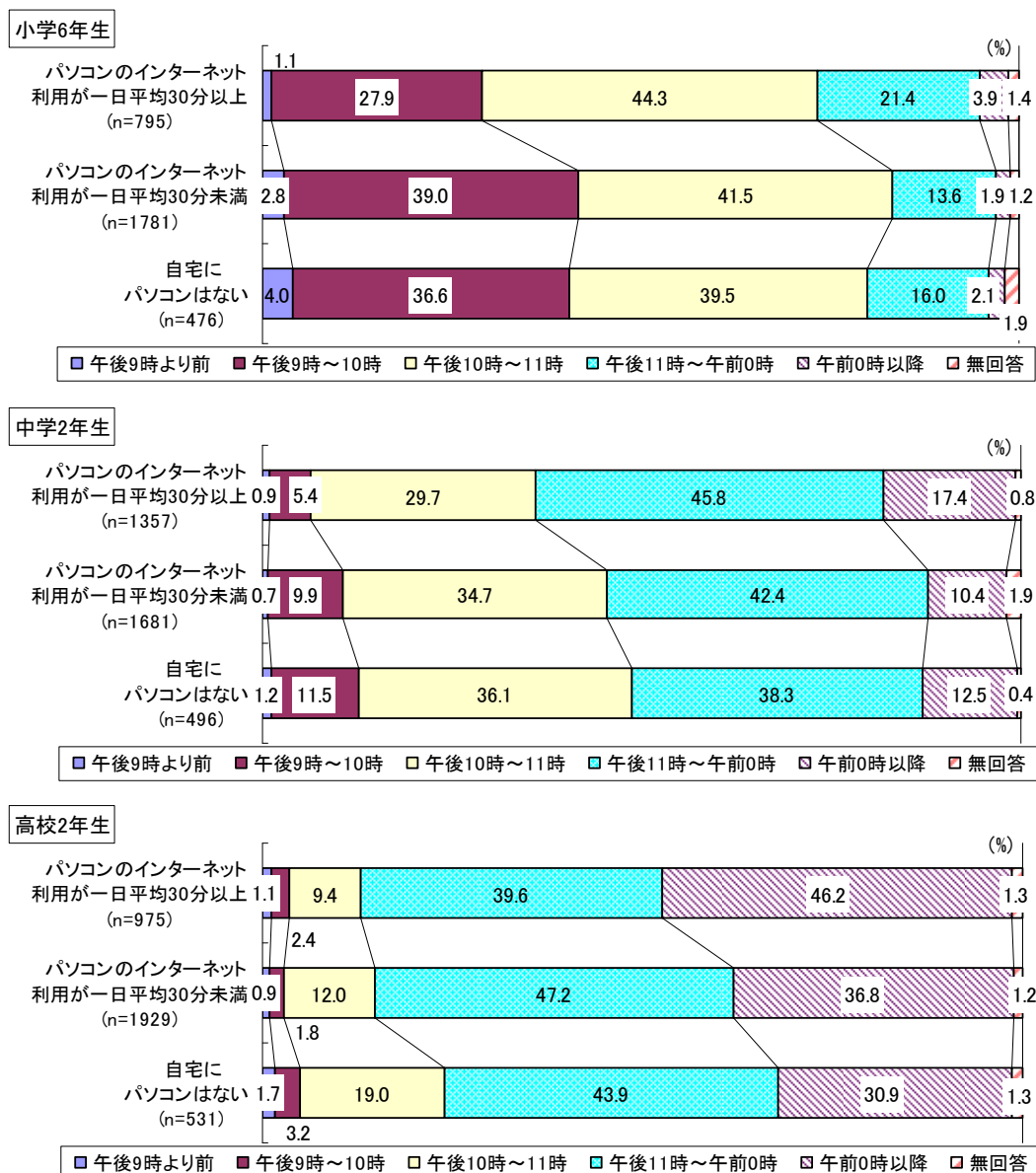
関連設問との分析 (児童生徒調査 Q 1 2—児童生徒調査 Q 1 4)

携帯電話、パソコンを使ったインターネット利用状況と、就寝時間の関係

(1) 携帯電話利用との関係



(2) パソコン利用との関係



※ 携帯電話、パソコンでの利用の「30分未満」には、児童生徒調査Q12の「5. ほとんど使用しない」も含む。

携帯電話、パソコンに関わりなく、インターネットを30分以上利用する子どもの方が、就寝時間が遅くなる傾向にある。

特に高校2年生では、携帯電話もしくはパソコンでインターネットを30分以上利用する子どものうち、午前0時以降に就寝する割合が40%を超えており、携帯電話、パソコンを所有しない子どもに比べて10%以上多い結果となった。

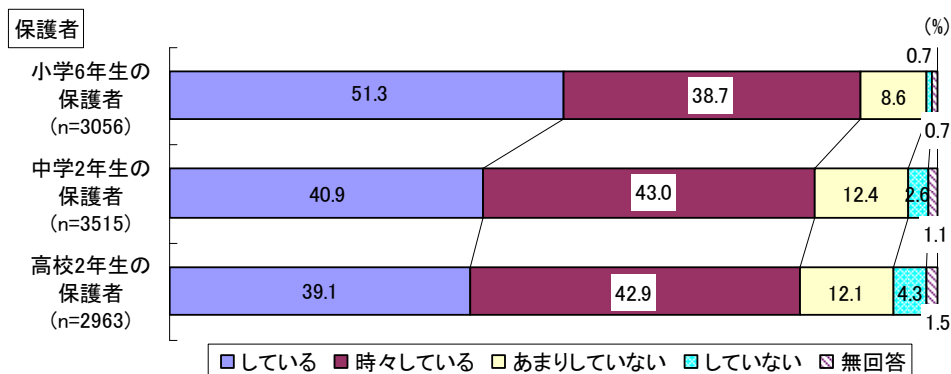
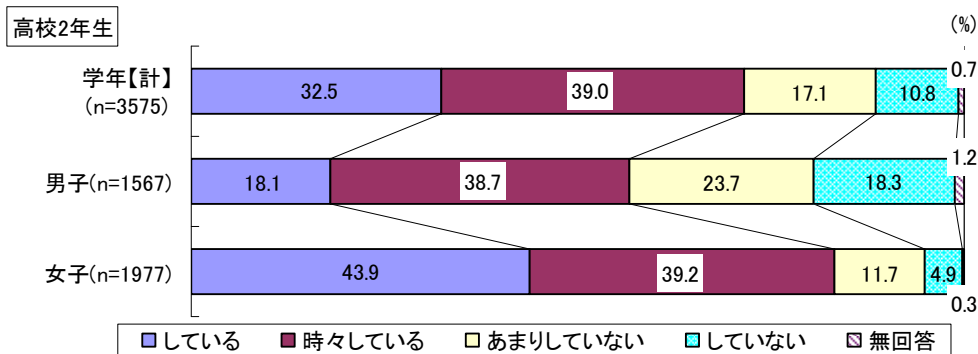
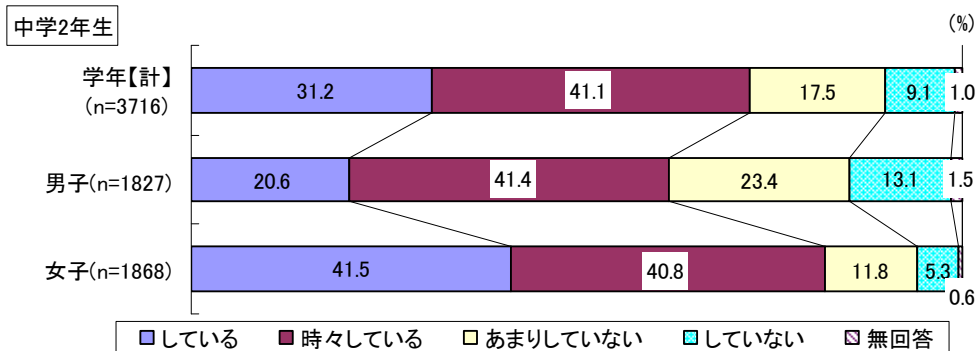
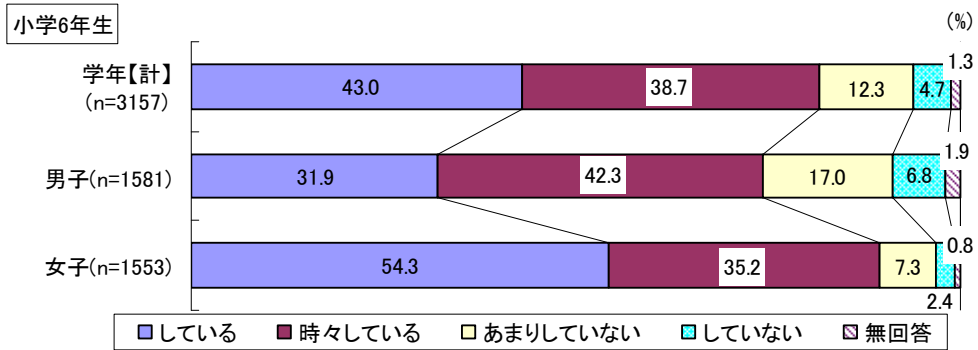
児童生徒調査Q15

保護者調査Q18

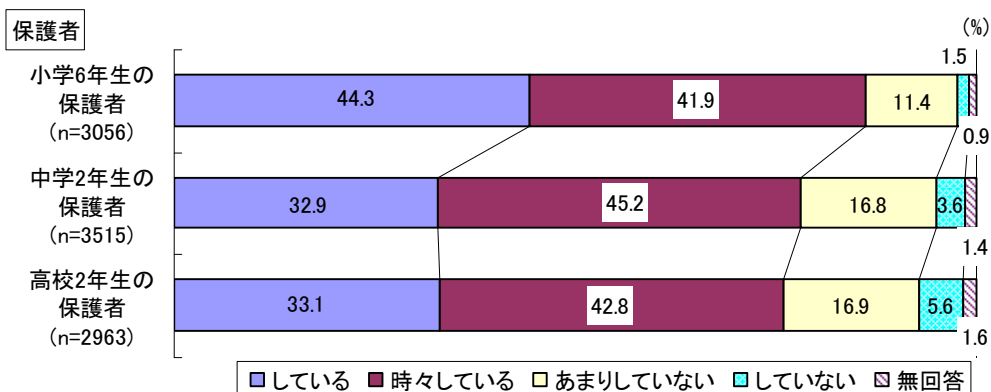
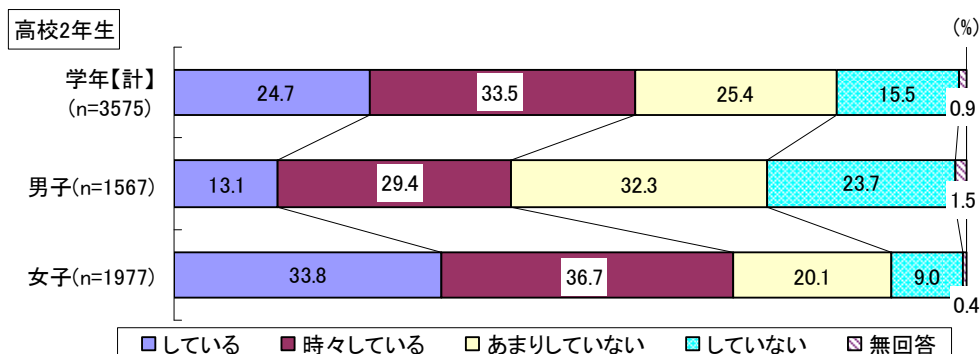
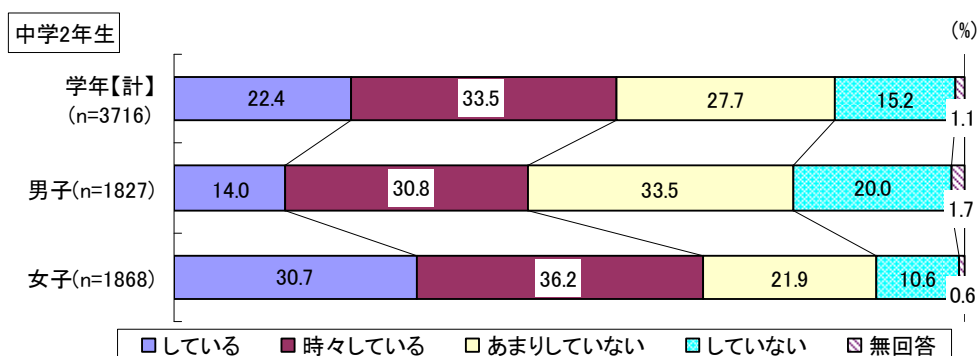
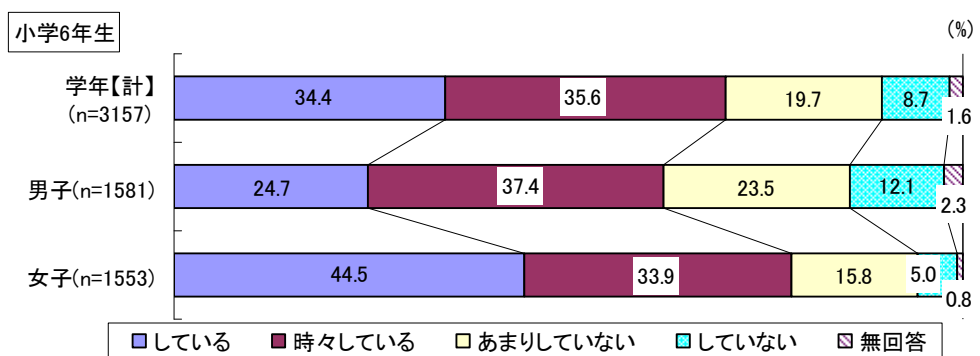
児童生徒：あなたは、次のことをどれくらいしていますか。（それぞれ、どれか1つに○）

保護者：あなたのお子様は次のことをどれくらいしていますか。（それぞれ、どれか1つに○）

(1) 学校での出来事を保護者に話す

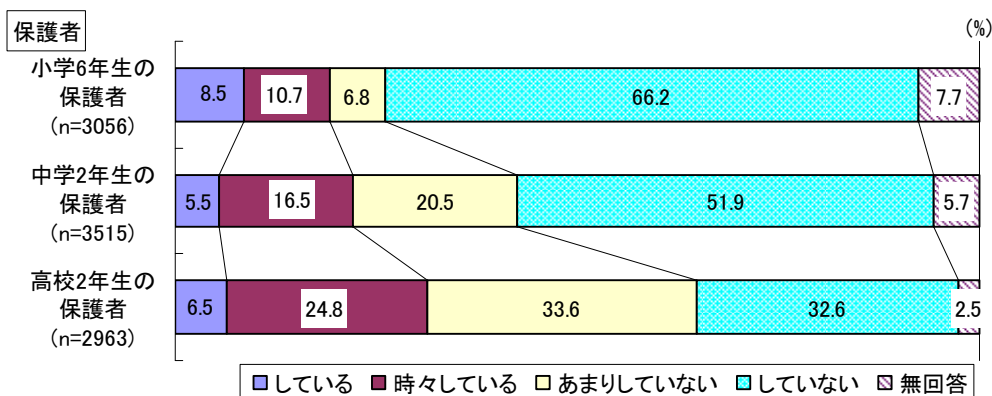
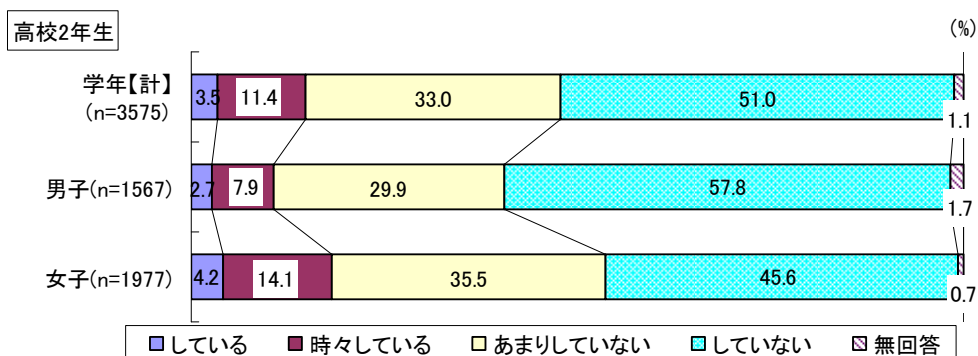
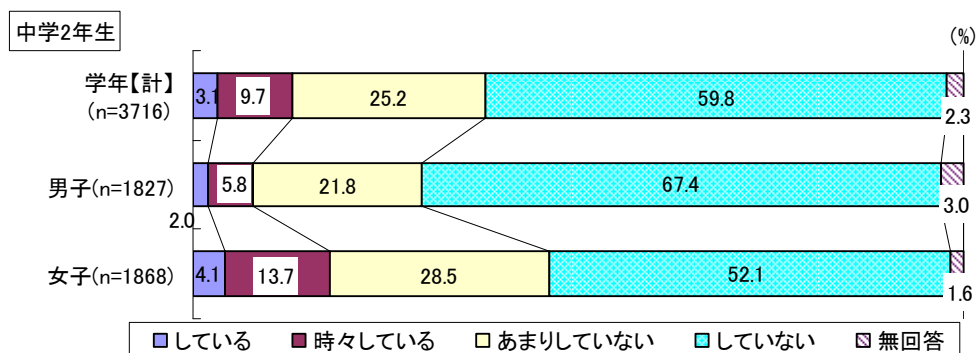
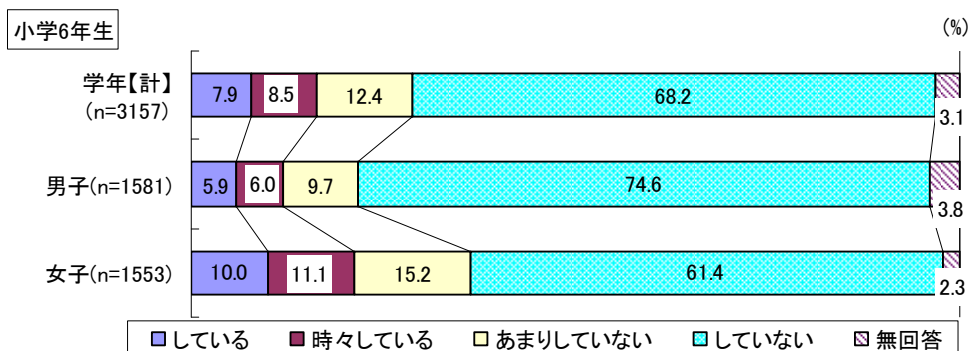


(2) 友人関係について保護者に話す

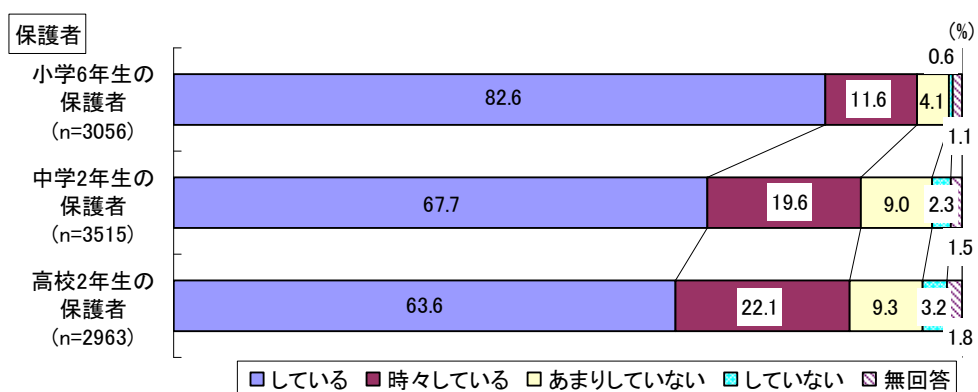
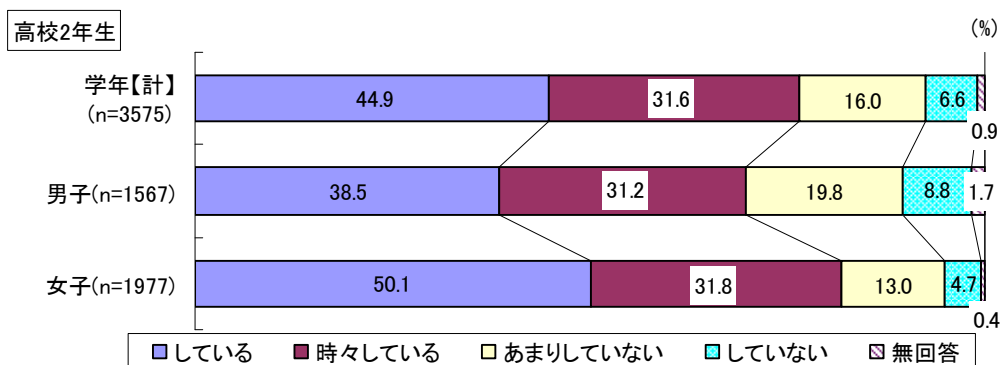
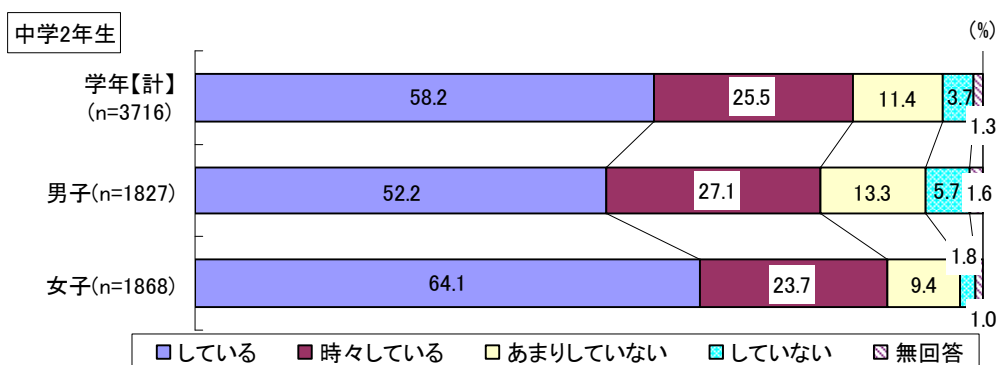
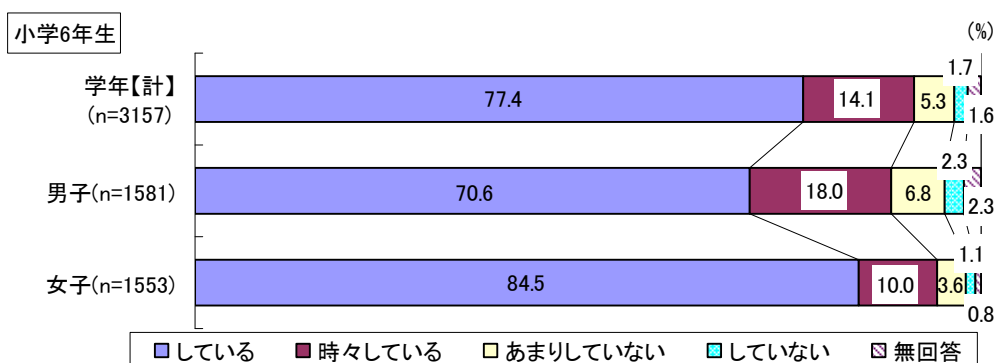


(3) 携帯電話やパソコンでのやりとりの内容を保護者に話す

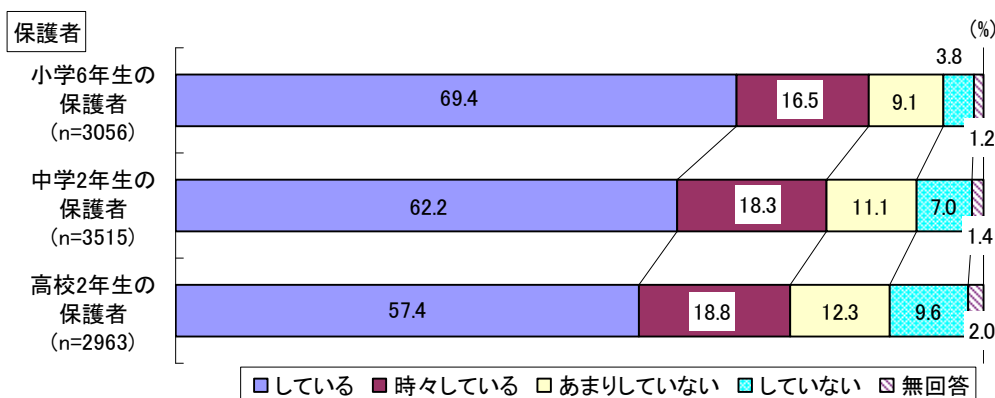
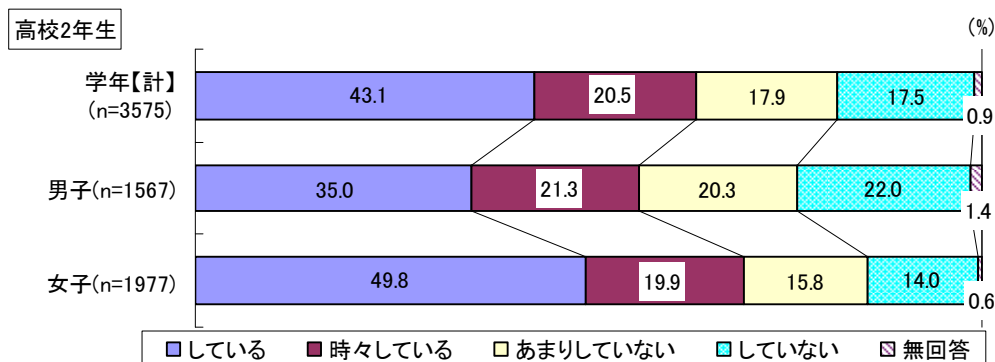
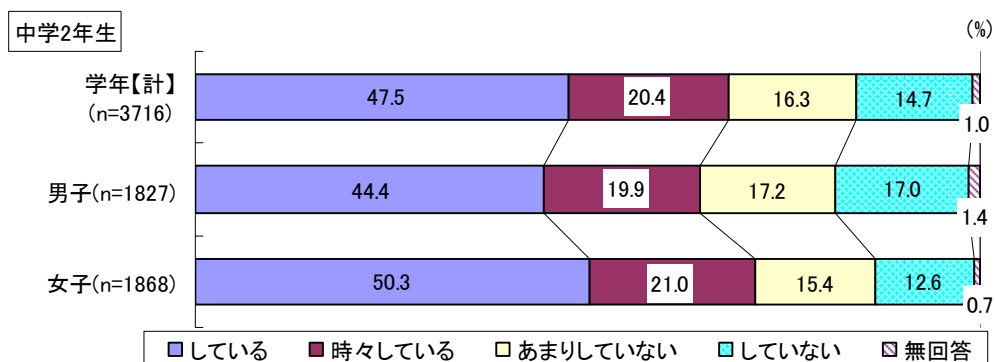
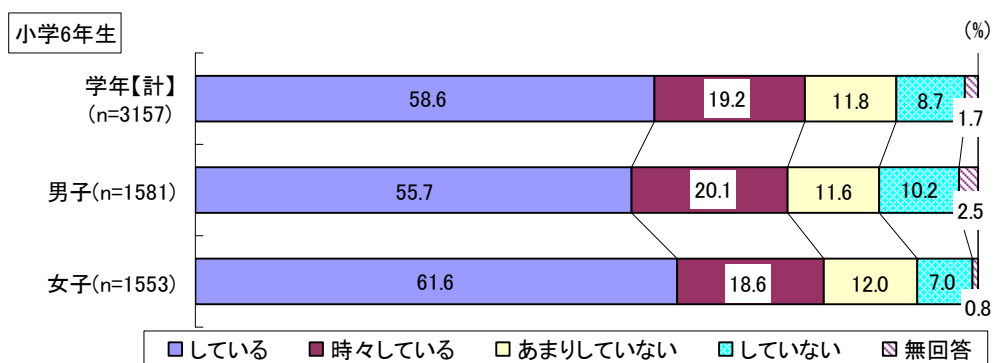
※ 携帯電話を持っていない場合は「4. していない」を選択



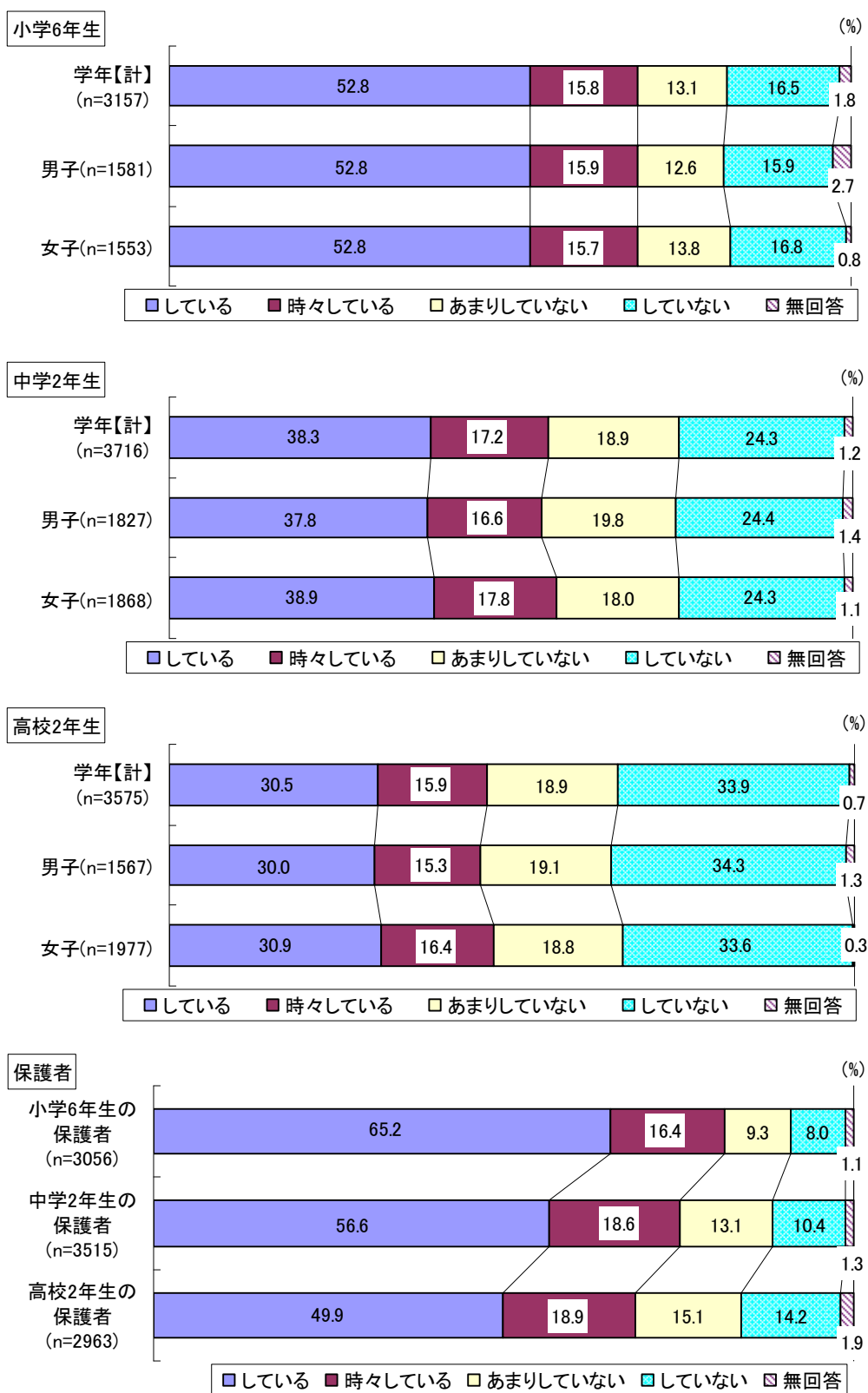
(4) 学校で配られたプリントを保護者に渡す



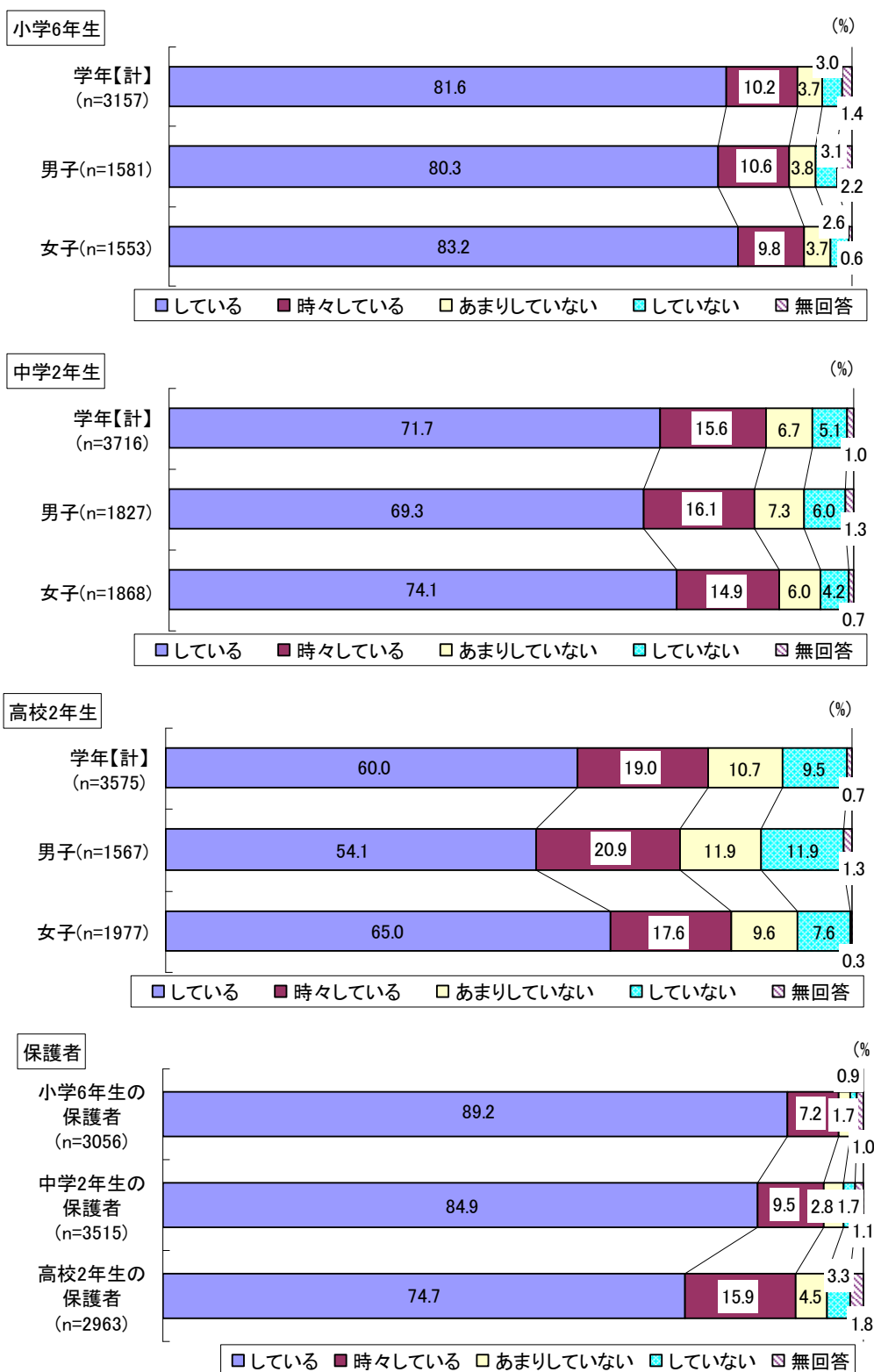
(5) 朝起きたら家族に挨拶する



(6) ふだん（平日）、朝食を保護者と一緒に食べる



(7) ふだん（平日）、夕食を保護者と一緒に食べる



家庭におけるコミュニケーションに関する各事項については、全般的に男子より女子の方が行っている傾向が見られる。

また、「している」と回答した保護者の割合は、子どもよりも全般的に高い傾向がある。

関連設問との分析（児童生徒調査Q6—児童生徒調査Q15）

携帯電話のメール送受信件数と、家庭でのコミュニケーションとの関係

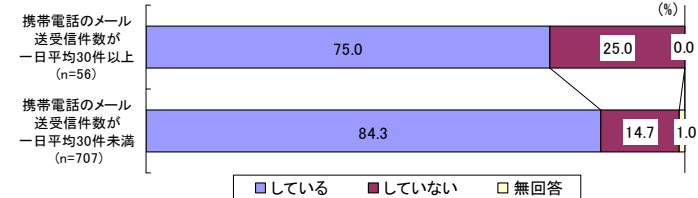
※グラフの見方：

- ・「している」は、各項目で「している」「時々している」を選択した子ども
- ・「していない」は、各項目で「あまりしていない」「していない」を選択した子ども

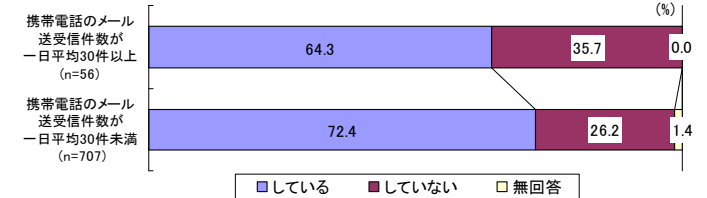
(1) 学校での出来事を保護者に話す

(2) 友人関係について保護者に話す

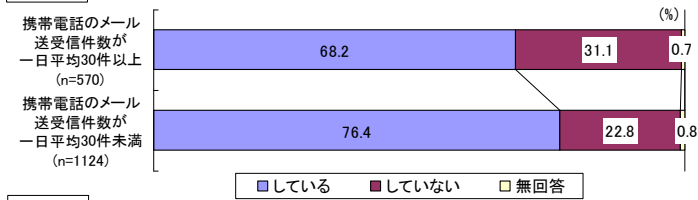
小学6年生



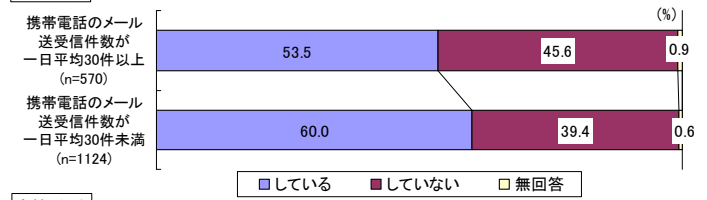
小学6年生



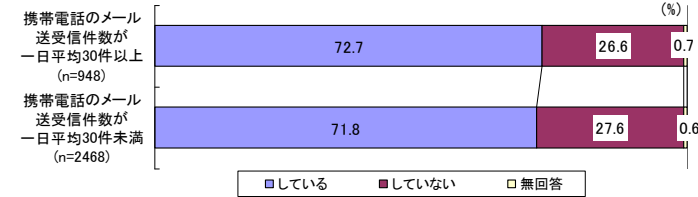
中学2年生



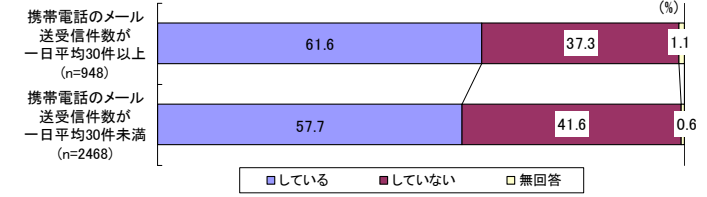
中学2年生



高校2年生



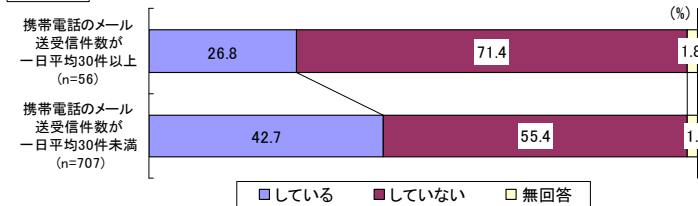
高校2年生



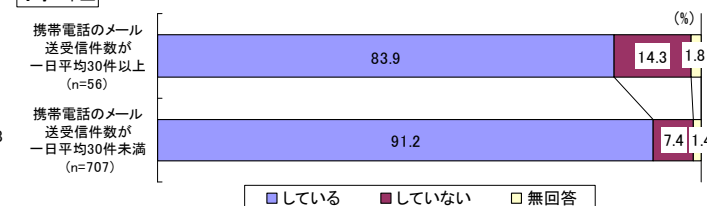
(3) 携帯電話やパソコンでのやりとりの内容を保護者に話す

(4) 学校で配られたプリントを保護者に渡す

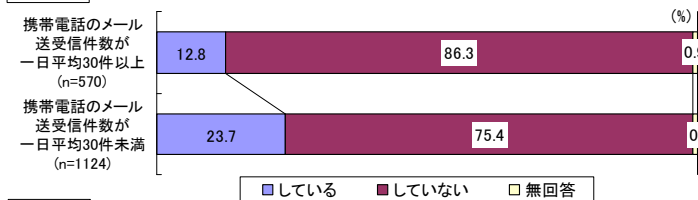
小学6年生



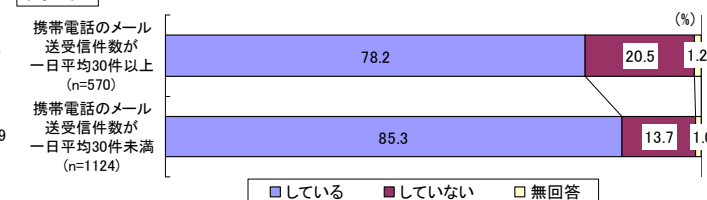
小学6年生



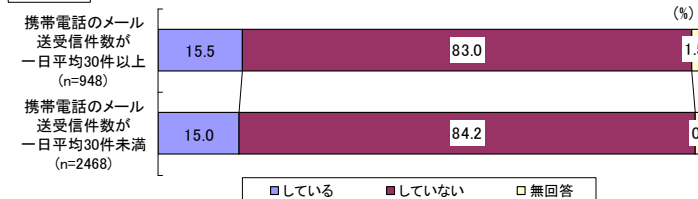
中学2年生



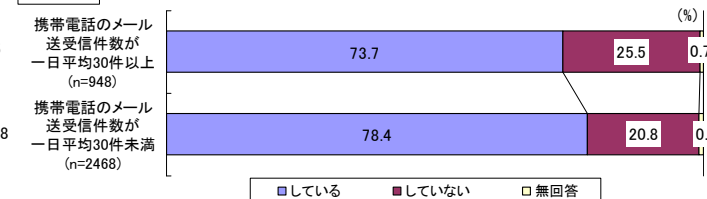
中学2年生



高校2年生

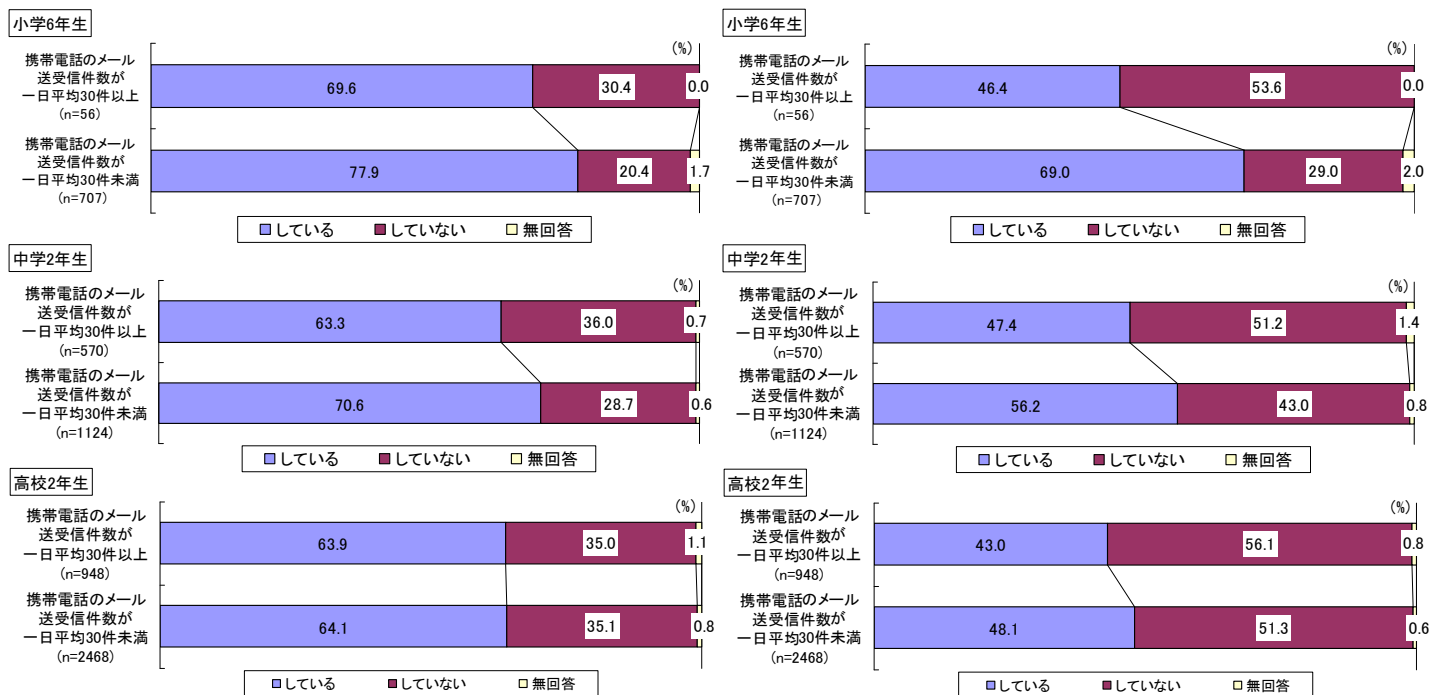


高校2年生

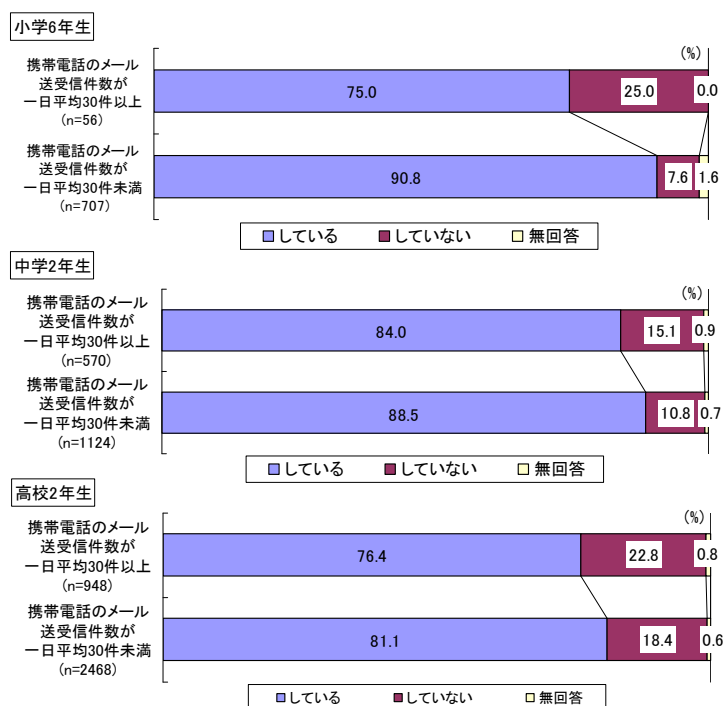


(5) 朝起きたら家族に挨拶する

(6) ふだん（平日）、朝食を保護者と一緒に食べる



(7) ふだん（平日）、夕食を保護者と一緒に食べる

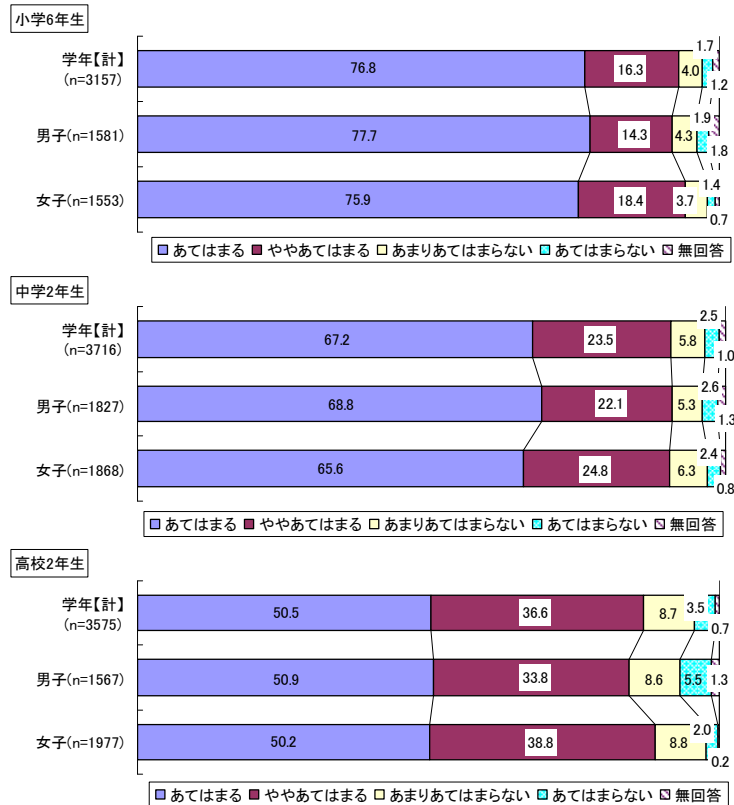


家庭におけるコミュニケーションに関する各事項について、携帯電話のメール送受信件数が一日平均30件未満の子どもの方が、「している」と回答する割合が高い傾向が伺える。また、高校2年生では、携帯でのメール送受信の頻度によって、保護者とのコミュニケーションに大きな差は見られない。

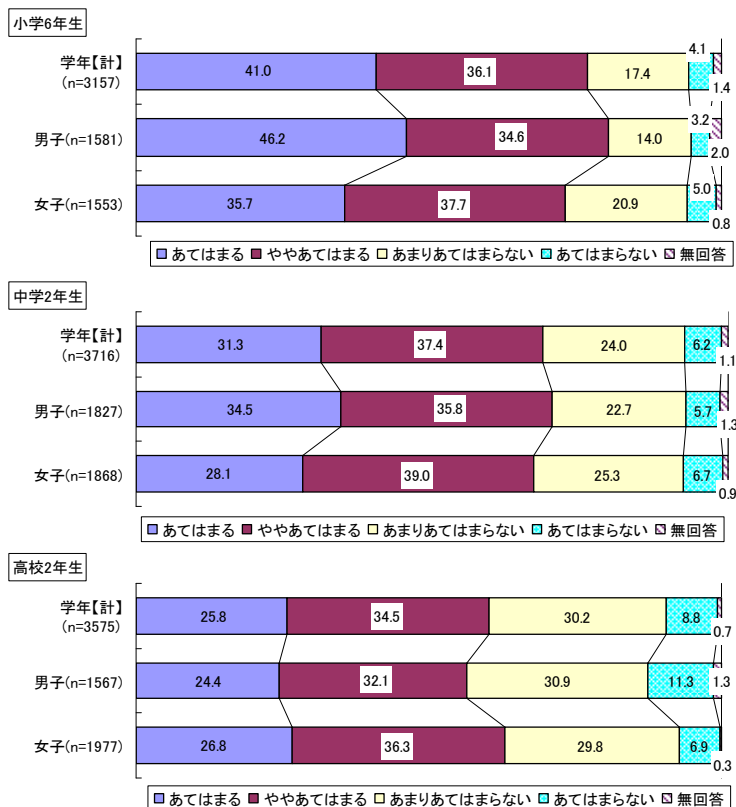
児童生徒調査Q16

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。(それぞれ、どれか1つに○)

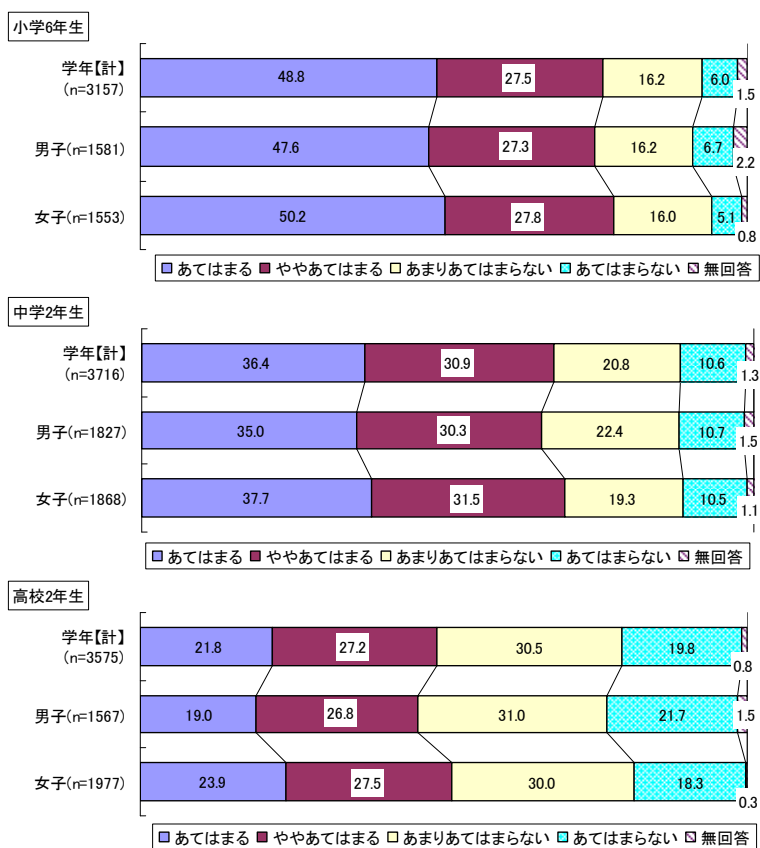
(1) 一人であるよりも友達と一緒に過ごすことが楽しい



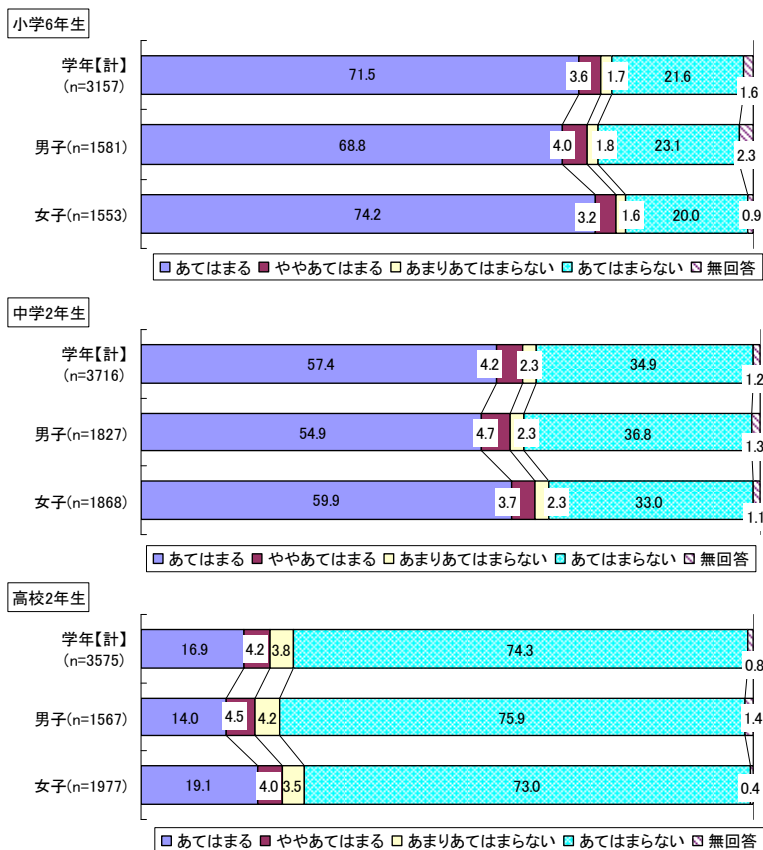
(2) 外へ出かけることが多い



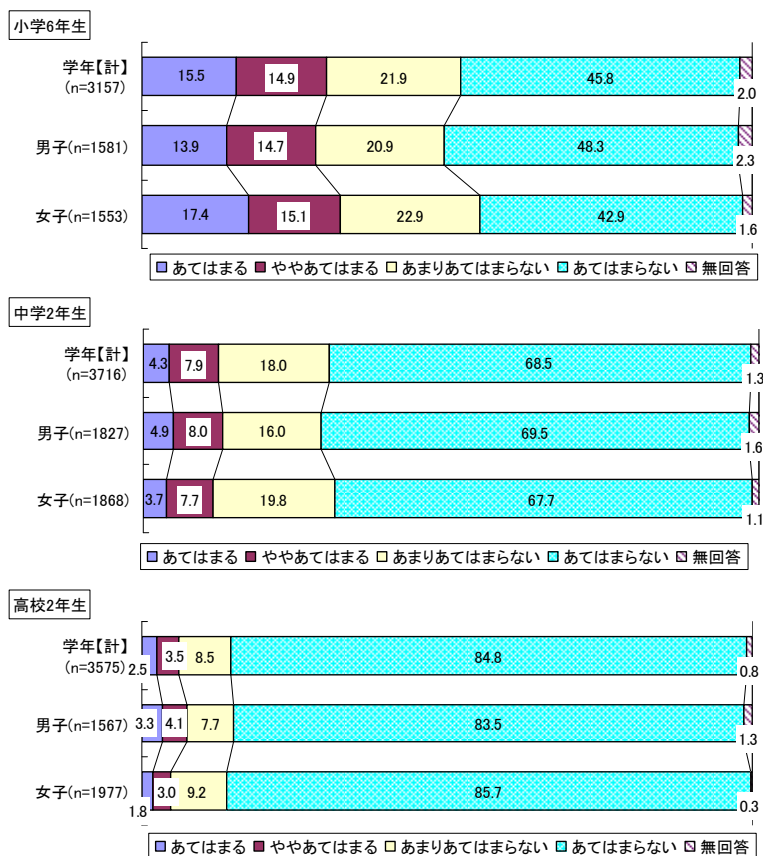
(3) 地域のお祭りやイベントに参加している



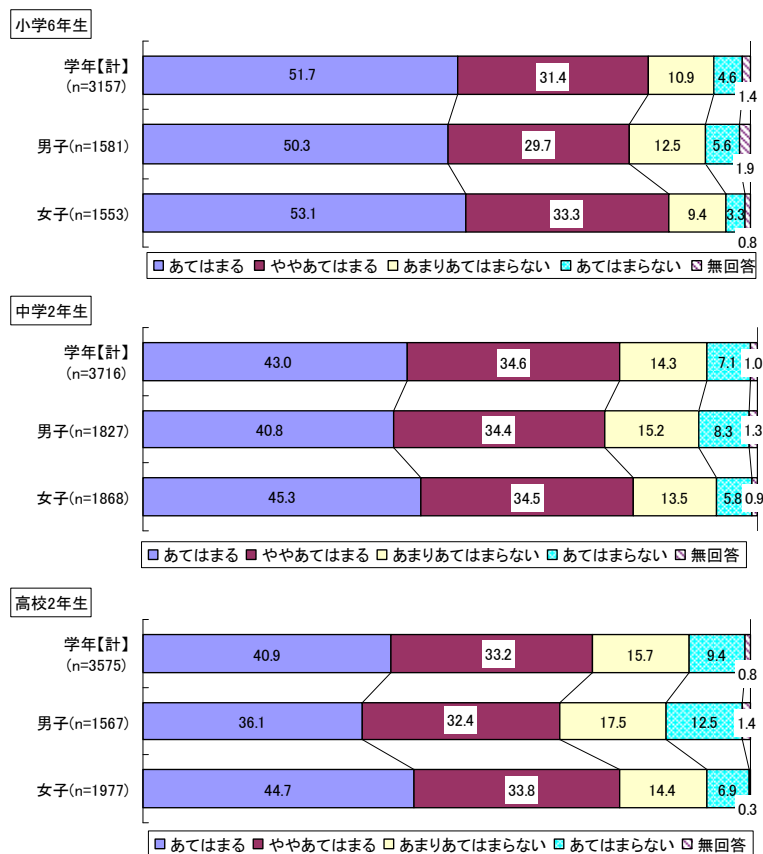
(4) 塾や習いごとに通っている



(5) 児童館や公民館などでの行事や教室に参加している



(6) 近所の人に出会ったら挨拶する



関連設問との分析（児童生徒調査Q6—児童生徒調査Q16）

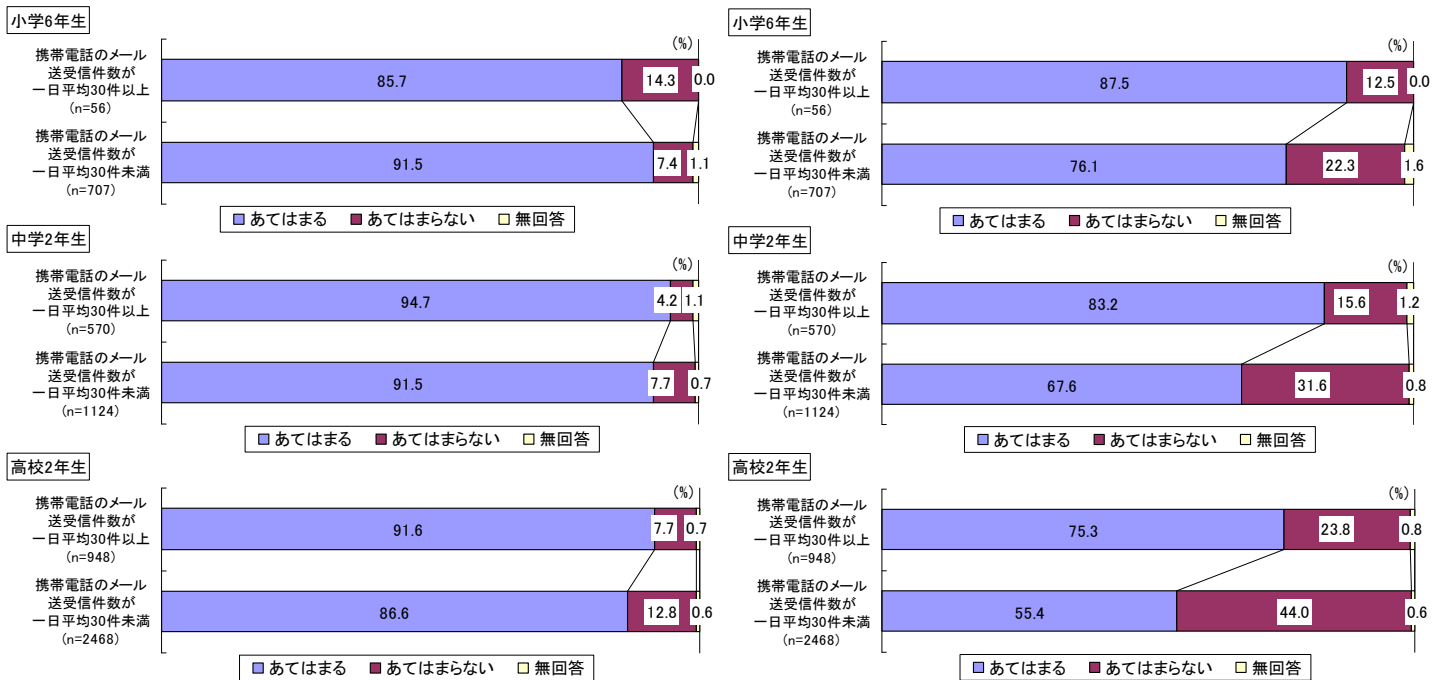
携帯電話でのメール送受信件数と、日常生活における外部との関わりの関係

※グラフの見方：

- ・「あてはまる」は、各項目で「あてはまる」「ややあてはまる」を選択した子ども
- ・「あてはまらない」は、各項目で「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を選択した子ども

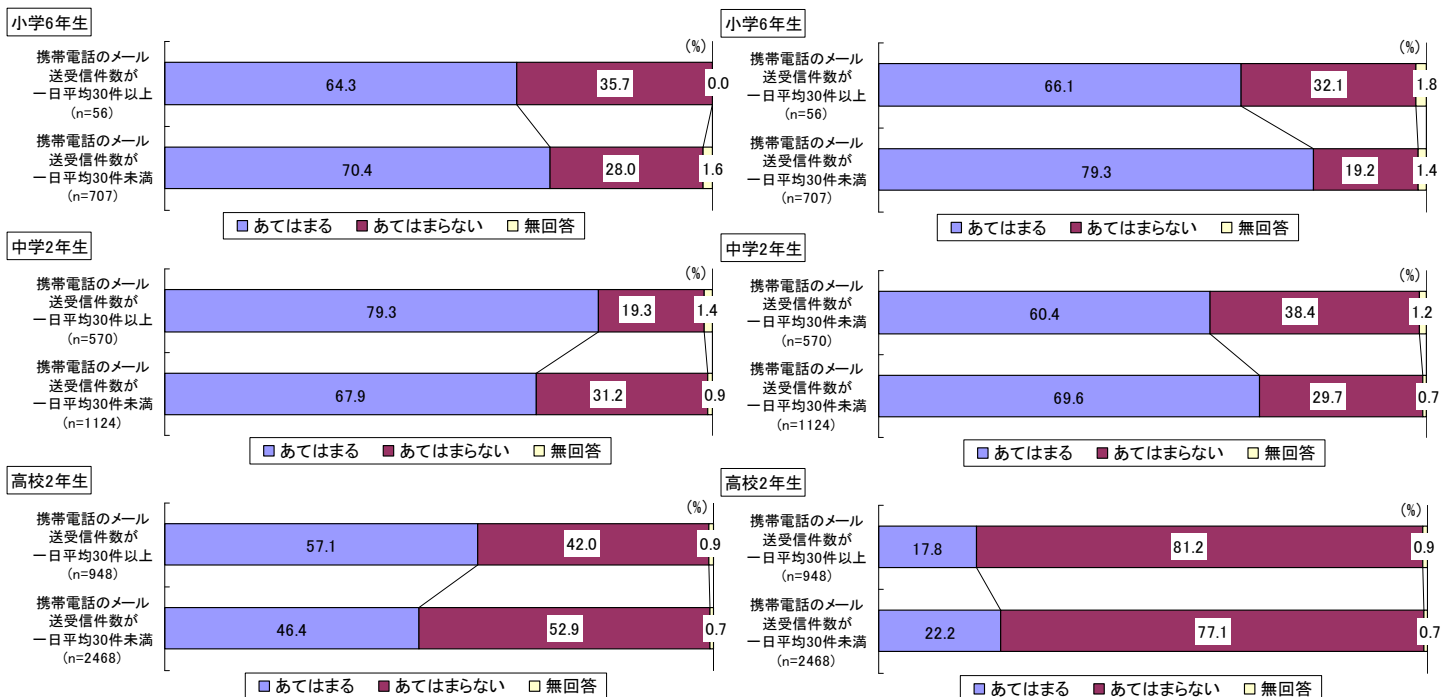
(1) 一人よりも友達と一緒に過ごすことが楽しい

(2) 外へ出かけることが多い



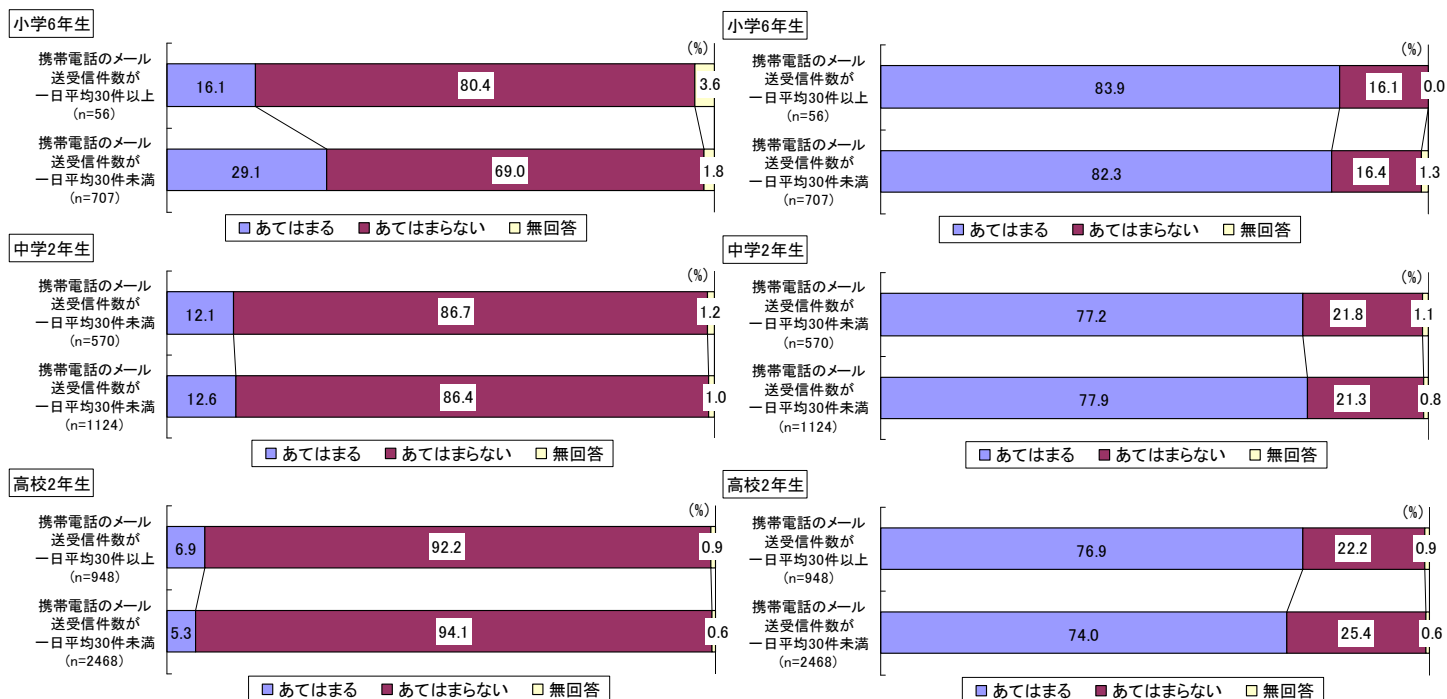
(3) 地域のお祭りやイベントに参加している

(4) 塾や習いごとに通っている



(5) 児童館や公民館などの行事や教室に参加している

(6) 近所の人に出会ったら挨拶する



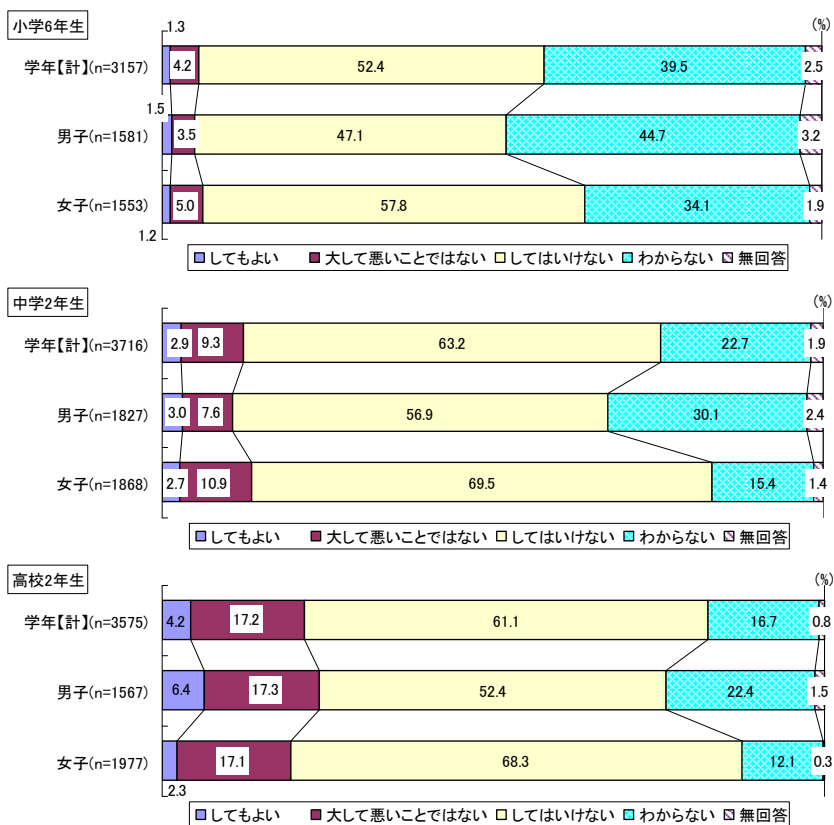
「外へ出かけることが多い」子どもの方が、携帯電話でメールをよく使う傾向が見られる。また中学2年生、高校2年生では、携帯電話でメールを良く使う子どもの方が、地域のお祭りやイベントへ比較的多く参加している。

2.4. 意識・評価

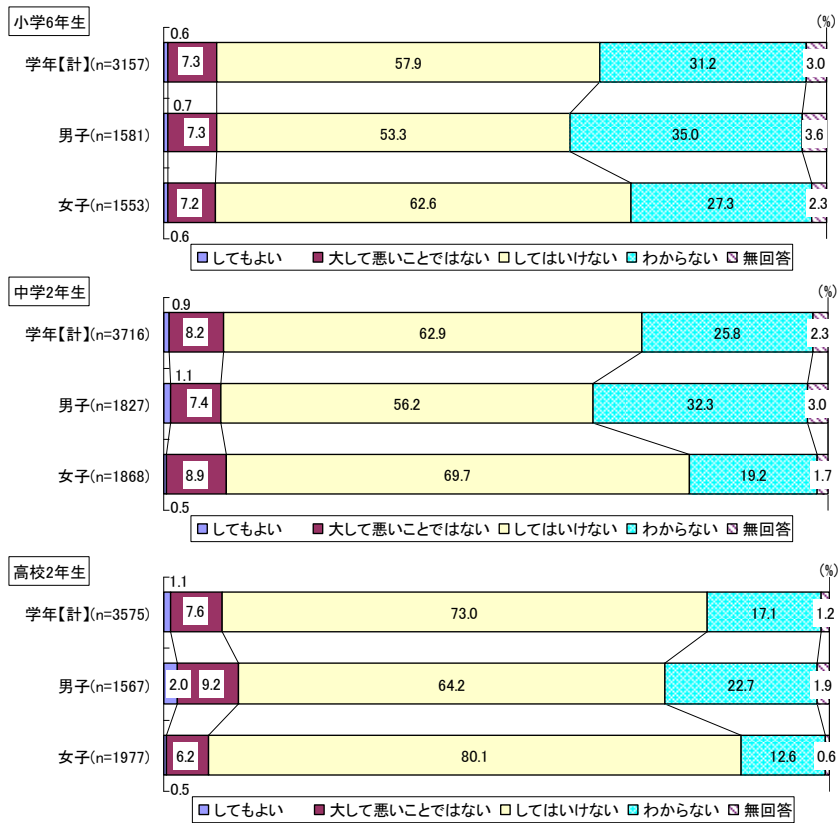
児童生徒調査Q17

あなたは、携帯電話やパソコンで次のことをすることについて、どのように思いますか。(それぞれ、どれか1つに○)

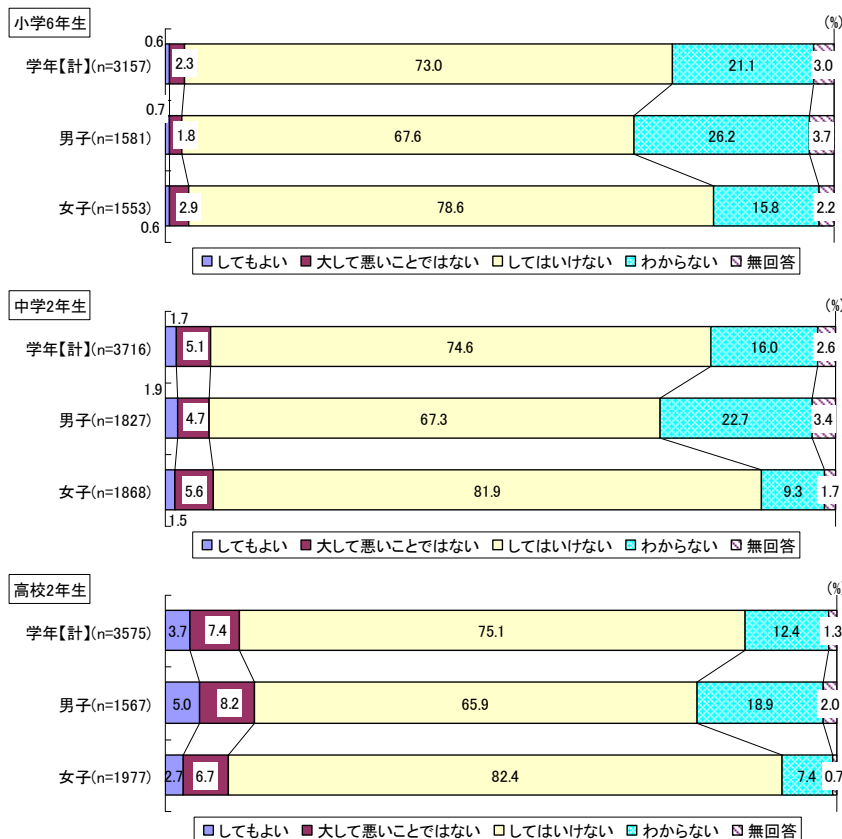
(1) 自分に来たチェーンメールを転送する



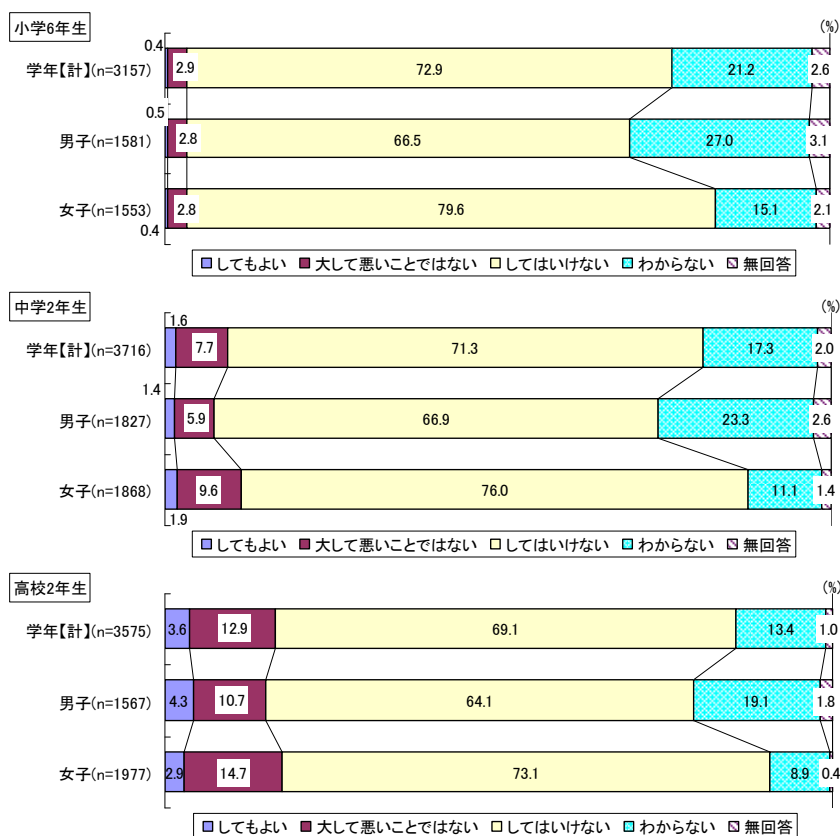
(2) インターネットに書かれていることは全て正しいと思込む



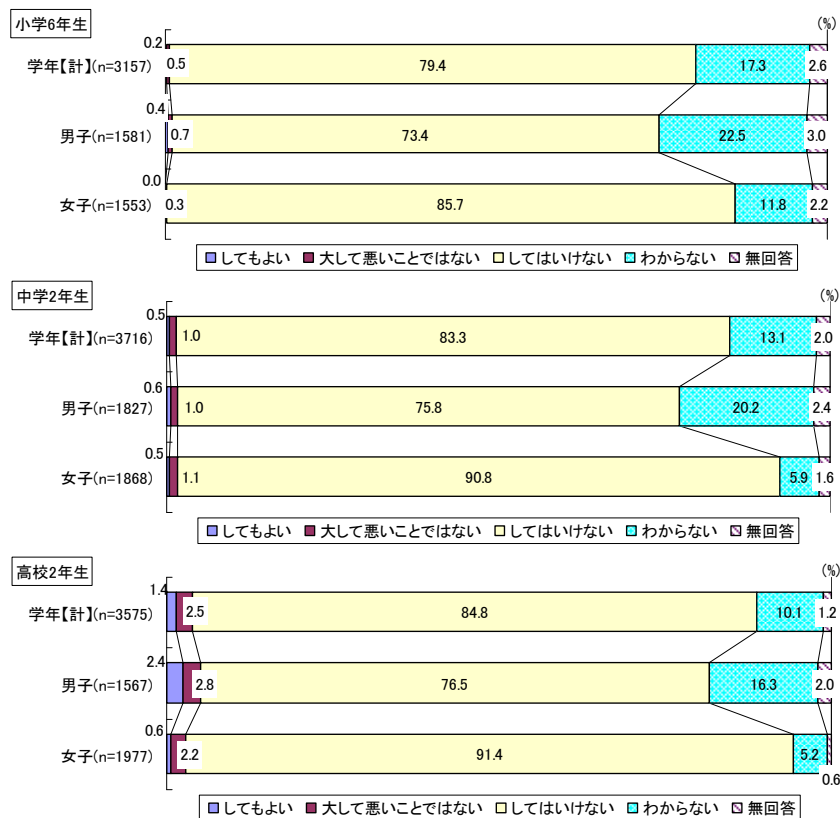
(3) インターネットの掲示板やメールに他人のことを自由に書き込む



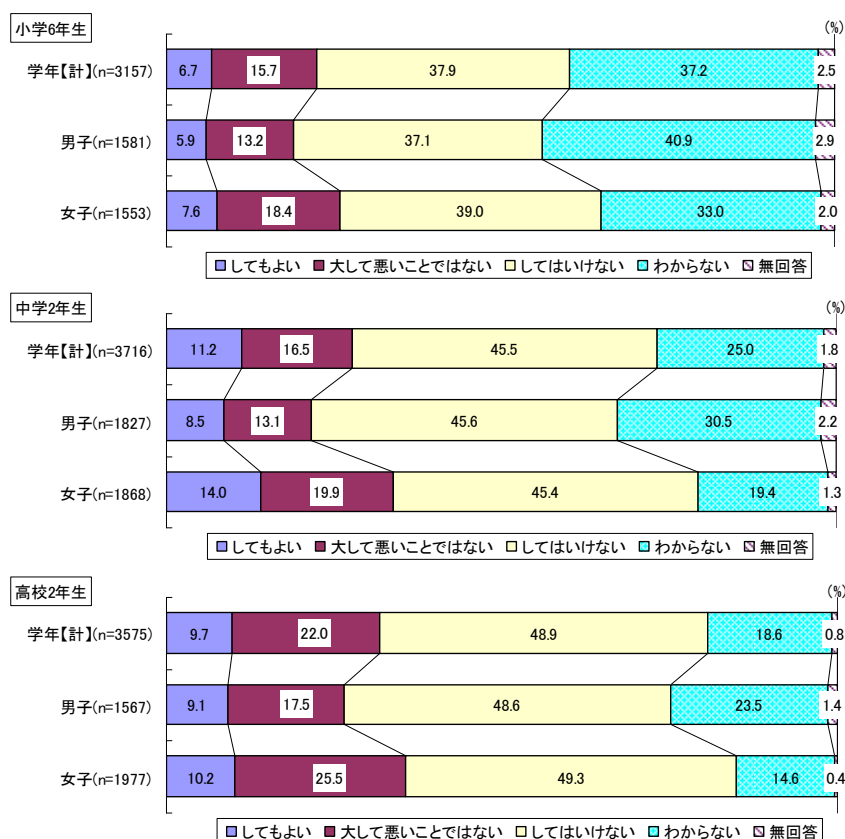
(4) プロフやブログなどに自分の住所や写真を載せる



(5) 友だちの住所や写真をインターネットの掲示板などに書き込む



(6) 自分のブログなどに、人気キャラクターのイラストを載せる

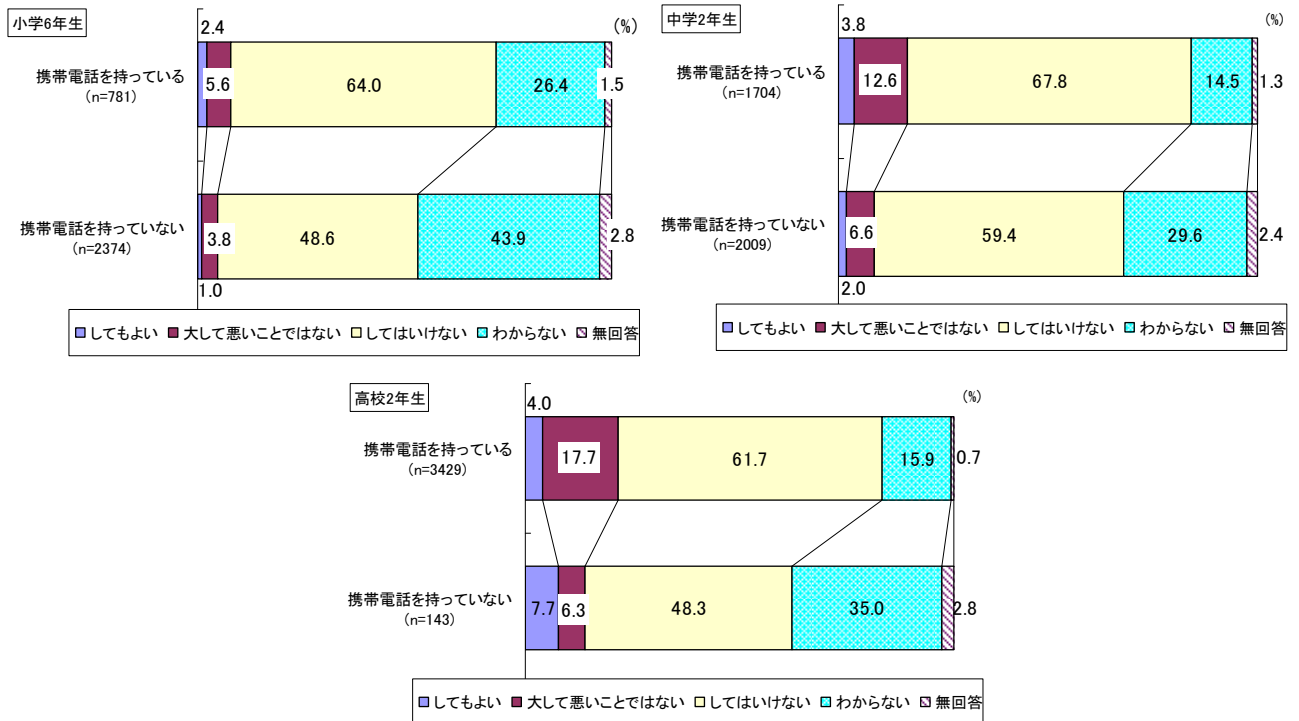


多くの事項について、学年が上がるにつれて「してもよい」または「大して悪いことではない」と回答する割合が増えている。「自分のブログなどに、人気キャラクターのイラストを載せる」ことについては、小学6年生、中学2年生、高校2年生ともに、「してもよい」「大して悪いことではない」の回答の合計が2割から3割程度を占める。また、高校2年生は、「自分にきたチェーンメールを転送する」、「プロフやブログなどに自分の住所や写真を載せる」ことについても、2割程度は「してもよい」または「大して悪いことではない」と回答している。

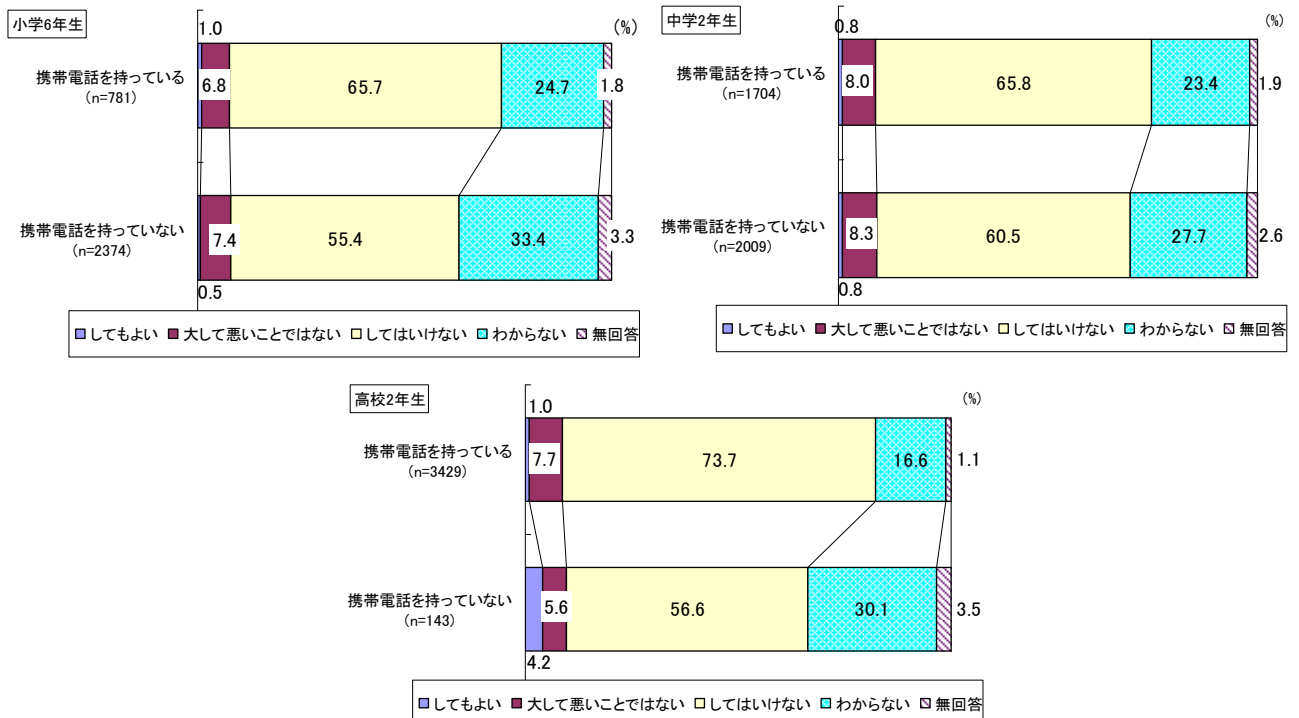
関連設問との分析（児童生徒調査Q1—児童生徒調査Q17）

子どもの携帯電話の所有の有無と、インターネットの利用マナーに関する意識との関係

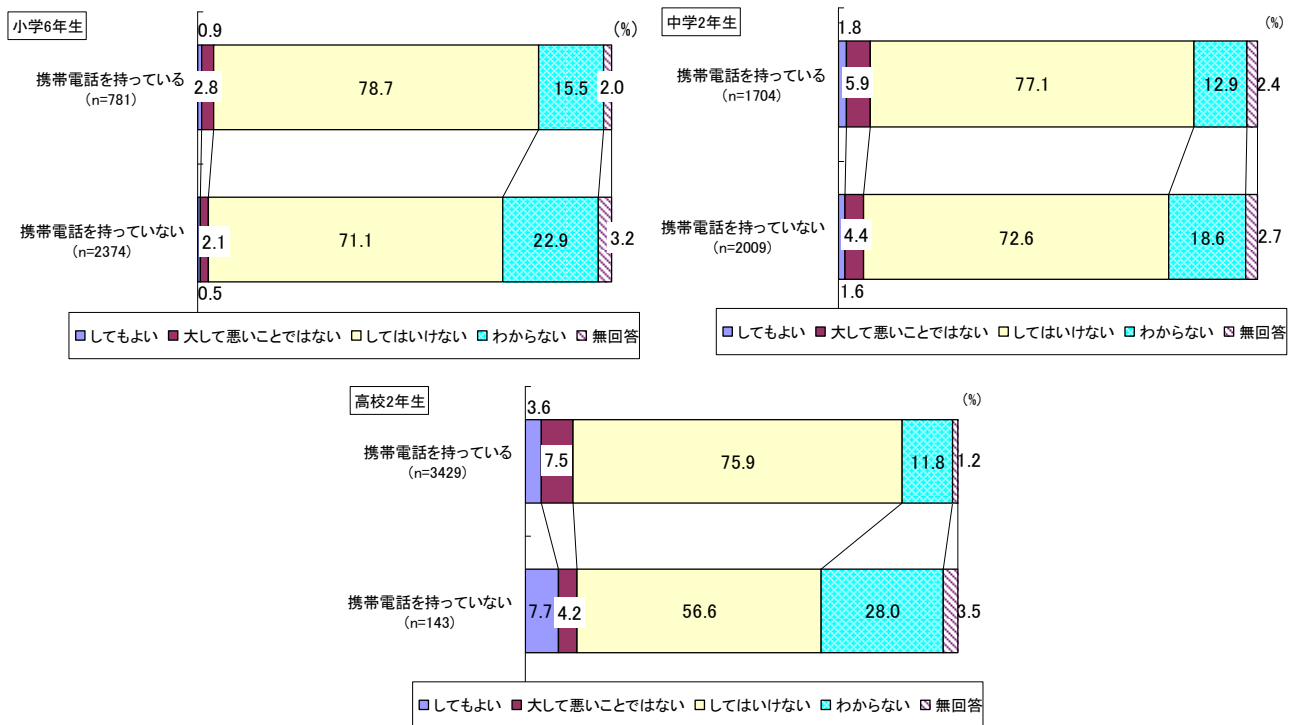
(1) 「自分に来たチェーンメールを転送すること」について



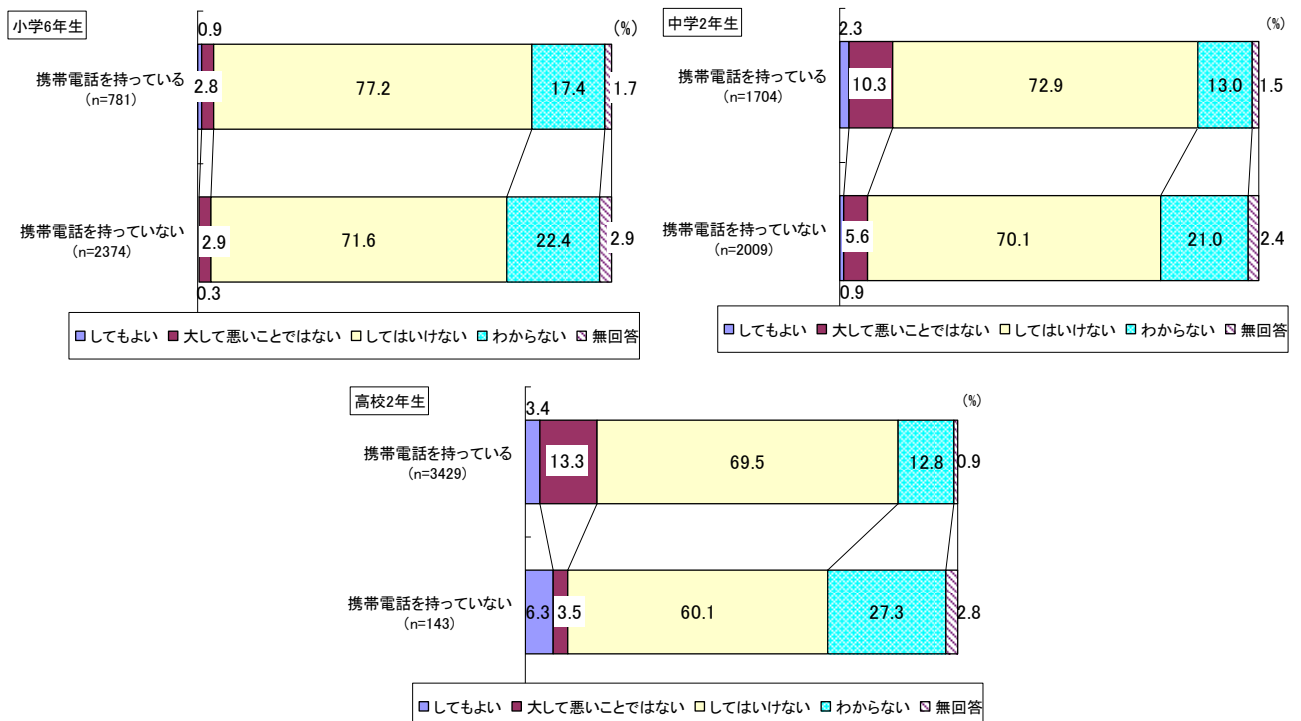
(2) 「インターネットに書き込まれていることは全て正しいと思い込む」ことについて



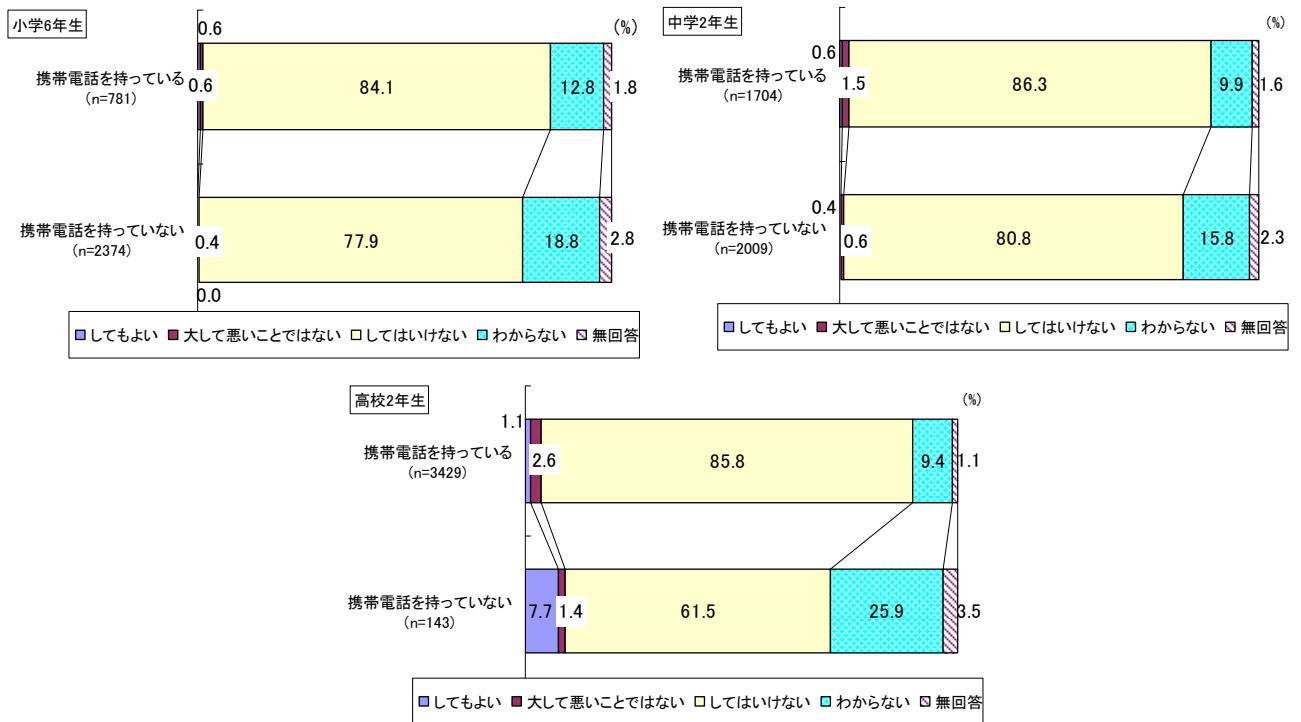
(3) 「インターネットの掲示板やメールに他人のことを自由に書き込む」ことについて



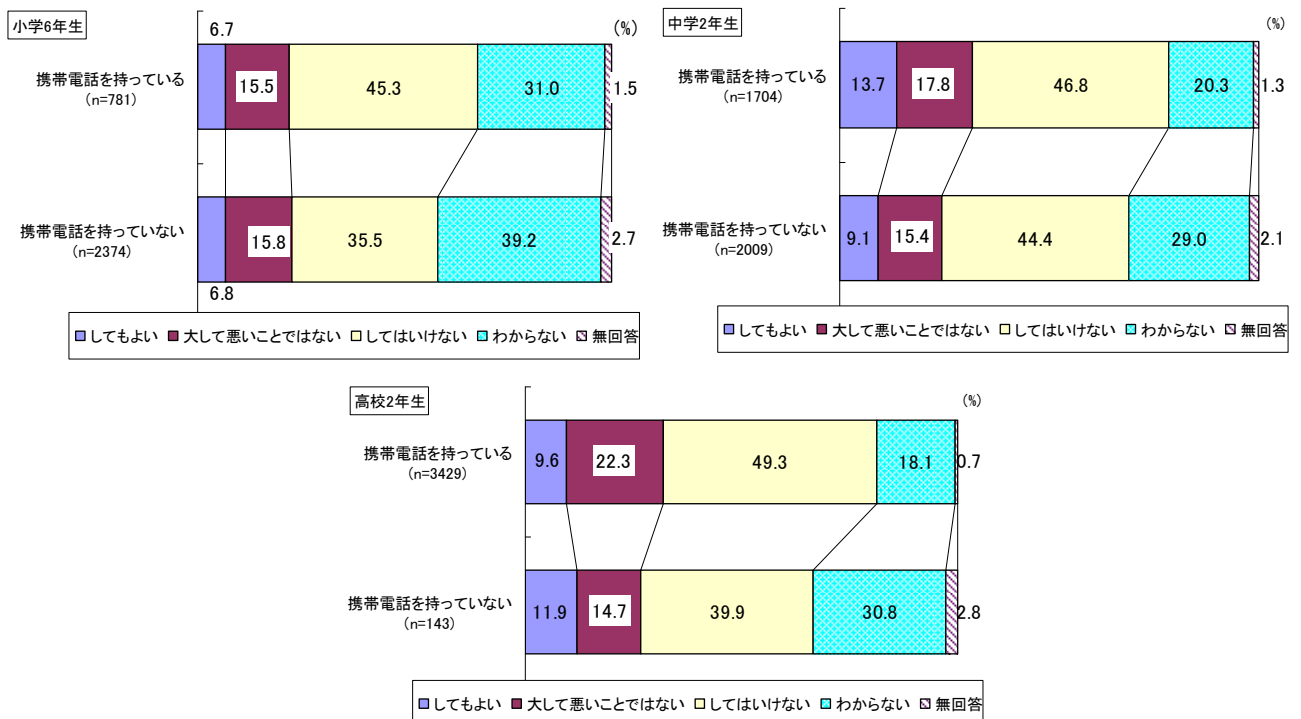
(4) 「プロフィールやブログなどに自分の住所や写真を載せる」ことについて



(5) 「友だちの住所や写真をインターネットの掲示板などに書き込む」ことについて



(6) 「自分のブログなどに、人気キャラクターのイラストを載せる」ことについて



携帯電話の所有の有無によって、「してもよい」「大して悪いことではない」という回答割合にあまり大きな違いは見られないが、持っていない子どもの方が無回答の割合が多い。

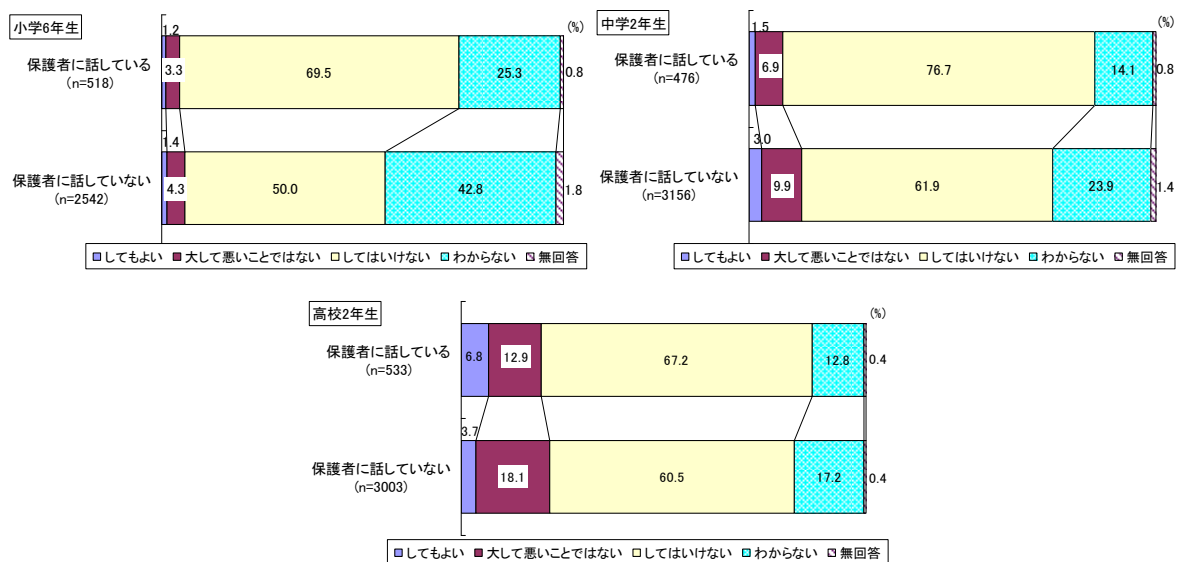
関連設問との分析（児童生徒調査Q15—児童生徒調査Q17）

家庭でのコミュニケーションと、子どものインターネットの利用マナーに関する意識との関係（普段から「携帯電話やパソコンでのやりとりの内容について保護者に話す／話さない」による、以下の項目に対する意識の違い）

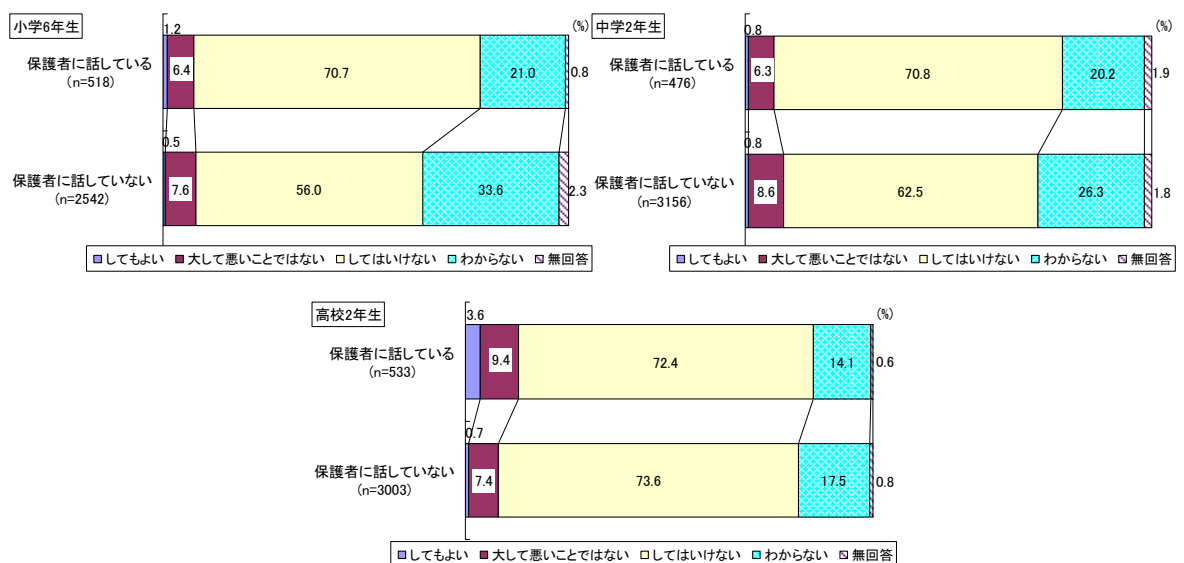
※グラフの見方：

- ・「保護者に話している」は、携帯電話やパソコンでのやりとりの内容を保護者に話すことを「している」と回答した子ども
 - ・「保護者に話していない」は、携帯電話やパソコンでのやりとりの内容を保護者に話すことを「時々している」「あまりしていない」「していない」と回答した子ども
- なお、携帯電話などを持っていない子どもは、「4. していない」を回答している

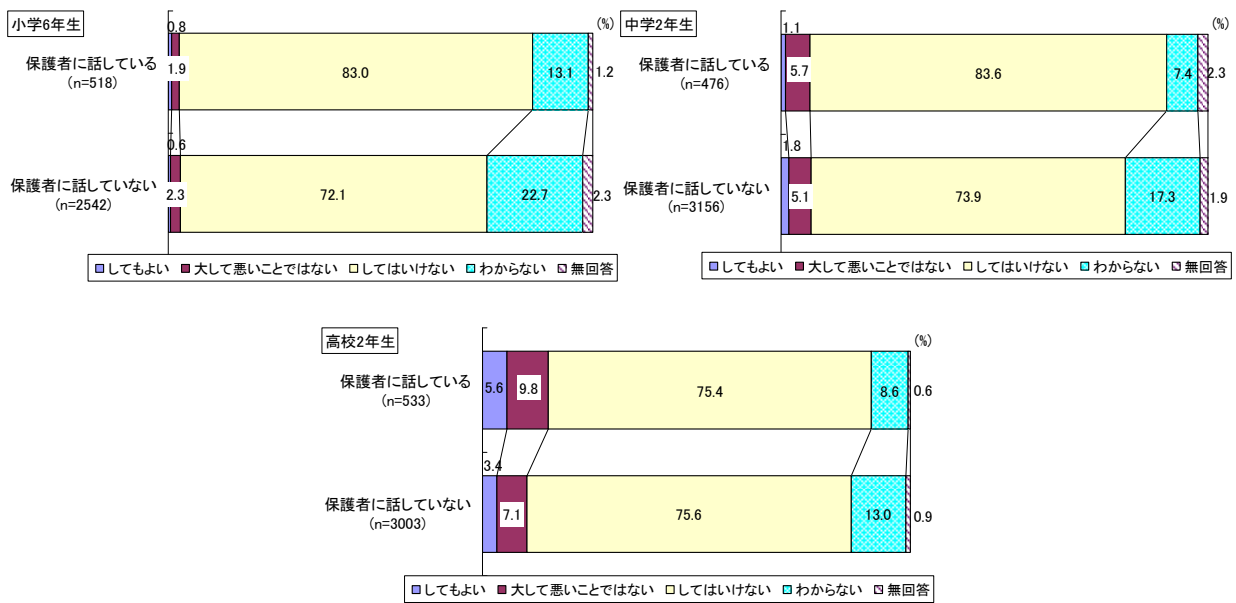
(1) 「自分に来たチェーンメールを転送すること」について



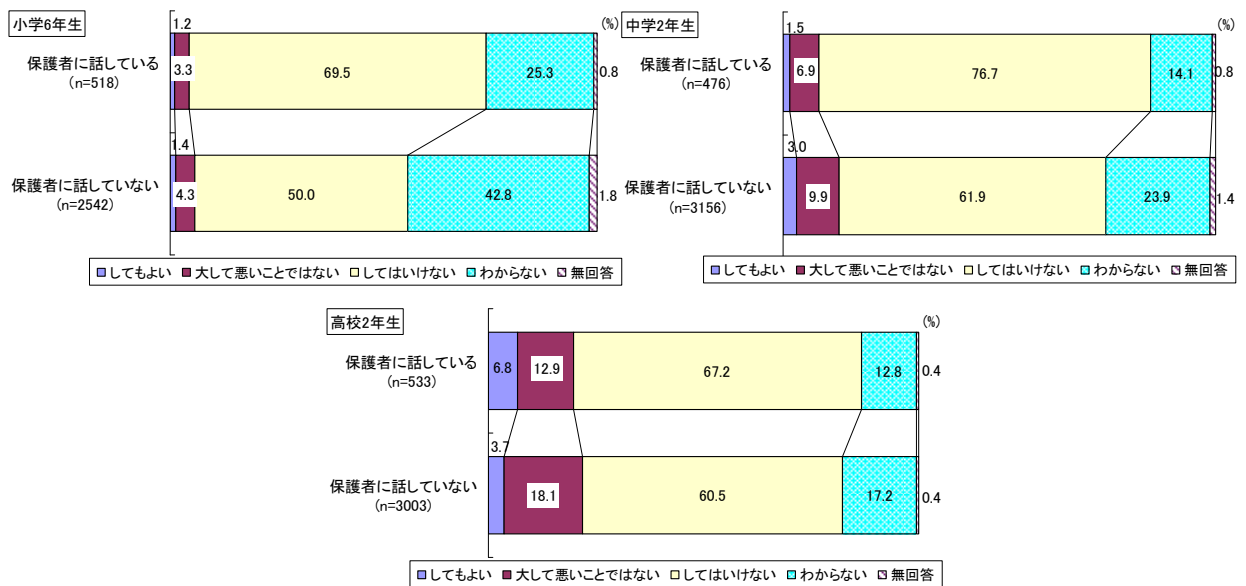
(2) 「インターネットに書き込まれていることは全て正しいと思い込む」ことについて



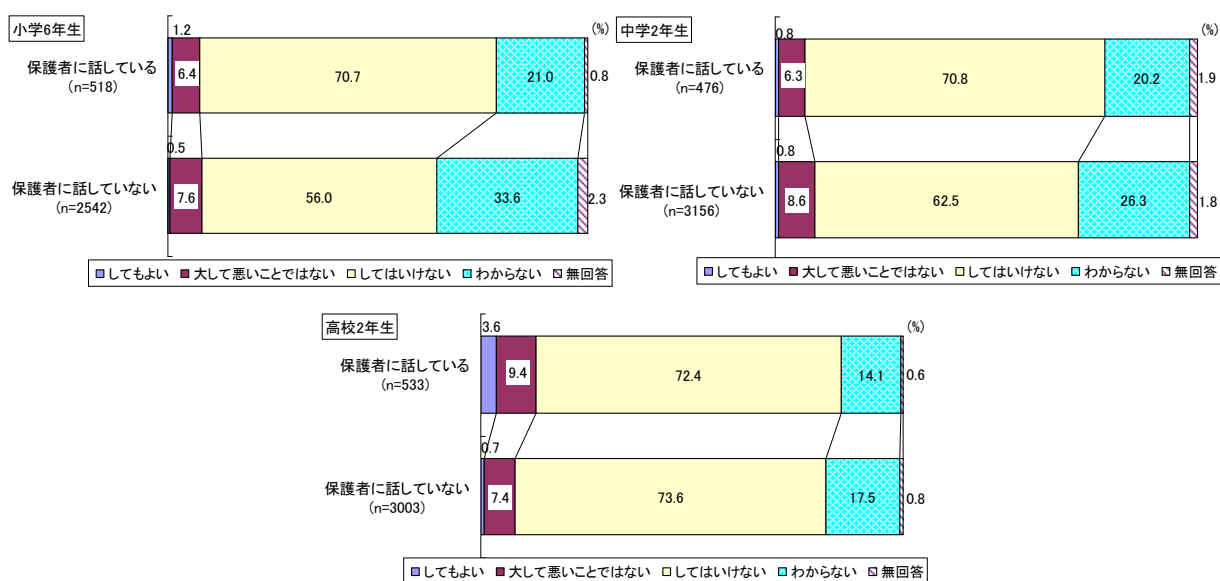
(3) 「インターネットの掲示板やメールに他人のことを自由に書き込む」 ことについて



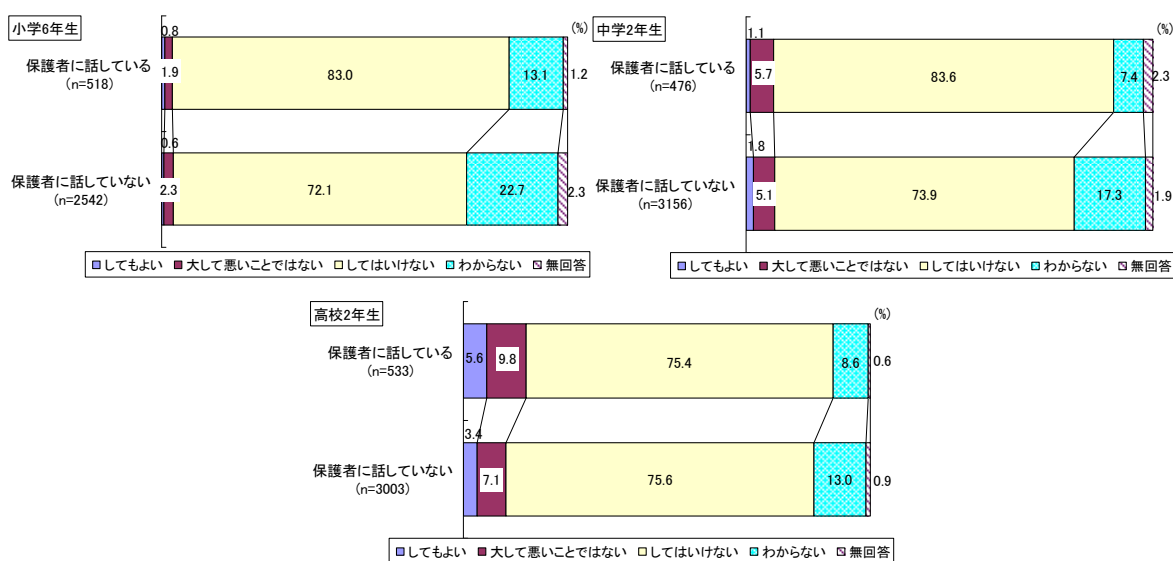
(4) 「プロフやブログなどに自分の住所や写真を載せる」 ことについて



(5) 「友だちの住所や写真をインターネットの掲示板などに書き込む」ことについて



(6) 「自分のブログなどに、人気キャラクターのイラストを載せる」ことについて



小学6年生、中学2年生においては、普段から携帯電話やパソコンでのやりとりの内容を保護者に話している子どもとそうでない子どもとの間で、利用マナーに関する意識の差が見られる。高校2年生になると、保護者と話をしているかどうかの違いによる利用マナーに関する意識の差はほとんど見られない。

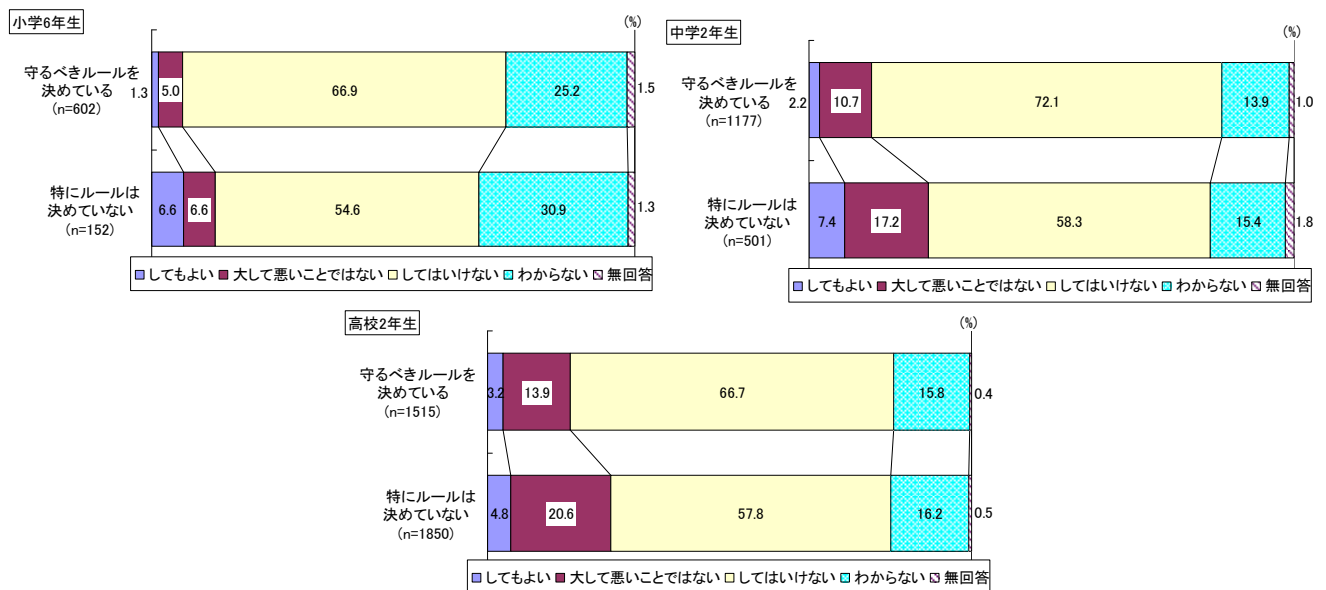
関連設問との分析（児童生徒調査Q9—児童生徒調査Q17）

携帯電話の使い方に関する家庭でのルールの有無と、子どものインターネットの利用マナーに関する意識との関係

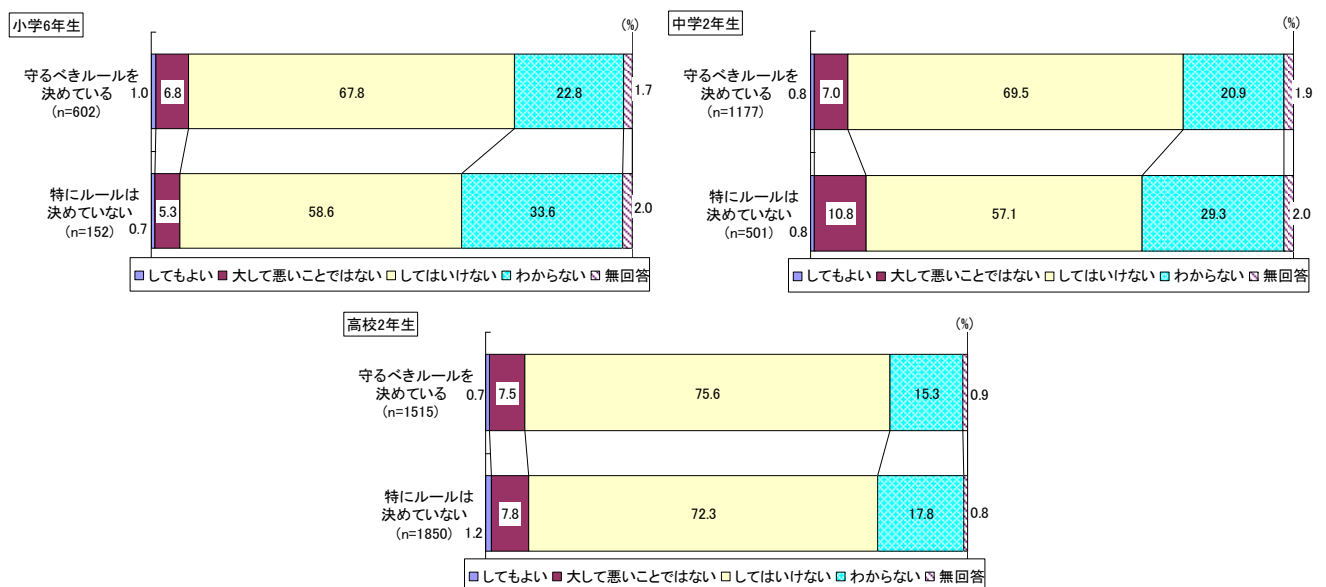
※グラフの見方：

- ・「守るべきルールを決めている」は、児童生徒調査Q9で何らかのルールを決めていると回答した子ども
- ・「特にルールは決めていない」は、児童生徒調査Q9で「特にルールは決めていない」と回答した子ども

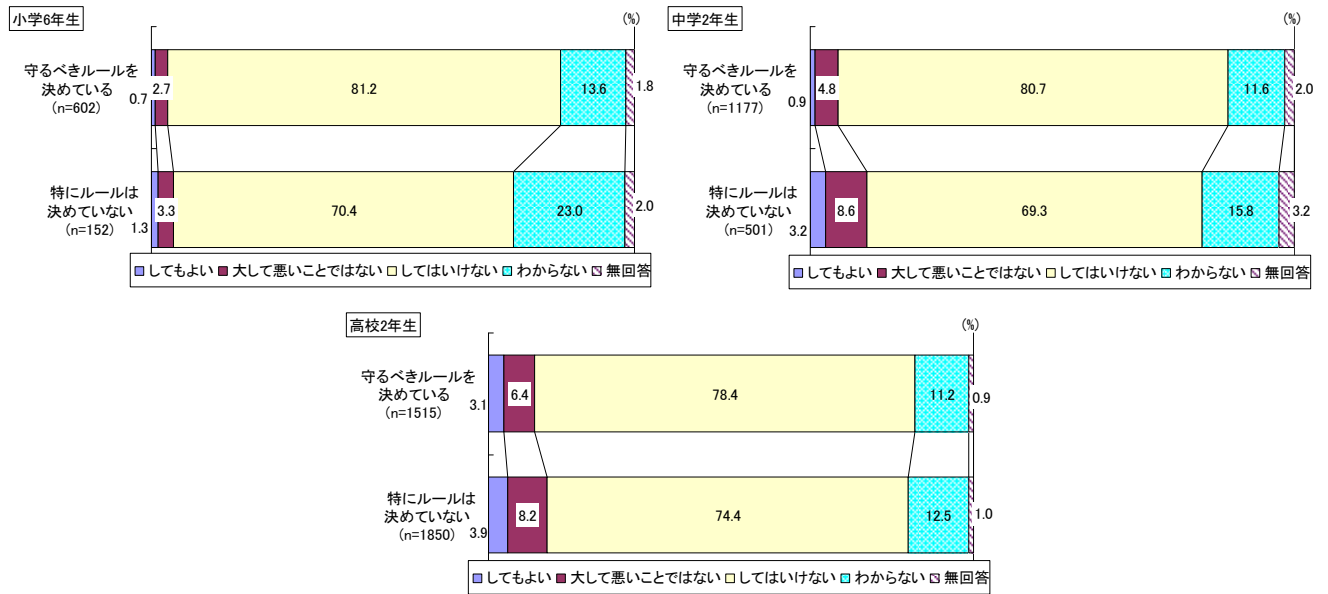
(1) 「自分に来たチェーンメールを転送する」 ことについて



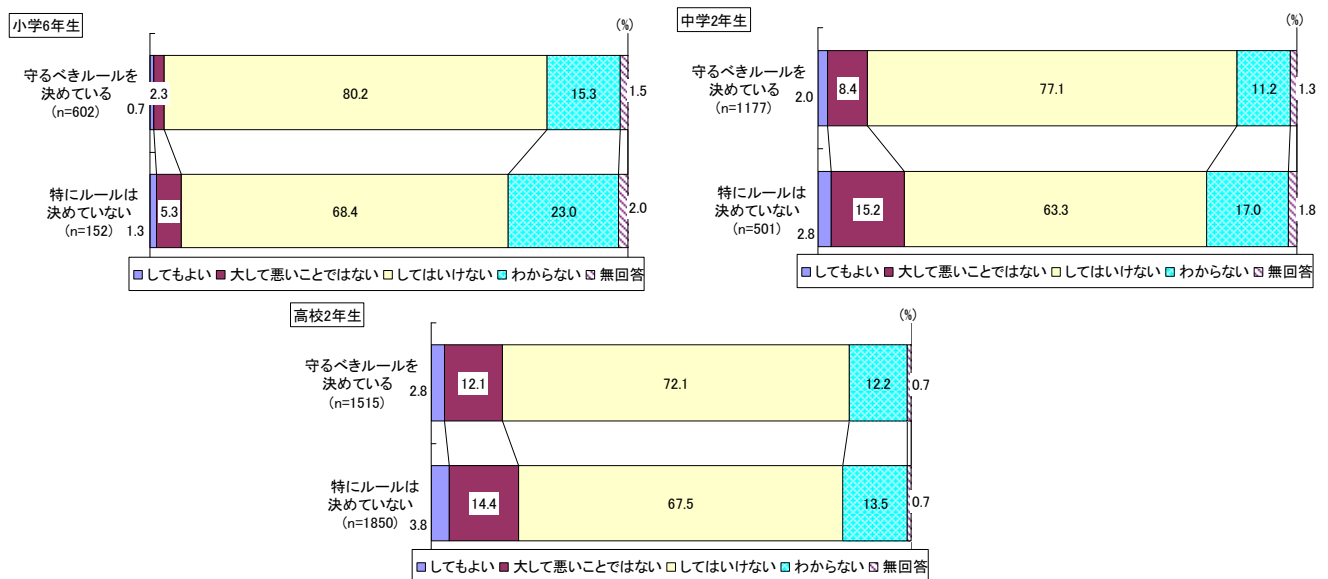
(2) 「インターネットに書かれていることは全て正しいと思い込む」 ことについて



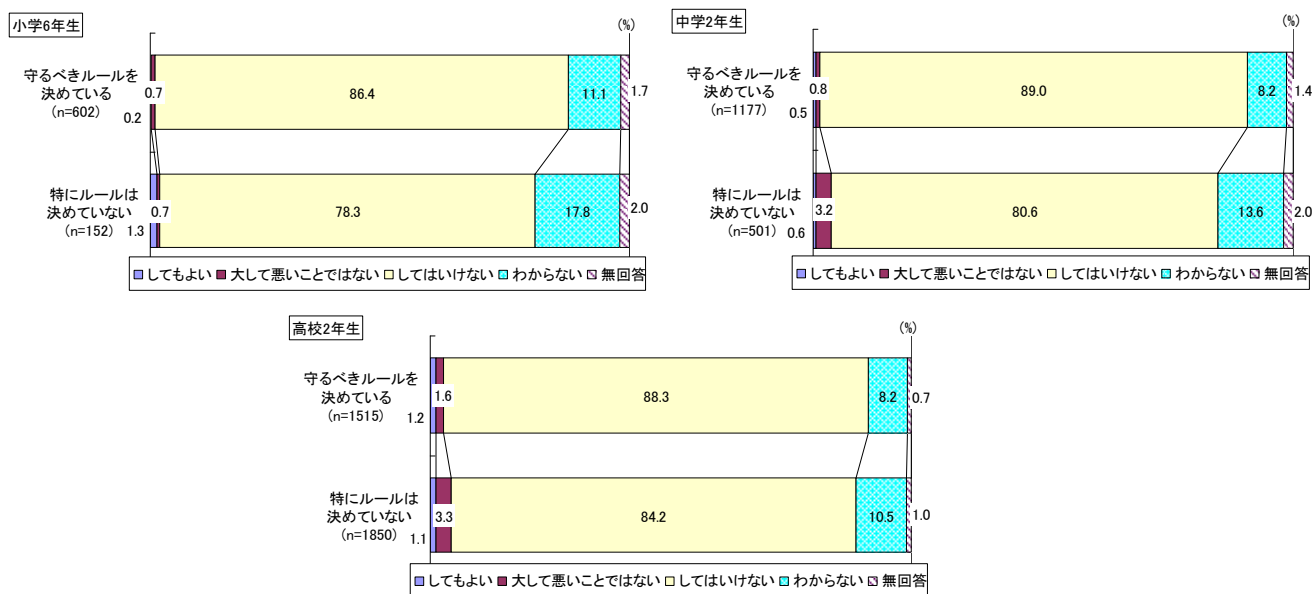
(3) 「インターネットの掲示板やメールに他人のことを自由に書き込む」 ことについて



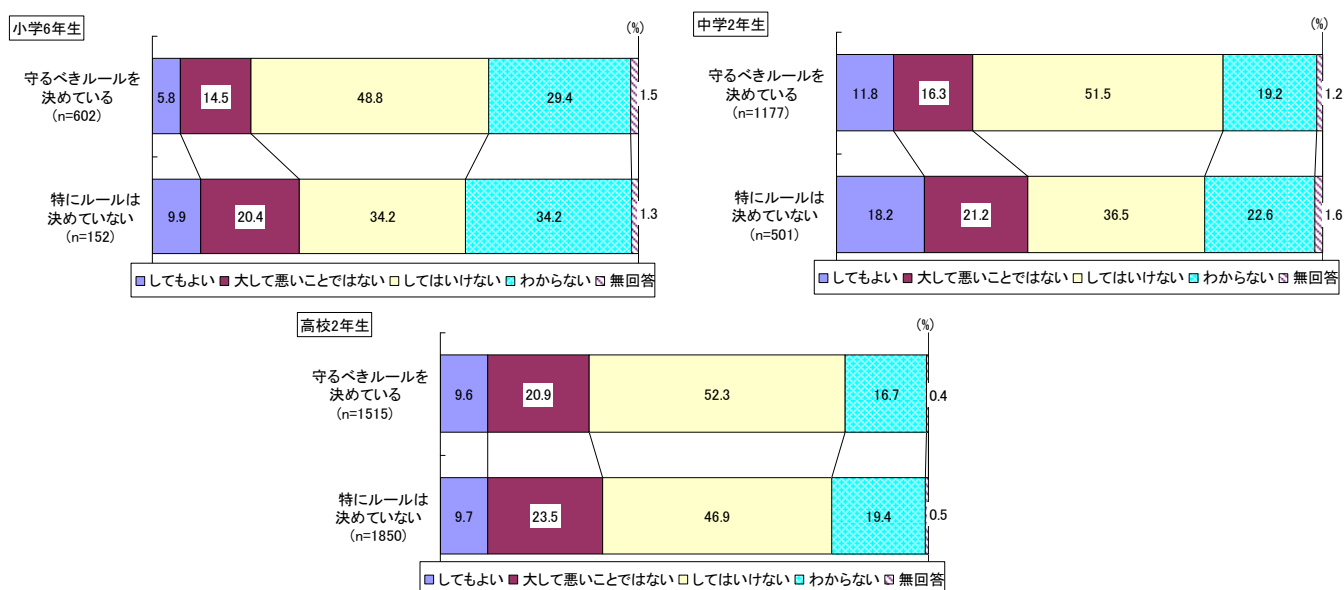
(4) 「プロフやブログなどに自分の住所や写真を載せる」 ことについて



(5) 「友だちの住所や写真をインターネットの掲示板などに書き込む」ことについて



(6) 「自分のブログなどに、人気キャラクターのイラストを載せる」ことについて

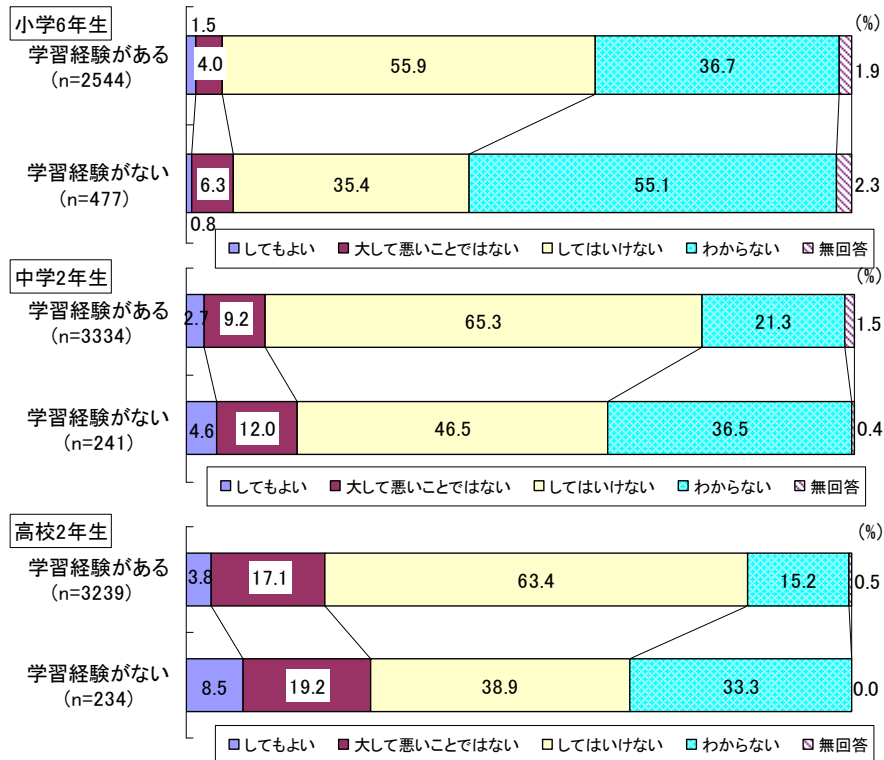


全ての事項について、何らかのルールを家庭で決めている子どもは、特にルールを決めていない子どもに比べ、「してはいけない」と回答する割合が多い。

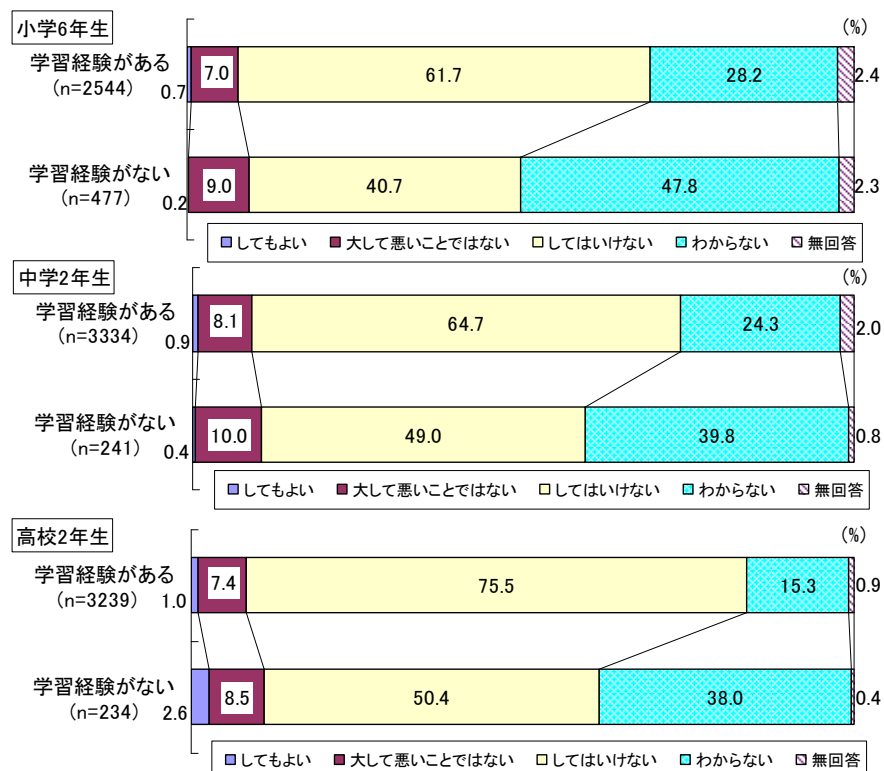
関連設問との分析（児童生徒調査Q24—児童生徒調査Q17）

携帯電話等の危険性に関する子どもの学習経験と、インターネットの利用マナーに関する子どもの意識との関係

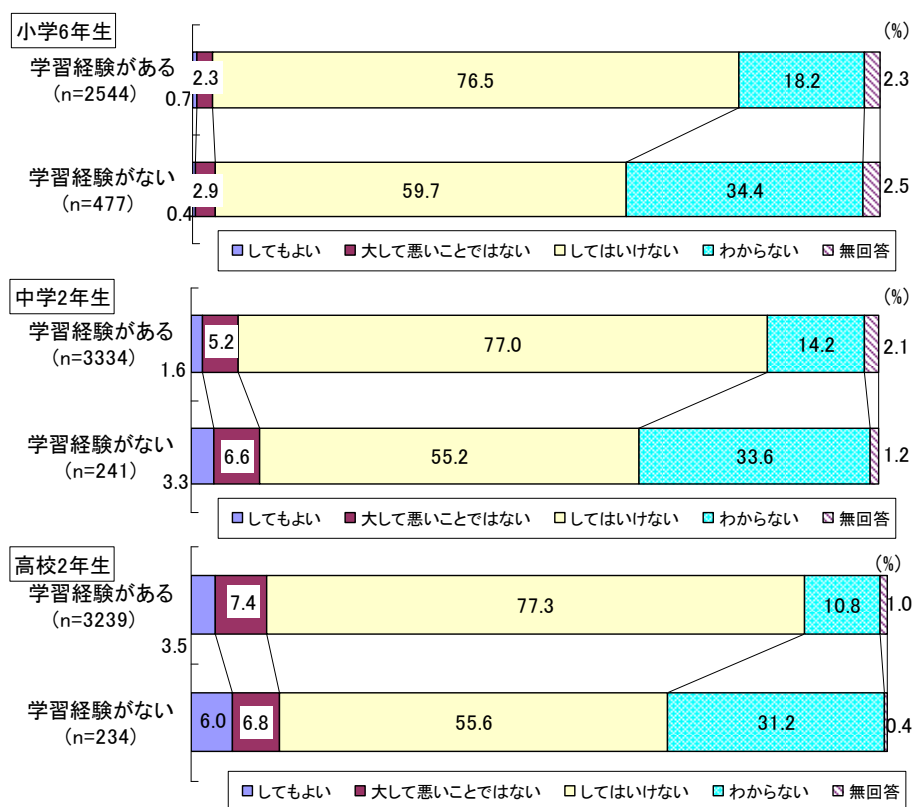
(1) 「自分に来たチェーンメールを転送すること」について



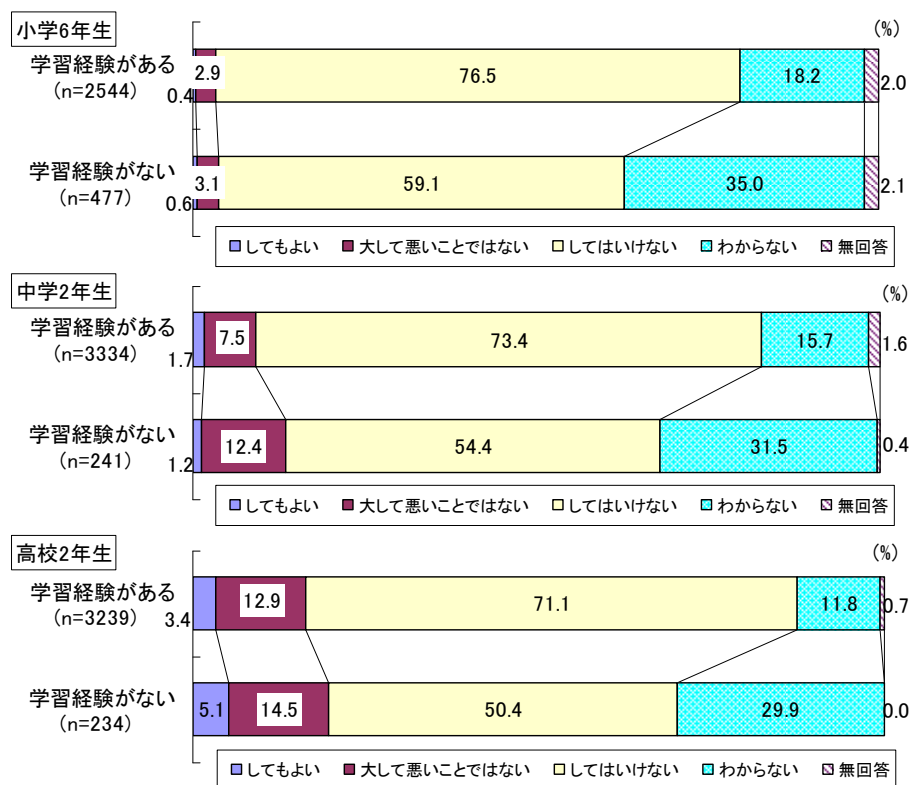
(2) 「インターネットに書き込まれていることは全て正しいと思い込む」ことについて



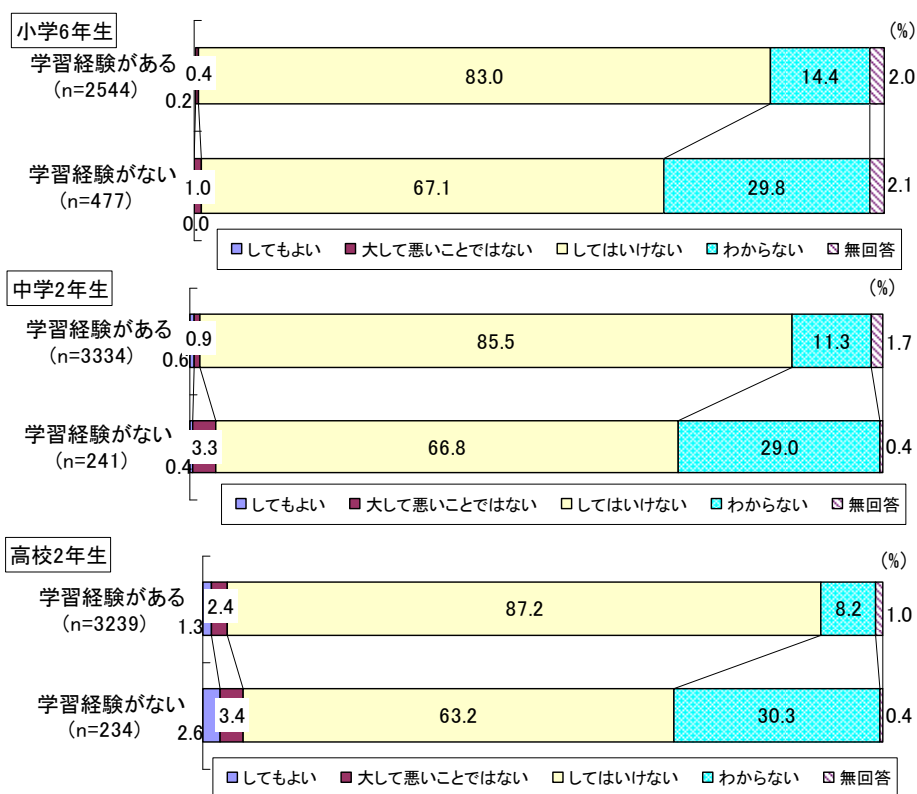
(3) 「インターネットの掲示板やメールに他人のことを自由に書き込む」 ことについて



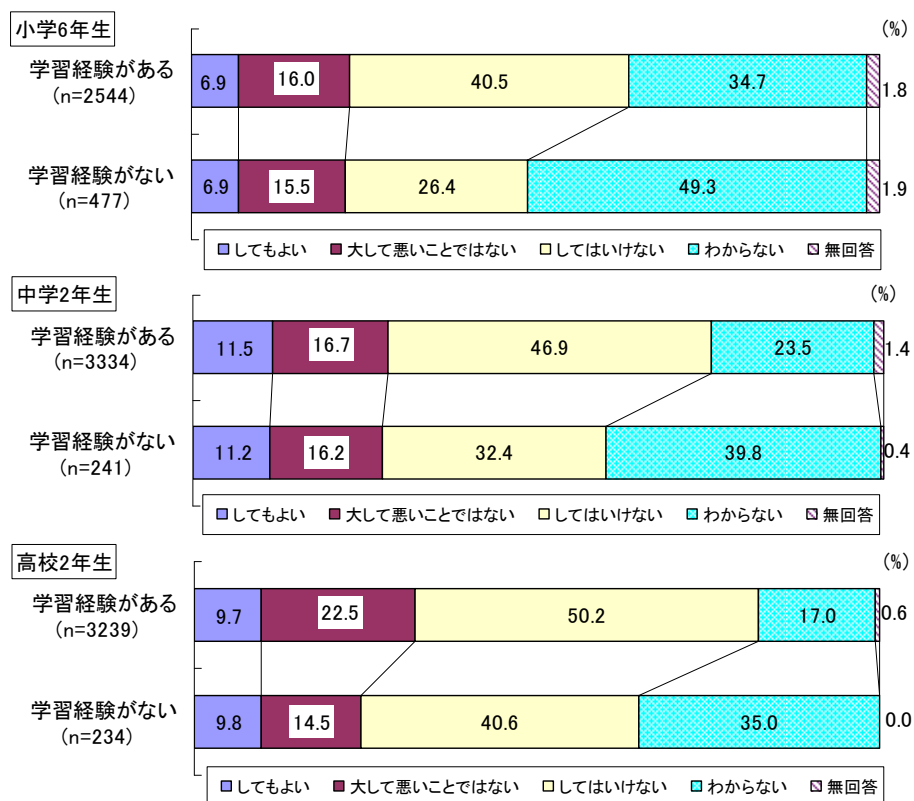
(4) 「プロフィールやブログなどに自分の住所や写真を載せる」 ことについて



(5) 「友だちの住所や写真をインターネットの掲示板などに書き込む」ことについて



(6) 「自分のブログなどに、人気キャラクターのイラストを載せる」ことについて



関連設問との分析（保護者調査Q6—児童生徒調査Q17）

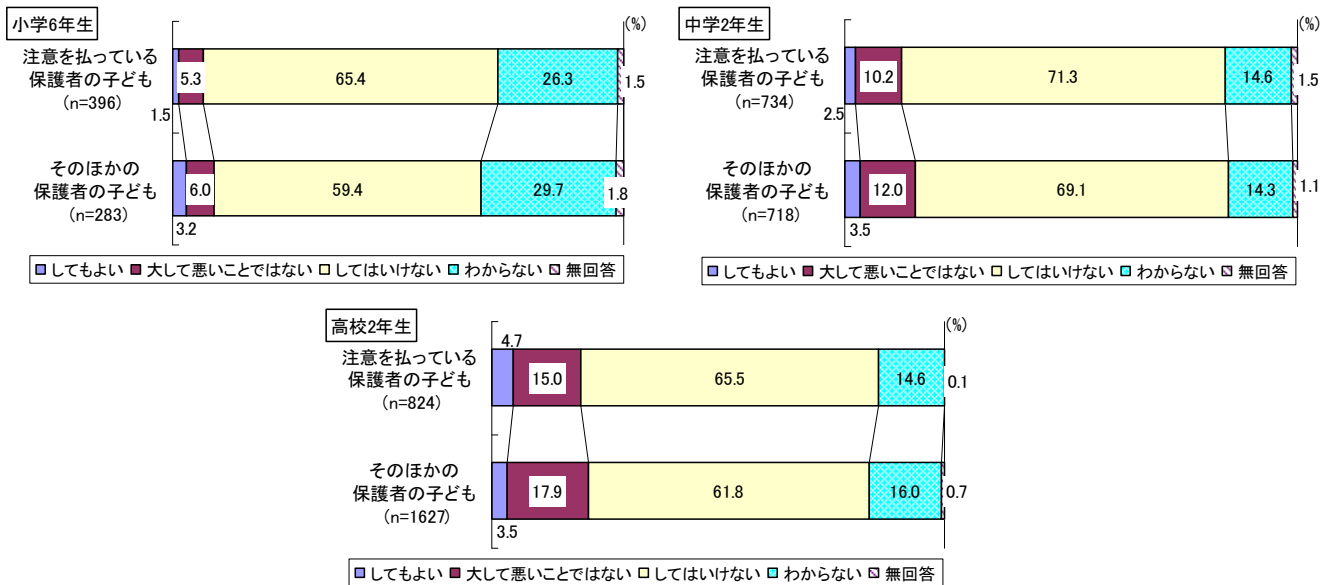
家庭における保護者の見守り姿勢と、インターネットの利用マナーに関する子どもの意識

※グラフの見方:

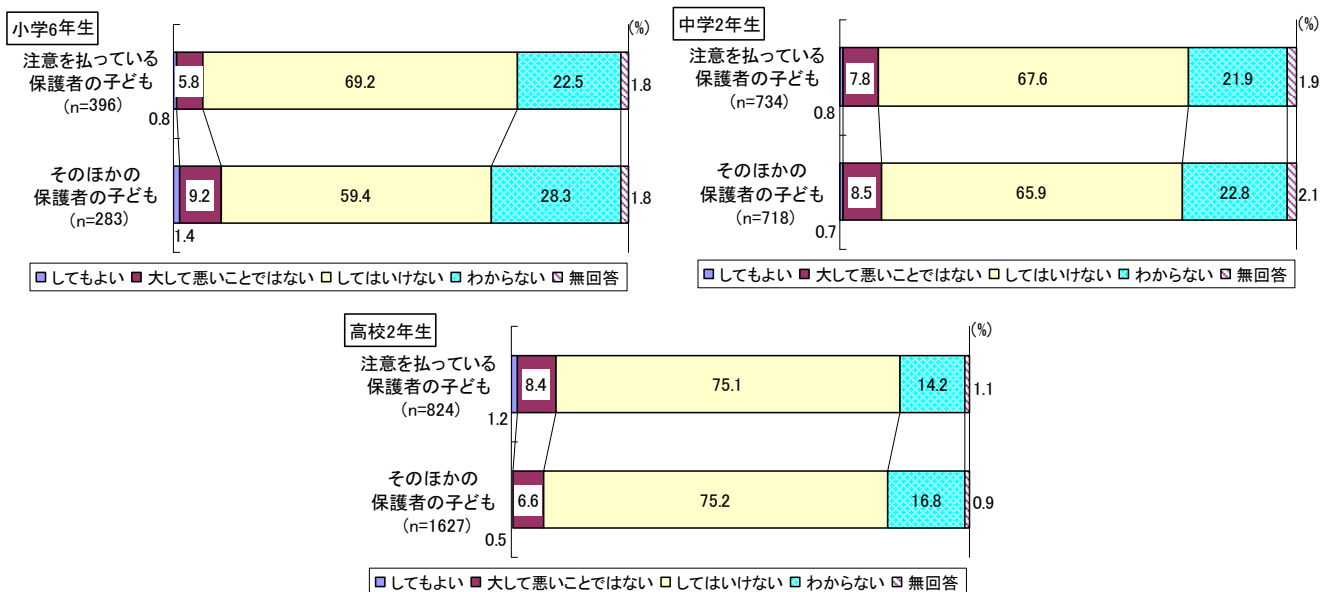
- ・「注意を払っている保護者の子ども」は、保護者調査Q6で子どもの携帯電話の使用に関する各項目について「している」と回答した保護者の子ども
- ・「その他の子ども」は、保護者調査Q6で子どもの携帯電話の使用に関する各項目について「時々している」「あまりしていない」「していない」と回答した保護者の子ども

(1) 「子どもに携帯電話の危険性や注意点を説明する」保護者／そうでない保護者の子ども

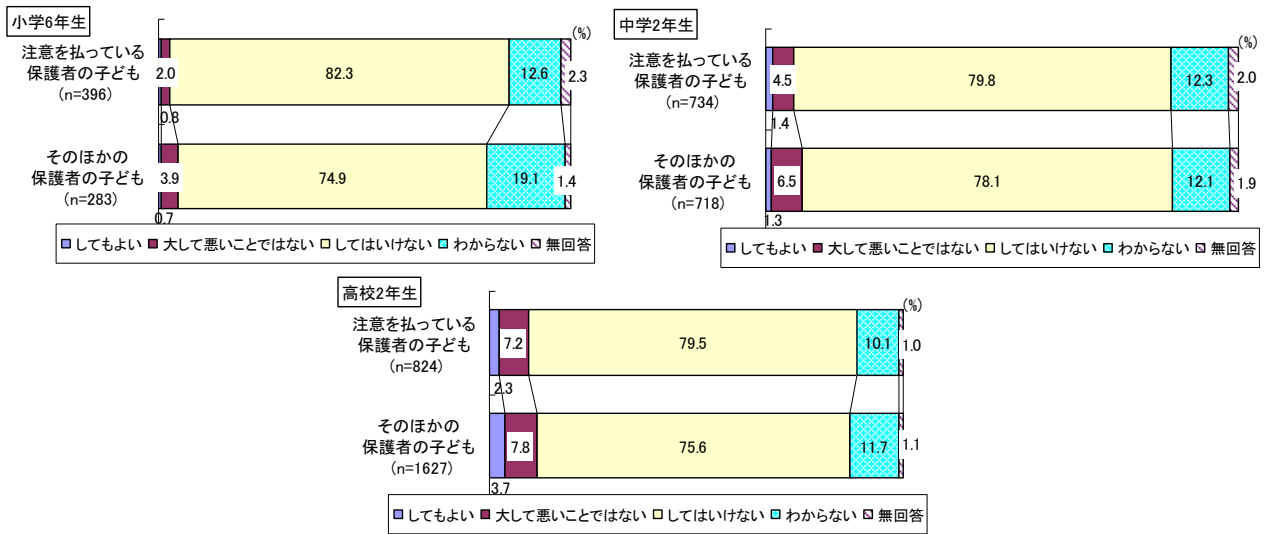
① 「自分に来たチェーンメールを転送する」ことについて



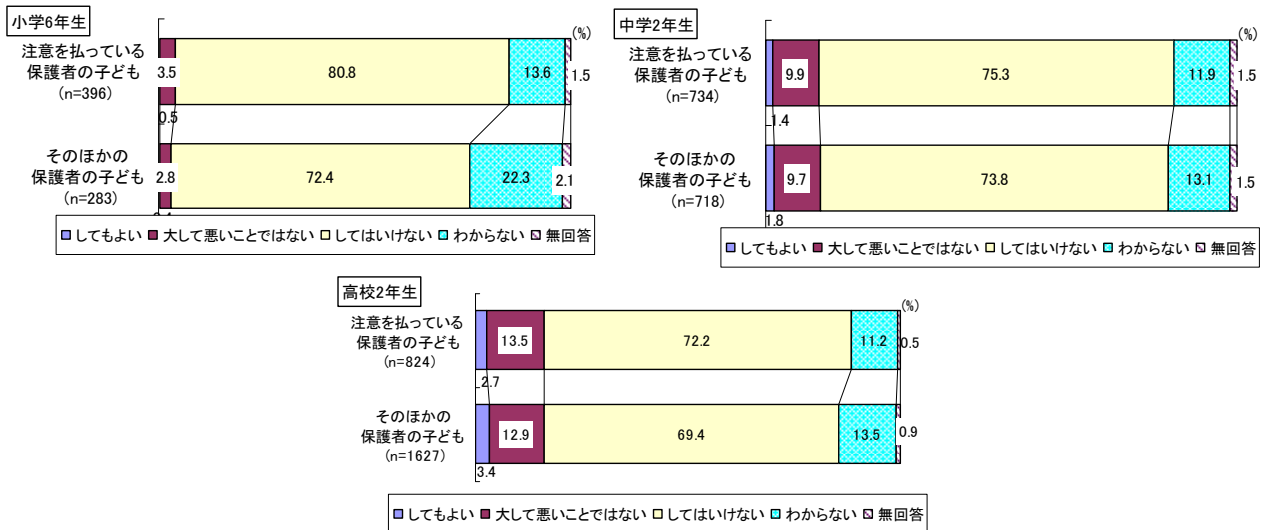
② 「インターネットに書かれていることは全て正しいと思い込む」ことについて



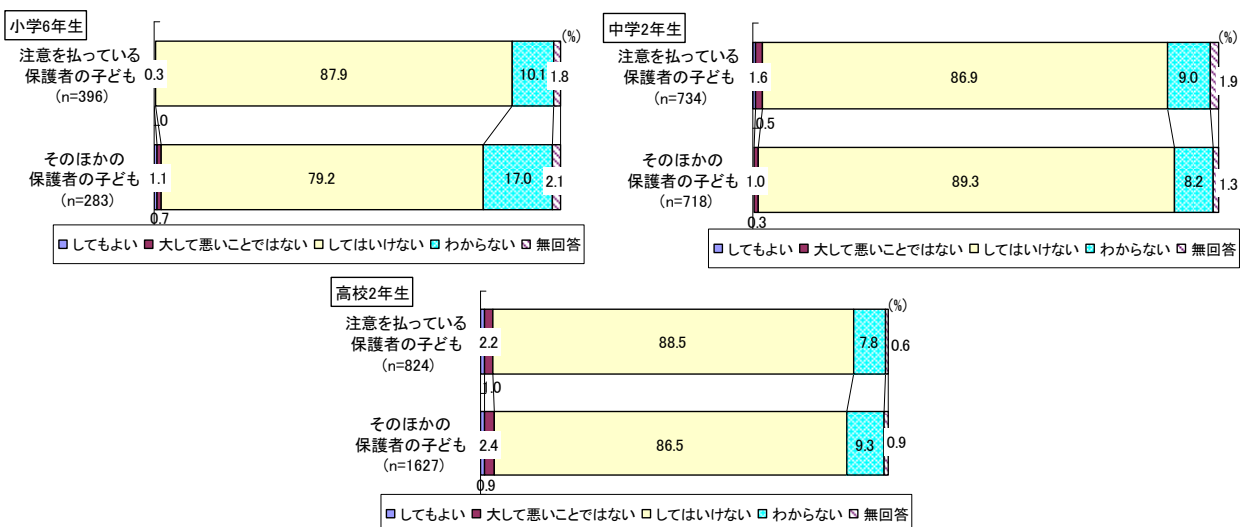
③ 「インターネットの掲示板やメールに他人のことを自由に書き込む」 ことについて



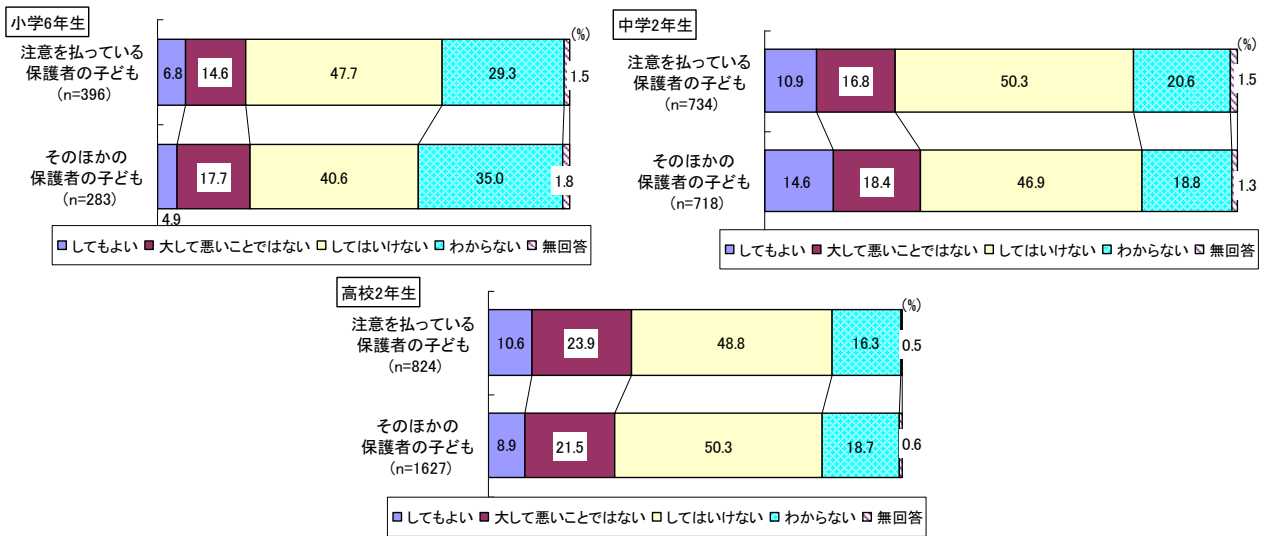
④ 「プロフやブログなどに自分の住所や写真を載せる」 ことについて



⑤ 「友達の住所や写真をインターネットの掲示板などに書き込む」 ことについて

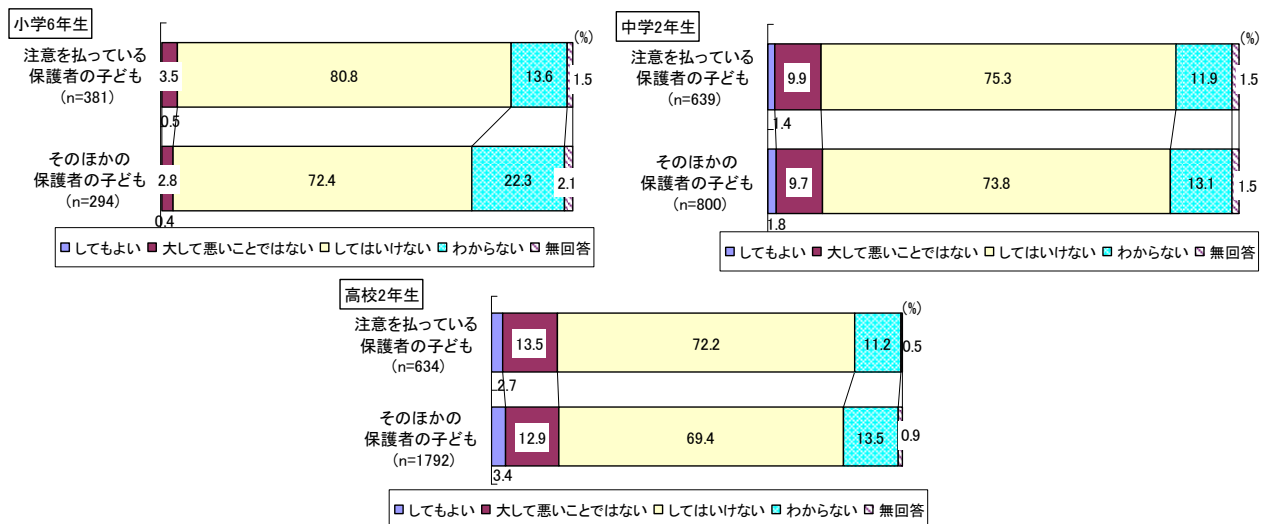


⑥ 「自分のブログなどに、人気キャラクターのイラストを載せる」ことについて

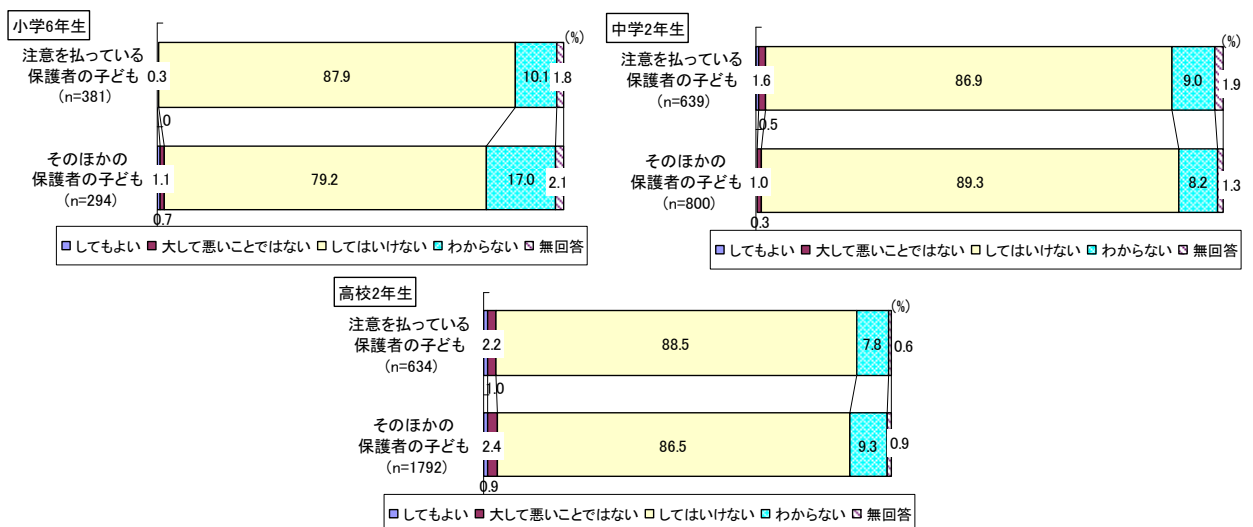


(2) 「子どもが携帯電話に接する様子を気を付けて見守る」保護者／そうでない保護者の子ども

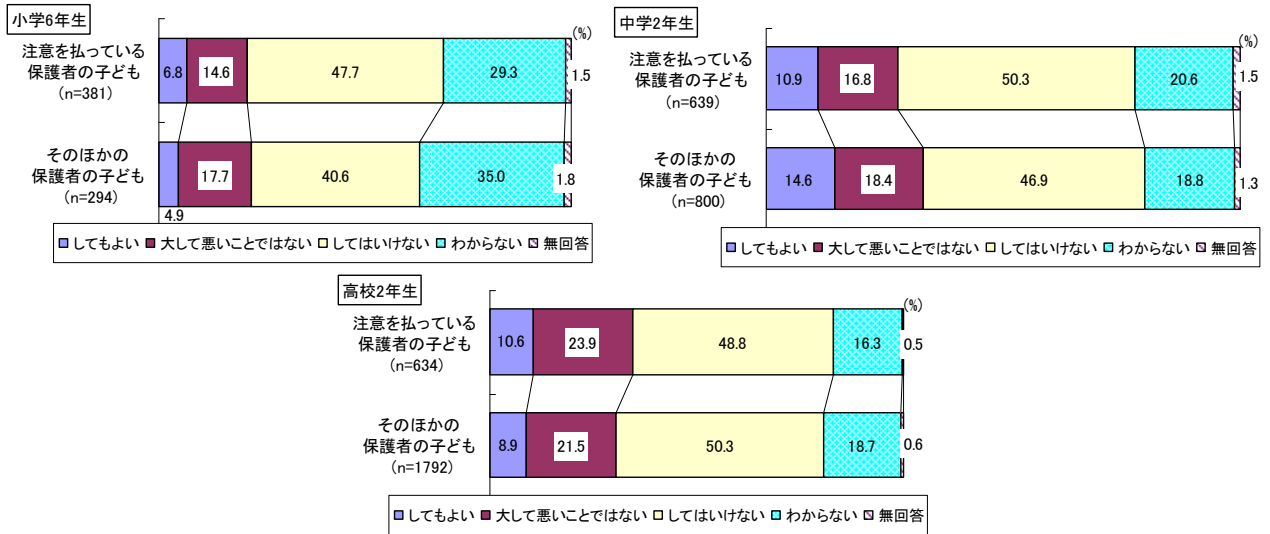
① 「自分に来たチェーンメールを転送する」ことについて



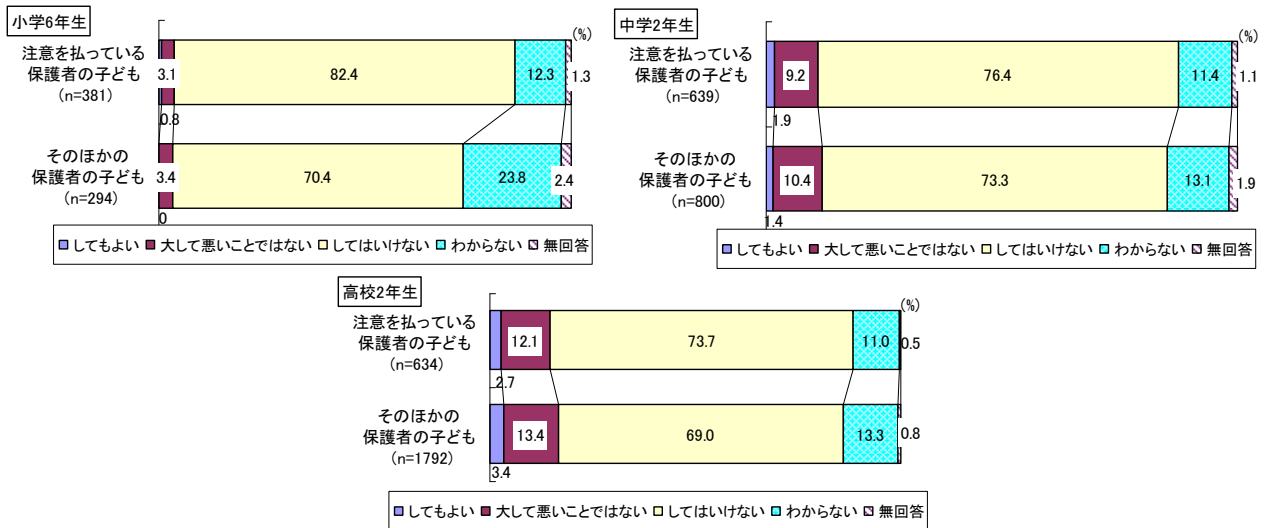
② 「インターネットに書かれていることは全て正しいと思い込む」ことについて



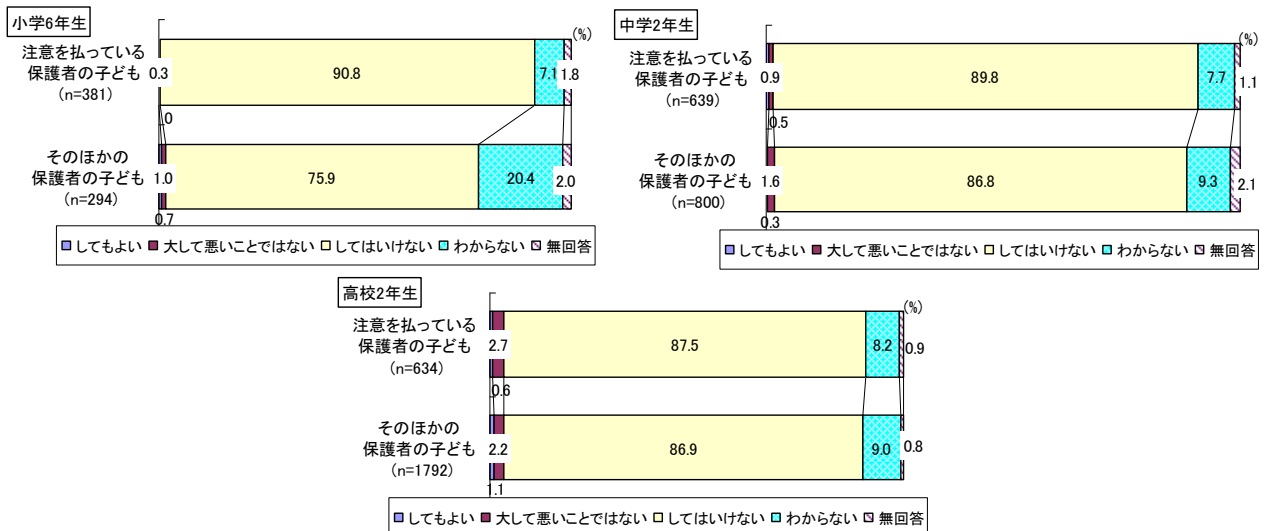
③ 「インターネットの掲示板やメールに他人のことを自由に書き込む」 ことについて



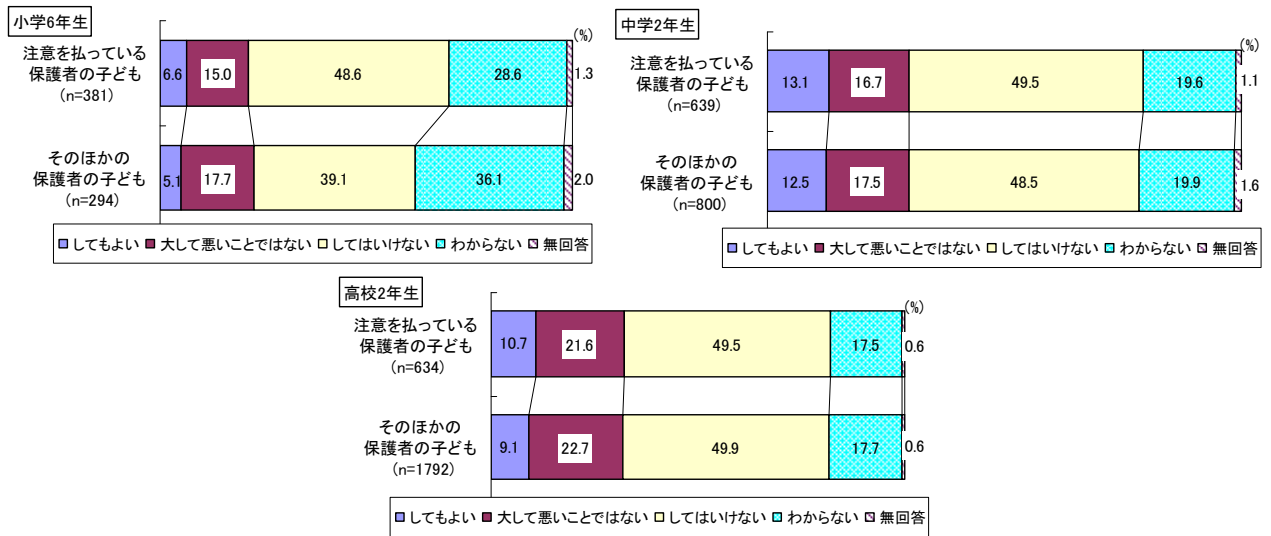
④ 「プロフやブログなどに自分の住所や写真を載せる」 ことについて



⑤ 「友だちの住所や写真をインターネットの掲示板などに書き込む」 ことについて



⑥ 「自分のブログなどに、人気キャラクターのイラストを載せる」ことについて



小学6年生については、携帯電話の使用に注意を払っている保護者の子どもで「してはいけない」と回答する割合が多いが、中学2年生と高校2年生では、両者の差はあまり見られなくなっている。

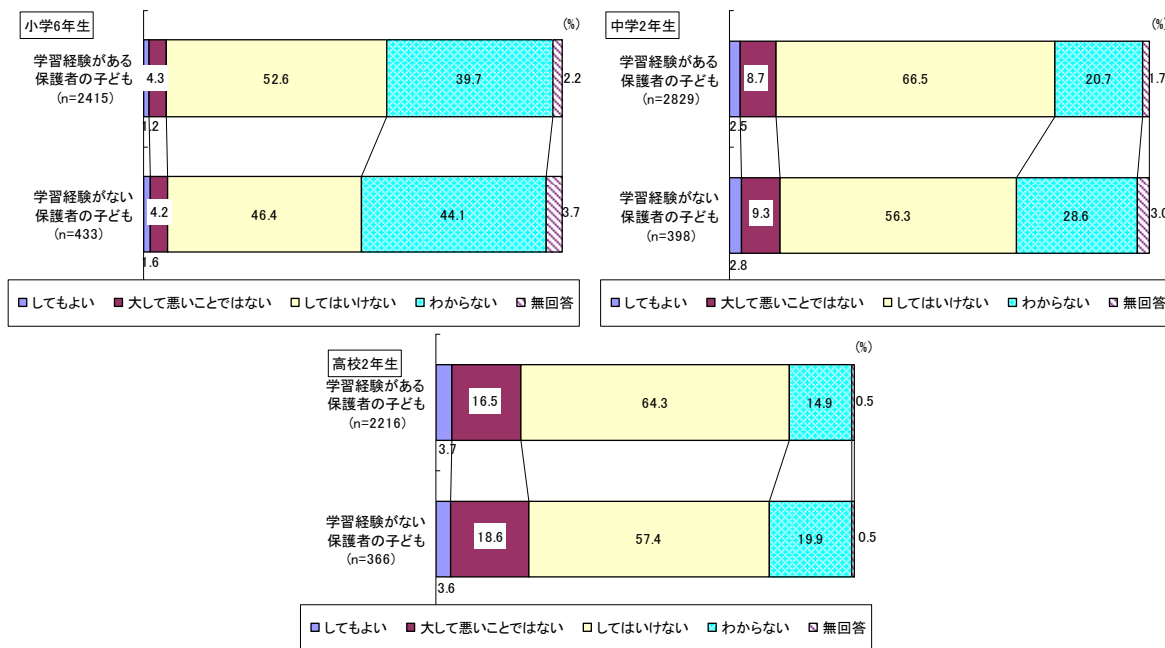
関連設問との分析（保護者調査Q23—児童生徒調査Q17）

携帯電話等の危険性に関する保護者の学習経験と、インターネットの利用マナーに関する子どもの意識との関係

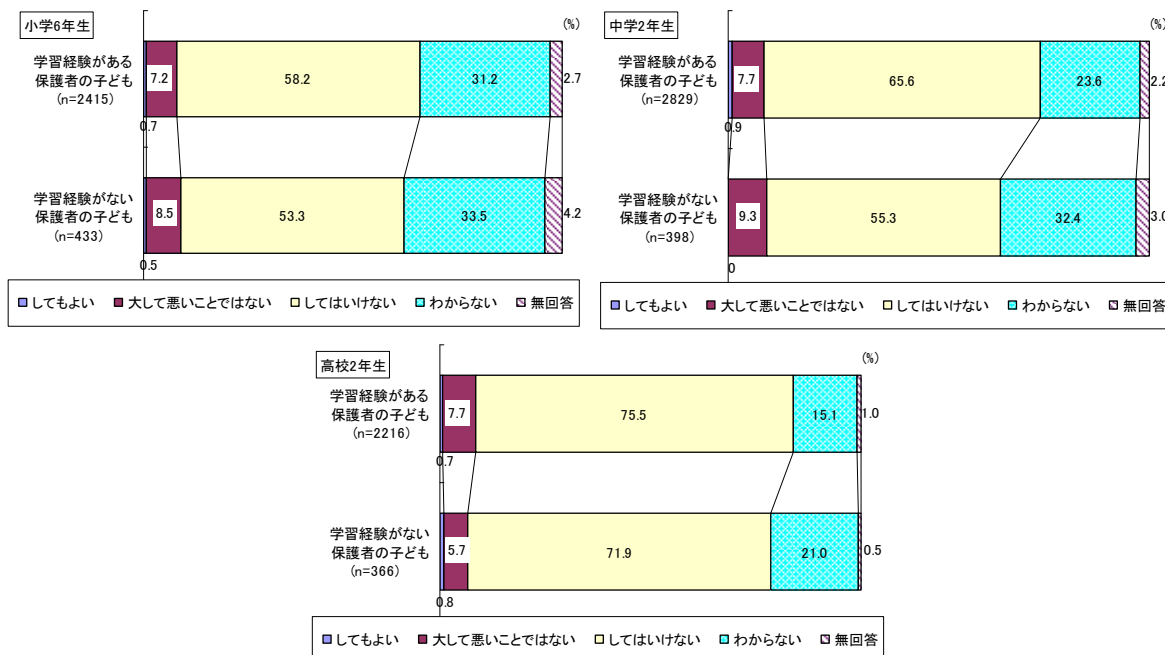
※グラフの見方：

- ・「学習経験がある保護者の子ども」は、保護者調査Q23で「特に説明を受けたり学んだりしたことはない」以外を選択した保護者の子ども
- ・「学習経験がない保護者の子ども」は、保護者調査Q23で「特に説明を受けたり学んだりしたことはない」を選択した保護者の子ども

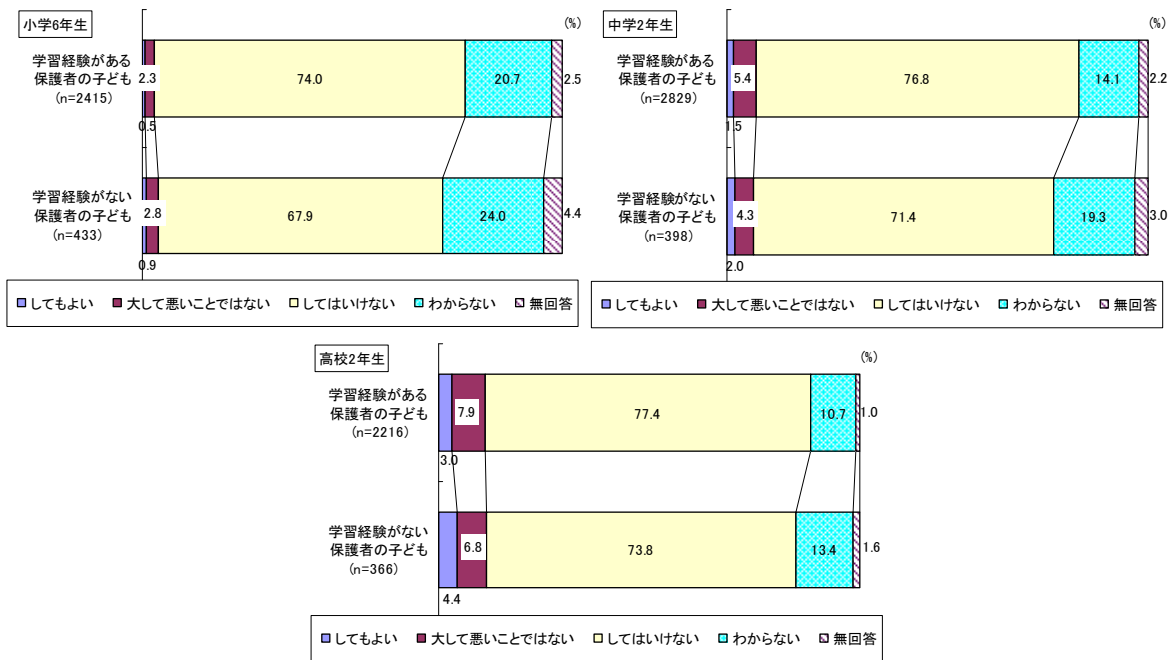
(1) 「自分に来たチェーンメールを転送する」ことについて



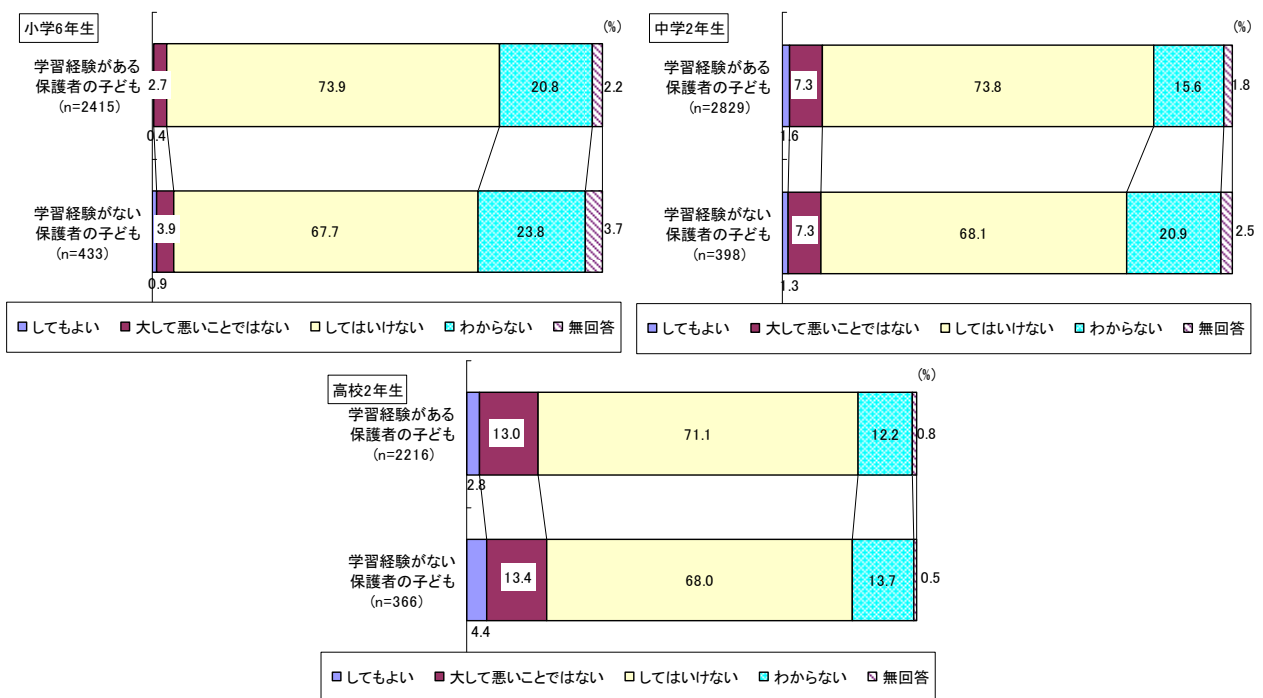
(2) インターネットに書かれていることは全て正しいと思い込むことについて



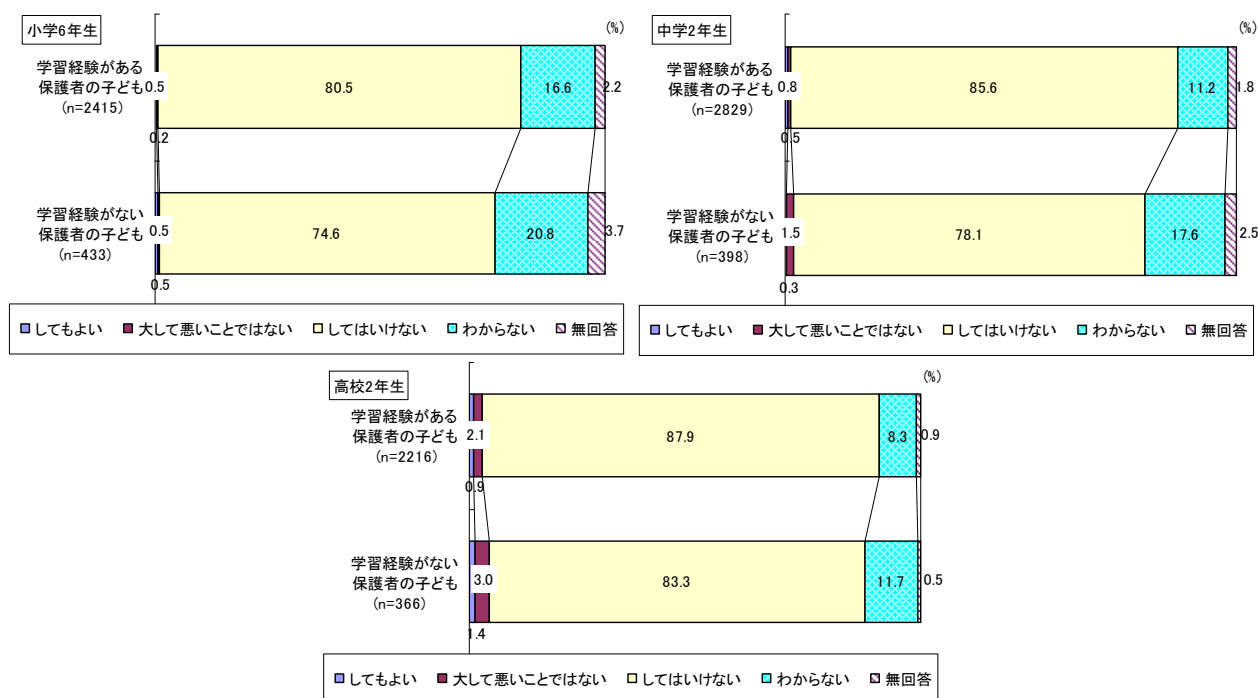
(3) 「インターネットの掲示板やメールに他人のことを自由に書き込む」ことについて



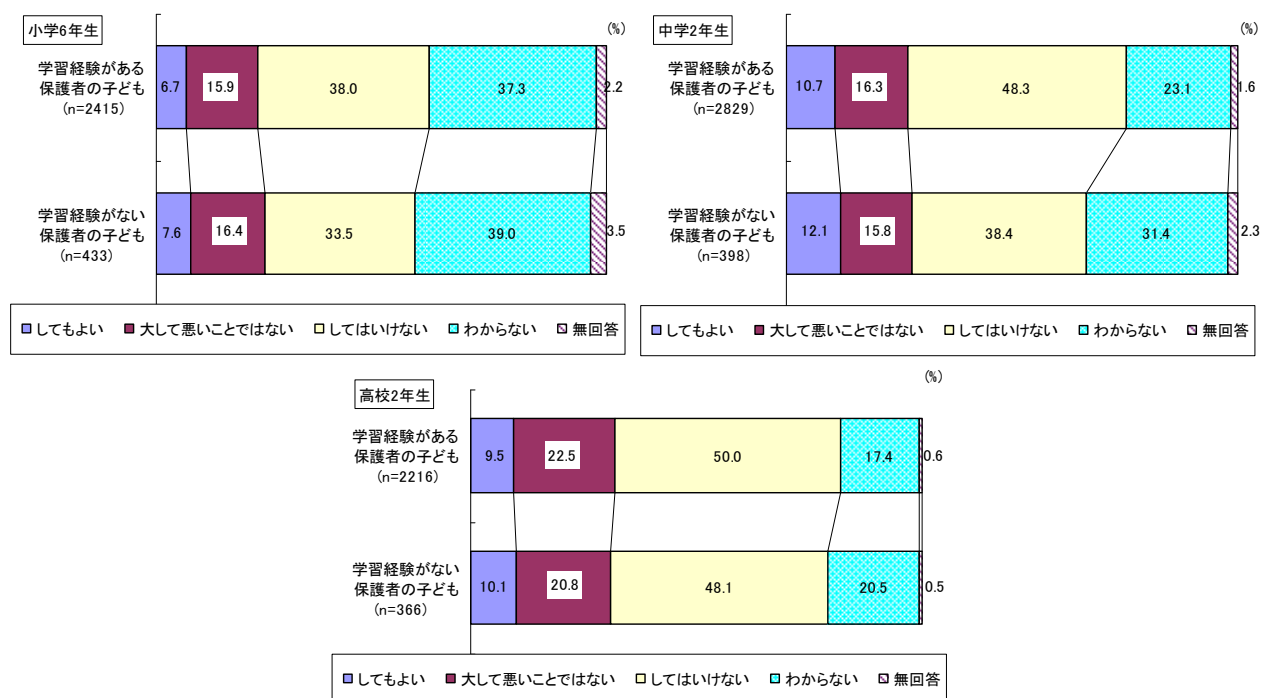
(4) 「プロフィールやブログなどに自分の住所や写真を載せる」ことについて



(5) 「友だちの住所や写真をインターネットの掲示板などに書き込む」ことについて



(6) 「自分のブログなどに、人気キャラクターのイラストを載せる」ことについて

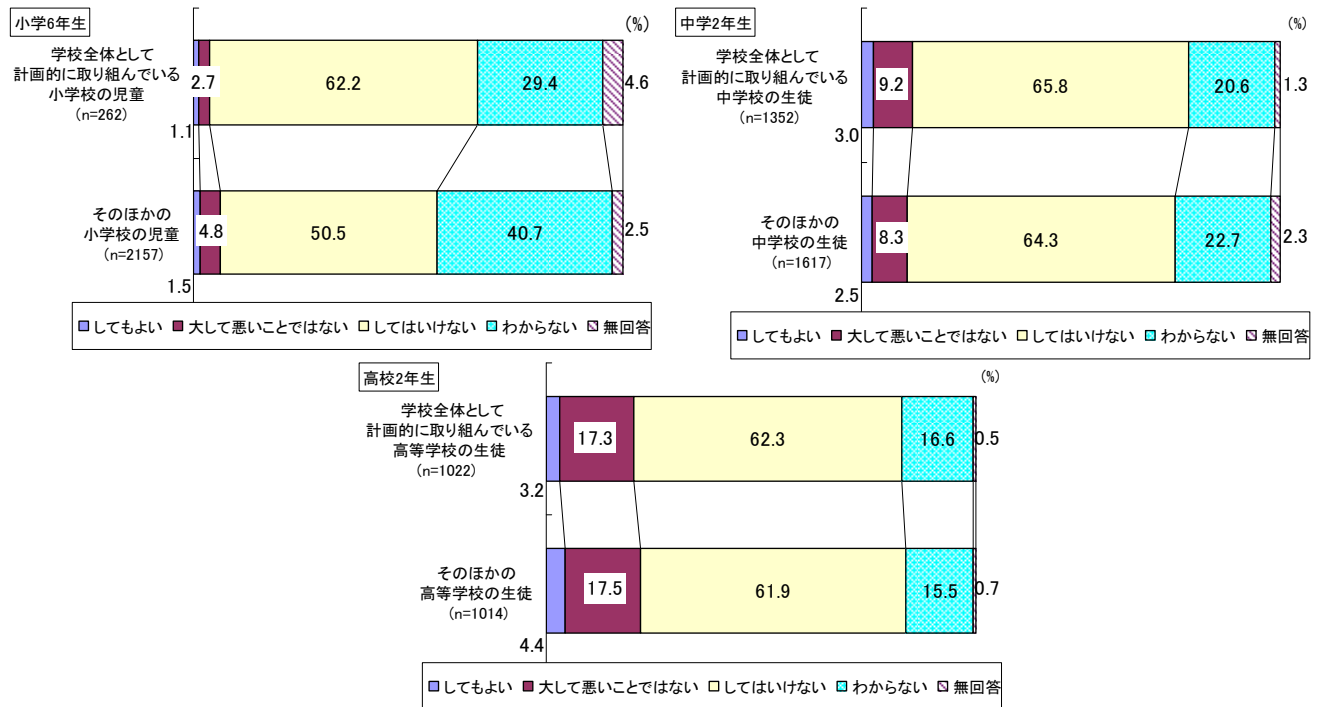


全ての事項について、学習経験がある保護者の子どもは、学習経験のない保護者の子どもに比べ、「してはいけない」と回答する割合が多いが、「わからない」という回答も特に小学6年生で多く見られる。

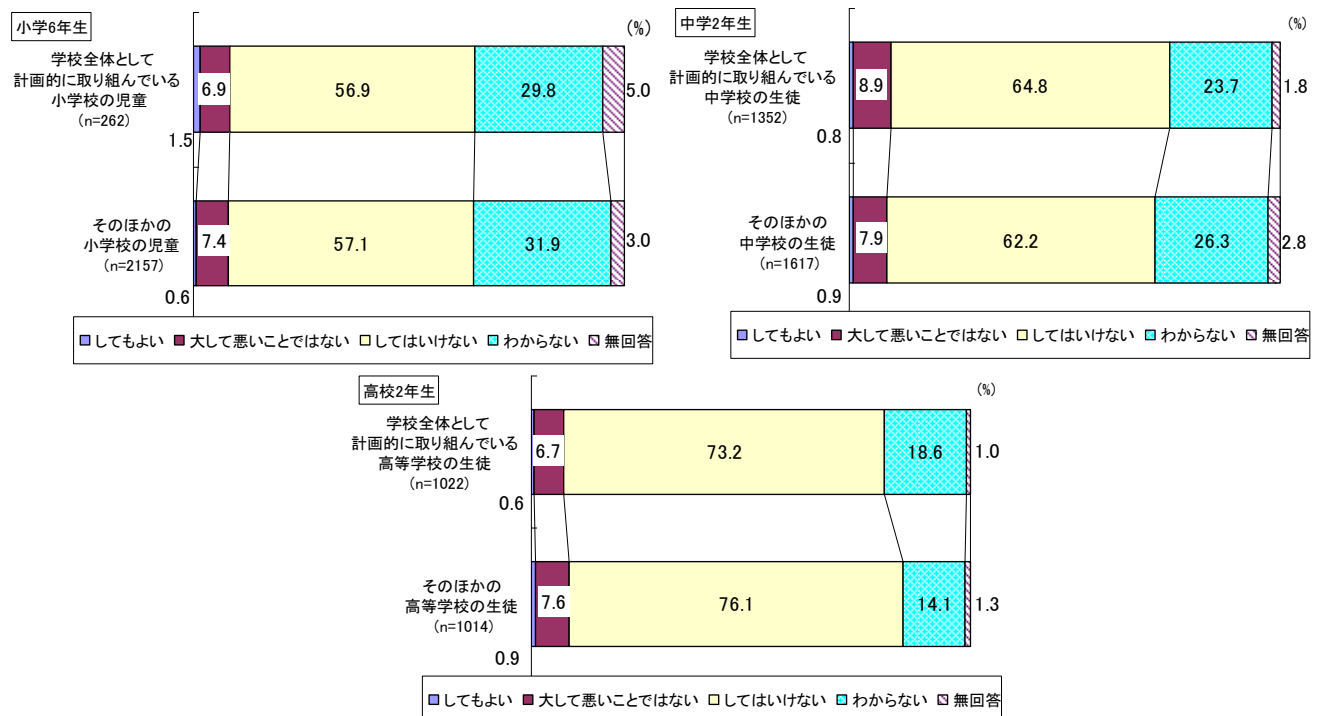
関連設問との分析（学校調査Q2—児童生徒調査Q17）

学校における携帯電話の利用に関する教育の取組と、子どものインターネットの利用マナーに関する意識との関係

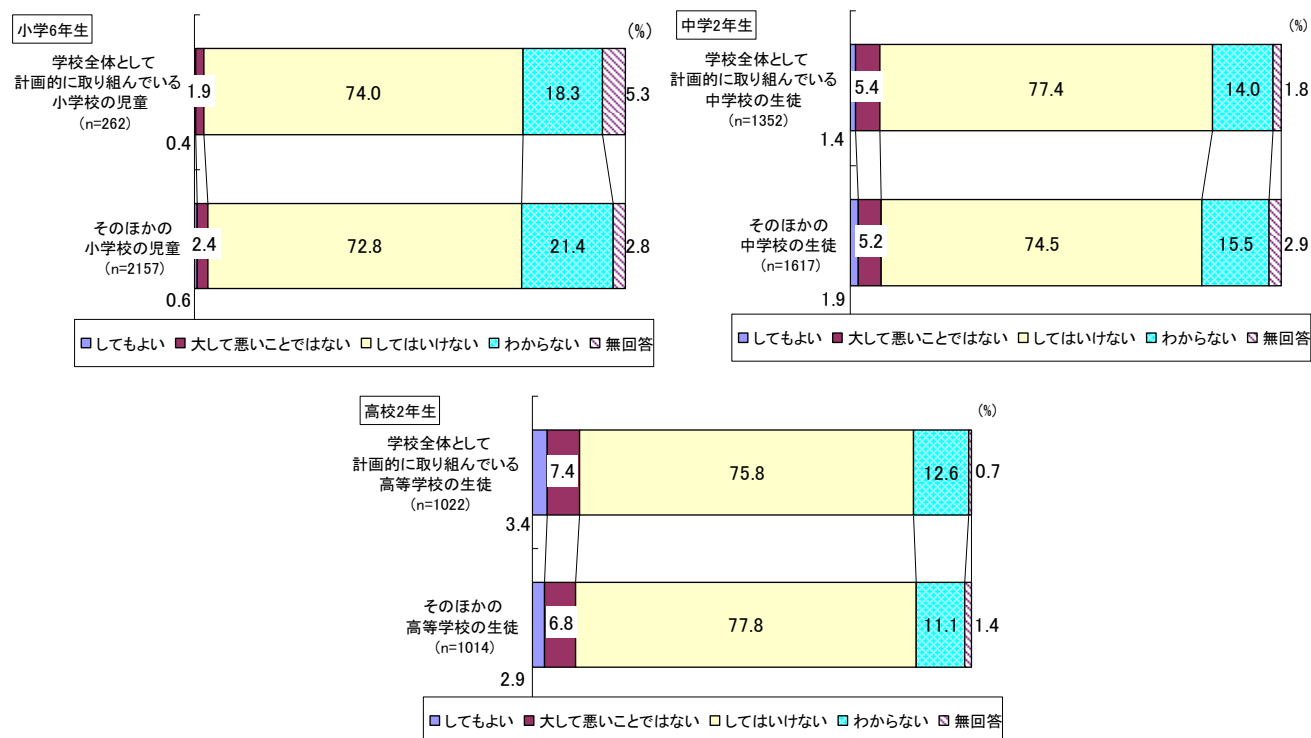
(1) 「自分に来たチェーンメールを転送する」ことについて



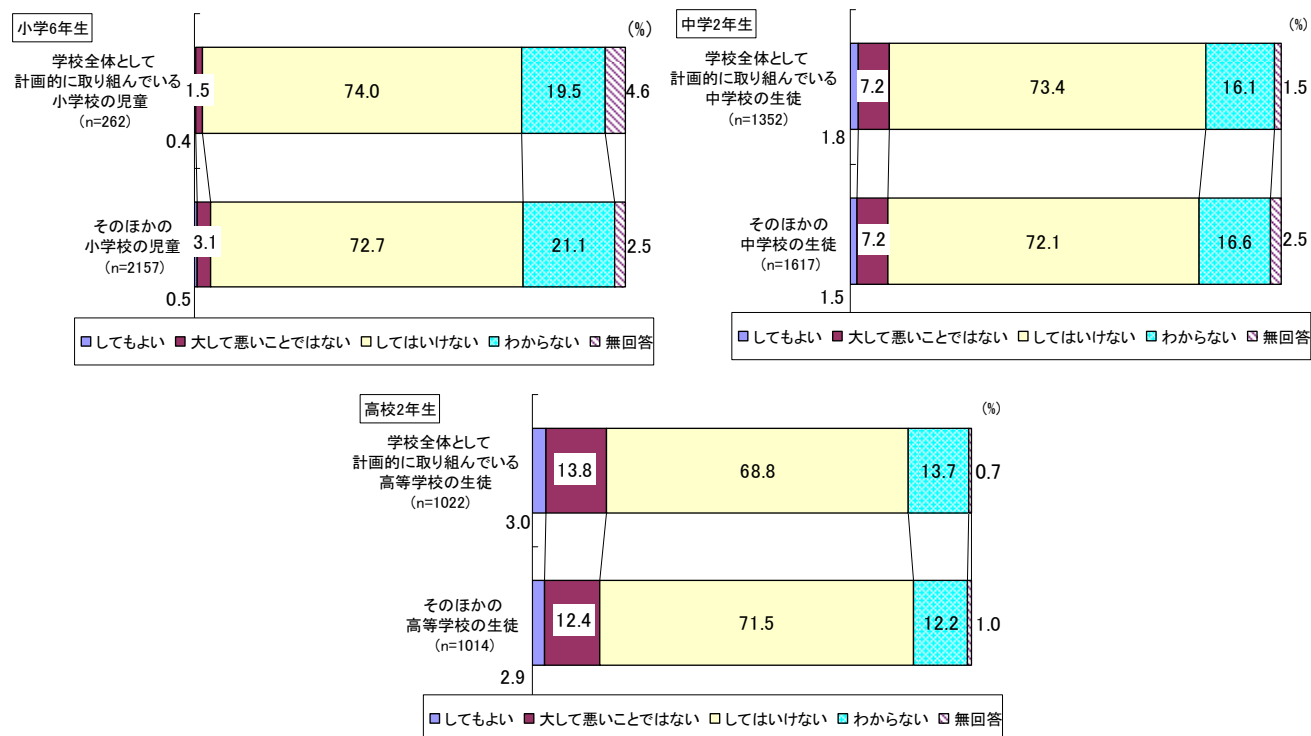
(2) 「インターネットに書かれていることは全て正しいと思い込む」ことについて



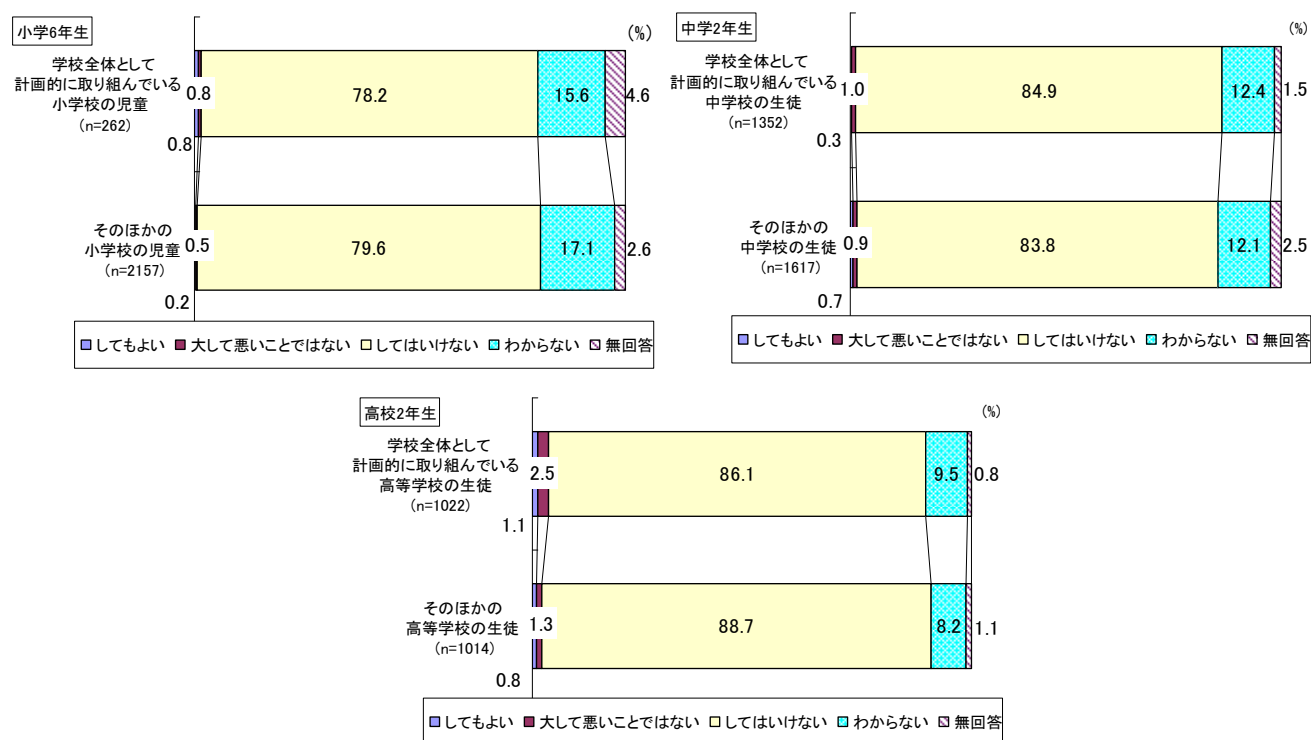
(3) 「インターネットの掲示板やメールに他人のことを自由に書き込む」ことについて



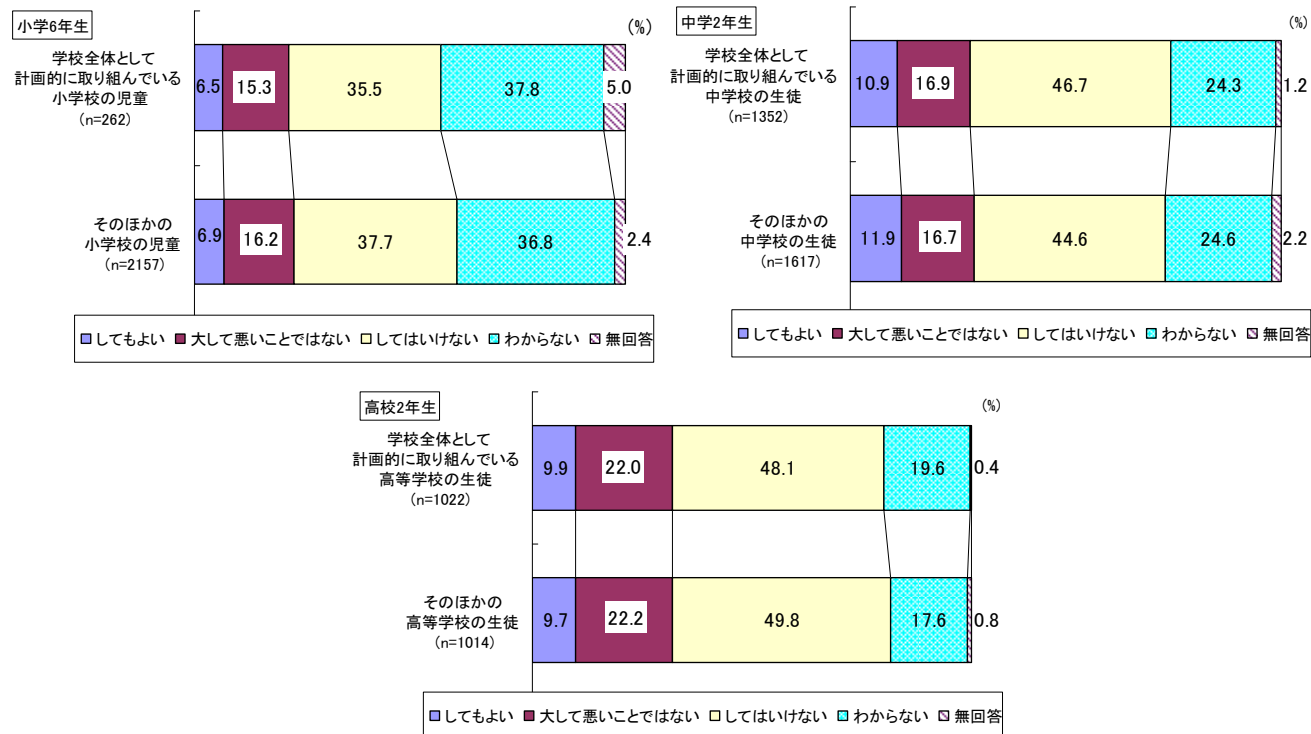
(4) 「プロフやブログなどに自分の住所や写真を載せる」ことについて



(5) 「友だちの住所や写真をインターネットの掲示板などに書き込む」ことについて



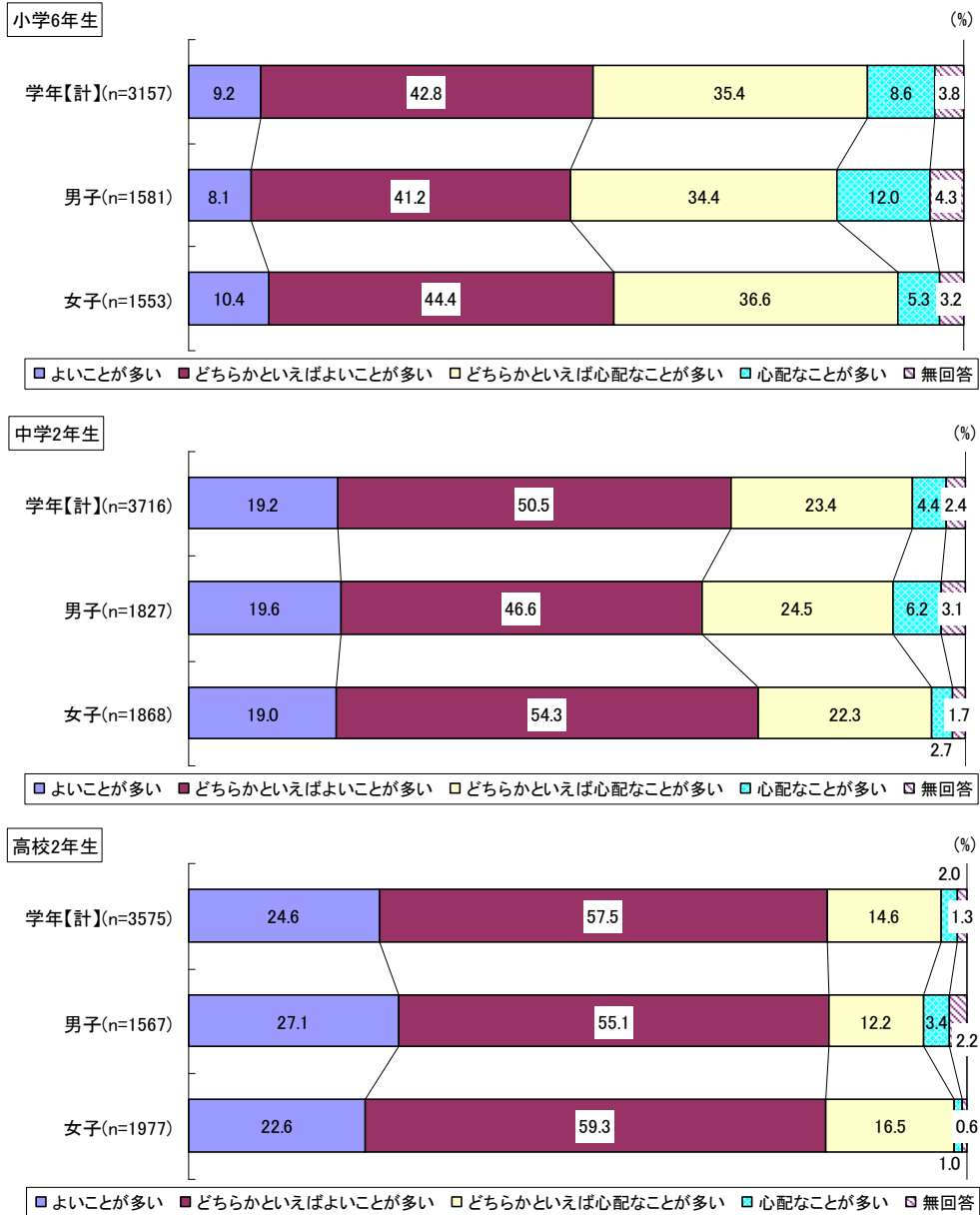
(6) 「自分のブログなどに、人気キャラクターのイラストを載せる」ことについて



中学2年生では、学校全体として計画的に取り組んでいる学校の生徒の方が、それ以外の学校の生徒に比べ、「してはいけない」と回答する割合が多少多くなっているが、小学6年生と高校2年生ではあまり大きな差は見られない。また、「わからない」という回答も多い。

児童生徒調査Q18

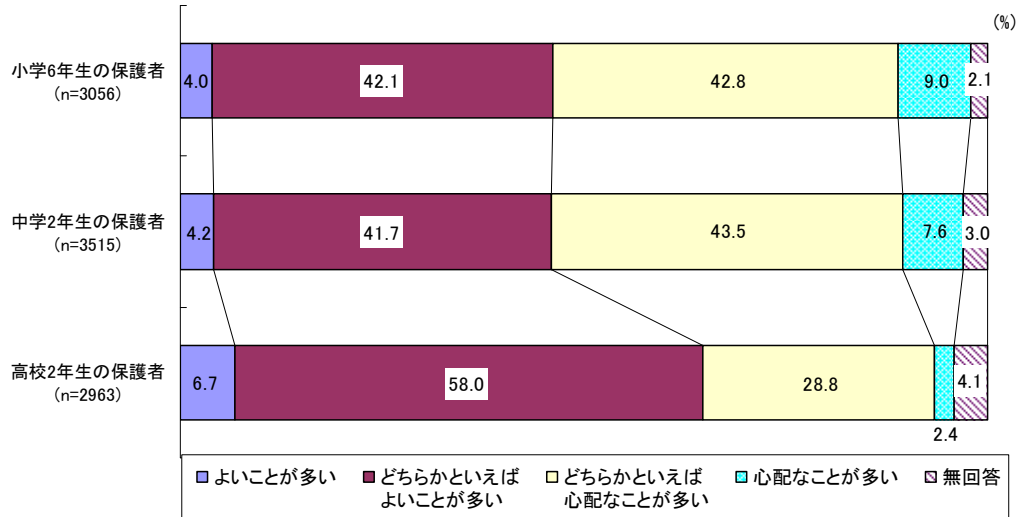
あなたは、携帯電話について、どのように思いますか。(どれか1つに○)



小学6年生全体では、「どちらかといえば心配なことが多い」「心配なことが多い」の合計が44.0%に達しているが、男子・女子ともに学年が上がるにつれて「よいことが多い」「どちらかといえばよいことが多い」という積極的な評価の割合が多くなっている。

保護者調査Q19

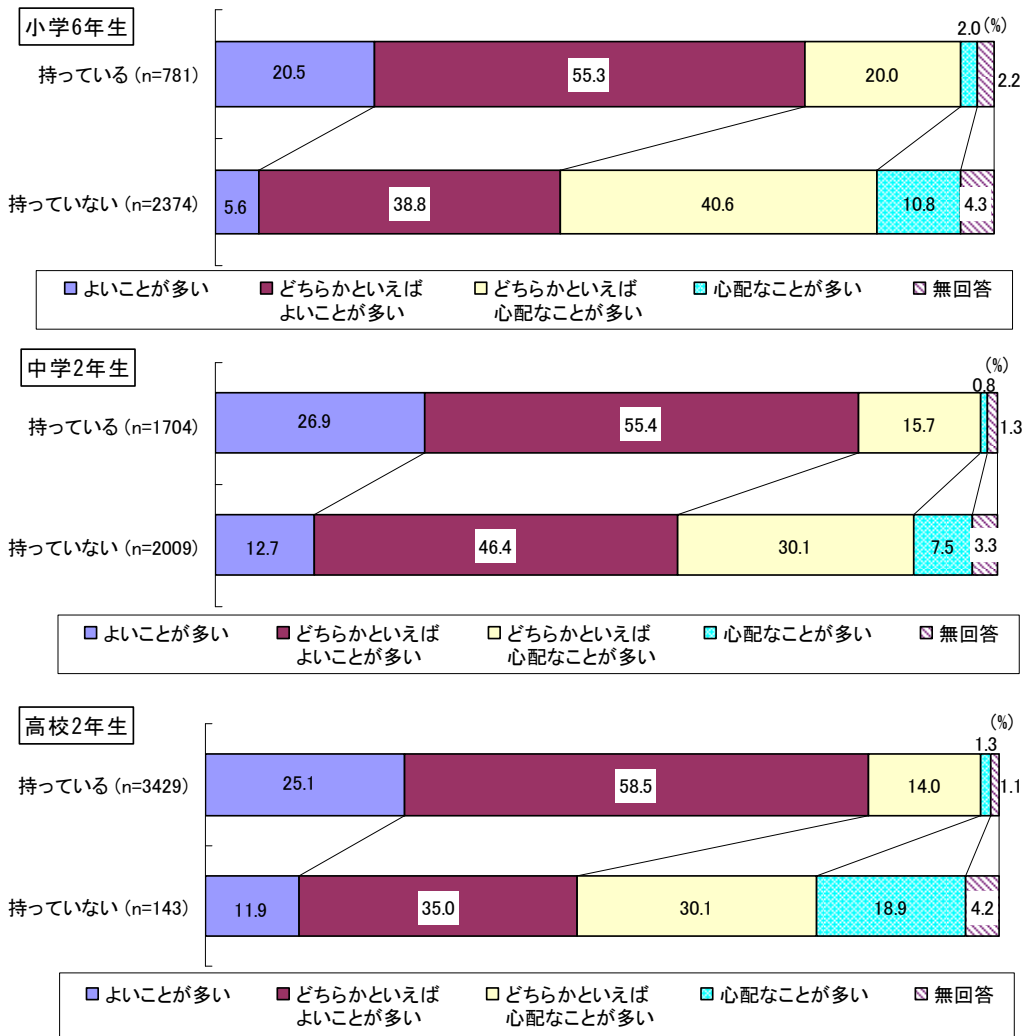
あなたは、携帯電話について、どのように思いますか。(どれか1つに○)



各学年において、子どもより「どちらかといえば心配なことが多い」「心配なことが多い」という回答が多くなっている。

関連設問との分析（児童生徒調査Q1—児童生徒調査Q18）

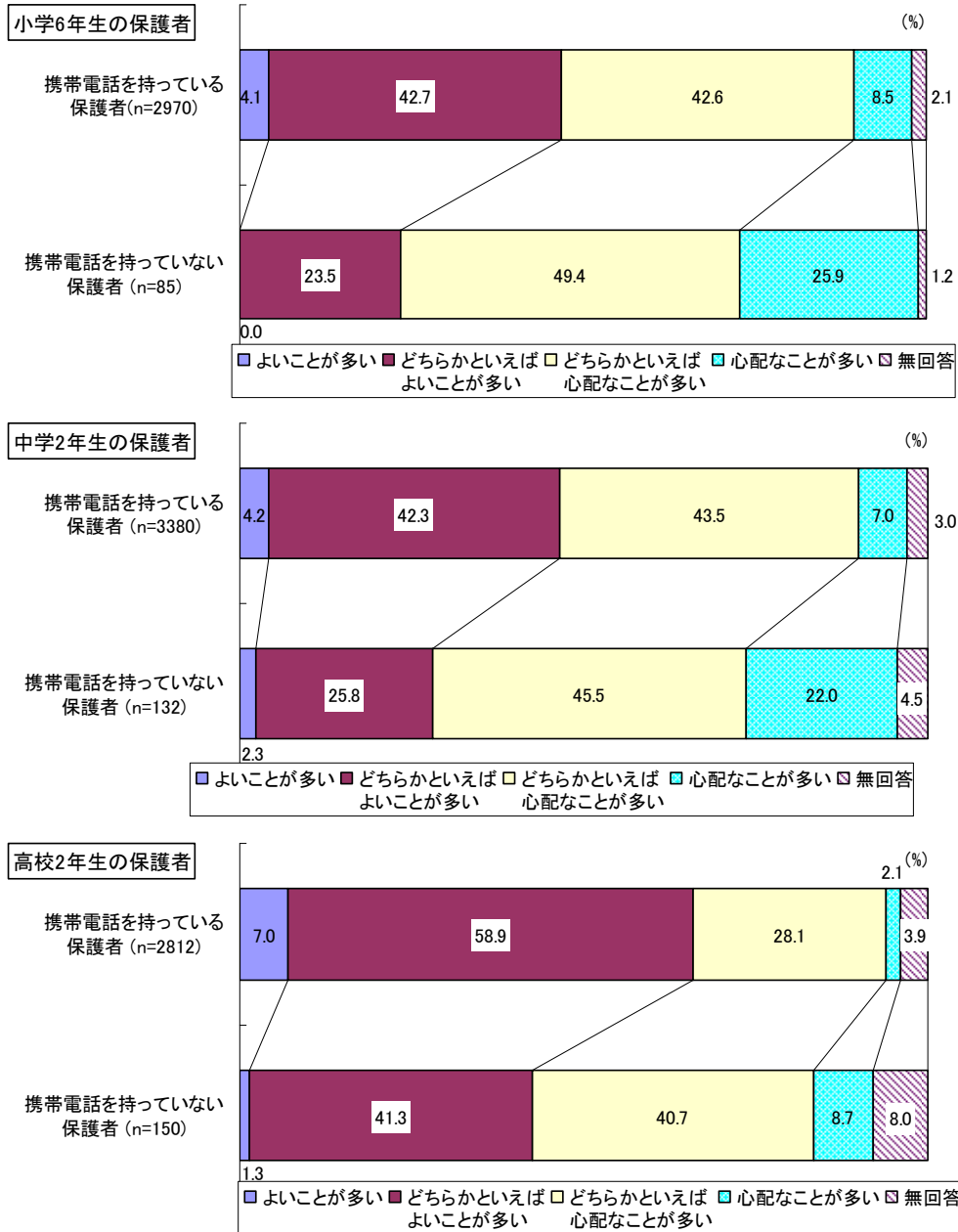
子どもの携帯電話の所有の有無と、携帯電話に対する子どもの評価



各学年とも、携帯電話を持っている子どもの方が携帯電話を積極的に評価している。

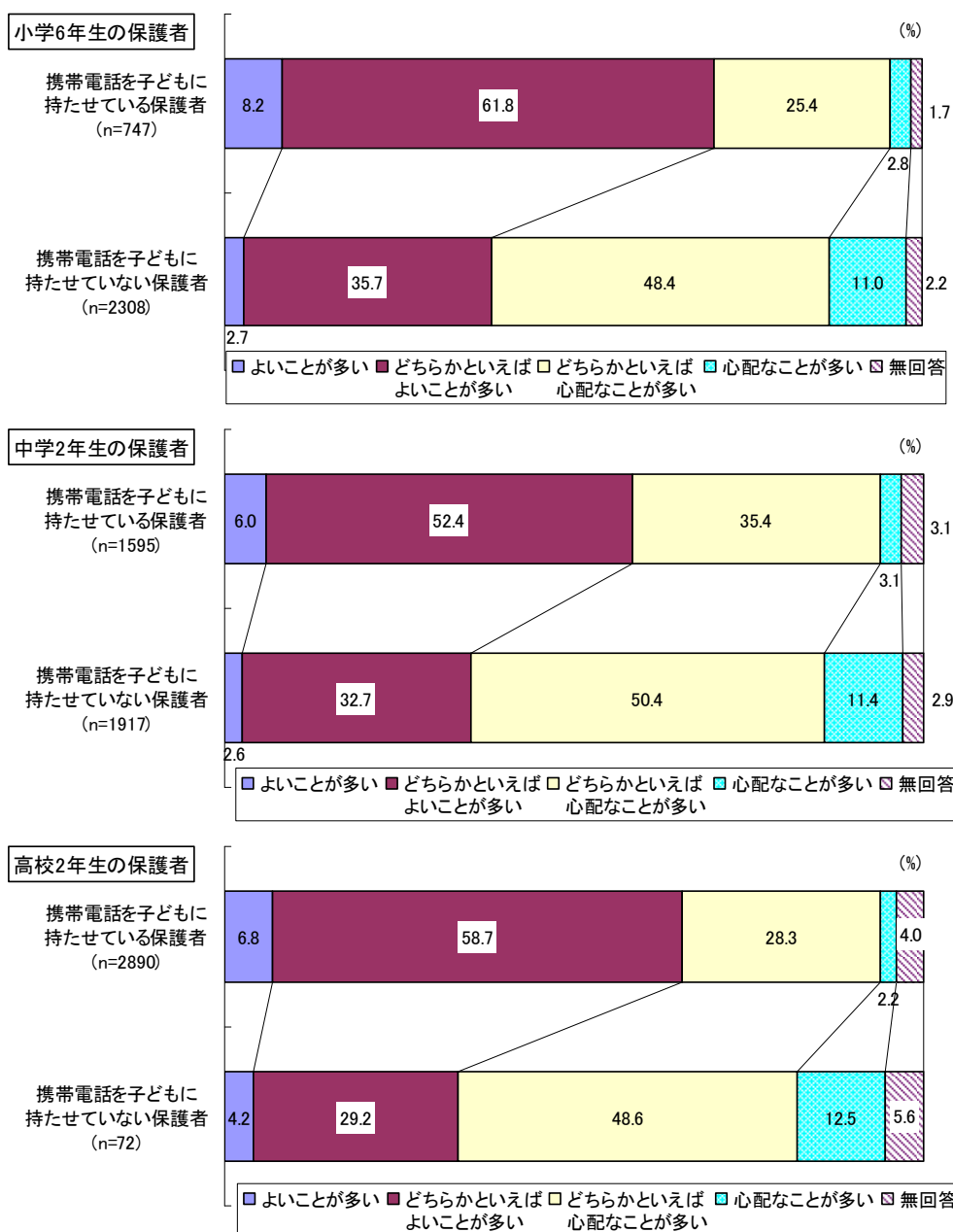
関連設問との分析（保護者調査Q1—保護者調査Q19）

(1) 保護者本人の携帯電話所有の有無と、携帯電話に対する保護者の評価との関係



携帯電話を持っていない保護者は少数だが、全般的に保護者の方が子どもより携帯電話に心配なイメージを持っている割合が多い。

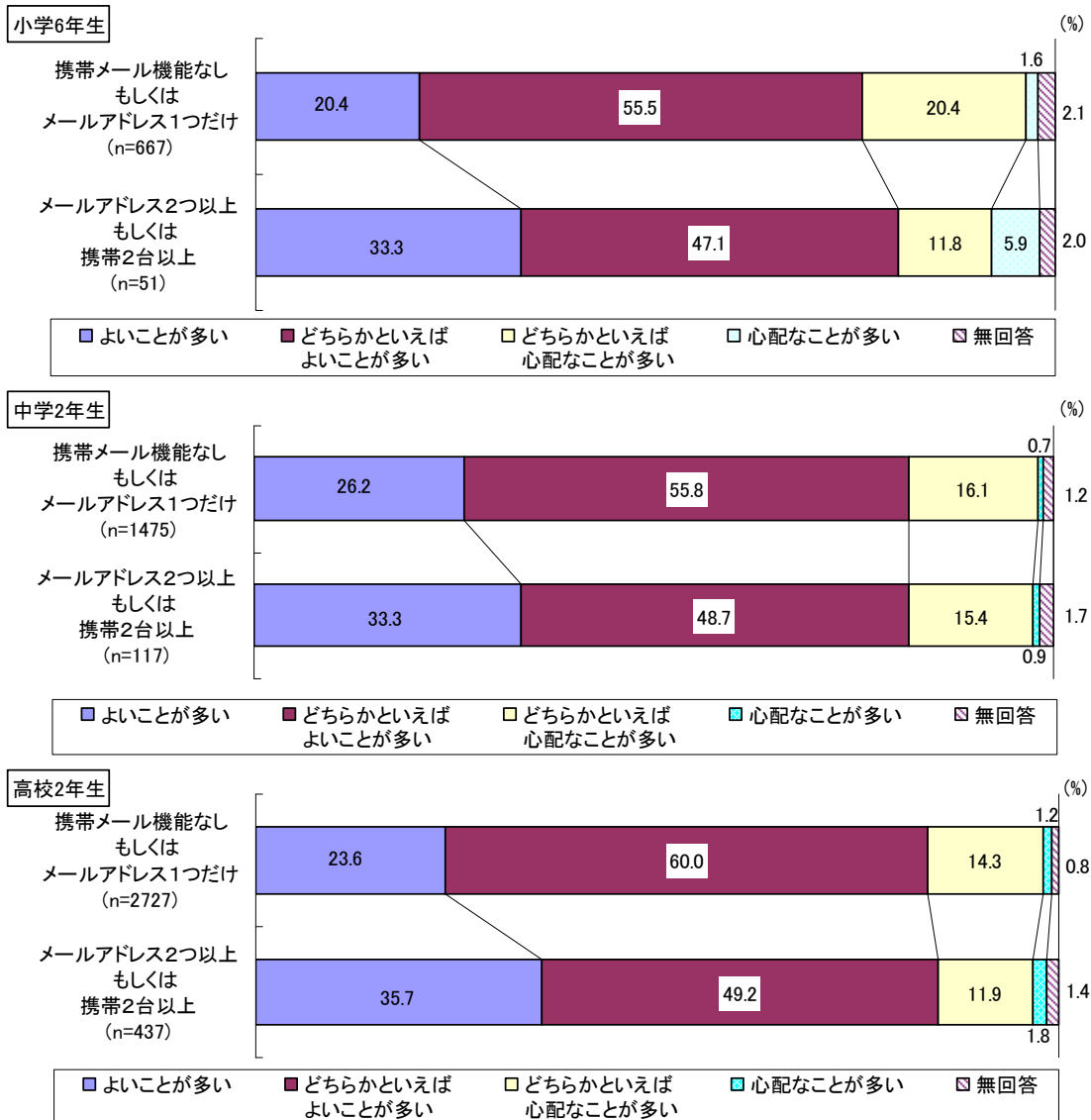
(2) 子どもの携帯電話の所有の有無と、携帯電話に対する保護者の評価との関係



携帯電話を子どもに持たせている保護者は、持たせていない保護者に比べ携帯電話を積極的に評価しているが、子どもよりは「どちらかといえば心配なことが多い」「心配なことが多い」という回答が多くなっている。

関連設問との分析（児童生徒調査Q2—児童生徒調査Q18）

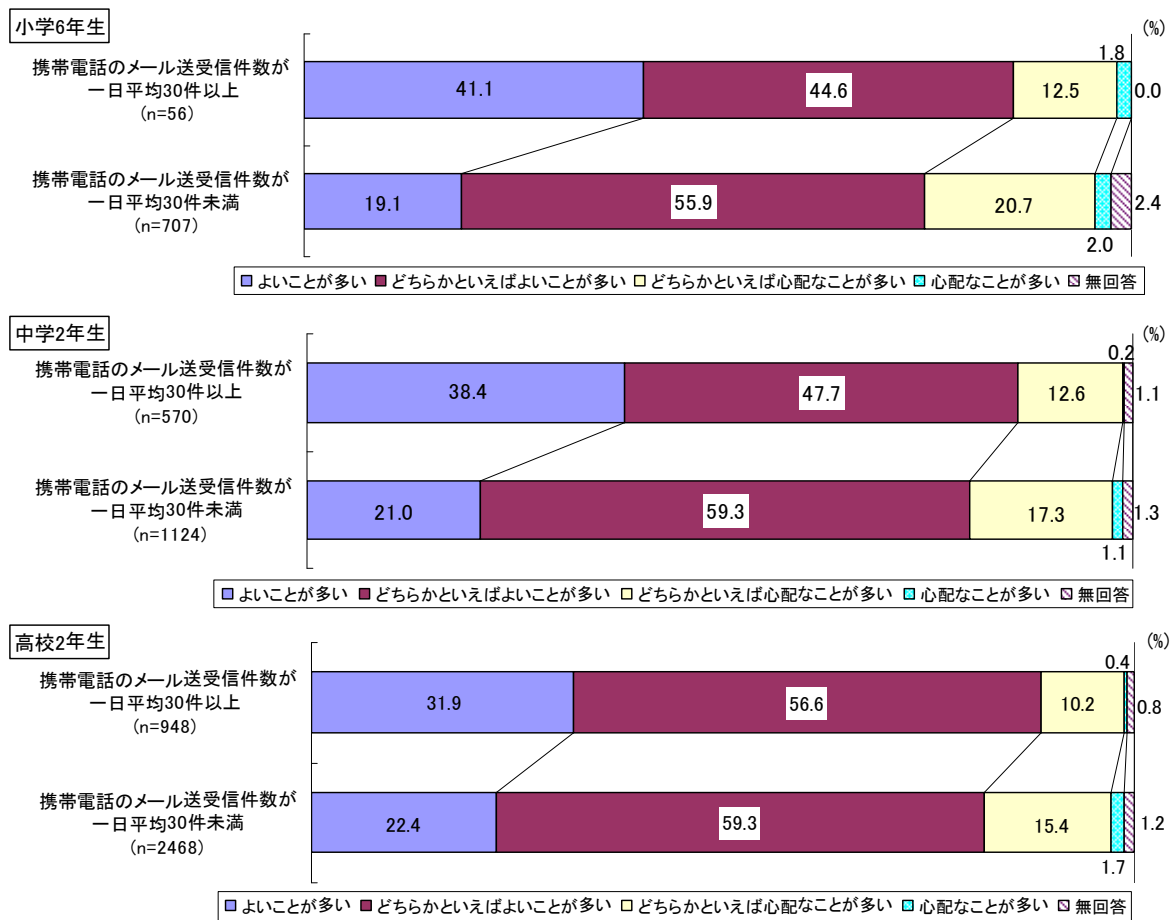
子どもの携帯電話やメールアドレスの所有数と、携帯電話に対する子どもの評価との関係



各学年とも、メールアドレスもしくは携帯電話を2つ以上持っている子どもの方が、携帯電話を積極的に評価している。

関連設問との分析（児童生徒調査Q6—児童生徒調査Q18）

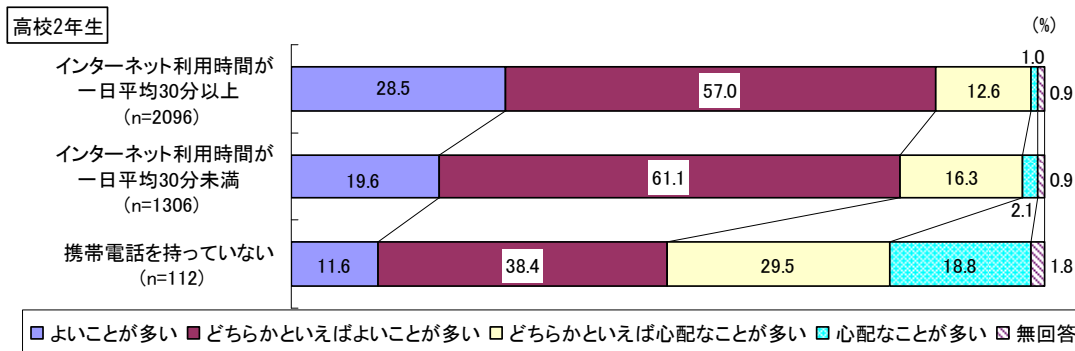
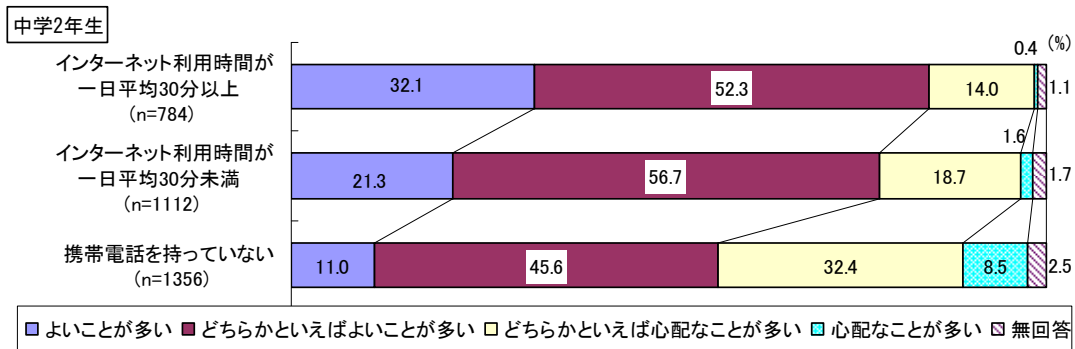
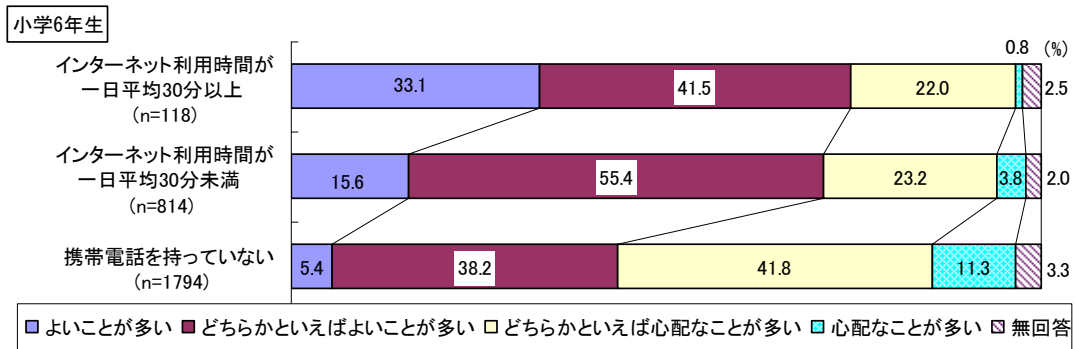
携帯電話での子どものメール送受信件数と、携帯電話に対する子どもの評価との関係



各学年とも、携帯電話でのメール送受信件数の多い子どもの方が、携帯電話を積極的に評価している。

関連設問との分析（児童生徒調査Q12—児童生徒調査Q18）

携帯電話でのインターネット利用時間と、携帯電話に対する評価との関係

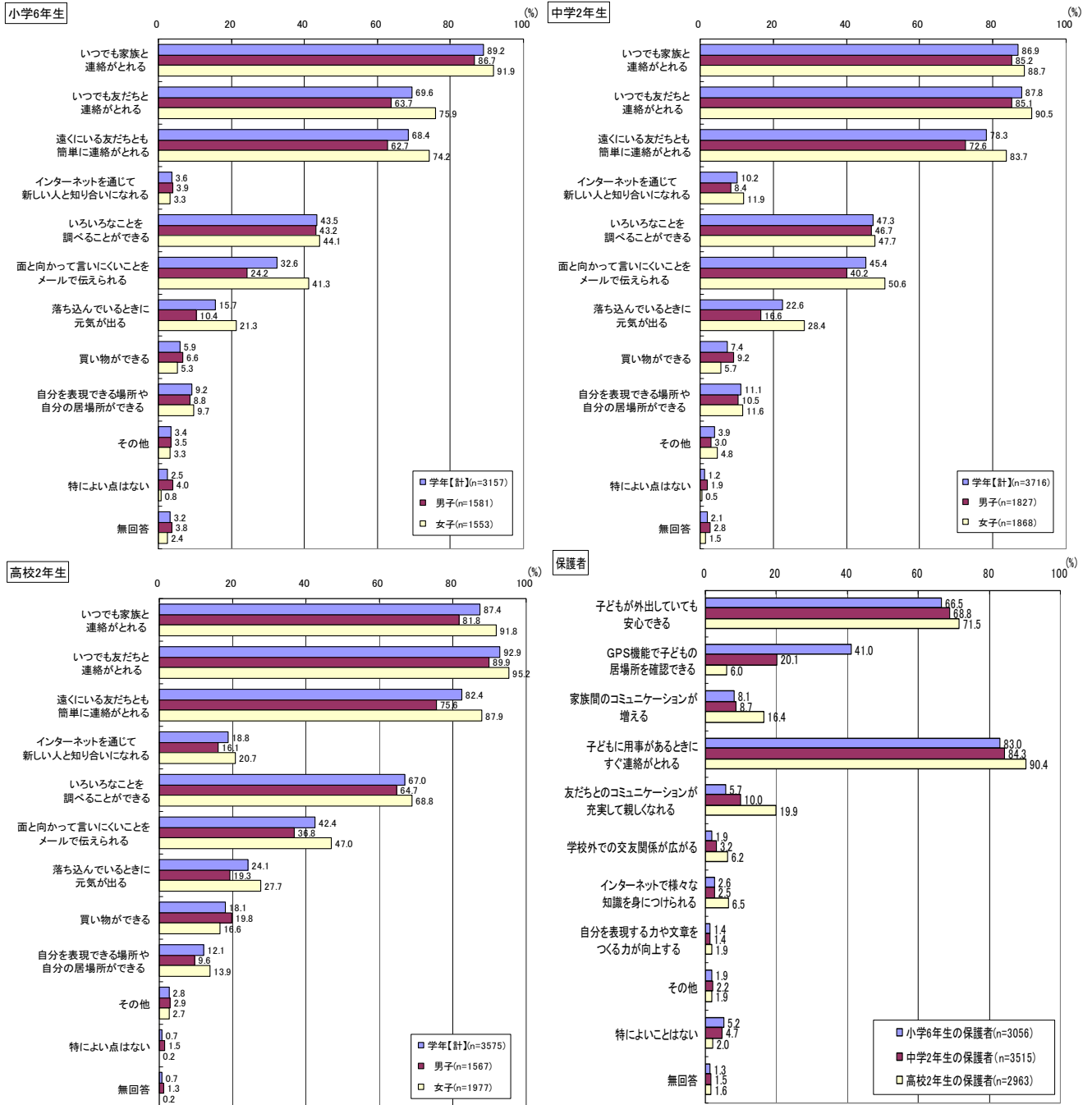


各学年とも、携帯電話でインターネットをよく利用している子どもの方が、携帯電話を積極的に評価している。

児童生徒調査Q19

保護者調査Q20

あなたは、携帯電話のよい点とは、具体的にはどのようなことだと思いますか。(あてはまるもの全てに○)



子どもは、小学6年生で「いつでも家族と連絡がとれる」が最も多いが、中学2年生、高校2年生では「いつでも友だちと連絡がとれる」や「遠くにいる友だちとも簡単に連絡がとれる」にもほぼ同数程度に回答が集まっている。「特によい点はない」という回答はほとんど見られない。

一方、保護者は、中学2年生の保護者、高校2年生の保護者とも「子どもに用事があるときに

すぐに連絡がとれる」、「子どもが外出していても安心できる」といった回答が多く、友だちとのコミュニケーションを評価する回答は少ない。

「その他」の例

【児童生徒の回答】

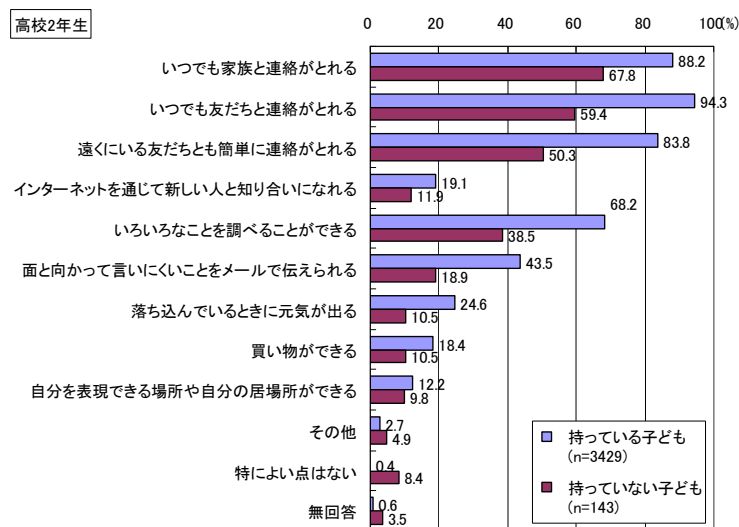
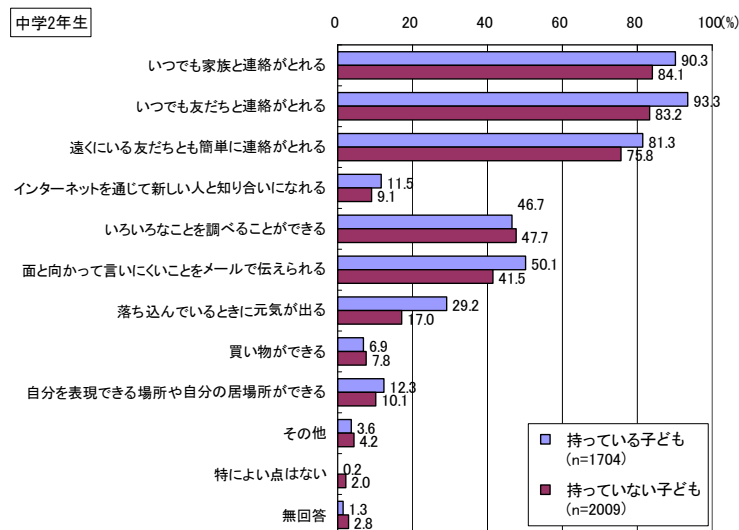
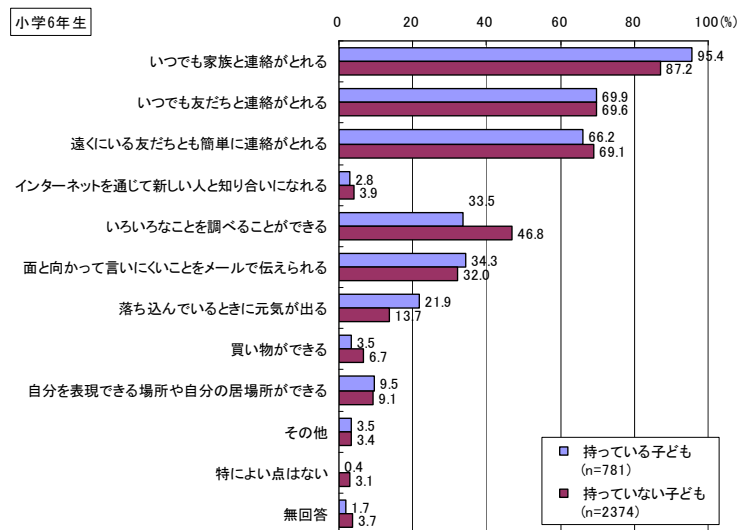
- ・好きな音楽がたくさん聴ける。(小学6年生、中学2年生、高校2年生)
- ・写真が撮れる。ワンセグが見られる。(小学6年生、中学2年生、高校2年生)
- ・持ち運びに便利。(小学6年生)

【保護者の回答】

- ・面と向って話せないことをメールでやりとりできる。(小学6年生の保護者)
- ・自分の判断で物事を行う能力を身につける。(中学2年生の保護者、高校2年生の保護者)
- ・スケジュール管理ができる。(小学6年生の保護者、高校2年生の保護者)

関連設問との分析（児童生徒調査Q1—児童生徒調査Q19）

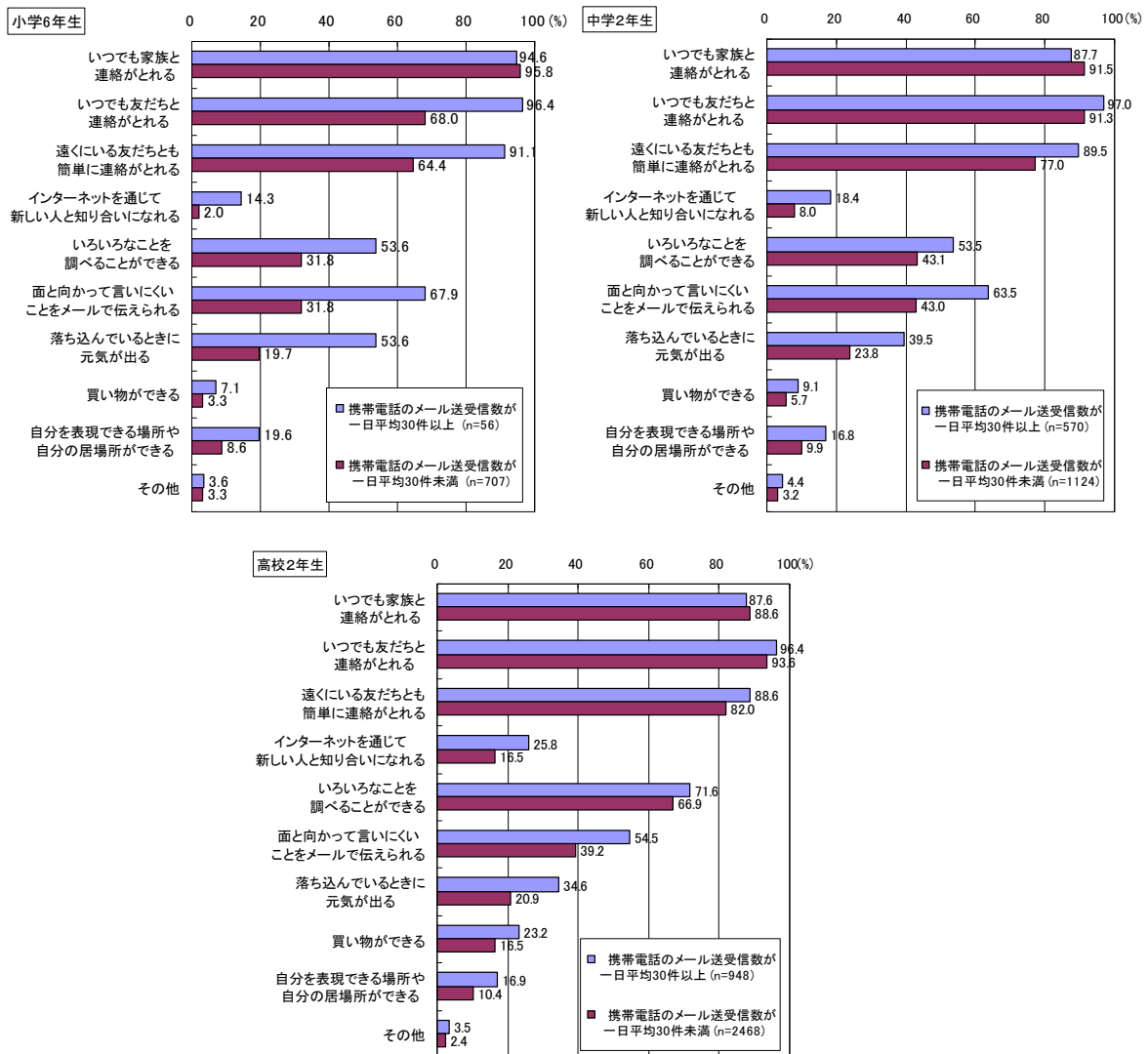
携帯電話の所有の有無と、携帯電話のよい点（子ども）との関係



高校2年生では、携帯電話を持っている子どもが、各選択肢で、携帯電話を持っていない子どもより多くなってきている。

関連設問との分析（児童生徒調査Q6—児童生徒調査Q19）

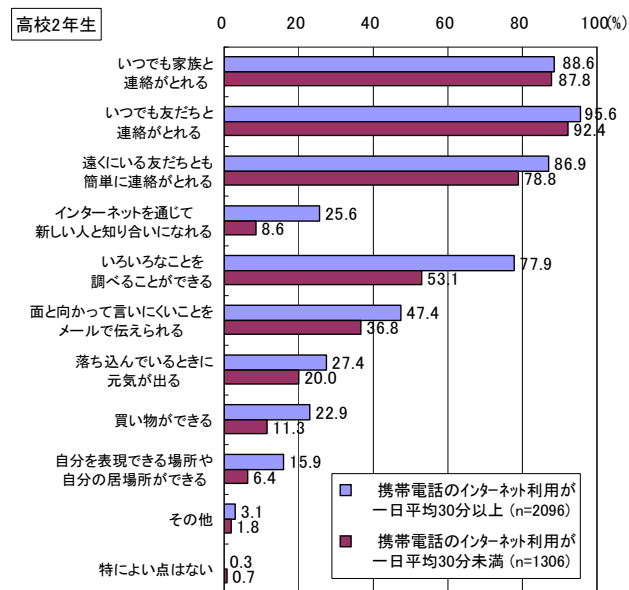
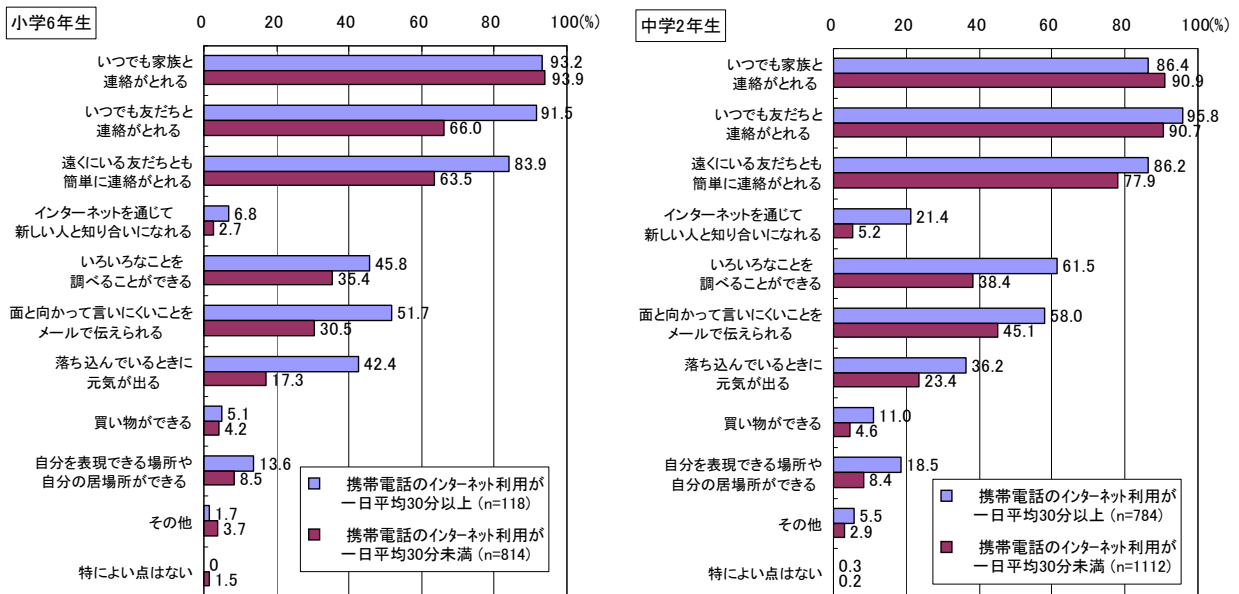
携帯電話での子どものメール送受信件数と、携帯電話のよい点（子ども）との関係



各学年とも、メール送受信件数の多い子どもの方が、各選択肢で多くなっている。

関連設問との分析（児童生徒調査Q12—児童生徒調査Q19）

携帯電話での子どものインターネット利用状況と、携帯電話のよい点（子ども）との関係

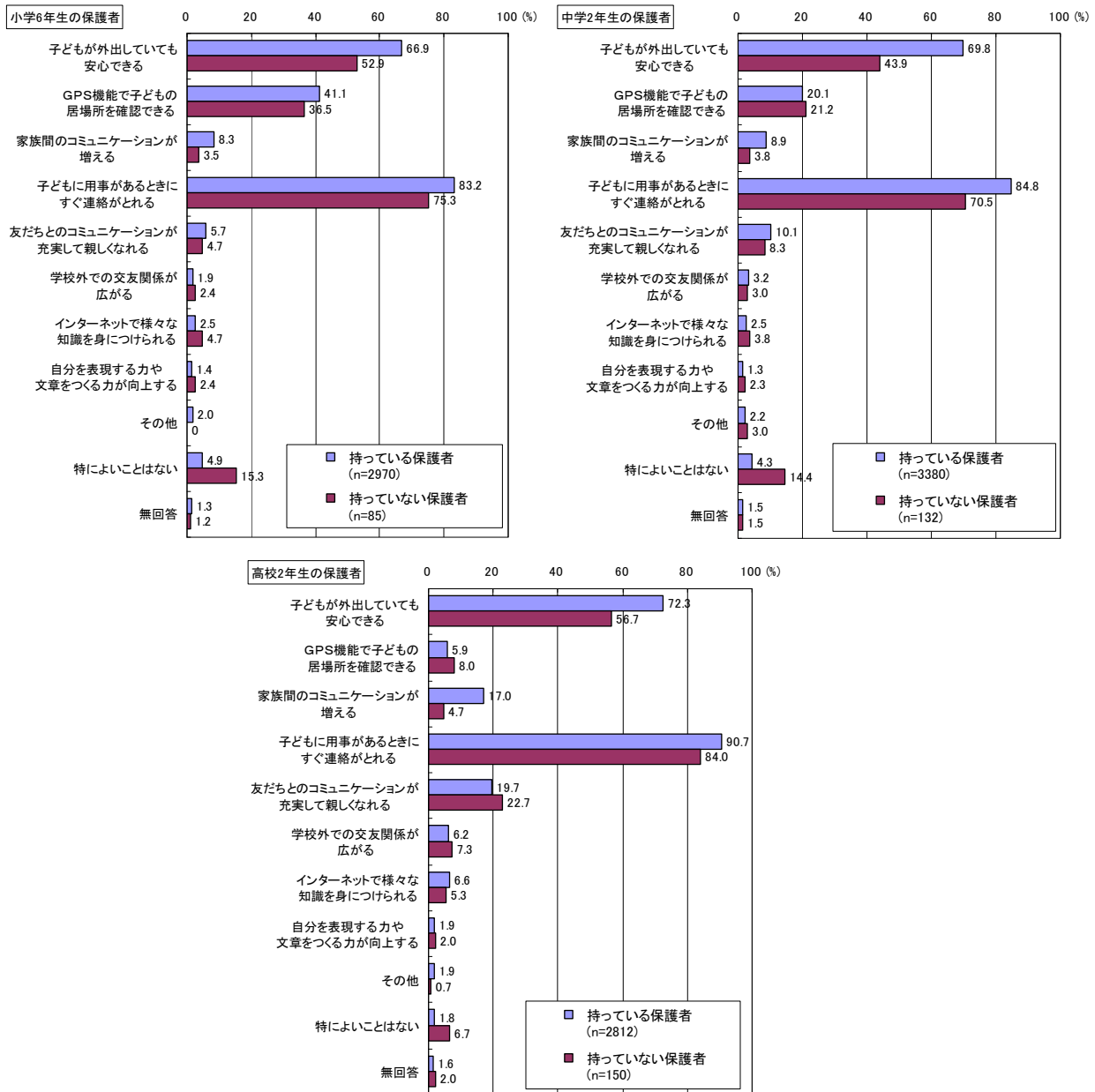


携帯電話のインターネット利用が一日平均30分以上の子どもと30分未満の子どもの回答では、特に「いろいろなことを調べることができる」、「インターネットを通じて新しい人と知り合いになれる」において、差が見られる。

関連設問との分析（保護者調査Q1—保護者調査Q20）

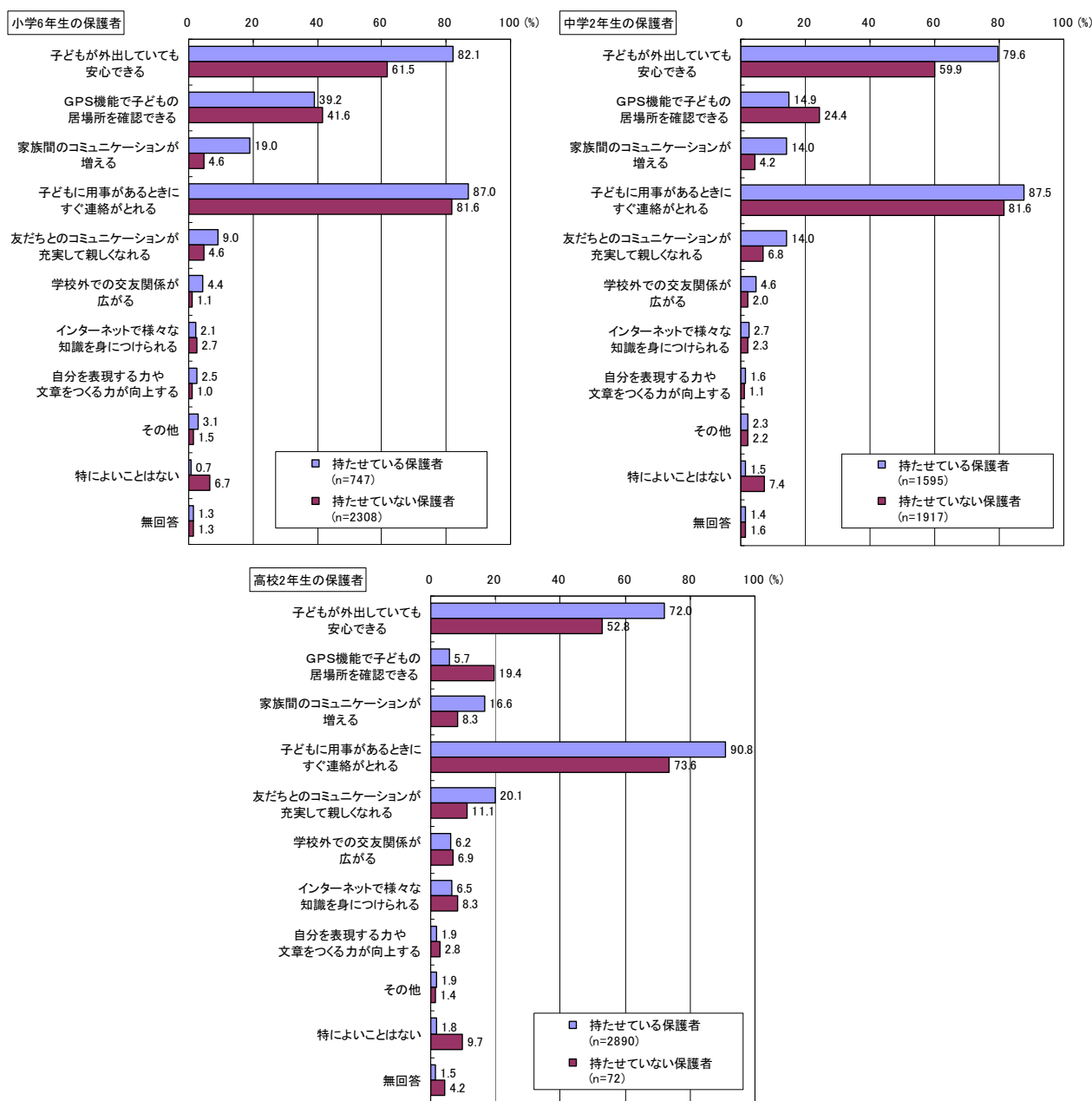
保護者や子どもの携帯電話の所有の有無と、携帯電話のよい点（保護者）との関係

（1）保護者本人の携帯電話の所有の有無との関係



保護者本人の携帯電話所有の有無に関わらず、「子どもに用事があるときにすぐに連絡がとれる」、「子どもが外出していても安心できる」といった家庭のコミュニケーションが評価の中心になっているが、携帯電話を持っている保護者の方が、全般的に携帯電話を積極的に評価している。

(2) 子どもに携帯電話を持たせている／持たせていないとの関係

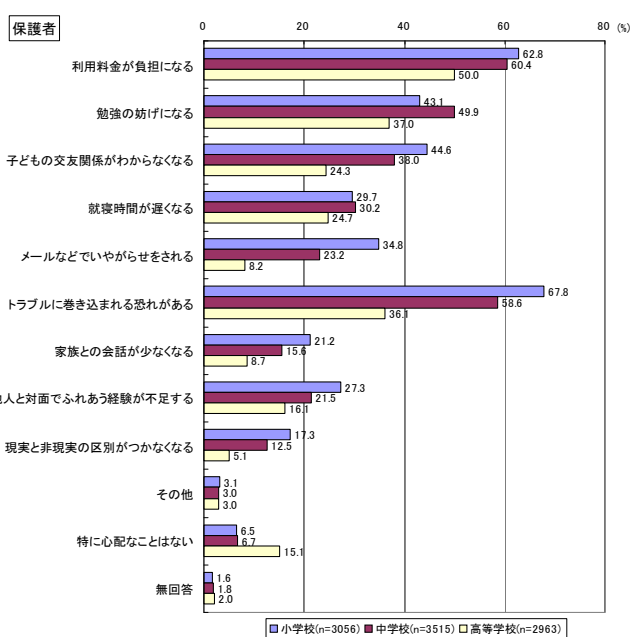
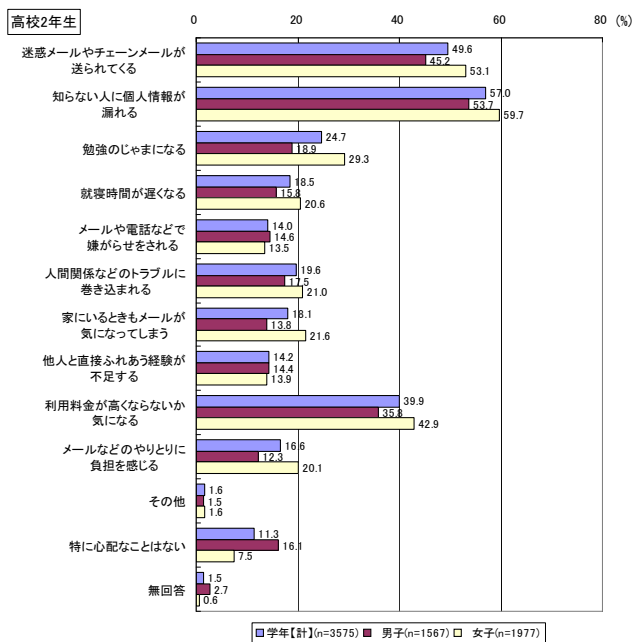
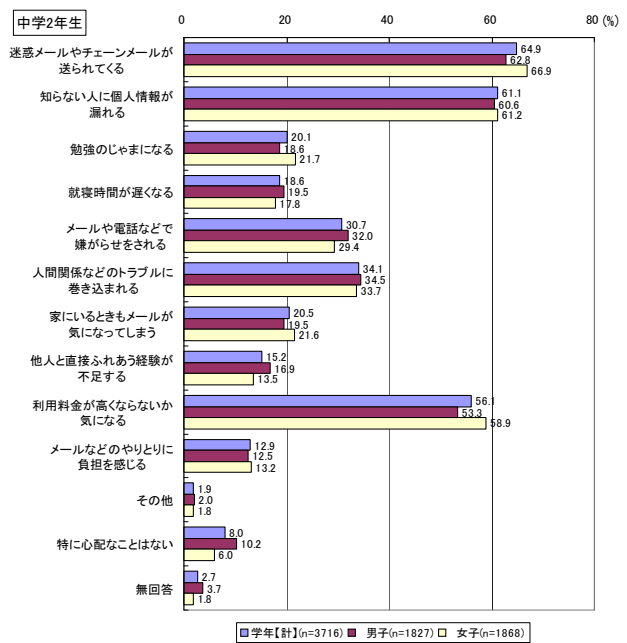
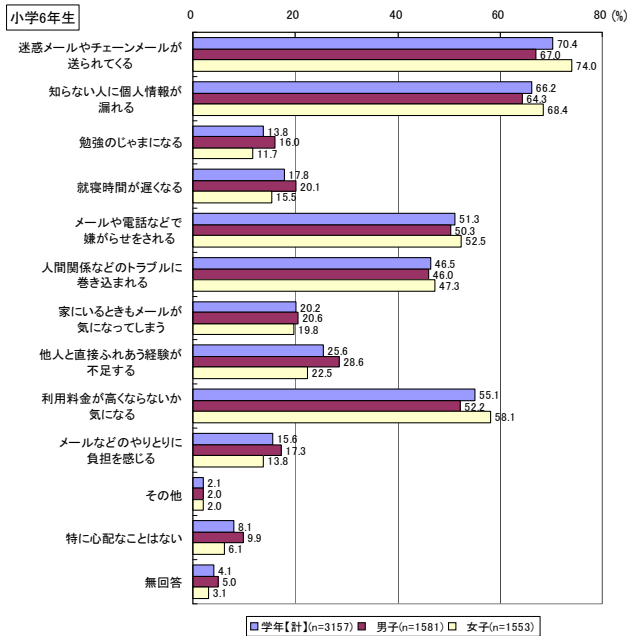


子どもに携帯電話を持たせている／いないに関わらず、「子どもに用事があるときにすぐに連絡がとれる」、「子どもが外出していても安心できる」といった家庭のコミュニケーションが評価の中心になっているが、携帯電話を持たせている保護者の方が、全般的に携帯電話を積極的に評価している。

児童生徒調査Q20

保護者調査Q21

あなたは、携帯電話の心配な点とは、具体的にはどのようなことだと思いますか。(あてはまるもの全てに○)



児童生徒の回答では、「迷惑メールやチェーンメールが送られてくる」「知らない人に個人情報漏れる」「利用料金が高くならないか気になる」の割合が多い。保護者の回答では、「利用料金が高くならないか気になる」「トラブルに巻き込まれる恐れがある」のほか、「勉強の妨げになる」「子どもの交友関係がわからなくなる」という回答も多い。

「その他」の例

【児童生徒の回答】

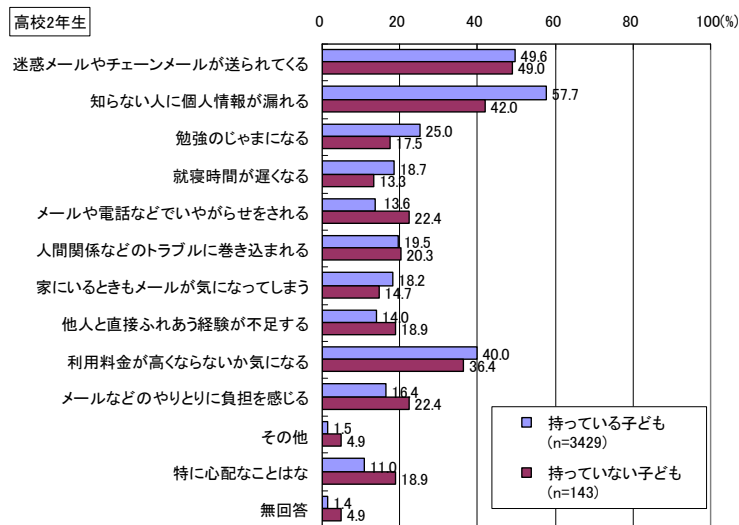
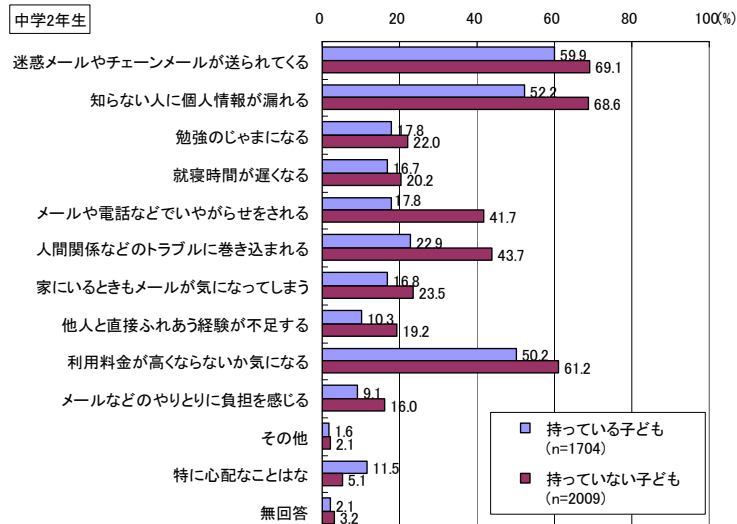
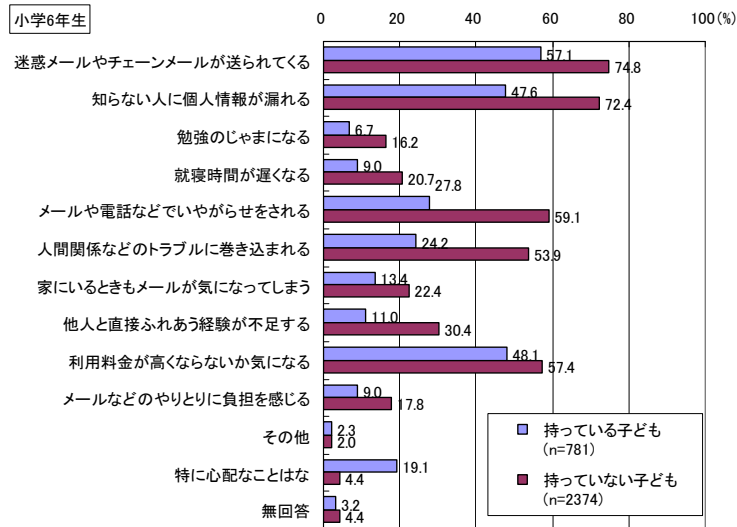
- ・ 闇サイトに入ったらどうしようかと不安になる。(小学6年生、中学2年生)
- ・ ワンクリックなどの悪質な商法。(中学2年生)
- ・ 友達との会話がどうしても携帯などのこと中心になってしまう。(中学2年生)
- ・ 目が悪くなる。(小学校6年生、中学2年生、高校2年生)
- ・ 教諭から連絡が来る。(高校2年生)

【保護者の回答】

- ・ 親の知らないうちに有害情報に簡単に触れてしまう。(小学6年生の保護者)
- ・ 紛失してしまった時に他の人の情報も流れてしまう可能性がある。(小学6年生の保護者)
- ・ 表現力が不足してメールなど誤解をまねきやすい。(小学6年生の保護者)
- ・ 生活全般において、携帯に振り回されてしまう。(中学2年生の保護者)
- ・ 生活時間のけじめがつかなくなる。(食事中にメールをしたり、会話の途中でメールをしたり…)(高校2年生の保護者)
- ・ 目が悪くなる。(小学6年生の保護者、中学2年生の保護者、高校2年生の保護者)
- ・ 電磁波。(小学6年生の保護者、中学2年生の保護者、高校2年生の保護者)

関連設問との分析（児童生徒調査Q1—児童生徒調査Q20）

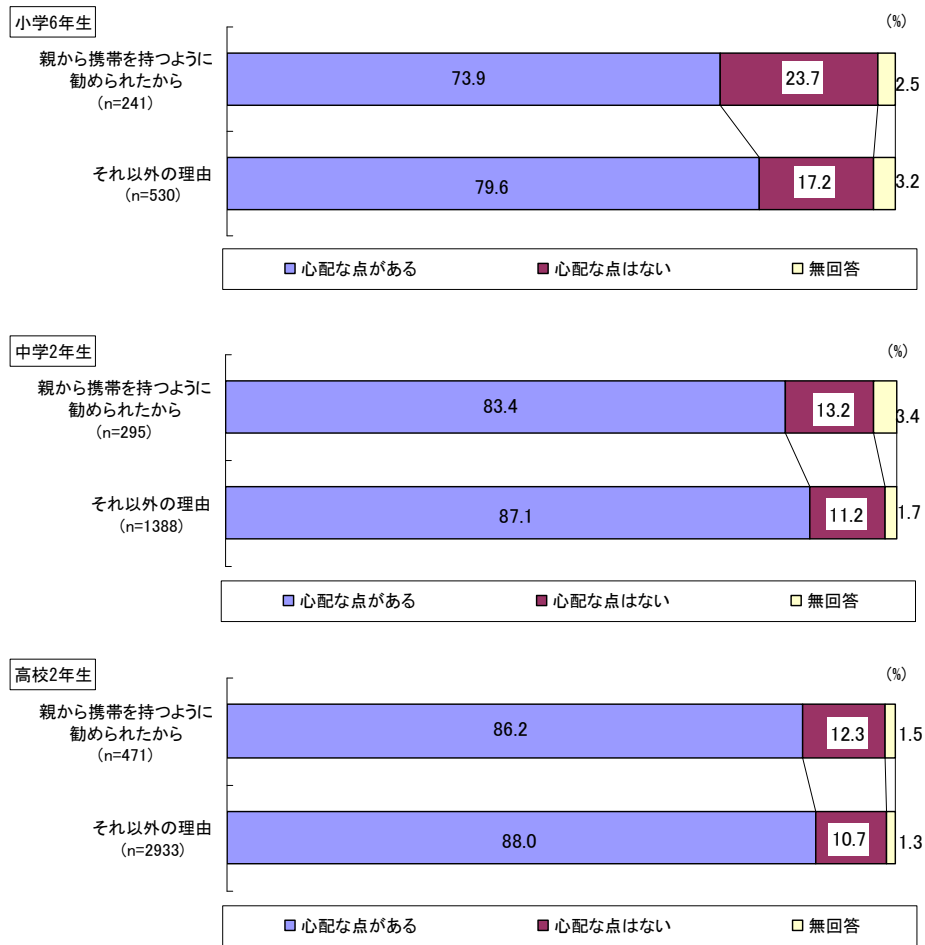
子どもの携帯電話の所有の有無と、携帯電話の心配な点（子ども）との関係



学年が上がるにつれて、多くの選択肢で、携帯電話を持っている子どもの回答が、携帯電話を持っていない子どもの回答を上回ってきている。

関連設問との分析（児童生徒調査Q4—児童生徒調査Q20）

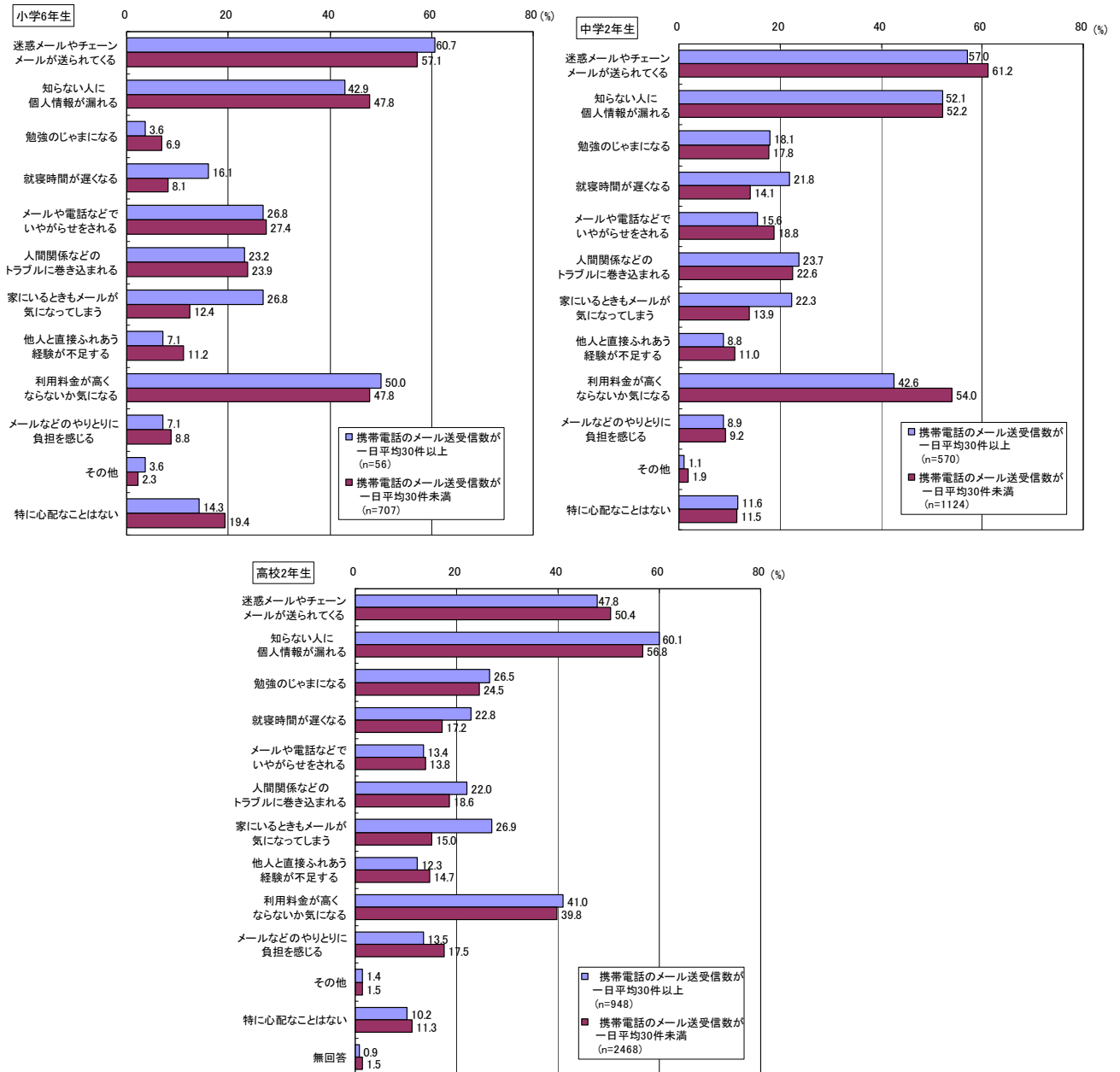
携帯電話を持った理由と、携帯電話の心配な点（子ども）との関係



特に小学6年生において、親から携帯を持つように勧められたため所有している子どもは、心配な点があると回答する割合が比較的少ない。

関連設問との分析（児童生徒調査Q6—児童生徒調査Q20）

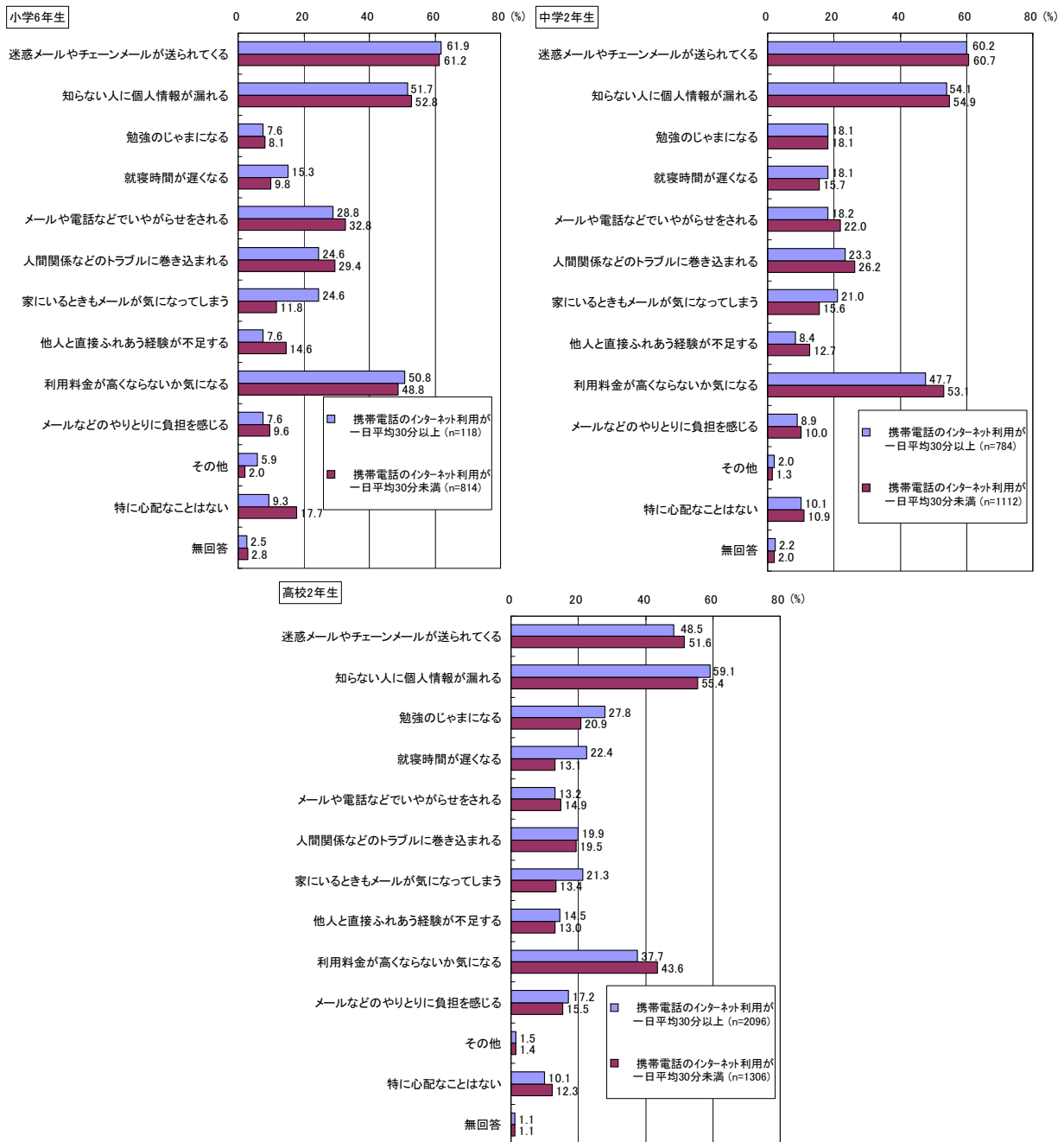
携帯電話での子どものメール送受信件数と、携帯電話の心配な点（子ども）との関係



メールの送受信件数が30件以上の子どもは、「家にいるときもメールが気になってしまう」ことや「就寝時間が遅くなる」ことを心配している傾向が見られる。また、中学2年生では、メール送受信件数が30件未満の子どもは、30件以上の子どもに比べて「利用料金が高くないか」を気にしていることが伺える。

関連設問との分析（児童生徒調査Q12—児童生徒調査Q20）

携帯電話での子どものインターネット利用時間と、携帯電話の心配な点（子ども）との関係

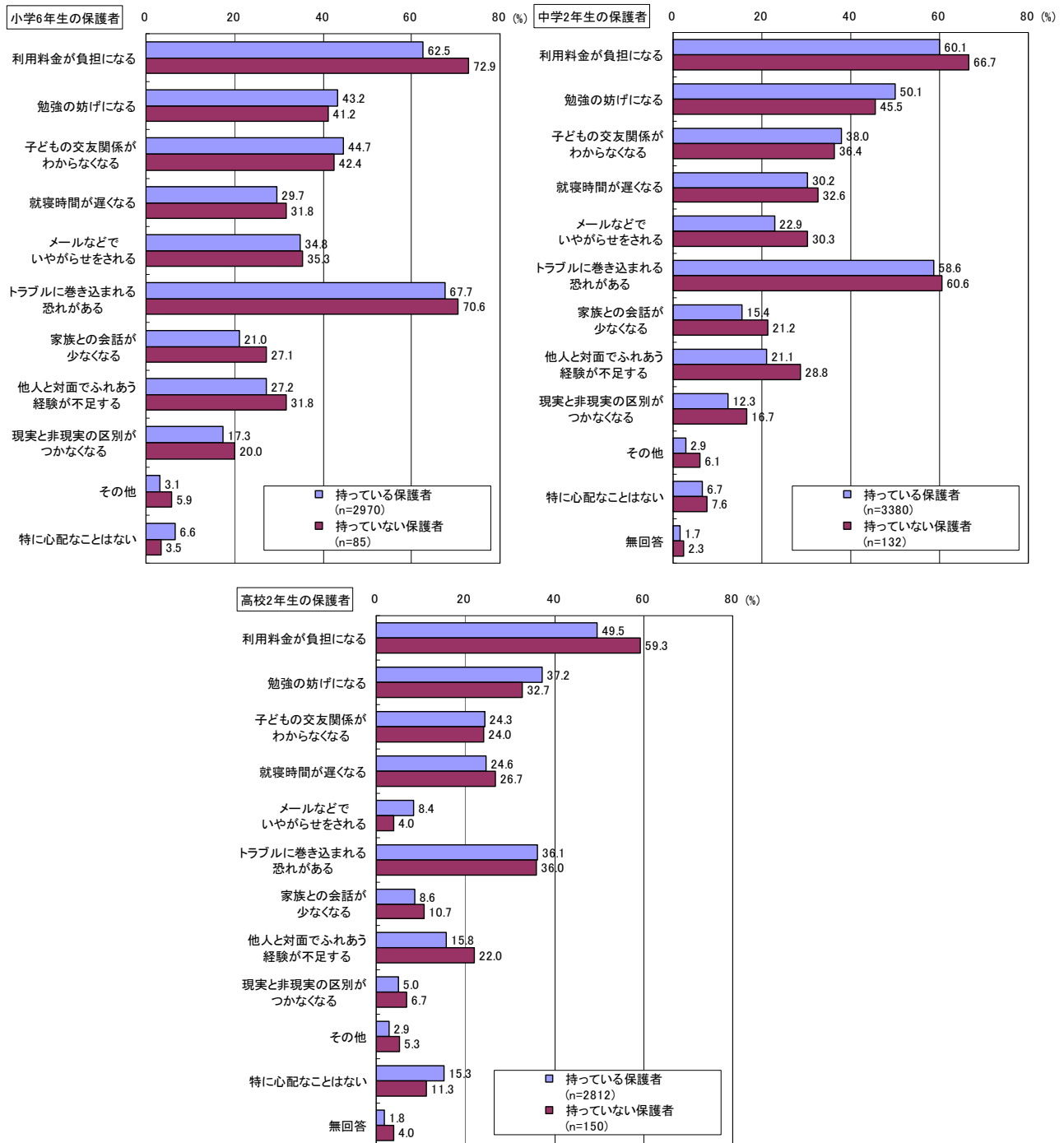


メール送受信件数に比べ、携帯電話のインターネット利用時間の多い／少ないによる差はあまり見られない。

関連設問との分析（保護者調査Q1—保護者調査Q2 1）

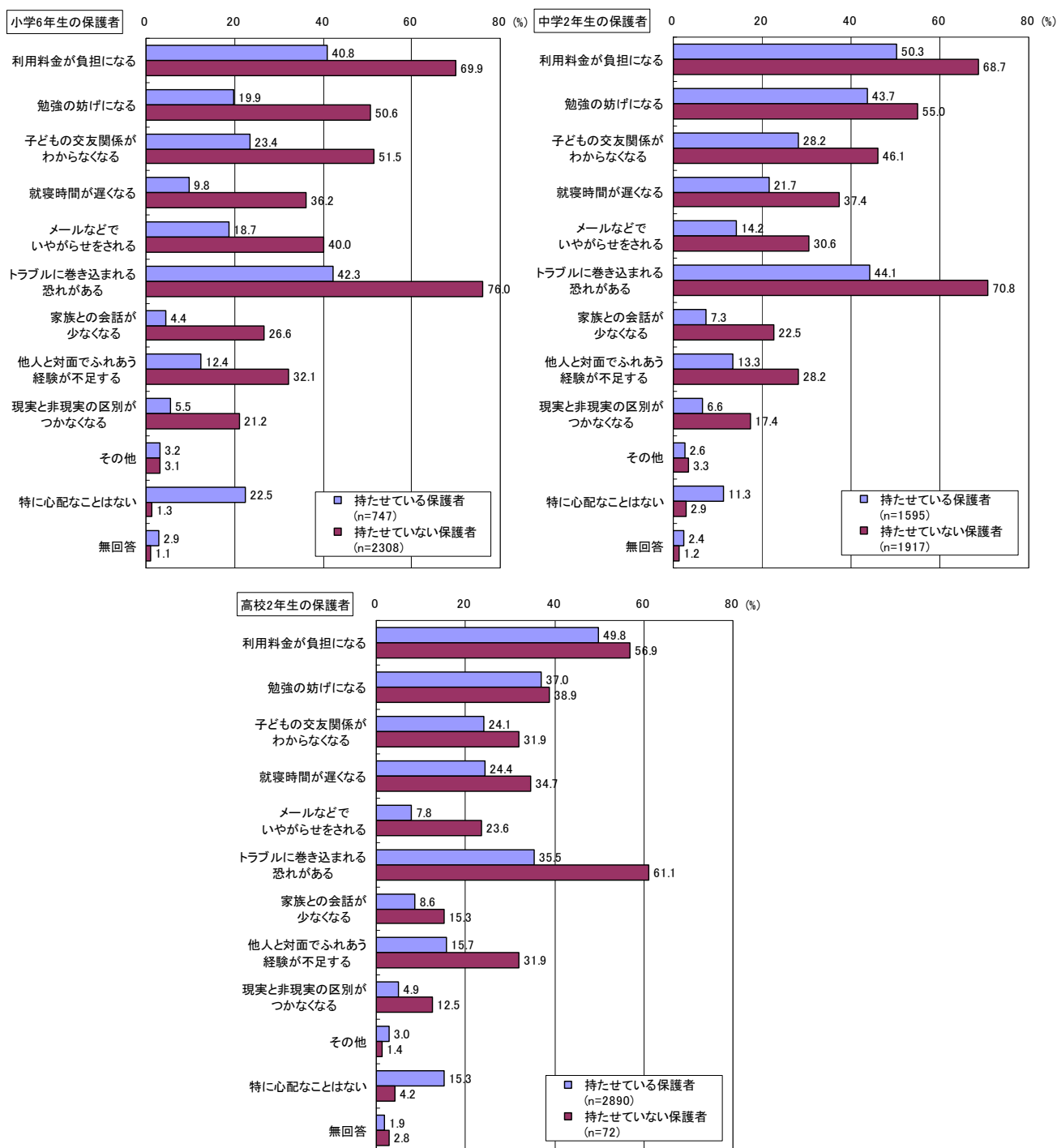
保護者や子どもの携帯電話の所有の有無と、携帯電話の心配な点（保護者）との関係

（1）保護者本人の携帯電話の所有の有無との関係



携帯電話を持っていない保護者は、携帯電話を持っている保護者よりも、「利用料金が負担になる」という回答が上回っている。

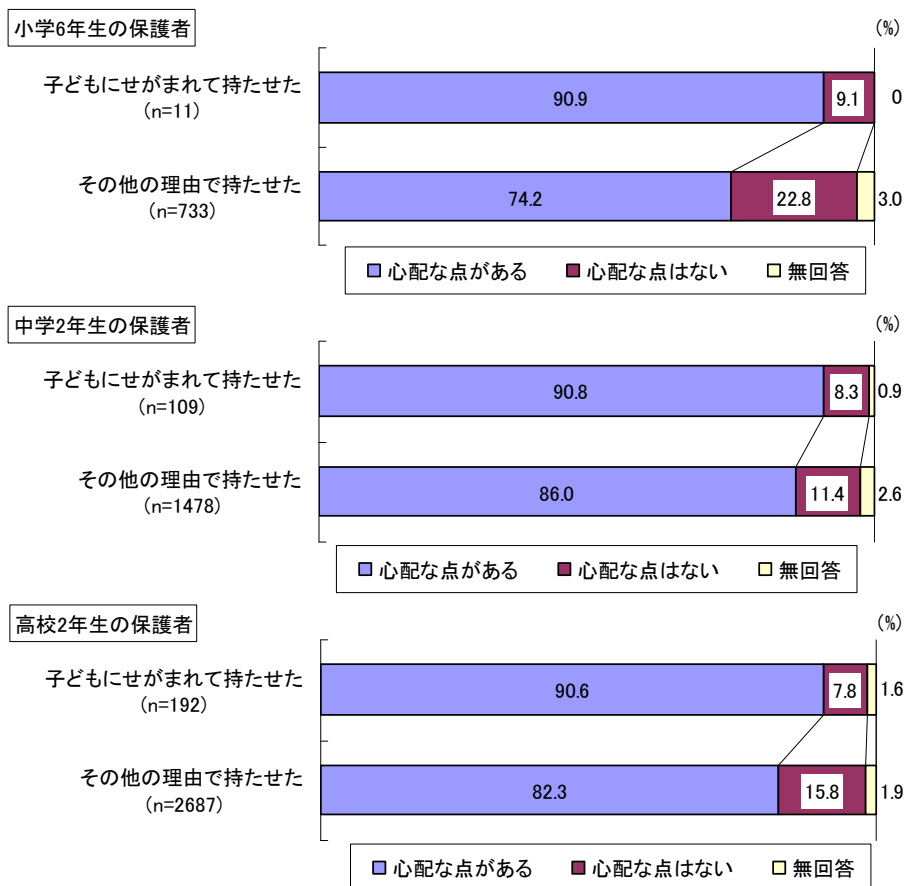
(2) 子どもに携帯電話を持たせている／持たせていないとの関係



小学6年生の保護者と中学2年生の保護者では、各選択肢とも、携帯電話を持たせているかどうかで大きな差が見られる。高校2年生の保護者では、その差が比較的小さくなっているが、「トラブルに巻き込まれる恐れがある」は25.6%の差が見られる。

関連設問との分析（保護者調査Q2—保護者調査Q2.1）

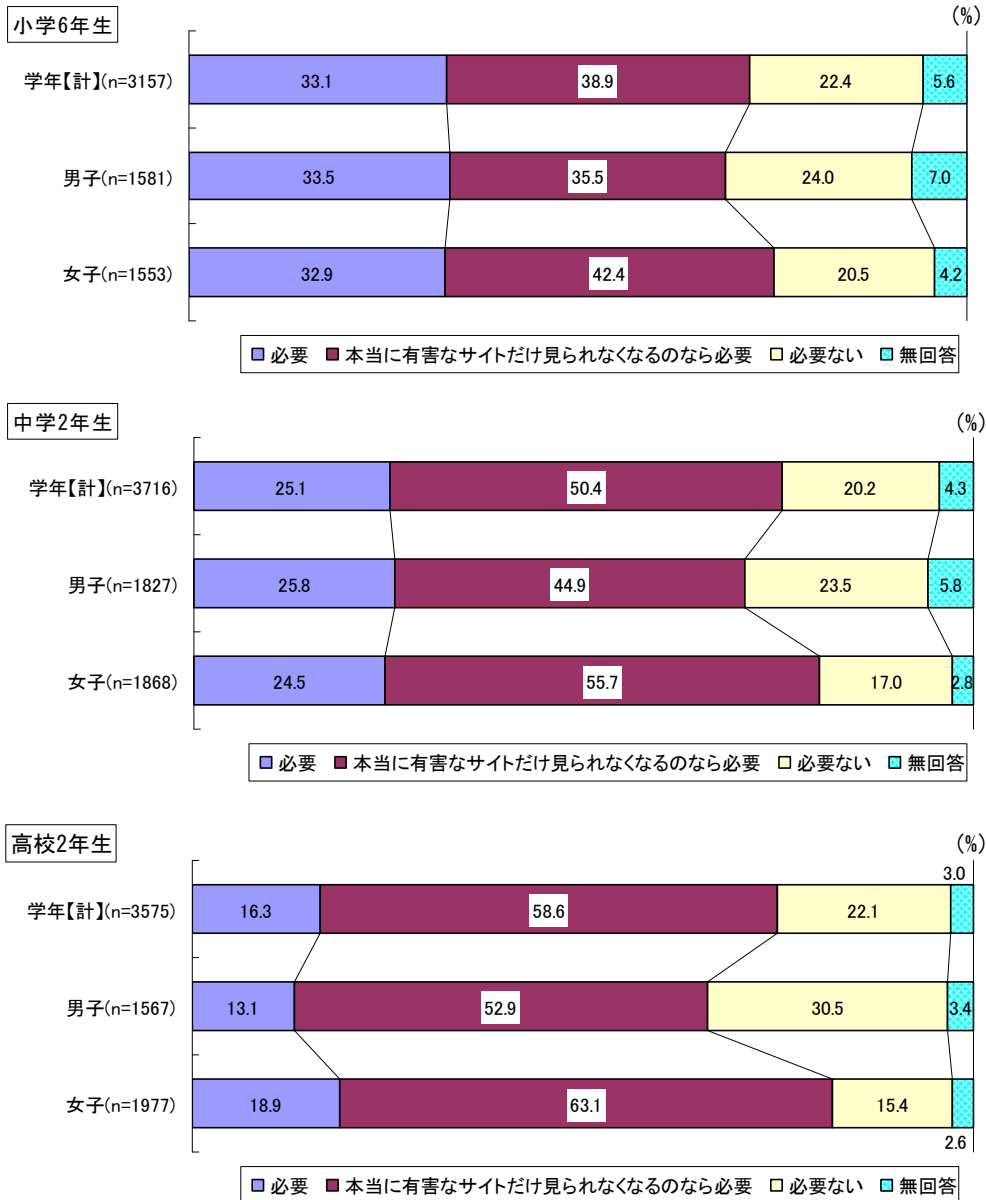
子どもに持たせた理由と、携帯電話の心配な点（保護者）との関係



何らかの心配な点があると回答した保護者が大多数を占めるが、「子どもにせがまれて持たせた」保護者の方が、「心配な点がある」との回答が比較的多い傾向にある。

児童生徒調査Q23

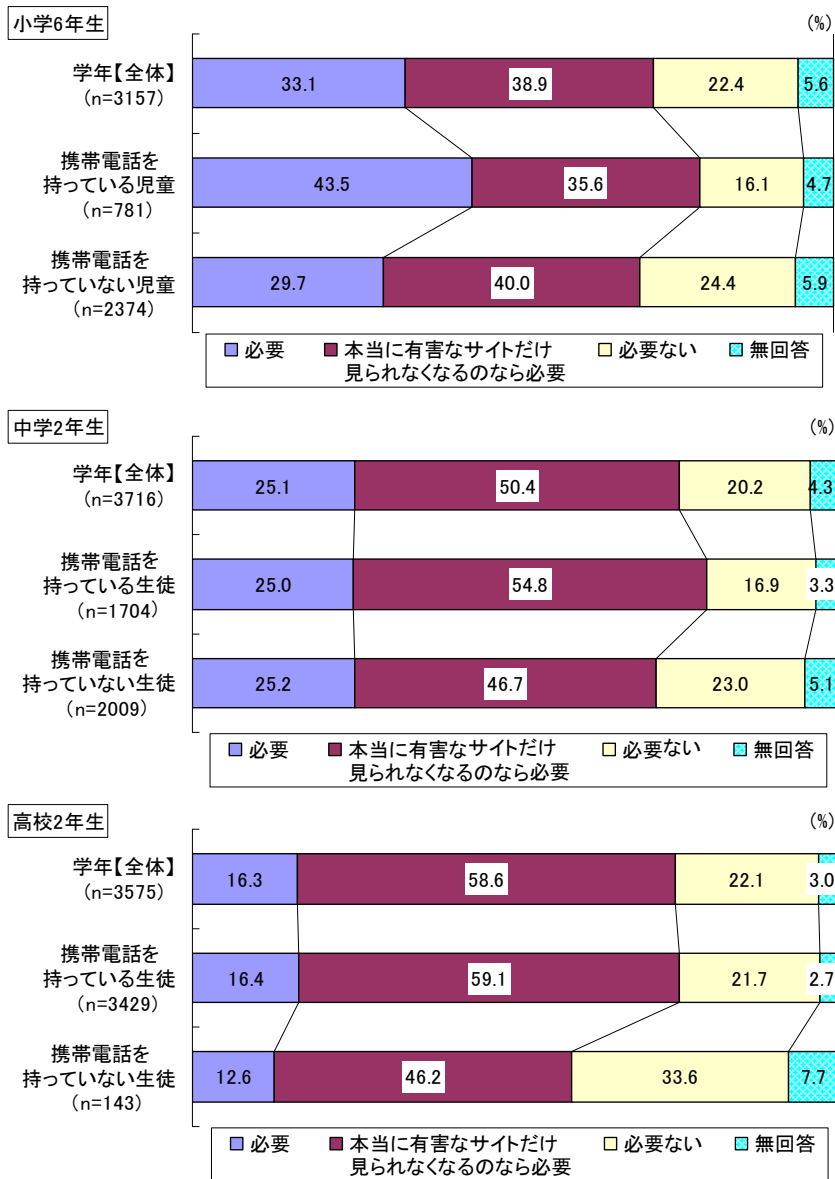
あなたは、子どもたちの携帯電話へのフィルタリングの使用について、どう思いますか。(どれか1つに○)



全ての学年において、「本当に有害なサイトだけ見られなくなるのなら必要」との回答が最も多い。学年が上がるにつれて、フィルタリングが「必要」との回答が減少する傾向にある。

関連設問との分析（児童生徒調査Q1—児童生徒調査Q23）

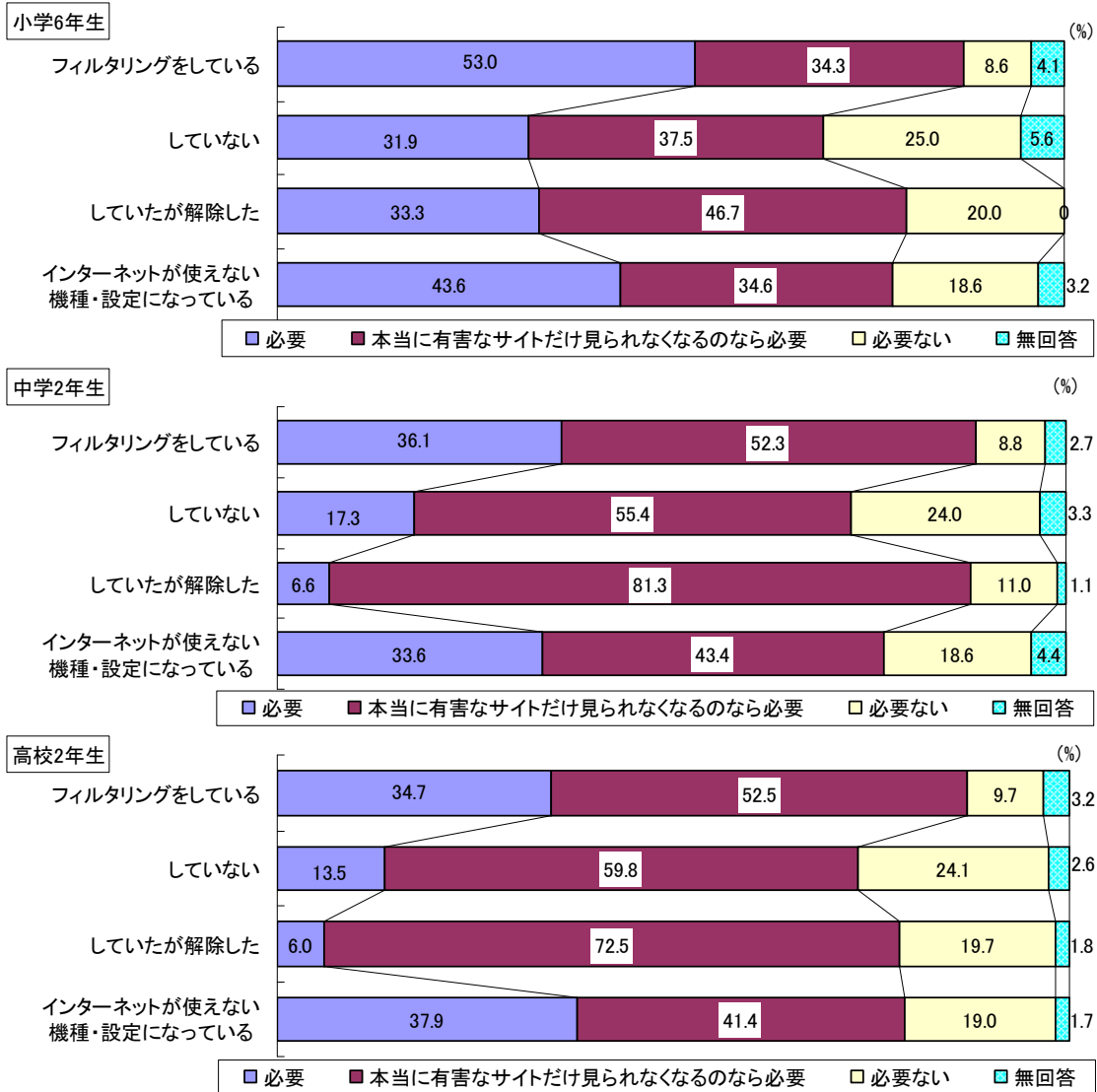
子どもの携帯電話の所有の有無と、フィルタリング機能の必要性に関する認識との関係



全ての学年において、携帯電話を持っている子どもの方が、「必要」と「本当に有害なサイトだけ見られなくなるのなら必要」の合計割合は多くなっている。

関連設問との分析（児童生徒調査Q10—児童生徒調査Q23）

フィルタリングの使用の有無と、フィルタリング機能の必要性の認識との関係



実際にフィルタリングをしていたり、インターネットが使えない機種・設定になっている場合の方が、フィルタリングの必要性について認識している傾向が見られる。

フィルタリングをしていない子どもも、「フィルタリングは必要ない」との認識は、小学6年生全体で25.0%、中学2年生全体で24.0%、高校2年生全体で24.1%といずれも低い。

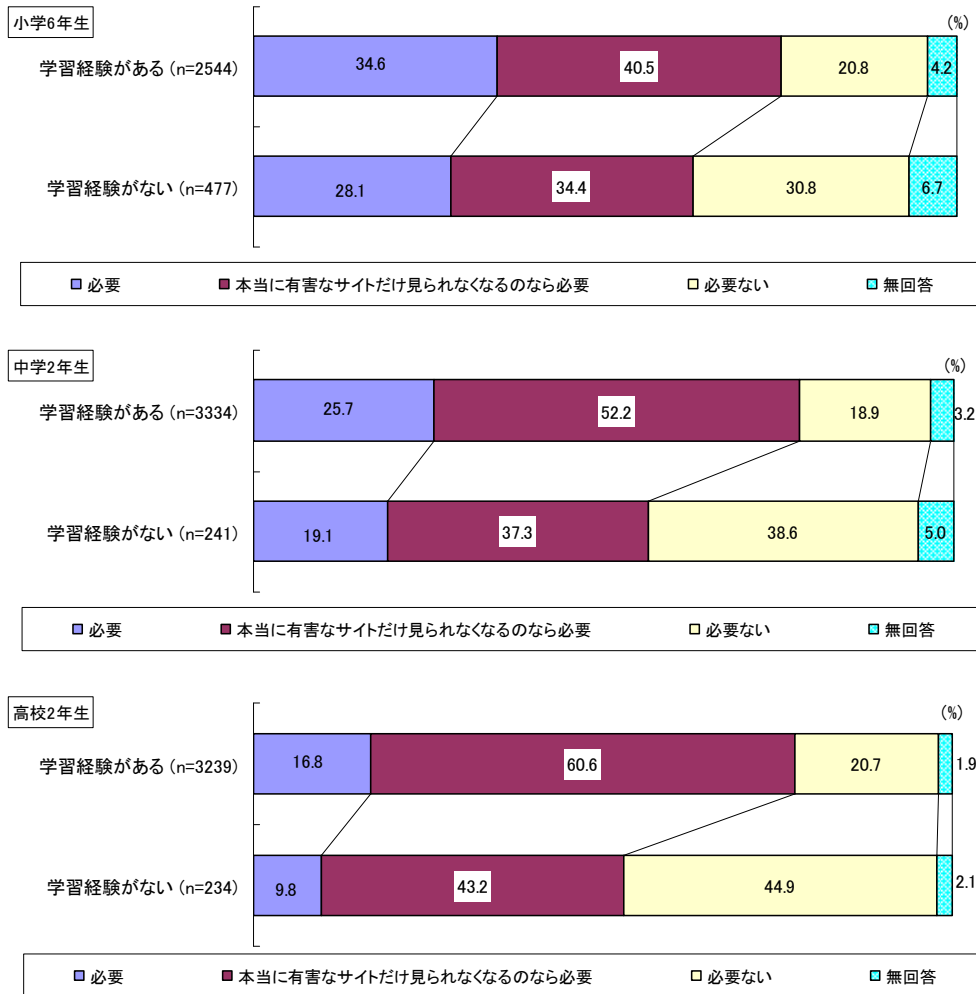
関連設問との分析（児童生徒調査Q24—児童生徒調査Q23）

子どもの学習経験と、フィルタリング機能の必要性に対する認識

※グラフの見方：

・「学習経験がある」は、「学校で教えてもらった」、「親（保護者）に教えてもらった」、「公共施設などで開かれた講座に参加して教えてもらった」、「携帯電話を買ったときに店員に説明してもらった」、「テレビや本・雑誌などで知った」など、何らかの学習経験があると答えた子ども

・「学習経験がない」は、「特に教えてもらったり学んだりしたことはない」を選択した子ども



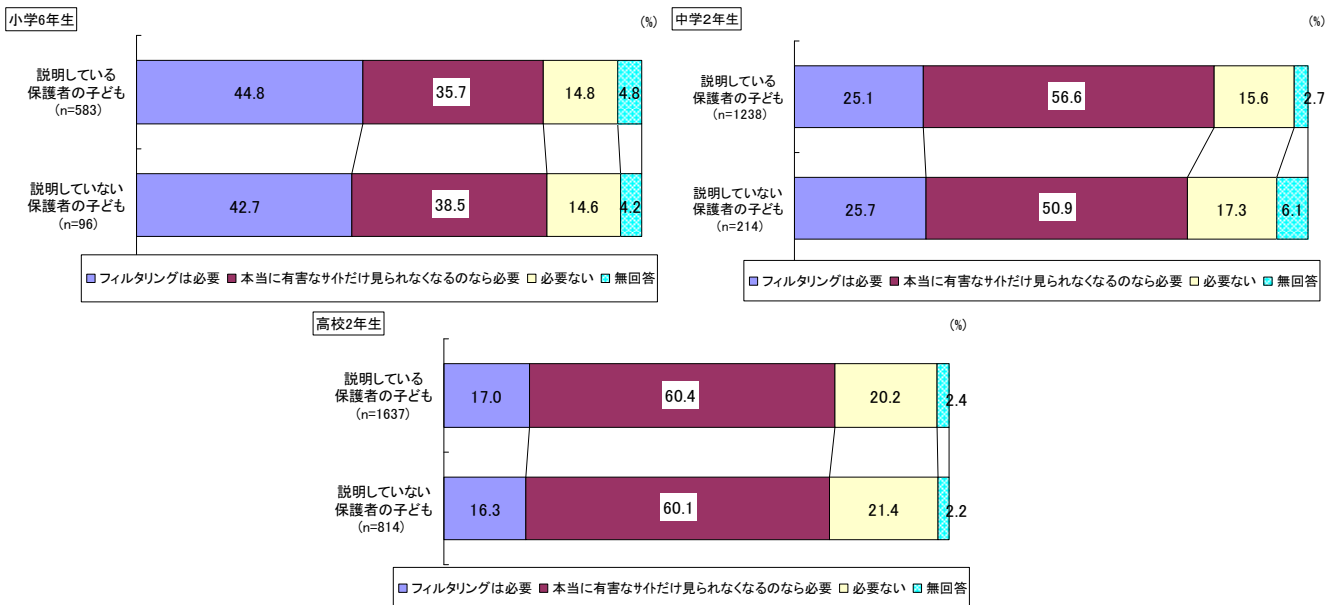
携帯電話やパソコンの危険性について、これまで説明を受けたり学んだりした学習経験のある子どもの方が、各学年ともフィルタリング使用の必要性に関する認識が高い傾向にある。

関連設問との分析（保護者調査Q6—児童生徒調査Q23）

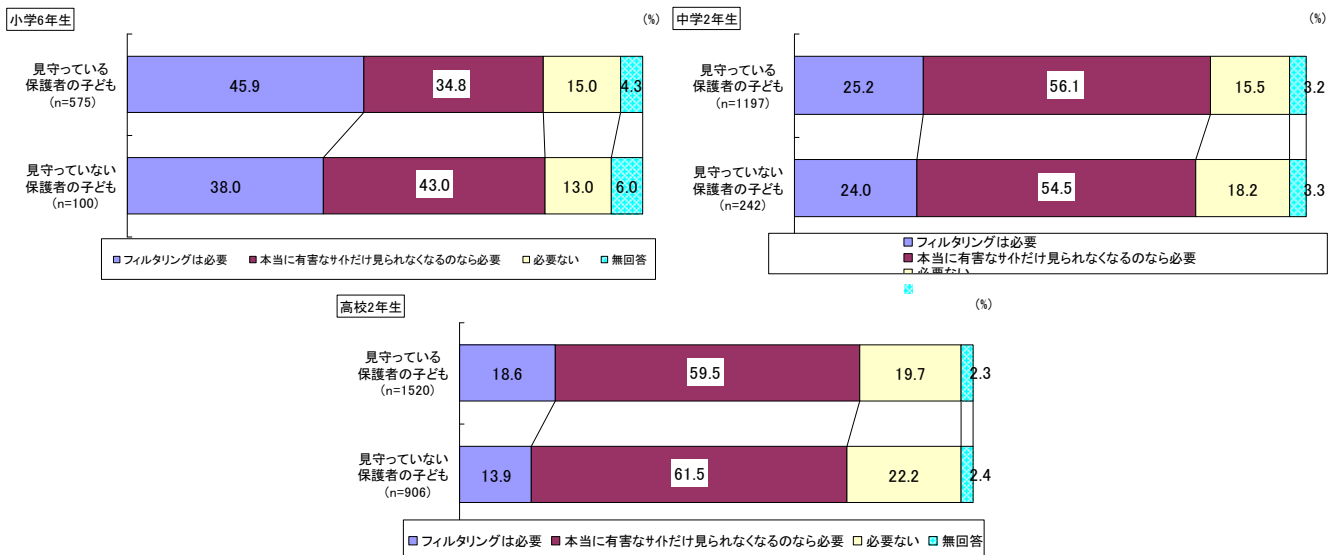
家庭での保護者の見守り姿勢と、フィルタリング機能の必要性に対する子どもの認識との関係
 ※グラフの見方：

- ・「説明している保護者の子ども」「見守っている保護者の子ども」は、それぞれ保護者調査Q6の1、2で「している」「時々している」と回答した保護者の子ども
- ・「説明していない保護者の子ども」「見守っていない保護者の子ども」は、それぞれ保護者調査Q6の1、2で「あまりしていない」「していない」と回答した保護者の子ども

(1) 子どもに携帯電話の危険性や注意点を説明する



(2) 子どもが携帯電話に接する様子を気を付けて見守る



保護者が子どもに携帯電話の危険性や注意点を説明したり、子どもが携帯電話に接する様子を気を付けて見守るなどする家庭の子どもは、フィルタリングが必要であるとの認識が多い傾向が見られる。